沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書　第98集

# 首　里　城　跡

## ― 東のアザナ北地区発掘調査報告書―

平成30（2018）年３月

沖縄県立埋蔵文化財センター

沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書　第98集

# 首　里　城　跡

## ― 東のアザナ北地区発掘調査報告書―

平成30（2018）年３月

沖縄県立埋蔵文化財センター

沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書　第 98 集

# 首　里　城　跡

－東のアザナ北地区発掘調査報告書－

平成 30（2018）年 3 月

沖縄県立埋蔵文化財センター

# 序

本報告書は、沖縄県立埋蔵文化財センターが平成 24・25 年度に実施した、首里城跡東のアザナ北地区の発掘調査成果をまとめたものです。

本調査における特筆すべき成果としては、外郭拡張以前に存在した城壁石積みや、城内十嶽のひとつと想定されるコの字形石積み、陵墓の可能性も指摘される洞穴遺構など、文献史料や絵図には記されていない複数の遺構を検出したことが挙げられます。これらの遺構は、不明な点が多い首里城内北東側の様相や性格を知るうえで重要な資料といえます。また洞穴遺構の両端には、かつて沖縄県師範学校の学徒達が構築した壕も確認されており、沖縄戦時における首里城の利用形態の一端を示しています。

遺物についても、多種多様な資料が得られました。中でも、厭勝銭と思われる銭貨状金製品は、当該地区に城内十嶽が存在したことを示唆するだけでなく、首里城内の祭祀や儀礼を考えるうえでも貴重な発見といえます。その他にも、沖縄戦時に新聞発行で利用されていた金属製活字や、本来なら当該地区では出土しない中国清朝陶磁器の官窯製品など、首里城が辿った歴史的な変遷を窺うことのできる資料も多数出土しています。

このような成果を掲載した今回の報告書が、首里城はもちろん沖縄県の歴史・文化を理解する資料として活用されるとともに、地域における文化財の保存活用のために役立てば幸いです。

最後に、様々な御指導・御助言・御協力を戴きました諸機関及び関係各位に心から感謝申し上げます。

２０１８（平成３０）年３月

沖縄県立埋蔵文化財センター

所長　　金城　亀信

# 例　　言

1．本報告書は、国営沖縄記念公園首里城地区の整備に伴い、沖縄県那覇市首里当蔵町所在の「史跡　首里城跡」東のアザナ北地区で実施した発掘調査及び資料整理の成果をまとめたものである。

2．本業務は、内閣府　沖縄総合事務局　国営沖縄記念公園事務所が沖縄県と委託契約を交わし、沖縄県教育委員会の指導のもと、沖縄県立埋蔵文化財センターが実施した。

3．発掘調査は平成 24・25 年度に実施し、資料整理及び報告書作成は平成 28・29 年度に実施した。

4．本書に掲載した遺構図の座標軸は国土座標軸（第ＸＶ座標系）を使用し、その座標地は日本測地系である。ちなみに、報告書抄録の緯度経度は世界測地系に変換して算出している。

5．発掘調査及び資料整理に際して、以下の諸氏や機関に協力・指導・助言等を戴いた。記して謝意を表する。
（五十音順、敬称略　※所属名は当時）
上江洲 安亨（沖縄美ら島財団）、大橋 康二（佐賀県立九州陶磁文化館）、北垣 聰一郎（金沢城調査研究所）、
沓名 貴彦（国立科学博物館）、久手堅 憲夫（南島地名研究センター）、黒住 耐二（千葉県立中央博物館）、
長田 勝男（平和ガイド）、古堅 実吉（元衆議院議員）、丸山 真史（東海大学）、
宮城 弘樹（名護市教育委員会）、森 達也（沖縄県立芸術大学）、矢島 律子（町田市立博物館）、
沖縄県戦争遺跡詳細確認調査検討委員会、株式会社真南風、首里城研究会、首里城復元検討委員会

6．本書の編集は、当センター職員の協力を得て新垣力が行った。執筆分担は下記の通りである。また、第４章は沓名貴彦氏とパリノ・サーヴェイ株式会社から玉稿を賜った。
第１章、第２章、第３章第１～３節・第４節第１項４・５、第２～ 19 項、第５章…新垣力
第３章第４節第１項１・３、第３項…玉城綾
第３章第４節第１項２・４・５、第２項…金城貴子
第４章第１節…沓名貴彦
第４章第２節…パリノ・サーヴェイ株式会社

7．土色は、農林水産省農林水産技術会事務局監修『新版標準土色帖』2014 年度版を使用している。土質は肉眼で粒径を観察し、地質学のウェントワース・ペティジョン法（那須・趙 2003）で表現している。

8．本書に掲載した写真は、発掘調査状況を新垣力が、遺物を領家範夫・當真香が主に撮影した。

9．発掘調査で得られた遺物及び実測図・写真等の記録は、全て沖縄県立埋蔵文化財センターにて保管している。

# 目　次

序
例　　言
第１章　経緯と経過
　第１節　調査に至る経緯…… 1
　第２節　調査・整理の体制…… 1
　第３節　調査・整理の経過…… 2
第２章　遺跡の位置と環境
　第１節　地理的環境…… 5
　第２節　歴史的環境…… 5
第３章　調査の方法と成果
　第１節　調査の方法…… 14
　第２節　層序…… 14
　第３節　遺構…… 14
　第４節　遺物…… 41
　　第 1 項　中国産陶磁器
　　1　青磁 …… 41
　　2　白磁 …… 47
　　3　中国産青花 …… 51
　　4　褐釉陶器 …… 55
　　5　その他の中国産陶磁器 …… 58
　　第 2 項　その他の輸入陶磁器・土器 …… 65
　　第 3 項　日本産陶磁器・土器 …… 68
　　第 4 項　沖縄産陶器・土器
　　1　施釉陶器 …… 78
　　2　無釉陶器 …… 81
　　3　陶質土器 …… 84
　　第 5 項　瓦質土器 …… 87
　　第 6 項　土器 …… 87
　　第 7 項　坩堝 …… 87
　　第 8 項　瓦類
　　1　屋瓦 …… 91
　　2　塼 …… 91
　　3　欄干 …… 91
　　第 9 項　円盤状製品 …… 100
　　第 10 項　煙管 …… 100
　　第 11 項　玉類 …… 100
　　第 12 項　銭貨 …… 105
　　第 13 項　金属製品 …… 116
　　第 14 項　石製品・石造製品 …… 121
　　第 15 項　貝製品 …… 121
　　第 16 項　骨製品 …… 121
　　第 17 項　ガラス製品 …… 126
　　第 18 項　その他の遺物 …… 126
　　第 19 項　自然遺物
　　1　貝類遺体 …… 130
　　2　脊椎動物遺体 …… 134
第４章　自然科学分析
　第１節　銭貨状金製品の科学調査…… 156

第２節　遺構埋土等の自然科学分析……158
第５章　総括……165
引用・参考文献……167
報告書抄録

# 挿図目次

第 1 図　沖縄県の位置 …… 8
第 2 図　首里城跡の位置及び周辺の遺跡 …… 9
第 3 図　首里城跡の史跡指定範囲と調査区 …… 10
第 4 図　首里城絵図（17 世紀後半～ 18 世紀前半作成）にみる調査区　11
第 5 図　首里古地図（18 世紀初頭作成）にみる調査区　11
第 6 図　沖縄県首里旧城図（明治初期作成）にみる調査区　12
第 7 図　旧首里城熊本鎮台沖縄分遣隊配置図にみる調査区　12
第 8 図　旧首里城図（昭和 6 年頃作成）にみる調査区 … 13
第 9 図　旧琉球大学校舎配置図（1950 年～ 1984 年）にみる調査区 … 13
第 10 図　グリッド割図 …… 17
第 11 図　遺構配置図 …… 18
第 12 図　遺構平面図 1 …… 19
第 13 図　石積み 5 …… 20
第 14 図　石積み 5 内トレンチ …… 21
第 15 図　石組み 2 …… 22
第 16 図　遺構平面図 2（石敷 1 あり）…… 23
第 17 図　遺構平面図 3（石敷 1 取外し後）…… 24
第 18 図　基壇 1 北側トレンチ …… 25
第 19 図　基壇 1 …… 26
第 20 図　石列 1・2 …… 27
第 21 図　石組み 1 …… 28
第 22 図　洞穴 1 内点群図 …… 29
第 23 図　洞穴 1 点群図（南北軸断面 2）…… 30
第 24 図　洞穴 1 …… 31
第 25 図　石敷 2 …… 32
第 26 図　遺構平面図 4 …… 33
第 27 図　石積み 10 …… 34
第 28 図　石積み 11・12 …… 35
第 29 図　石積み 16・17 …… 36
第 30 図　石積み 15 …… 37
第 31 図　石列 6・7・8 …… 38
第 32 図　石組み 3 …… 39
第 33 図　壕 1 ～ 3・洞穴 1 平面略図（沖縄県の戦争遺跡より）40
第 34 図　中国産青磁 1 …… 43
第 35 図　中国産青磁 2 …… 45
第 36 図　中国産白磁 …… 49
第 37 図　中国産青花 …… 53
第 38 図　中国産褐釉陶器 …… 56
第 39 図　その他の中国産陶磁器 1 …… 61
第 40 図　その他の中国産陶磁器 2 …… 63
第 41 図　その他の輸入陶磁器・土器（タイ産・ベトナム産・朝鮮産）66
第 42 図　日本産陶磁器・土器 1 …… 70
第 43 図　日本産陶磁器・土器 2 …… 72
第 44 図　日本産陶磁器・土器 3 …… 74
第 45 図　沖縄産施釉陶器 …… 79
第 46 図　沖縄産無釉陶器 …… 82
第 47 図　陶質土器 …… 85
第 48 図　瓦質土器 …… 88
第 49 図　土器、坩堝 …… 90
第 50 図　屋瓦 1（高麗系・大和系）…… 92
第 51 図　屋瓦 2（明朝系）…… 93
第 52 図　塼 1 …… 95
第 53 図　塼 2 …… 96
第 54 図　欄干 …… 98
第 55 図　円盤状製品 …… 101
第 56 図　煙管 …… 103
第 57 図　玉類 …… 104
第 58 図　銭貨 1 …… 107
第 59 図　銭貨 2 …… 109
第 60 図　銭貨 3 …… 111
第 61 図　銭貨 4 …… 113
第 62 図　金属製品 1（鉄）…… 117
第 63 図　金属製品 2（青銅）…… 118
第 64 図　石製品・石造物 …… 122
第 65 図　貝製品・骨製品 …… 124
第 66 図　その他の遺物 1 …… 128
第 67 図　暦年較正結果 …… 159

# 図版目次

図版 1　洞穴 1 …… 30
図版 2　石敷 2 …… 32
図版 3　壕 3 前遺物検出状況（北から）…… 40
図版 4　中国産青磁 1 …… 44
図版 5　中国産青磁 2 …… 46
図版 6　中国産白磁 …… 50
図版 7　中国産青花 …… 54
図版 8　中国産褐釉陶器 …… 57

図版 9　その他の中国産陶磁器１ …… 62
図版 10　その他の中国産陶磁器２ …… 64
図版 11　その他の輸入陶磁器・土器（タイ産・ベトナム産・朝鮮産）67
図版 12　日本産陶磁器・土器１ …… 71
図版 13　日本産陶磁器・土器２ …… 73
図版 14　日本産陶磁器・土器３ …… 75
図版 15　日本産陶磁器・土器４ …… 76
図版 16　日本産陶磁器・土器５ …… 77
図版 17　沖縄産施釉陶器 …… 80
図版 18　沖縄産無釉陶器 …… 83
図版 19　陶質土器 …… 86
図版 20　瓦質土器 …… 89
図版 21　土器、坩堝 …… 90
図版 22　屋瓦（高麗系・大和系・明朝系）…… 94
図版 23　塼 …… 97
図版 24　欄干 …… 99
図版 25　円盤状製品 …… 102
図版 26　煙管 …… 103
図版 27　玉類 …… 104
図版 28　銭貨１ …… 108
図版 29　銭貨２ …… 110
図版 30　銭貨３ …… 112
図版 31　銭貨４ …… 114
図版 32　銭貨５ …… 115
図版 33　金属製品１（鉄）…… 117
図版 34　金属製品２（青銅）…… 119
図版 35　金属製品３（活字）…… 120
図版 36　石製品・石造物 …… 123
図版 37　貝製品・骨製品 …… 125
図版 38　ガラス製品 …… 127
図版 39　その他の遺物１ …… 128
図版 40　その他の遺物２ …… 129
図版 41　貝類遺体１（巻貝１）…… 131
図版 42　貝類遺体２（巻貝２）…… 132
図版 43　貝類遺体３（二枚貝）…… 133
図版 44　脊椎動物遺体１（魚骨１）…… 135
図版 45　脊椎動物遺体２（魚骨２）…… 136
図版 46　脊椎動物遺体3（ウミガメ、トリ、ウサギ、ネズミ、イヌ、ネコ）137
図版 47　脊椎動物遺体４（イノシシ／ブタ、シカ）…… 138
図版 48　脊椎動物遺体５（ヤギ、ウシ）…… 139
図版 49　脊椎動物遺体６（ウシ／ウマ、ジュゴン、ヒト）140
図版 50　東のアザナ地区出土金貨表面の電子顕微鏡画像 157
図版 51　福寺遺跡出土蛭藻金表面の電子顕微鏡画像 … 157
図版 52　分析試料状況と年代値 …… 160
図版 53　炭化材・種実遺体 …… 164
図版 54　首里城跡空中写真１ …… 171
図版 55　首里城跡空中写真２ …… 172
図版 56　遺構等検出状況１ …… 173
図版 57　遺構等検出状況２ …… 174
図版 58　遺構等検出状況３ …… 175
図版 59　遺構等検出状況４ …… 176
図版 60　遺構等検出状況５ …… 177
図版 61　遺物検出状況 …… 178

# 表目次

第 1 表　中国産青磁観察一覧 …… 42
第 2 表　中国産白磁観察一覧 …… 48
第 3 表　中国産青花観察一覧 …… 52
第 4 表　中国産褐釉陶器観察一覧 …… 55
第 5 表　その他の中国産陶磁器観察一覧１ …… 59
第 5 表　その他の中国産陶磁器観察一覧２ …… 60
第 6 表　その他の輸入陶磁器・土器観察一覧 …… 65
第 7 表　日本産陶磁器観察一覧１ …… 68
第 7 表　日本産陶磁器観察一覧２ …… 69
第 8 表　沖縄産施釉陶器観察一覧 …… 78
第 9 表　沖縄産無釉陶器観察一覧 …… 81
第 10 表　屋瓦観察一覧 …… 91
第 11 表　塼観察一覧 …… 91
第 12 表　銭貨観察一覧１ …… 105
第 12 表　銭貨観察一覧２ …… 106
第 13 表　貝類遺体等種別一覧 …… 130
第 14 表　貝類の生息場所類型（黒住 1987 より作成）　130
第 15 表　脊椎動物遺体種別一覧 …… 134
第 16 表　中国産青磁出土状況一覧１ …… 141
第 16 表　中国産青磁出土状況一覧２ …… 142
第 17 表　中国産白磁出土状況一覧１ …… 143
第 17 表　中国産白磁出土状況一覧２ …… 144
第 18 表　中国産青花出土状況一覧１ …… 145
第 18 表　中国産青花出土状況一覧２ …… 146
第 19 表　その他の中国産陶磁器出土状況一覧１ …… 147
第 19 表　その他の中国産陶磁器出土状況一覧２ …… 148
第 20 表　沖縄産施釉陶器出土状況一覧１ …… 149
第 20 表　沖縄産施釉陶器出土状況一覧２ …… 150
第 21 表　沖縄産無釉陶器出土状況一覧１ …… 151
第 21 表　沖縄産無釉陶器出土状況一覧２ …… 152
第 22 表　銭貨出土状況一覧１ …… 153
第 22 表　銭貨出土状況一覧２ …… 154
第 23 表　その他の輸入陶磁器・土器出土状況一覧 …… 155
第 24 表　日本産陶磁器・土器出土状況一覧 …… 155
第 25 表　活字出土状況一覧 …… 155
第 26 表　放射性炭素年代測定結果 …… 159
第 27 表　微細物洗い出し・種実同定結果 …… 162
第 28 表　樹種同定結果 …… 163

# 第１章　経緯と経過

## 第１節　調査に至る経緯

首里城跡の復元整備は、沖縄県本土復帰の年である昭和 47（1972）年に、沖縄県教育庁文化課（以下、文化財課）が戦災文化財復元整備事業として歓会門及び周辺城壁の整備に着手したことを嚆矢とする。その後、沖縄戦後に建設された琉球大学の移転に伴い、跡地利用法として首里城一帯の公園化が有力となったため、これまでの城門や城壁に加えて、正殿などを含む城郭内側区域の本格的な復元整備を行う気運が高まった。国も昭和 57（1982）年に決定した第二次沖縄振興開発計画の中で、「首里城跡一帯の歴史的風土を生かしつつ、公園としてふさわしい範囲について整備を検討する」と提言し、それを受けて沖縄県土木建築部は昭和 59（1984）年に復元整備の指針となる「首里城公園基本計画」を策定した（首里城公園基本計画調査委員会 1984）。そして昭和 61（1986）年度には、首里城跡の内郭を国営公園として整備する方針の閣議決定に伴い、翌年度から復元整備に必要な遺構確認及び情報収集を目的とした発掘調査が開始された。ちなみにこの発掘調査は、史跡首里城跡整備委員会で示された「事前の発掘調査に基づく復元整備を行うこと」との基本的条件に基づいている（史跡首里城跡整備委員会 1998）。

今回の対象となる東のアザナ北地区での発掘調査も、上記の遺構確認を目的に実施しており、平成 24・25（2012・13）年度に内閣府沖縄総合事務局国営沖縄記念公園事務所と沖縄県知事の間に締結された「首里城地区（北城郭エリア）発掘調査及び資料整理業務」によるものである。発掘調査は、主管課である文化財課が事務調整及び指導を行い、沖縄県立埋蔵文化財センター（以下、当センター）が現地での調査を担当した。

首里城跡での発掘調査は、史跡指定地内での現状変更に該当するため、文化財保護法第 125 条第 1 項に基づく申請と許可が必要となっている。今回の調査についても、平成 24・25 年度とも許可申請書を沖縄県教育委員会（以下、県教委）経由のうえ文化庁へ提出し（前者は平成 24 年 4 月 27 日付け埋文第 65 号、後者は平成 25 年 4 月 24 日付け埋文第 97 号）、県教委の指示を受けることを条件として許可された（前者は平成 24 年 6 月 15 日付け 24 受庁財第 4 号の 331、後者は平成 25 年 6 月 21 日付け 25 受庁財第 4 号の 223）。発掘調査の期間は平成 24 年度が 7 月 2 日～翌年 3 月 29 日、平成 25 年度が 7 月 1 日～翌年 3 月 31 日で両年度とも約 9 ヶ月間だが、前者は他の調査区と並行して進めたため、実質的には 7 ヶ月程度となる。終了後は次年度以降の復元整備に備え、ブルーシート・土嚢袋・砂等で遺構を保護した後に埋め戻しを行った。出土品は、遺物収納コンテナに換算して平成 24 年度が 14 箱（総数 148 箱）、平成 25 年度が 93 箱（総数 134 箱）得られた。いずれも当センターから文化財課へ埋蔵文化財の発見を報告（前者は平成 25 年 3 月 29 日付け埋文第 649 号、後者は平成 26 年 3 月 27 日付け埋文第 792 号）し、文化財課より那覇警察署へ埋蔵文化財の発見を通知することで、遺失物法の手続きを経た。

## 第２節　調査・整理の体制

首里城跡東のアザナ北地区の発掘調査は平成 24･25 年度に、資料整理及び報告書作成は平成 28･29 年度に、いずれも文化財課の指導を受けて当センターが実施した。体制の詳細は下記の通りである。

発掘調査（平成 24・25 年度）

事業主体：沖縄県教育委員会　教育長　大城浩（平成 24 年度）、諸見里明（平成 25 年度）

事業主管：沖縄県教育庁文化財課　課長　長堂嘉一郎（平成 24 年度）、新垣悦男（平成 25 年度）

副参事　島袋洋（平成 24 年度）

記念物班　班長　盛本勲（平成 24・25 年度）

指導主事　田場直樹（平成 24 年度）、主任専門員　山本正昭（平成 25 年度）

事業所管：沖縄県立埋蔵文化財センター　所長　崎濱文秀（平成 24 年度）、下地英輝（平成 25 年度）

副参事　島袋洋（平成 25 年度）

総務班　班長　荻堂治邦（平成 24 年度）、新垣勝弘（平成 25 年度）

主査　西島康二（平成 24・25 年度）
総括…調査班　班長　金城亀信（平成 24・25 年度）
発掘調査担当…主任　新垣力（平成 24・25 年度）、専門員　山城勝（平成 25 年度）
発掘調査補助…文化財調査嘱託員　山城勝（平成 24 年度）、玉城綾（平成 24・25 年度）、天久瑞香、新垣有一郎、池原悠貴、井上奈々、新屋敷小春、比嘉優子、宮里知恵（平成 25 年度）
発掘調査作業員（平成 24・25 年度）
安里勝則、上江洲由昇、翁長しのぶ、喜瀬彰、呉我フジ子、佐渡山正子、座波英一、島仲恵子、砂辺光義、砂辺理恵、玉城初美、中塚末子、宮國恵子、吉田正志
磁気探査業務委託　株式会社興洋エンジニアリング、株式会社沖縄設計センター
機械掘削及び埋戻　有限会社松竹重機
現場事務所等借上　株式会社南建
高所作業車借上　株式会社佐久本工機、有限会社金功重機
レーザー測量業務委託　株式会社琉球サーベイ
写真測量業務委託　有限会社ティガネー
自然化学分析業務委託　パリノ・サーヴェイ株式会社沖縄支店

資料整理・報告書作成（平成 28・29 年度）
事業主体：沖縄県教育委員会　教育長　平敷昭人（平成 28・29 年度）
事業主管：沖縄県教育庁文化財課　課長　萩尾俊章（平成 28・29 年度）
記念物班　班長　上地博（平成 28・29 年度）
指導主事　神村智子（平成 28・29 年度）
事業所管：沖縄県立埋蔵文化財センター　所長　金城亀信（平成 28・29 年度）
副参事　濱口寿夫（平成 28・29 年度）
総務班　班長　比嘉智博（平成 28・29 年度）
主査　新里靖（平成 28 年度）、主事　上間優多（平成 29 年度）
総括…調査班　班長　仲座久宜（平成 28・29 年度）
資料整理担当…主任専門員　新垣力（平成 28・29 年度）
資料整理補助…主任　金城貴子（平成 29 年度）、専門員　玉城綾（平成 29 年度）
資料整理協力者（平成 28・29 年度）
赤嶺雅子、池宮城聡子、伊集左季、伊藤恵美利、糸数永子、上田麻紀子、上原園子、大城友理華、大村由美子、小渡直子、兼島小百合、金城礼子、工藤孝美、崎原美智子、島千香子、島仲美香、下地勝恵、城間彩香、新城京美、鈴木友璃子、多々良亜矢子、玉那覇美野、知名雪美、知花香織、手嶋永子、照屋芳美、當間郁子、當真香、徳本加代子、富平紗綾子、仲里由利、仲間文香、仲村綾乃、根岸敦子、比嘉なおみ、比嘉美智子、平安百合子、又吉利文、松田仁美、嶺井幸恵、嶺井多津美、宮城綾子、宮城かの子、宮城初枝、宮城友香、宮里美也子、宮平笑里子、領家範夫、孔智賢
印刷製本　株式会社ちとせ印刷

## 第３節　調査・整理の経過

### 発掘調査

前節でも述べたように、東のアザナ北地区の発掘調査は平成 24・25 年度の２ヶ年にわたって進められた。調査予定範囲 627㎡のうち、平成 24 年度は西側～中央の 392㎡、平成 25 年度はこれに残りの東側 235㎡を加えた全域を対象とし、期間は７月～翌年３月までのうち前者が約７ヶ月間、後者がほぼ全日程の９ヶ月間をそれぞれ要した。以下、調査日誌抄の形で年度別の概要を記す。

①平成 24 年度

7 月 2 日　調査区の樹木及び下草の伐採（3 日終了）
7 月 3 日　人力及び重機による表土掘削開始（11 月 2 日終了）
8 月 9 日　壕 1 の坑口を検出
9 月 4 日　石積み 1 、洞穴 1 、石列 1 を検出
9 月 19 日　石敷 2 を検出
9 月 21 日　壕 1 内トレンチの設定・掘削
9 月 24 日　洞穴 1 内トレンチ 1 の設定・掘削
10 月 3 日　石列 6 ・ 7 を検出
10 月 9 日　階段 1 、石積み 5 を検出
10 月 12 日　現地にて国営沖縄記念公園事務所首里出張所職員に発掘調査成果の中間報告を実施
10 月 16 日　石列 2 を検出
10 月 19 日　石積み 8 を検出
10 月 24 日　トレンチ 1 の設定・掘削
11 月 15 日　石組み 1 を検出
12 月 7 日　石組み 2 を検出
12 月 10 日　遺構等立面図作成開始（2 月 13 日終了）
12 月 12 日　スカイマスター（高所作業車）による全体俯瞰撮影
1 月 15 日　遺構等平面図作成開始（3 月 21 日終了）
2 月 6 日　スカイマスター（高所作業車）による全体俯瞰撮影（7 日終了）
3 月 13 日　重機による埋め戻し開始（31 日終了）
3 月 31 日　全作業終了

②平成 25 年度

7 月 1 日　調査区の樹木及び下草の伐採（3 日終了）
7 月 4 日　人力及び重機による表土掘削開始（8 月 2 日終了）
7 月 17 日　石積み 1 及び壕 1 を検出
7 月 22 日　石敷 1 を検出
7 月 24 日　前年度に設定したトレンチ 1 の拡張・掘削
7 月 31 日　石積み 16 及び壕 2 を検出
8 月 6 日　石積み 11 東側を検出
8 月 14 日　石積み 11 西側より銭貨状金製品が出土
8 月 15 日　石積み 11 西側・石積み 12 の全形を検出
8 月 28 日　トレンチ 2 の設定・掘削
8 月 30 日　石積み 10 東側面石の全形、石積み 13 を検出
9 月 2 日　石列 5 、石積み 10 西側面石の全形を検出
9 月 3 日　石積み 14、壕 3 を検出
9 月 4 日　石積み 15 を検出
9 月 11 日　基壇 1 を検出
9 月 13 日　石列 8 の全形を検出、トレンチ 3 及び 4 の設定・掘削
9 月 18 日　石積み 17 を検出、トレンチ 5 の設定・掘削
9 月 25 日　壕 3 入口付近より金属製活字が出土
9 月 30 日　石列 7 を検出
　　石列 8 を検出、遺構等平面図作成開始（3 月 17 日終了）

10月 9 日　石積み 18 を検出
10月 10日　遺構等立面図作成開始（3月 17 日終了）
10月 18日　石組み 3 を検出
11月 11日　石列 13 を検出
11月 15日　洞穴 1 内トレンチ 1 の拡張
11月 28日　洞穴 1 内トレンチ 2 の設定・掘削
11月 29日　洞穴 1 内トレンチ 3 の設定・掘削
12月 11日　スカイマスター（高所作業車）による全体俯瞰撮影
12月 12日　洞穴 1 内トレンチ 4 の設定・掘削
12月 26日　1 月 28 日　当センターの戦争遺跡調査検討委員会による現場指導
1 月 15日　トレンチ 6 の設定・掘削
1 月 17日　スカイマスター（高所作業車）による全体俯瞰撮影
1 月 22日　トレンチ 7 の設定・掘削
3月 26日　スカイマスター（高所作業者）による全体俯瞰撮影
3 月 27日　重機による埋め戻し開始（31 日終了）
3 月 31日　全作業終了

資料整理・報告書作成

発掘調査で出土した遺物の洗浄作業は、現場調査の雨天時を利用して実施した。また遺構図面や写真は、調査終了後速やかに整理するよう努めた。

資料整理は平成 28 年度より開始したが、他の業務との兼ね合いから作業期間の確保が困難であったため、実質的に遺物の注記・分類及び接合などの基礎整理から実測や製図までを平成 29 年度で実施することとなった。製図は遺物・遺構ともパソコンの作図ソフト（Illustrator）を用いてのデジタルトレースやレイアウトを行い、また作業時間の短縮を図る目的で、遺物の大半を占める陶磁器の実測図については、一部に写真を合成する手法を採用した。その後、文字原稿や写真も含め編集ソフト（Indesign）を用いてＤＰＴ印刷用の編集を実施し、最終的には全てＰＤＦファイルに変換して印刷製本業者へ入稿した。

印刷製本業務は、当センターにおいて県内印刷業者の割り振りを行ったうえで、５社による見積もり合わせを実施した結果、株式会社ちとせ印刷が担当することとなった。

# 第２章　遺跡の位置と環境

## 第１節　地理的環境

那覇市は東方分水界付近に広がる標高数 10 m～ 120 mに達する台地と、港に面する沖積低地とに代表される対照的な地形を示している（古川・高里 1989）。首里城は那覇市の東側、首里当蔵町３丁目１番地に所在し、首里台地と称される標高 100 m前後の琉球石灰岩丘陵上に築かれた県下最大規模のグスクで、東西 410 m、南北 273 m、面積 46,167㎡を誇る。東側に那覇市の最高所（標高 165.7 m）である弁ヶ嶽がそびえ、多くの河川が首里城を取り巻くように配されるなど、優れた風水思想に基づいた王都に相応しい環境が整えられている。この丘陵の南側には、安里川の浸食により比高差 70 ～ 80 mの比較的急な斜面が形成され、地形を利用した掘り込み式の古墓が点在している。

首里城周辺の地質の特徴として、前述した琉球石灰岩の下層に新第三紀鮮新世の砂岩・泥岩からなる島尻層群が基盤となっている点が挙げられる。不透水層である島尻層群の上に、スポンジ状の構造で高い透水性を有する琉球石灰岩が重なることにより、首里の各地では両者の不整合部分からの湧水が多数確認されている。城内の龍樋や寒水川樋川もこれに由来するものである（角田 2014）。

首里城の基盤層も上記の例に漏れず、琉球石灰岩や赤土（島尻マージ）と島尻層群に大別されるが、今回調査区の「東のアザナ北地区」は、島尻層群の砂岩（ニービ）及びその上位の琉球石灰岩を基盤層に持つことが発掘調査で判明している。また調査区の西端では、砂岩と泥灰岩（クチャ）の境界部分も確認されている（図版 56 － 2）。

## 第２節　歴史的環境

現在のところ、首里城の創建について明確に触れている史料は確認されていない。察度 43（1392）年に察度王が建造したと伝わる数十丈の高楼（高世層理殿）を首里城内の施設とする説もあるが、より信頼性の高いものとしては『安国山樹華木之記』が挙げられる（沖縄県文化課 1985）。尚巴志６（1427）年に建立されたこの碑文には、首里城北西側で人工池の龍潭を掘り安国山に華樹を植えたとの記述がみられるため、尚巴志王代（1422 ～ 1439 年）に周辺の整備を行えるような状況であったこと、つまり当該期に王城としての基本的な構造が確立していた可能性は高い。そして尚真・尚清王代（1477 ～ 1555 年）には外郭の拡張や周辺施設の整備が進み、現在のような姿に近づいていったと推定される。

今回調査区の「東のアザナ北地区」は、かつて「東のアザナ」北側の通路や石積みが存在した場所に相当する。東のアザナ北側の通路は、今回の発掘調査で検出された燈道形式の階段がその一部と考えられるもので、『球陽』巻二十二の尚泰 14（1861）年の条にある「本年、寝廟北辺の道路の堦を改築す。」（球陽研究会 1974）がこれを指すものと考えられる。構築年代は不明だが、17 世紀後半～ 18 世紀前半作成とされる「首里城絵図」（安里 2013）には当該通路と思しきものがみられることから、遅くとも近世前半には存在していた可能性が高い。ところで首里城絵図によると、本通路は東のアザナ城壁の北東隅で行き止まりとなっており、その部分には内郭城壁と外郭城壁を結ぶ石積みが確認されている。この石積みは「熊本鎮台沖縄分遣隊配置図」（法大沖縄文化研究所　2014）や、昭和６年頃作成とされる「旧首里城図」にも描かれているが、特に後者は南側へ開口するコの字形石積みに南北方向の石積みが接続するという具体的な表現で、今回の発掘調査で検出された遺構も同様の形態を有している。このうち南北方向の石積みは、平成 12（2000）年度に実施した外郭城壁の復元整備に伴う発掘調査で、外郭城壁の裏込め内から検出された石積みと同一遺構の可能性が高いだけでなく、石材の寸法や構築技法、及び出土遺物の年代から外郭造営以前に存在した城壁の一部と考えられる。本石積みは首里城が現在のような二重の城壁で囲まれる以前の姿を窺わせる遺構であるとともに、15 世紀に作成された「海東諸国総図」（沖縄県文化振興会史料編集室 2003）や「琉球国図」（安里 2004）の描画内容を考察できる貴重な遺構といえよう。

一方のコの字形石積みは、その形態的特徴や銭貨などの出土状況から御嶽とする説があり、具体的には「御

内原のまもの内の御嶽」に比定されている（伊從 2014）。御内原のまもの内の御嶽はかつて城内に 10 ないし 9 ヶ所存在した御嶽の一つで、1706 ～ 13 年成立と推定される『女官御双紙』（琉球王府御近習方 1958）や、1713 年編纂の『琉球国由来記』（外間・波照間 1997）にその名前が登場し、前者での名称は「御内原のまもの内うちあがりの御いべ」、後者では名称が「御内原ノマモノ内ノ御嶽」で、神名が「ウチアガリノ御イベ」と記されている。「旧首里城図」によると石積みの西側に開口部を有するが、本来はここに前述の通路が取り付くものと考えられる。

この他、今回の発掘調査では開口部を石積みで塞ぎ、内部の床面を石粉と石敷きで舗装した洞穴遺構が検出されている。本遺構は、浦添ようどれを髣髴とさせる立地や構造の特徴を有するが、現在のところ史料に類似の施設は確認されておらず、「首里城絵図」の同所には方形の区画、18 世紀初頭作成とされる「首里古地図」（琉球国絵図史料集編集委員会ほか 1994）の同所には北側に開口する弧状の石積みをそれぞれ描いているものの、これらが本遺構に合致するかは判然としない。しかし、首里城の南側斜面には「ジングンジューウスメーの墓」（久手堅 2000）や、城郭南側下地区の古墓 2（沖縄県埋文 2004a）など、第二尚氏王統以前に遡るとされる陵墓のような遺構が所在することから、本遺構も同種の性格を有する可能性はある。名称は「ウシヌジガマ」との説があるが（龍潭同窓会 1998）、同様に呼称された別の施設もあり（真栄平 1988、沖縄県埋文 2004b）、詳細は不明である。年代については、第 4 章第 2 節にも後述したように内部床面の造成土が 14 世紀後半～ 15 世紀初頭に位置づけられるが、開口部の石積みや内部の石粉及び石敷きなど後世の所産も認められるため、本遺構は 14 世紀後半～ 15 世紀初頭に構築された後、複数の改変を受けて現在のような姿になったと考えられる。ところで、「二百年前首里城俯瞰図」（沖縄総合事務局 1987b）によれば、東のアザナ北地区を含む一帯は拝所とされており、また洞穴遺構を「寄内の御嶽」と推定する説（伊從 2014）も考慮すると、本遺構が陵墓以外に拝所や御嶽として機能していた可能性も想定する必要があろう。ちなみに、寄内の御嶽もかつて城内に 10 ないし 9 ヶ所存在した御嶽の一つで、1706 ～ 13 年成立と推定される『女官御双紙』（琉球王府御近習方 1958）や、1713 年編纂の『琉球国由来記』（外間・波照間 1997）にその名前が登場し、前者での名称は「寄内のかみぢやなみぢやてらの御いべ」、後者では名称が「寄内ノ御嶽」で、神名が「カミヂヤナミヤデラノ御イベ」と記されている。

上記のように、これらは首里城内の重要施設として、琉球国が存続する間は適切な管理のもとに機能を維持してきた。しかし、明治 12（1879）年に沖縄県の設置及び琉球王府の解体が断行されると、首里城も歴史の荒波に翻弄されていく。まず、琉球処分の同年から首里城に駐屯した熊本鎮台沖縄分遣隊（以下、分遣隊）は、城内の建物や石垣などを各所で改変した。この頃首里城は建物・土地とも陸軍省の管轄となり、軍事施設であった同所へは関係者以外容易に立ち入ることができなかったため、分遣隊が撤退する明治 29（1896）年までの間に城内がどのように改変されたか、その詳細は現在も判然としない。ただ、東のアザナ北地区を含む一帯は作業場として使用されたものの（法大沖縄文化研究所 2014 など）、元来建物などが存在しなかったことも幸いしたのか、当該期における目立った改変はなかったと思われる。

分遣隊が撤退した明治 29（1896）年以降、首里城は学校や役所施設として使用されるようになる。同年 11 月から翌年 9 月まで沖縄県師範学校が城内の建物を仮校舎として使用したのを契機に、師範学校付属小学校の移転（明治 31 年 4 月～翌年 4 月）、沖縄県臨時土地整理局の設置（明治 33 年 8 月～同 37 年 3 月 3 日）、校舎火災に伴う沖縄県師範学校の再移転（明治 37 年 1 月 14 日～同 41 年 7 月）、首里区立工業徒弟学校の移転（明治 37 年 4 月～大正 7 年 1 月）、首里区立女子工芸学校（以下、工芸学校）の移転（明治 41 年～昭和 9 年）、首里尋常高等小学校五学年三学級の移転（明治 42 年 4 月～同 45 年 4 月）、沖縄県立中学校分校の設置（明治 43 年 4 月～翌年 4 月）、首里尋常高等小学校三年以上高等科まで 14 学級の移転（明治 44 年～翌年 4 月）、首里女子尋常高等小学校分教場の移転（明治 45 年 4 月～）などが確認されている。また同時期に、首里区は首里城の建物及び敷地の払い下げを願い出ていた。最初は明治 36（1903）年で、「城内の建物一切を相当価格、地所は無償」という内容を陸軍省に依頼したが、希望は叶わず相当年限貸し付けという形になった。地所については、明治 37（1904）年 4 月～昭和 9（1934）年 3 月までの満 30 ヶ年間公園敷地としての無償使用が可能になったが、明治 42（1909）年に建物も含めて再度依頼したところ許可され、建物は合計 887 円 30

銭、地所は 1,054 円 55 銭で払い下げられることになった。

その後、正殿は大正 15（1925）年国宝に指定され、昭和 9（1934）年 3 ～ 4 月頃には解体修理が落成し、往時の威容を幾分か取り戻すのだが、戦争の時代に突入していたこともあり、首里城はまたも軍隊の駐屯地となった。昭和 19（1944）年、城内にあった首里第一国民学校校舎の一部を第 9 師団（武部隊）が兵舎に使用したのを皮切りに、南風原から移動してきた第 32 軍司令部が地下に壕の構築を開始した。その影響も手伝ってか、翌年には米軍の砲撃を浴びて灰燼に帰した。この状況は東のアザナ北地区も同様で、最初に洞穴遺構の改変が進められた。昭和 19（1944）年 10 月頃から本遺構内を首里第一国民学校の職員が掘り広げて、沖縄神社の御神体及び第一国民学校、県立第一中学校、沖縄師範学校の御真影の退避壕に利用された。ところが戦局の悪化に伴い、昭和 20（1945）年 2 月中旬頃に御真影は沖縄本島北部に移送されたため、本遺構は先述の御神体に加えて円覚寺の番人や付近住民の避難壕となった（甦る首里城と復元編集委員会 1993）。今回の発掘調査で検出した内部床面南側の石敷きは、その際に敷設されたと考えられる。その後、同年 2 月下旬から本遺構を挟むように両側から奥に向かって掘削作業が開始され、3 月中旬に一応の完成をみた。吉田松陰の留魂録から命名された「留魂壕」は、沖縄師範学校の生徒達が司令部の陣地構築と平行しながら掘削したもので、高さ約 1.8 m、幅約 2 m、奥行き約 20 mの坑道をコの字形に掘り抜き、本坑道に沿って複数の小部屋も設け、3 月末まで同学校の教師や生徒が利用した（龍潭同窓会 1998、沖縄県埋文 2015）。今回の発掘調査では坑口外側の通路に伴う石積みや、内部では一部に坑木の痕跡を確認したが、軟質地盤のため壁面や天井の剥落も多数みられた。また、北側坑道の北東方向にもう一つ坑口を掘削し奥で連結したが、この坑道は同年 3 月中旬に沖縄新報社が借り受け、5 月 25 日まで陣中新聞を発行した（高嶺 1973、仲本 1974）。今回の発掘調査では、撤退時に壕内へ埋めたとされる金属製活字が多数出土し、聞き取りの内容を補強する結果となった。ちなみに本壕の金属製活字は、戦後に発行された「ウルマ新報」にも使用されている（琉球新報八十年史刊行委員会 1973）。

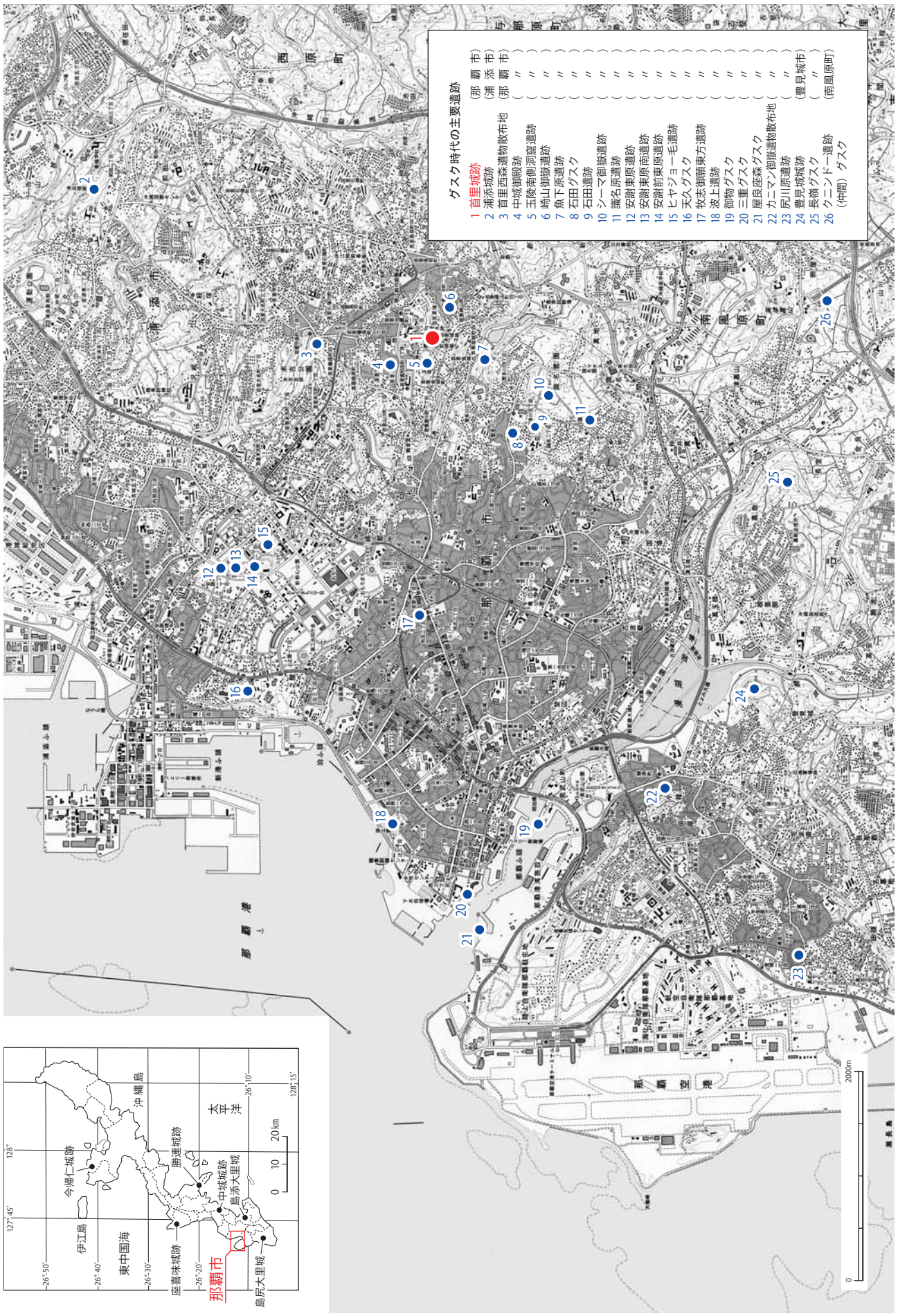
戦後、跡地には昭和 25（1950）年に琉球大学（以下、琉大）が開学した。その際、校舎などの建設に伴う大規模な掘削及び土砂移動が行われ、一帯は旧地形の面影がわずかに偲ばれる状態にまで変貌を遂げた。この状況は東のアザナ北地区も同様で、昭和 31（1956）年完成の農学部林学木工実習室、昭和 32（1957）・33（1958）年完成の農学部温室、昭和 36（1961）年完成の法文学部陶芸室（琉大二十周年記念誌編集委員会 1970）に伴う工事により、一部の場所で遺構を破壊している状況が確認された。また今回の発掘調査では、留魂壕の西側坑口に扉を設置した痕跡や、内部に電気線を敷設した痕跡、坑口前に構築された擁壁なども検出しているが、擁壁が琉大校舎配置図に描かれていることから、これらの改変は全て琉大時代に行われたと考えられ、当時留魂壕の西側坑道が何らかの目的で利用されていた可能性も示唆される。

上記のような状況は、昭和 30（1955）年に琉球政府指定史跡となって以降も特に変化はなかったが、昭和 47（1972）年の沖縄県本土復帰時に国の史跡に指定されてからは、同年より戦災文化財復元整備事業で城門や城壁の修復が開始され、また昭和 59（1984）年に琉球大学の移転が完了した跡地を公園用地にすることが決定して以降、現在まで国営公園及び県営公園事業に伴う復元整備が進められている。そして平成 12（2000）年には、「琉球王国のグスク及び関連遺産群」として玉陵・園比屋武御嶽石門・今帰仁城跡・座喜味城跡・勝連城跡・中城城跡・識名園・斎場御嶽の 8 件の資産とともに、日本で 9 件目の世界文化遺産に登録された（沖縄県文化課 2001a）。

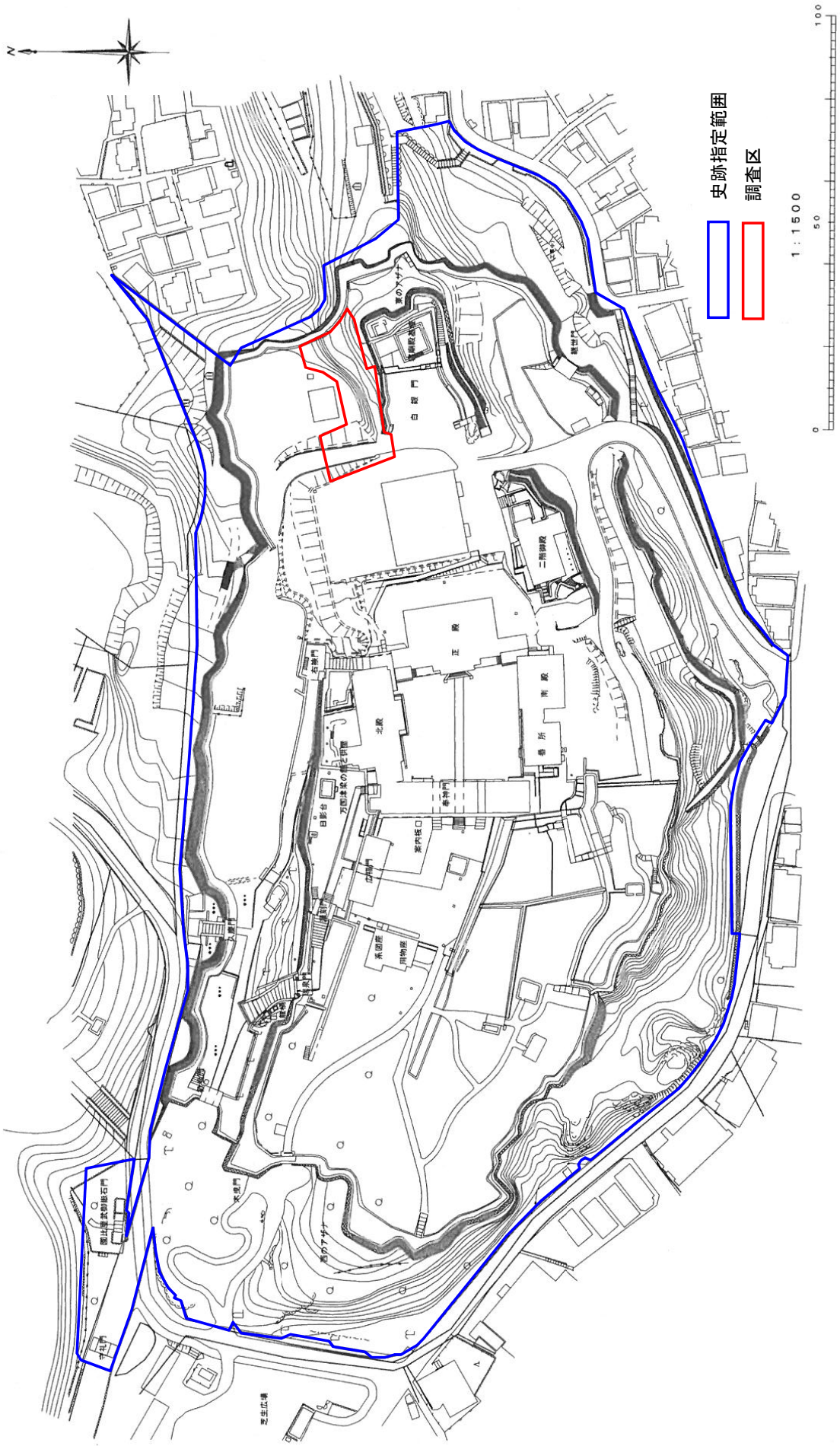
現在、首里城公園は平成 28（2016）年度実績で 2,727,677 人が訪れており、平成 27（2015）年 4 月 25 日には開園から数えて入園者 5,000 万人を達成するなど、県内有数の観光地として沖縄県の経済を牽引している。

120°
130°
140°
40°
30°
20°
10°
モンゴル
MONGOLIA
ロシア連邦
RUSSIAN FEDERATION
ウラジオストク Vladivostok
朝鮮民主主義人民共和国
NORTH KOREA
北京 Beijing
平壌 Pyongyang
ソウル Seoul
大韓民国
SOUTH KOREA
東京 Tokyo
博多 Hakata
中華人民共和国
CHINA
日本
JAPAN
上海 Shang hai
東中国海
EAST CHINA SEA
那覇 Naha
沖縄
OKINAWA
台北 Taipei
太平洋
PACIFIC OCEAN
台湾
TAIWAN
香港 Hong Kong
南中国海
SOUTH CHINA SEA
フィリピン諸島
PHILIPPINES
マニラ Manila
0
500
1000km

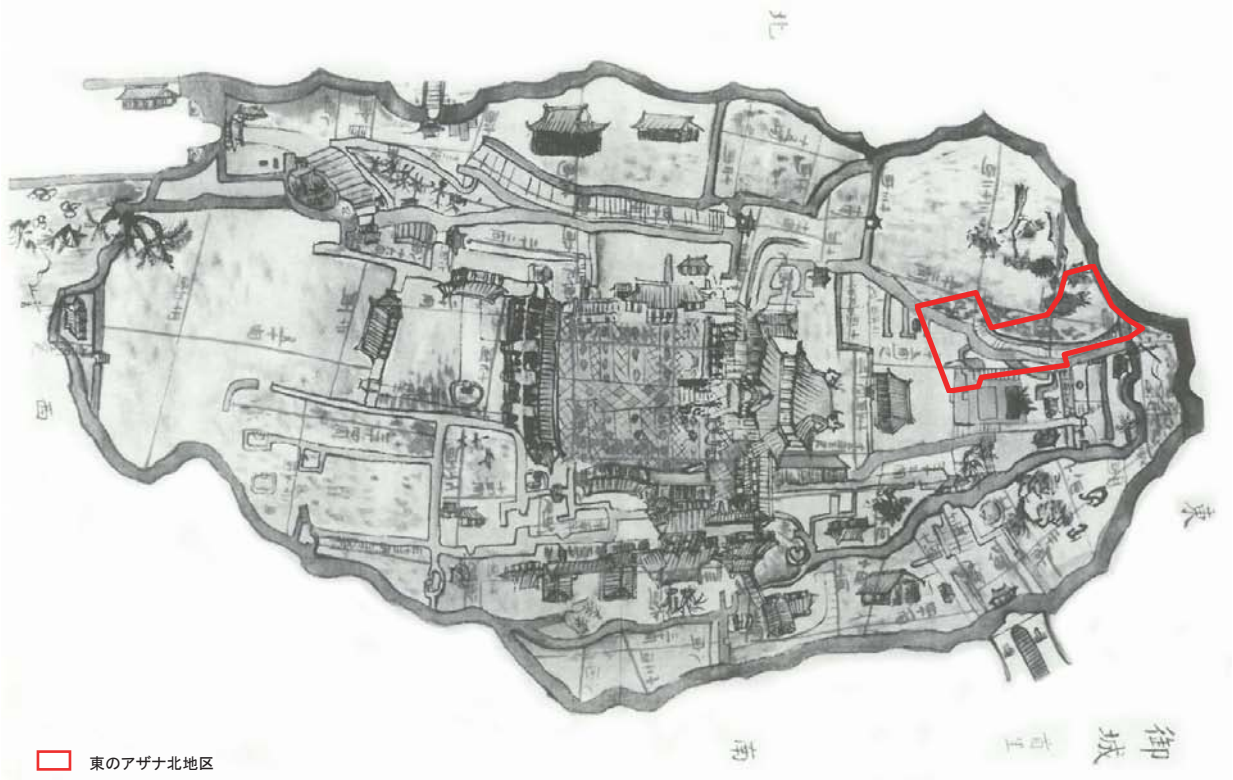
第１図　沖縄県の位置



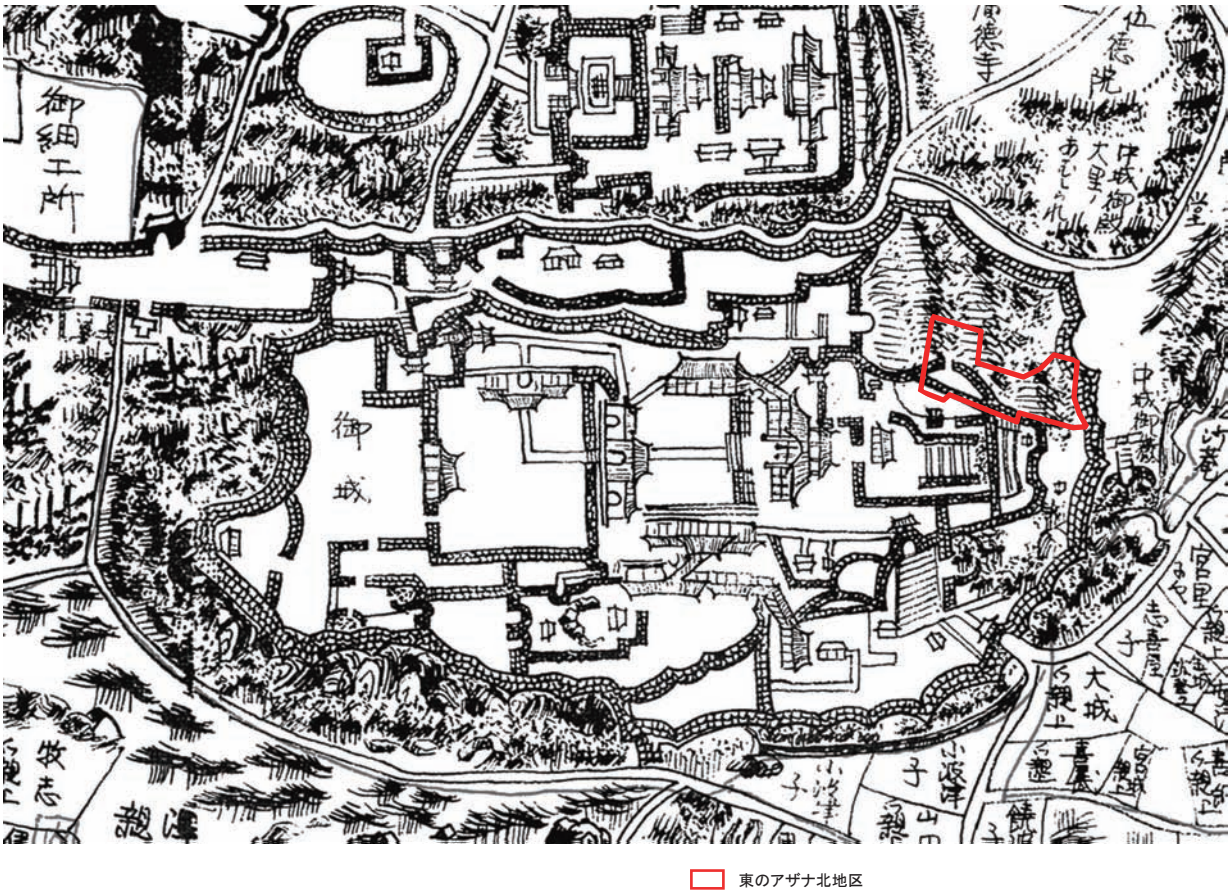

第２図　首里城跡の位置及び周辺の遺跡



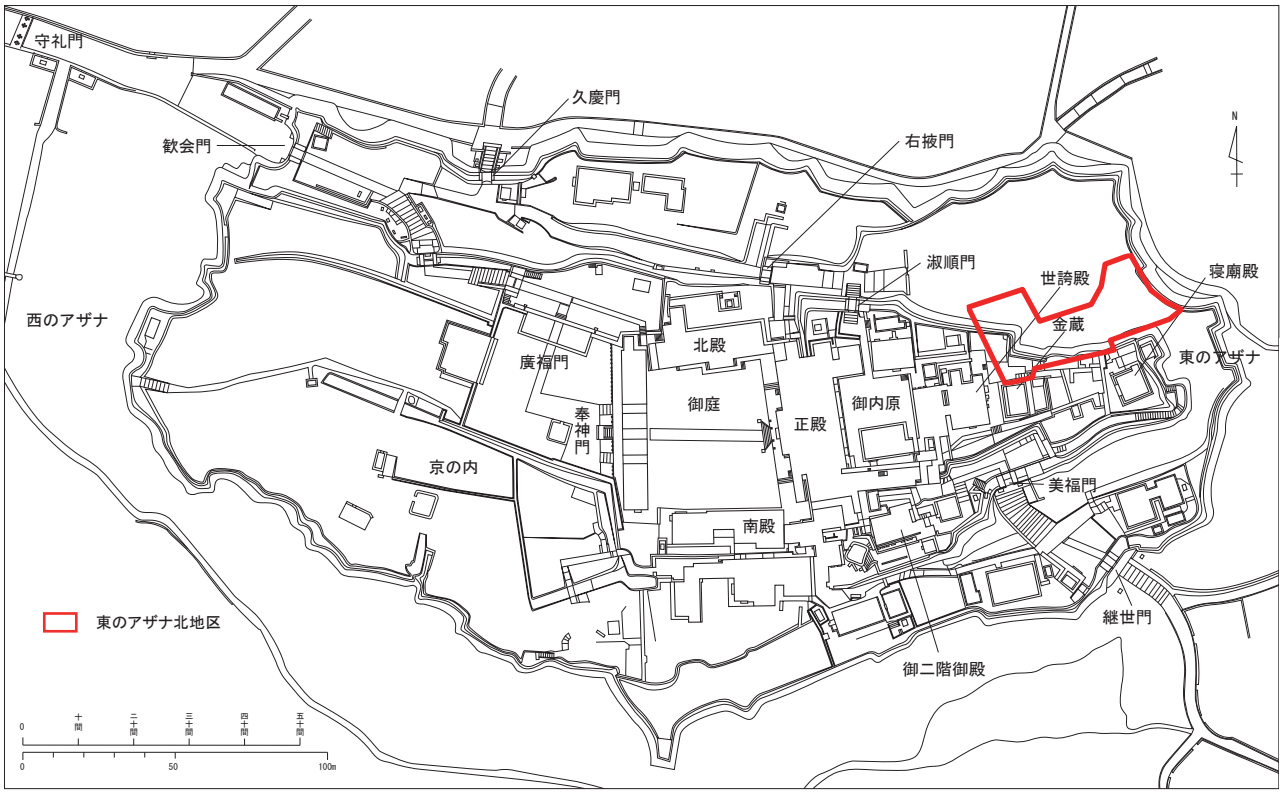

第３図　首里城跡の史跡指定範囲と調査区



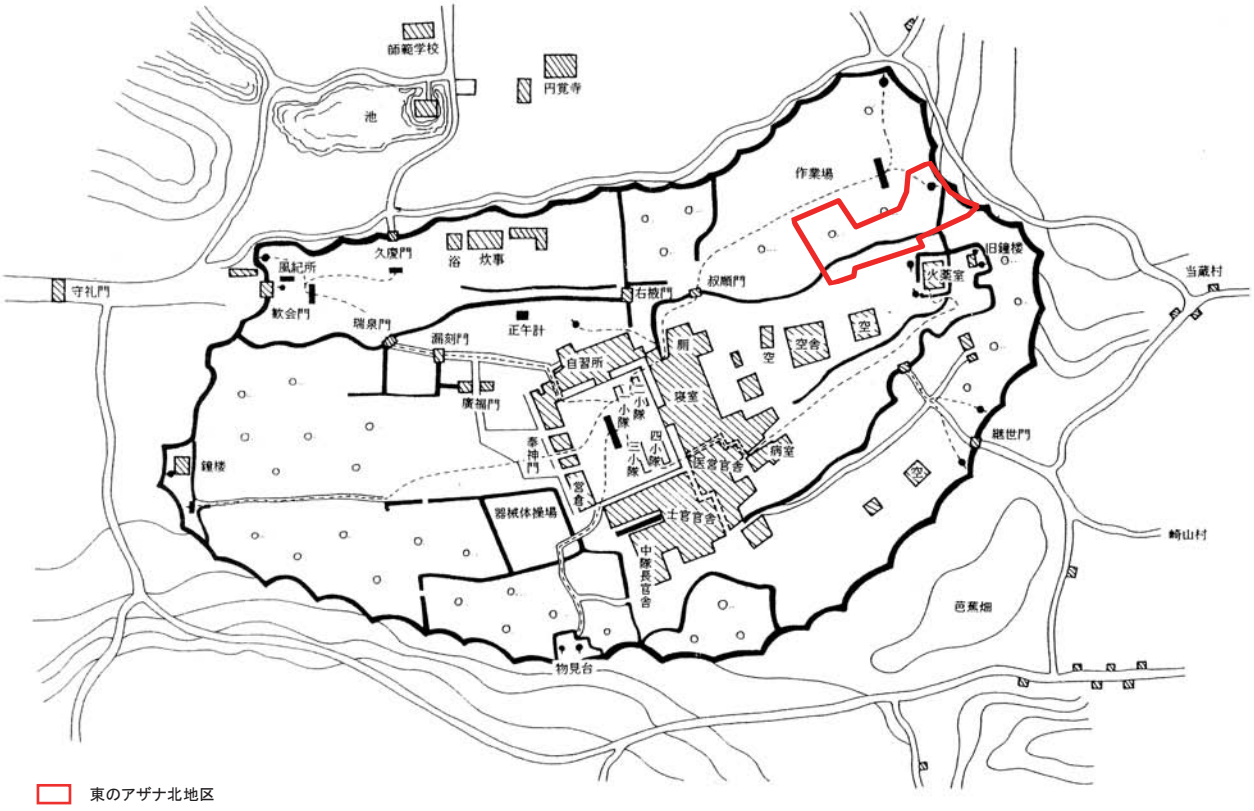

第 4 図　首里城絵図（17 世紀後半～ 18 世紀前半作成）にみる調査区
※東京大学史料編纂所蔵



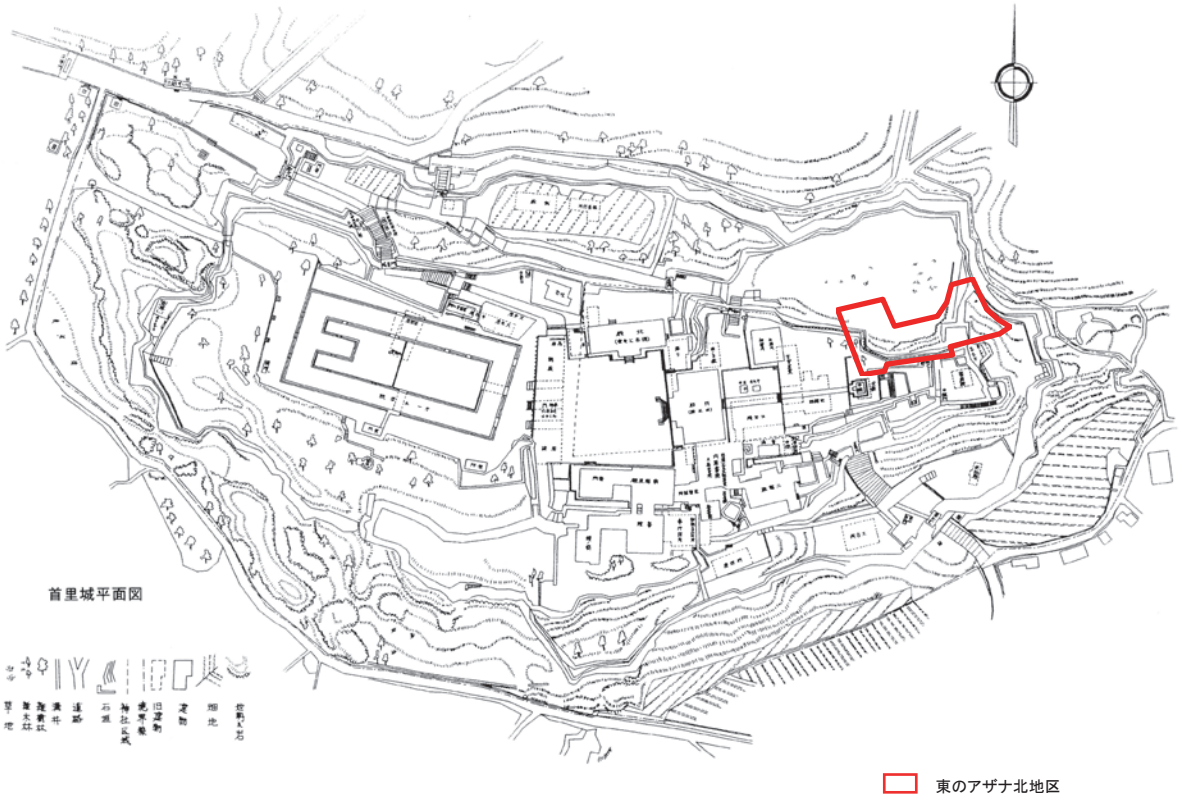

第 5 図　首里古地図（18 世紀初頭作成）にみる調査区
※沖縄県立図書館蔵




第６図　沖縄県首里旧城図（明治初期作成）にみる調査区
※那覇市歴史博物館蔵、原図をトレース




第７図　旧首里城熊本鎮台沖縄分遣隊配置図にみる調査区
※（財）沖縄県文化振興会公文書管理部史料編集室蔵




第 8 図　旧首里城図（昭和 6 年頃作成）にみる調査区
※沖縄県立図書館所蔵

第 9 図　旧琉球大学校舎配置図（1950 年～ 1984 年）にみる調査区

# 第３章　調査の方法と成果

## 第１節　調査の方法

前章でも述べたように、今回の発掘調査は国営公園整備に先立つ遺構確認を目的とするもので、全体の予定範囲 627㎡のうち、平成 24 年度は中央部～西側の 392㎡、平成 25 年度はこれに東側 235㎡を加えた予定範囲全体の 627㎡をそれぞれ対象に実施した。

発掘調査は、平成 23 年度に淑順門東地区（沖縄県埋文 2014）や御内原東地区（沖縄県埋文 2017）で用いた５ｍグリッドを東～北東方向に拡張する形で設定した。このグリッドは平成 16 年度に実施した淑順門地区（沖縄県埋文 2006）の調査で採用したもので、Ｘ＝ 23695、Ｙ＝ 22150 のＡ１グリッドを基準に東から西にアルファベットと算用数字の組み合わせ（Ｅ４～Ｅ 10）、北から南にアルファベット（Ｅ～Ｉ）を付したラインでそれぞれ表し、北西側の杭を示準してグリッドを呼称した（第 10 図）。遺物の取り上げはこのグリッドを基本とするが、複数のグリッドに拡がる遺構や遺物包含層などはこの限りではない。

現地での写真撮影は 35㎜のフィルムカメラ（白黒とリバーサルの２種類で対応）とデジタルカメラ（ニコンＤ 70 ｓ）を基本とし、適宜６×７サイズの中判フィルムカメラも用いた。ちなみに、報告書に掲載する写真についてはＤＰＴ印刷に対応するため、デジタルカメラの画像を使用した。

## 第２節　層序

層序については、本調査区の大半が沖縄戦前～終戦直後まで遺構が露出していた状態であったと考えられ、また調査でも遺構直上まで重機による掘削を実施したため、後世の影響を受けていない土層は遺構内や遺構下の造成層に限定される。各層の所見は遺構図（第 14・15・18・24・25・29・30 図）内に記す。

## 第３節　遺構

今回の調査では、石積み 18 基・石列 13 基・石敷２基・石組み３基・基壇１基・階段１基・洞穴１基・壕３基の多種多様な遺構が検出された。本節ではこれらについて、城壁及び周辺施設に関係する遺構、洞穴遺構及び周辺施設に関係する遺構、近代に構築された沖縄戦に関係する遺構の３種類に大別して説明を加える。ちなみに、石積みのうち３・４・６・７と、石列のうち３・４はいずれも近代以降と想定される遺構であり、かつ近世以前の遺構との位置関係から除去対象となったため欠番とする。

### １　城壁及び周辺施設に関係する遺構（第 12 ～ 14・26 ～ 28 図）

上記に該当する遺構としては、石積み５・８～ 12、石列５・９、階段１が挙げられる。これらは調査区の東側と西側にそれぞれ偏在しているため、東側遺構群と西側遺構群に大別して説明する。

①東側遺構群（石積み 10 ～ 12、石列５）

石積み 10 は南端が石積み 11 に、北端が外郭城壁にそれぞれ接続しているが、後者はかつて城外まで延びていたと考えられる。本遺構は、石積み 11 と共に昭和６年頃作成の「旧首里城図」をはじめとして、17 世紀後半～ 18 世紀前半作成の「首里城絵図」（安里 2013）、近代作成の「旧首里城熊本鎮台沖縄分遣隊配置図」（法大沖縄文化研究所 2014）に類似施設が描かれていることは前述の通りだが、年代や性格について記した文献史料などは現在のところ確認されていない。しかし、構築方法にみられる特徴（方形の石材を複数個所に縦目地が通った状態で積み上げる）や、外郭城壁と切り合う位置関係にあること、東側包含層出土遺物の年代が 16 世紀代に相当することなどを考慮すると、15 世紀代に存在した城壁の一部である可能性が高い。ちなみに、本遺構の西側前面で検出された石列５も、石積み 10 と関係するものと思われる。

石積み 11 は「東のアザナ」郭の北側に接続するもので、平面観が「コ」の字形を呈する。方形の石材を１～２段積み上げているが、内面に相当する部分が検出されておらず、また隣接する「東のアザナ」郭も沖縄戦時～戦後に破壊されていることから、現状は改変の結果と推定される。前述したように昭和６年頃作成の「旧首里城図」に描かれているが、年代や性格について記された文献史料などは現在のところ確認されていない。しかし、同遺構の内側から銭貨が多数出土しており、その中に銭貨状金製品（図版 32 － 67）が含まれていることから、城内十嶽のひとつに比定される可能性もある。この他、本遺構の北側前面に位置する石積み 12 も、石積み 11 の一部と考えられる。

②西側遺構群（石積み５・８・９、石列９、階段１）

石積み５は内郭城壁の一部で、東側は東のアザナ地区検出の「東のアザナ」郭石積み遺構（沖縄県埋文 2004）、西側は淑順門西地区検出の石積み１及び２（沖縄県埋文 2014）にそれぞれ繋がる。本遺構は南から北に傾斜する比高差の著しい地形に立地するため、最初に土留めなどの補強用と考えられる石積み９を設けた後に石積み５を積み上げている。その際、外面の一部（西側）は補強用石積みの前面に接続する形で構築されている。また内面の一部（南北延伸部分）には補強用の石積みが接続する。ちなみに、内面の東側では小形石材の上に大型石材を積み上げたり、方形石材の角を下にして据えるなど、石材の選択や構築技法に不自然な箇所が複数みられる。その理由は不明だが、本遺構の裏込め及び内面南側に旧琉球大学建物（風樹館）のコンクリート基礎が残存していることから、当該工事の際に積み替えられた可能性も想定される。

この他、本遺構に隣接または重複するものとして石積み８・石列９・階段１がある。石積み８は大型の方形石材を用いて布積みで構築したもので、前述した石積み５と関係するものであった可能性が高いが、年代も含め詳細は不明である。石列９は石積み５裏込め内のトレンチから検出された遺構で、年代及び性格は不明だが位置関係から石積み５と同時期またはそれ以前に構築されたと考えられる。階段１はいわゆる磴道形式の石敷き通路で、検出された範囲だと３段の踏面を確認しているが、全長と幅員は判然としない。また、おそくら崖際の北端に縁石を有すると想定されるものの、安全上の問題から当該箇所の掘削を実施しなかったため詳細は不明である。年代は判然としないが、前述したように『球陽』に類似施設の記録がみられることから、当該史料を援用するならば 19 世紀代に位置づけられる。

## ２　洞穴及び周辺施設に関係する遺構（第 16 ～ 19・22 ～ 25 図）

上記に該当する遺構としては、洞穴１、石積み１・２、石敷１・２、基壇１が挙げられる。洞穴１は「東のアザナ」郭の崖下にある人工の開口部を利用したもので、内部は床面が５ｍ×８ｍ、高さ 1.6 ｍを測り、床面の手前側（北側）３ｍが石粉敷き、奥側（南側）２ｍが石敷き（石敷２）で舗装され、外側には開口部を塞ぐ石積み１と、開口部から東西に延びる石積み２、開口部前に敷設された基壇１と石敷２などが確認されている。本遺構群については、グスク北側の垂直に切り立つ崖面に立地するという特徴が浦添ようどれを彷彿とさせるものの、発掘調査で陵墓との関係を窺わせるような遺物は出土しておらず、また文献史料や古絵図にも確定的な記載はみられないことから、詳細は判然としない。しかし、後述する留魂壕で生活した長田勝男氏（当時沖縄師範学校１年生・16 歳）は、かつて墓だった場所に留魂壕を構築したと上級生から聞いており、少なくとも沖縄戦前には当該遺構に関する伝承が残っていた可能性は高い。ちなみに、洞穴１はトレンチ調査の結果、当初（14 世紀後半～ 15 世紀初頭）石粉敷きまでの範囲であったものが、後代（近代・沖縄戦時）に南側を掘り広げて床面に石敷きを設けたと考えられる。石敷２の性格は不明だが、1944（昭和 19）年 10 月頃から首里第一国民学校の職員が本遺構の内部を掘り広げ、沖縄神社の御神体や同校の御真影などを退避させたとの証言が得られていることから、御神体及び御真影を安置するために敷設された可能性もある。この他、外側の遺構群に関しては石積み２と基壇１が当初の洞穴１（床面が石粉敷きの頃）に、石積み１や石敷１が改変後の洞穴１にそれぞれ伴うと推定されるが、石積み２の表面には被熱の痕跡（赤く変色や剥離）が多数認められる。これは後述する留魂壕との位置関係から、沖縄戦時に生じたものと考えられる。

## ３　沖縄戦に関係する遺構（第 26・33 図）

上記に該当する遺構としては、壕１～３、石積み 16・石列 13 が挙げられる。壕１～３は、「東のアザナ」郭の崖下に位置する避難用の壕で、前述した洞穴１を挟むように３ヶ所の坑口が確認されている。吉田松陰の著書『留魂録』から留魂壕と名付けられた本壕は沖縄師範学校男子部により構築されたもので、同校の学徒と職員が 1945（昭和 20）年３月 23 日～５月 27 日頃まで生活したとされる。本壕は、一帯の基盤層である琉球石灰岩および第三紀砂岩を掘り込んで構築しており、東西 50 m×南北 20 mの範囲に総延長 130 mが確認されている。壕口は東西方向に３ヶ所（西側が壕１、中央が壕２、東端が壕３と呼称）配置され、それぞれから南北方向に通路が延び、内部で東西方向の通路に繋がる。また前者２壕口の前面には、視界を塞ぐように石積みが複数構築されているが、このうち石積み 16 は爆風避けも兼ねていたと考えられる。壕内の通路は土質の関係上崩落や埋没が進んでいる部分もあるが、基本幅 1.8 m、高さ 1.5 ～ 1.8 mを測る。天井および壁面には約１mの間隔で設けられた坑木跡や、掘削時の工具跡を残す箇所もみられ、通路の左右には２～３m四方の部屋が交互に２ないし３つ取り付く。全体の平面形はＥ字形とされるが、実際には掘削中の通路が複数存在するため、現状の形態は撤退まで拡張され続けた結果とみられる。この他、東西方向の通路の一部は洞穴１に繋がるが、当時本遺構と留魂壕を連結して使用していたかは判然としない。ちなみに、本遺構群は戦後琉球大学の建設時に埋められたと思われるが、壕１のみは坑口や内部に改変の痕跡があり、同大学施設配置図にも記載されていることから、当該期に何らかの目的で使用された可能性については前述の通りである。

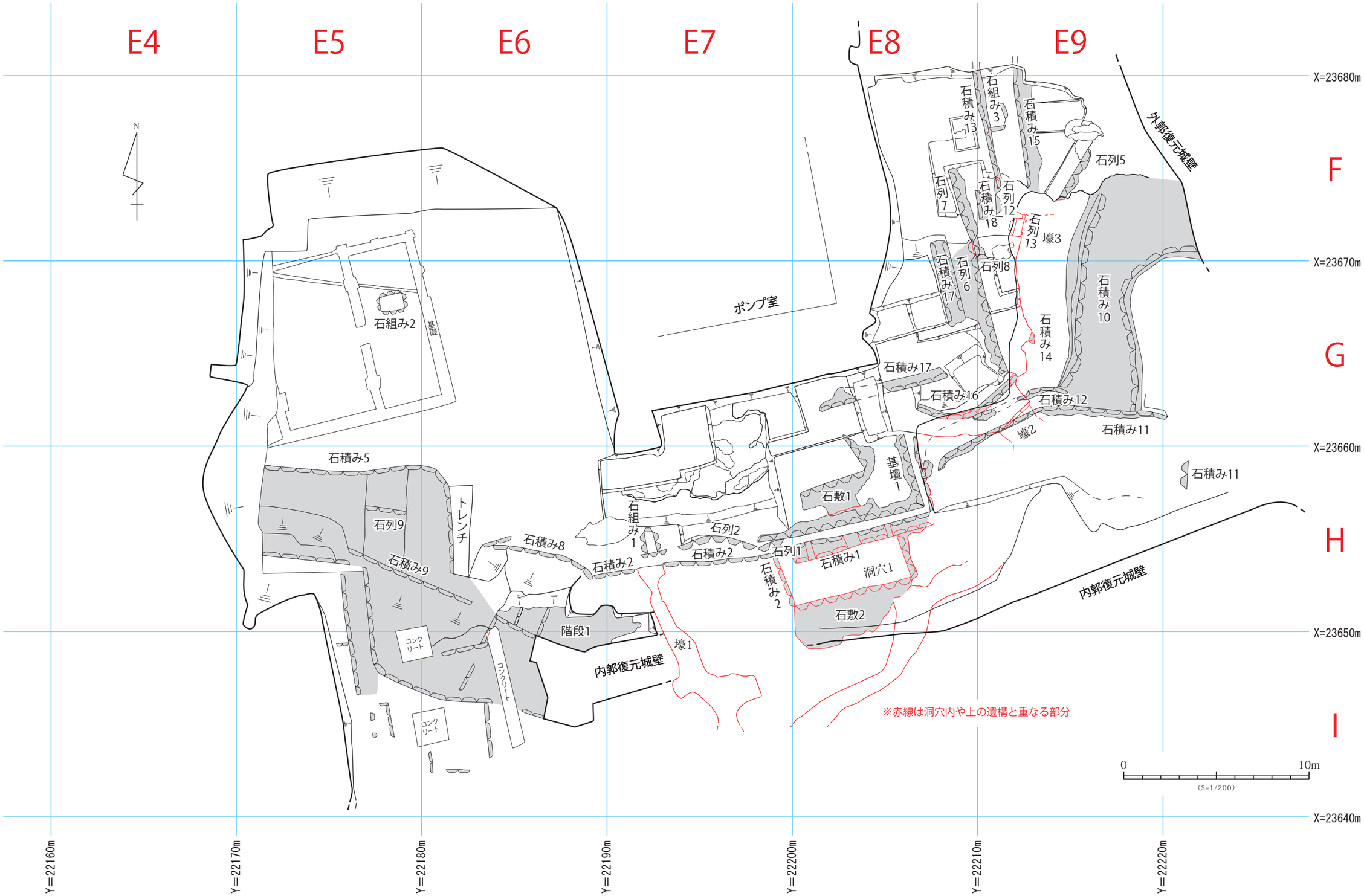
本遺構からは、沖縄戦に関係する遺物が多数出土しており、中でも当時沖縄新報社が陣中新聞を発行していた壕３一帯に集中する金属製活字は、沖縄戦の証言や記録を裏付ける重要な資料といえる。加えて、壕１では 1992（平成４）年と 1993（平成５）年に「沖縄戦記録フィルム１フィート運動の会」が調査を行っているが、その際に回収された遺物も次節で併せて報告する。

## ４　その他の遺構（第 12・15・20・21・29・30 ～ 32 図）

上記３種類以外に相当するもので、石積み 13 ～ 15・17・18、石列１・２・６～８、石組み１～３などが挙げられる。これらは、グスク時代～近世の可能性がある石積み 15・17・18 と石列１・２・６～８、近代と考えられる石積み 13 と石組み２・３、年代の推定が困難な石積み 14 と石列１に大別される。このうち、石積み 17 と石列６は文献史料や古絵図に記載こそないものの、前述した洞穴１及び周辺施設と使用石材・軸・EL などの特徴が類似しており、同遺構群との関係が想定される。また石組み２と３は、方言名でシーリと称される廃棄坑で、拳大程度の石材を野面積みまたは相方積みで雑に構築しており、内部には炭混じりの土が充填していた。双方とも後代（現代）の造成で破壊された部分があり、元来の寸法は判然としないが、石材の構築方法や埋土中の遺物から、近代の遺構と考えられる。

Y=22160m
Y=22170m
Y=22180m
Y=22190m
Y=22200m
Y=22210m
Y=22220m
E4
E5
E6
E7
E8
E9
X=23680m
X=23670m
X=23660m
X=23650m
X=23640m
F
G
H
I
N
石組み2
石積み5
石列9
石積み9
石積み8
石積み2
階段1
内郭復元城壁
壕1
石組み1
石列2
石積み2
石列1
石積み2
石積み1
洞穴1
石敷2
石敷1
基壇1
壕2
石積み11
石積み12
石積み10
石積み16
石積み17
石積み17
ポンプ室
石組み3
石積み15
石列5
外郭復元城壁
石列7
石積み8
石列12
石列13
壕3
石列6
石列8
石積み14
石積み
岩盤
被熱
砂岩
推定線
0
10m
(S=1/200)

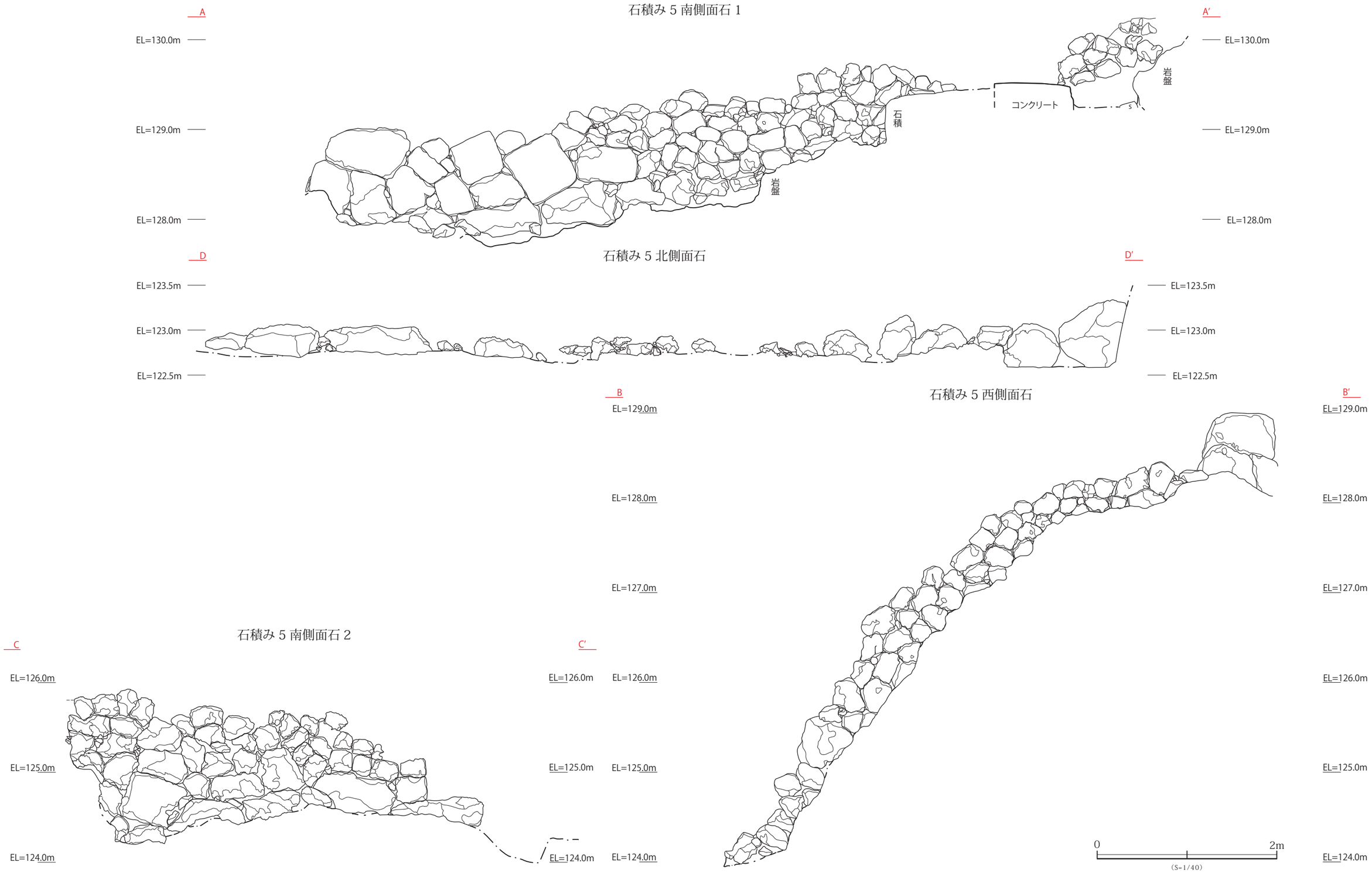
第 10 図　グリッド割図


E4
E5
E6
E7
E8
E9
F
G
H
I
X=23680m
X=23670m
X=23660m
X=23650m
X=23640m
Y=22160m
Y=22170m
Y=22180m
Y=22190m
Y=22200m
Y=22210m
Y=22220m
N
石組み2
基礎
石積み5
石列9
トレンチ
石積み9
コンクリート
コンクリート
コンクリート
石積み8
石積み2
階段1
内郭復元城壁
壕1
石組み1
石列2
石積み2
石列1
石積み2
石積み1
洞穴1
石敷2
石敷1
基壇1
ポンプ室
石積み17
石積み16
壕2
石積み12
石積み11
石積み11
石積み14
石積み10
石列8
石列6
石積み17
石列7
石積み13
石組み3
石積み15
石列5
石積み18
石列12
石列13
壕3
外郭復元城壁
内郭復元城壁
※赤線は洞穴内や上の遺構と重なる部分
0
10m
(S=1/200)

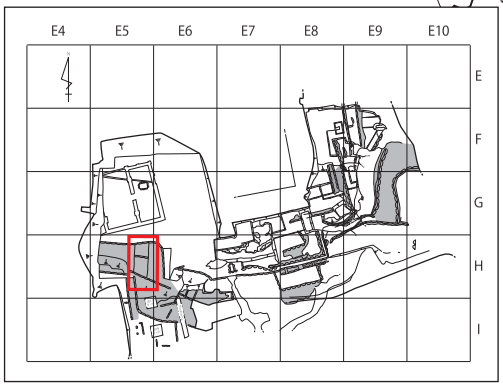
第 11 図　遺構配置図

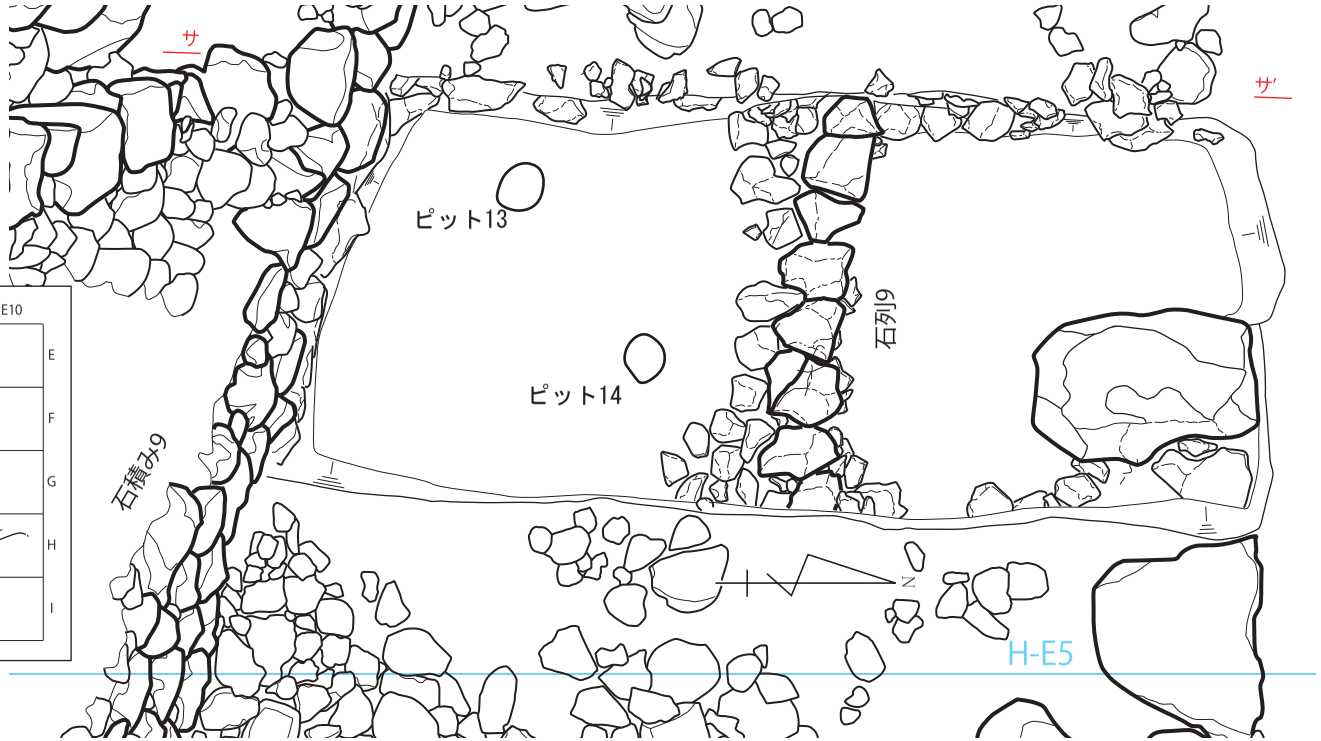
E4
E5
E6
E7
E8
E9
E10
E
F
G
H
I
コンクリート
G-E5
G-E6
H-E5
I -E5
H-E6
I -E6
石積み5
石列9
ピット14
ピット13
石積み9
コンクリート
コンクリート
コンクリート
階段1
内郭復元城壁
壕1
A
A'
B
B'
C
C'
D
D'
N
岩盤
砂岩
0
5m
(S=1/80)

第 12 図　遺構平面図 1

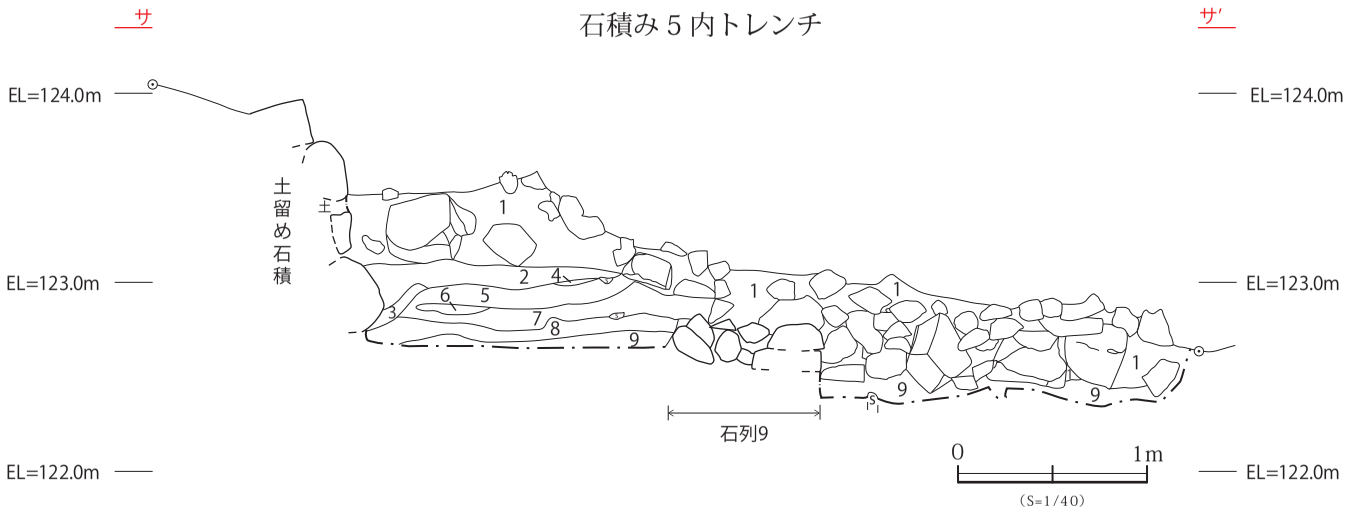

石積み 5 南側面石 1
A
A′
EL=130.0m
EL=129.0m
EL=128.0m
コンクリート
石積
岩盤
石積み 5 北側面石
D
D′
EL=123.5m
EL=123.0m
EL=122.5m
石積み 5 西側面石
B
B′
EL=129.0m
EL=128.0m
EL=127.0m
EL=126.0m
EL=125.0m
EL=124.0m
石積み 5 南側面石 2
C
C′
0
2m
(S=1/40)

第 13 図　石積み 5



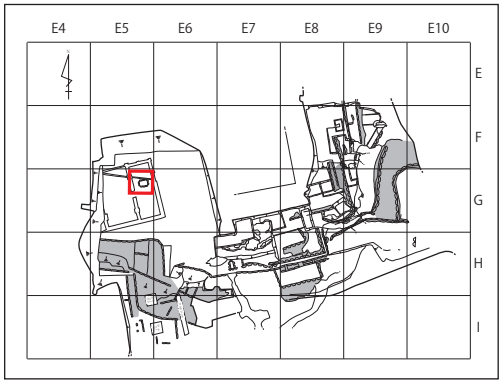



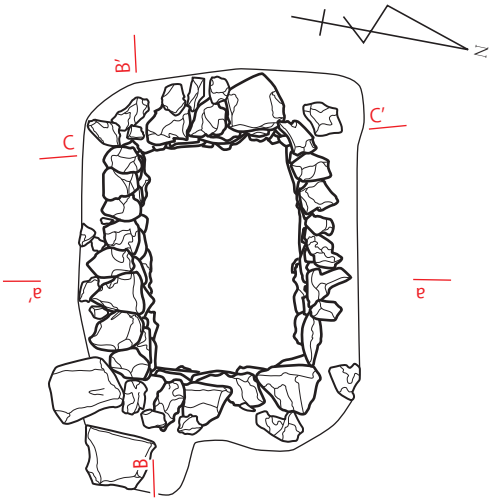

石積み５内トレンチ



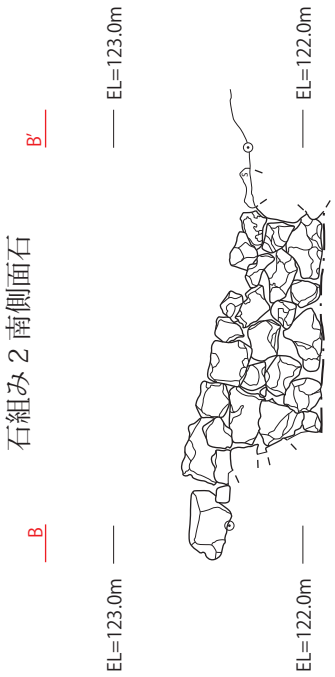

1 層：10YR3/3暗褐色土。60cm大の石から、砂利まで様々な大きさの石が入る。砂は全体的に含まれ、炭や焼土粒が５％含まれる。粘性はあるがしまりはあまりない。遺物は陶磁器片、瓦片、骨片などがみられる。
2 層：10YR4/6褐色土、10YR4/2灰黄褐色土などがまだらに混ざる。砂は全体的に含まれ、炭粒が３％、焼土粒は1％未満含まれる。粘性、しまり共にあり。遺物は中国産の陶磁器片がみられる。
3 層：10YR5/6黄褐色土。砂質土で、砂、炭粒が1％未満含まれる。粘性はなく、しまりは少しある。
4 層：10YR5/6黄褐色土の砂質土と粘性のある土が混ざる。一部にみられる。粘性はないが、しまりはある。
5 層：10YR4/4褐色土。クチャが15％、炭が7％、砂が1％含まれる。粘性、しまり共に2層よりもある。
6 層：10YR4/4褐色土。砂質土で砂、炭粒が1％未満含まれる。粘性、しまり共に少しある。
7 層：10YR5/6黄褐色土～10YR4/6褐色土。砂質土で砂などは含まれない。粘性はなく、しまりは少しある。
8 層：2.5Y5/2暗灰黄色～2.5Y5/1黄灰色のクチャ。ブロック状になったクチャも所々混ざる。炭粒が1％未満含まれる。粘性はあるが、しまりは、少しある。
9 層：7.5YR5/6明褐色。ニービ。地山と考えられる。

第 14 図　石積み５内トレンチ

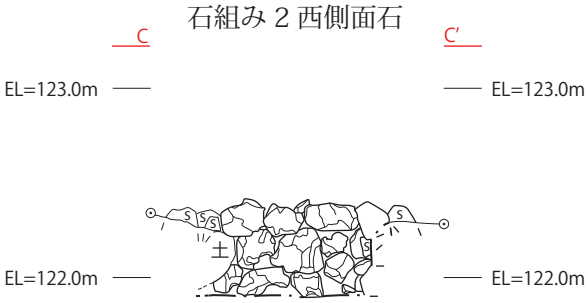


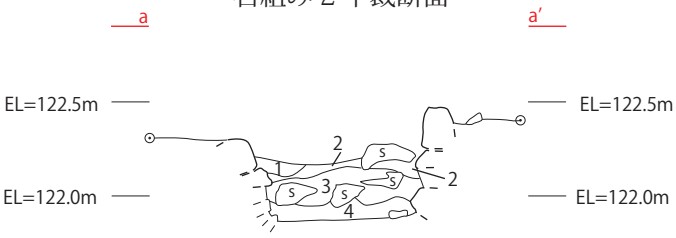

石組み 2 西側面石




石組み 2 南側面石



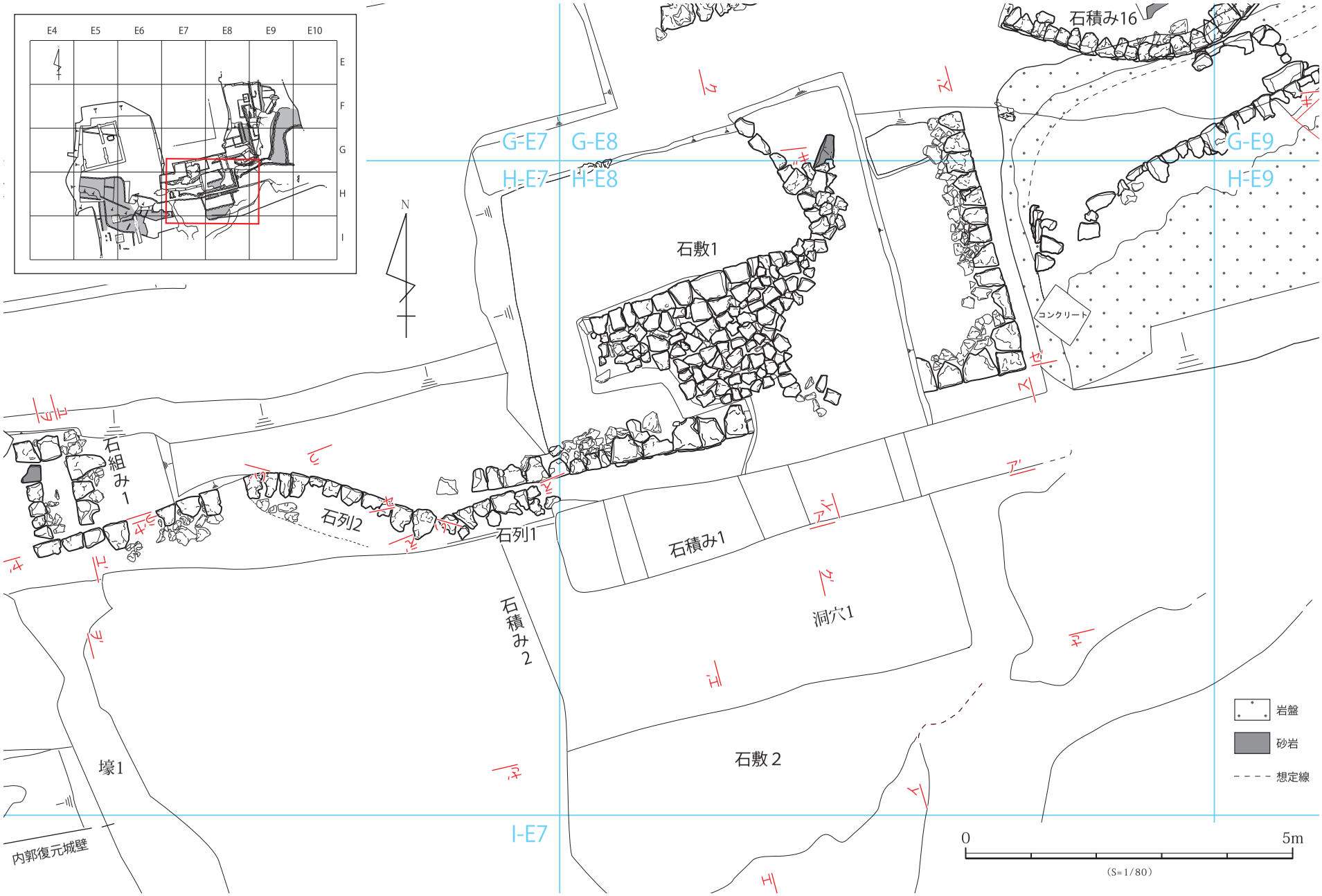

石組み 2 半裁断面



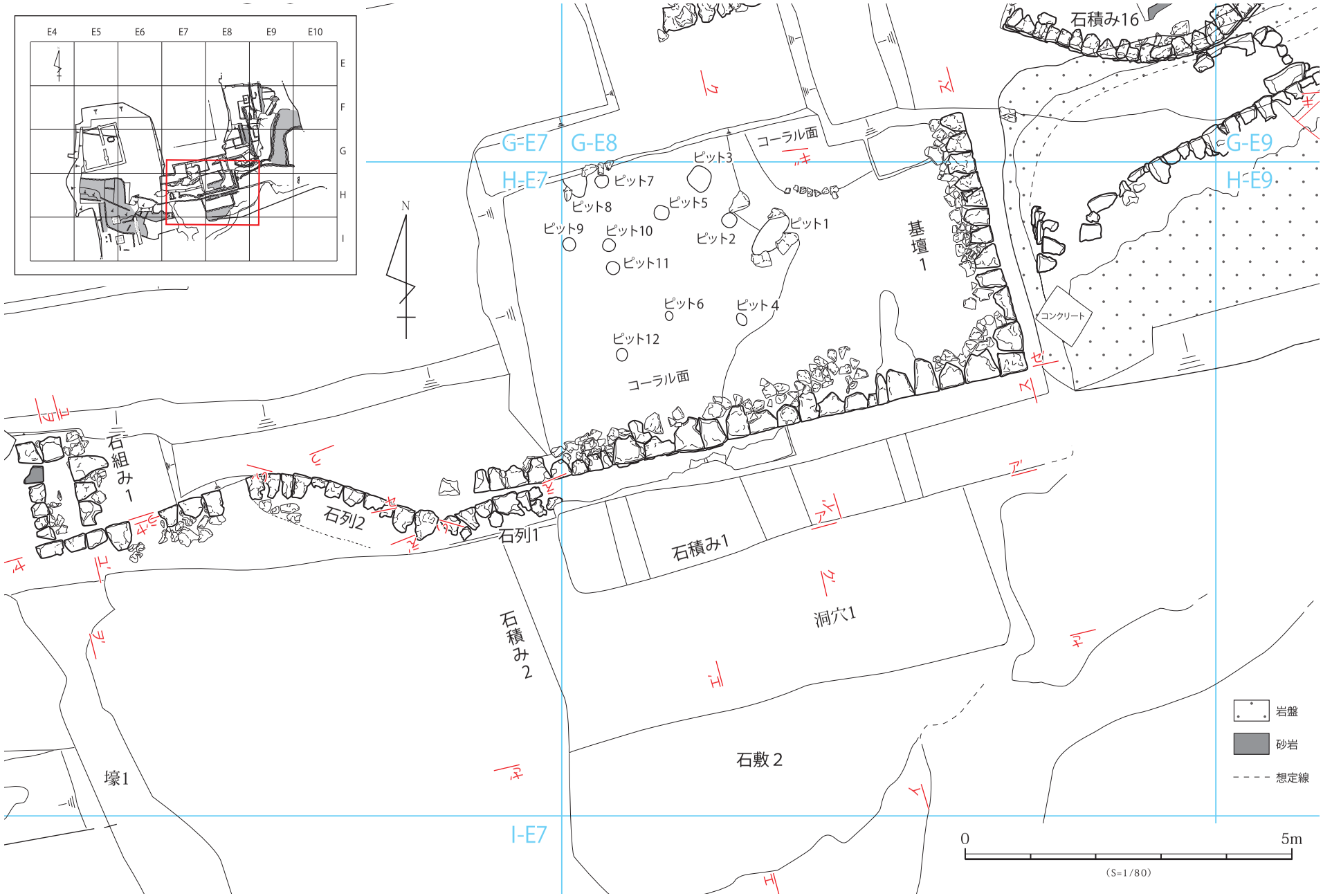

1 層：10YR4/3にぶい黄褐色土。粘性あり、しまりはややある。砂、小石が混ざる。炭も少量含まれる。
2 層：10YR2/1黒色土。粘性あり、しまりややあり。炭も多く混ざるが有機物によって黒くなる。2・3 層にかけて人頭大の礫が混ざる。
3 層：10YR3/3暗褐色土。粘性・しまり共にあり。小石が少量、炭・焼土粒が微量に混ざる。
4 層：10YR5/8黄褐色土。粘性はなく、しまりはある。遺物はない。

0　2m
（S=1/40）

第 15 図　石組み 2




第16図　遺構平面図2（石敷1あり）

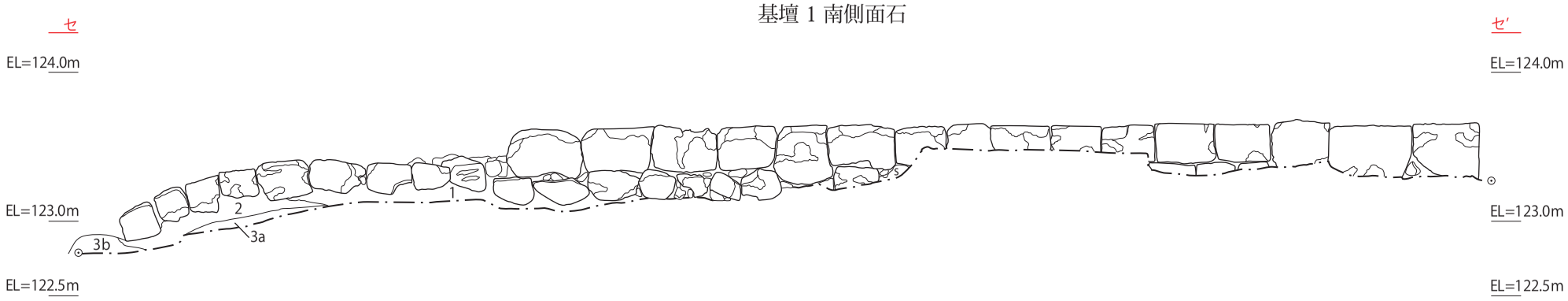



第 17 図　遺構平面図 3（石敷 1 取外し後）

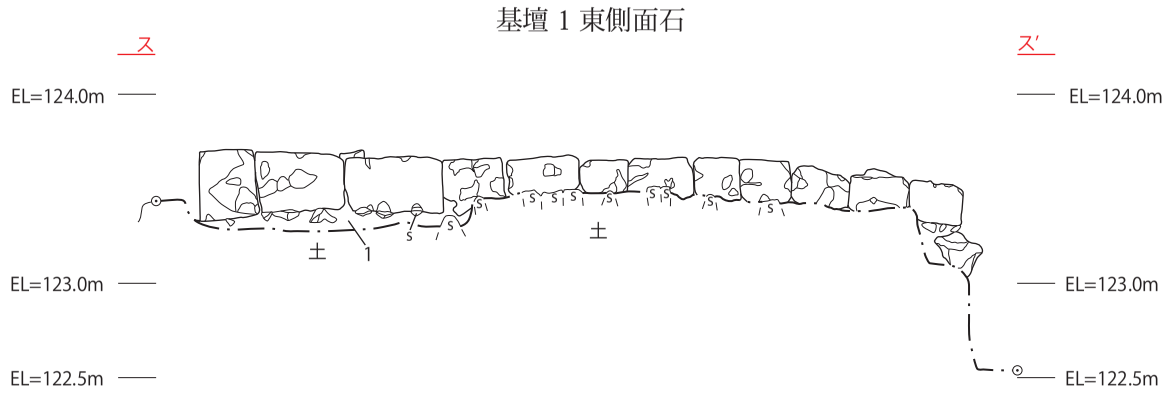
１層：10YR5/6 黄褐色土、粘性しまりなし。近現代の陶磁器。
２層：10YR3/3 暗褐色よりやや明るい土層。粘性しまりなし、砂が 5%、1 ～ 5 ㎝大の石 10%含む。
３層：10YR5/6 黄褐色土、粘性しまりなし、一部 10YR4/3 にぶい黄褐色土が筋状に入る、3 ～ 10 ㎝大の小 3 %含む。
４層：10YR5/6 黄褐色土、粘性しまりなし、全体的に 10YR4/3 鈍い黄褐色土が筋状に入る。5 ㎜～ 1 ㎝大炭粒 1%未満 2 ～ 5 ㎝大の石 3%含む。
５層：10YR4/6 褐色土、粘性しまりなし、1 ～ 5 ㎝大のクチャブロック 5%含む、4 層とのさかいに一部炭の集中がみられる。
６層：10YR4/3 にぶい黄褐色土、粘性しまりなし、10YR4/4 褐色土、10YR3/3 暗褐色が混ざる。
７層：10YR5/6 黄褐色土、粘性しまりなし、全体的に 10YR4/3 にぶい黄褐色土が筋状に入る。1 ～ 3 ㎜大砂粒 1%を含む。
８層：10YR4/4 褐色土、粘性しまりなし。一部に 10YR4/3 にぶい黄褐色がまざる。
９層：10YR4/6 褐色土、粘性、しまりなし 5 ㎝大の石が 20%はいる。
10 層：10YR3/4 暗褐色土、粘性ややあり、しまりなし、砂 10%、3 ～ 15 ㎝大の石灰岩礫 20%含む。
11 層：10YR5/6 黄褐色土、粘性、しまりなし、1 ～ 5 ㎝大の石 1%含む。
12 層：10YR4/4 褐色土、粘性ややあり、しまりなし、1 ～ 3 ㎝大の石 3%含む。
13 層：10YR7/6 明黄褐色土、粘性しまりなし、コーラルの層、5 ～ 15 ㎝大の石 20%含む。
14 層：10YR4/6 褐色土層、粘性、しまりなし、1 ～ 5 ㎝大の石 3 %20 ～ 30 ㎝大の石灰岩礫 5 %を含む、ヤコウガイ破片 1 点。
15 層：10YR4/3 にぶい黄褐色よりやや明るい土層、粘性しまりなし、1 ～ 2 ㎜大炭粒 5%、1 ～ 3 ㎝大炭粒 1 %含む。
16 層：10YR3/4 暗褐色よりやや明るい土層、粘性、しまりなし、砂 3 %、 5 ㎝大の石 1 %含む。
17 層：10YR4/4 褐色土層、粘性ややあり、しまりなし、 1 ～ 3 ㎝大の石 3 %含む。
18 層：10YR4/3 にぶい黄褐色よりやや明るい土層。粘性しまりなし。コーラル層。
19 層：10YR4/4 褐色よりやや明るい土層、粘性しまりなし、 1 ～ 7 ㎝大の石 5 %含む。
20 層：10YR5/4 にぶい黄褐色よりやや暗い土層、粘性しまりなし、 1 ～ 2 ㎝大クチャブロック 1 %未満、砂 1 %含む。
21 層：10YR4/6 褐色よりやや明るい土層。粘性なし、しまりややあり。1 ～ 3 ㎝大の石 3% 含む。
22 層：10YR4/4 褐色土。粘性・しまりなし。1 ～ 5 ㎝大の石 3% 含む。
23 層：10YR4/4 褐色土。粘性・しまりあり。1 ～ 25 ㎝大のクチャブロック 50%、1 ～ 5 ㎜大炭粒 1 %未満含む。クチャブロックの層。
24 層：10YR4/4 褐色よりやや明るい土層。粘性・しまりなし。10 ～ 20 ㎝大の礫 40%含む。
25 層：10YR4/6 褐色土。粘性・しまりなし。1 ㎝大ブロックの Hue10YR4/2 灰王褐色土が 1%未満、 2 ㎜～ 1 ㎝大炭粒 5 %、1 ～ 5 ㎝大の石 2 %含む。

第 18 図　基壇１北側トレンチ

## 基壇 1 南側面石




## 基壇 1 東側面石




基壇 1 南側面石

1 層：10YR5/6 黄褐砂質でわずかに粘りあり。しまりはない。極小～数 cm の石灰礫を 40 ～ 50%ほど含む。溝の床面では石灰岩の石の割合が多くなり、わずかにクチャ塊も混ざる。

2 層：10YR4/6 褐砂質で粘りとしまりもあまりない。極小～小の石灰粒をわずかに含む。

3a 層：10YR4/3 にぶい黄褐に 10YR5/8 黄褐色砂質土 ( ニービ ) とクチャがブロック状に混ざる。シルト質で粘性ややあり。しまりはない。極小の石灰粒を 10%ほど含む。

3b 層：3a とほぼ同じだが、石灰岩礫の混入が特に多い。極小～こぶし大。

基壇 1 東側面石

1 層：10YR4/6 褐色砂質であまりしまりがない。粘りは少しあり。

基壇 1 南北軸断面

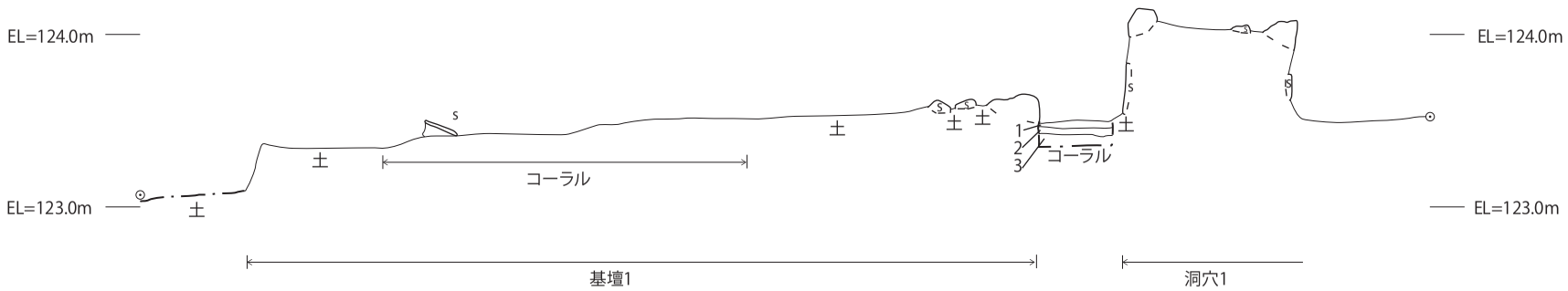
1 層：コーラル層。焼けた跡があり、砂に焼土や焼石が混ざる。このコーラル層は基壇 1 の南側面石の一部、面石が焼けた範囲の全面に広がっていたと考えられる。

2 層：10YR4/3 にぶい黄褐色土。炭が混ざるうすい層。粘性はややあるがしまりはない。

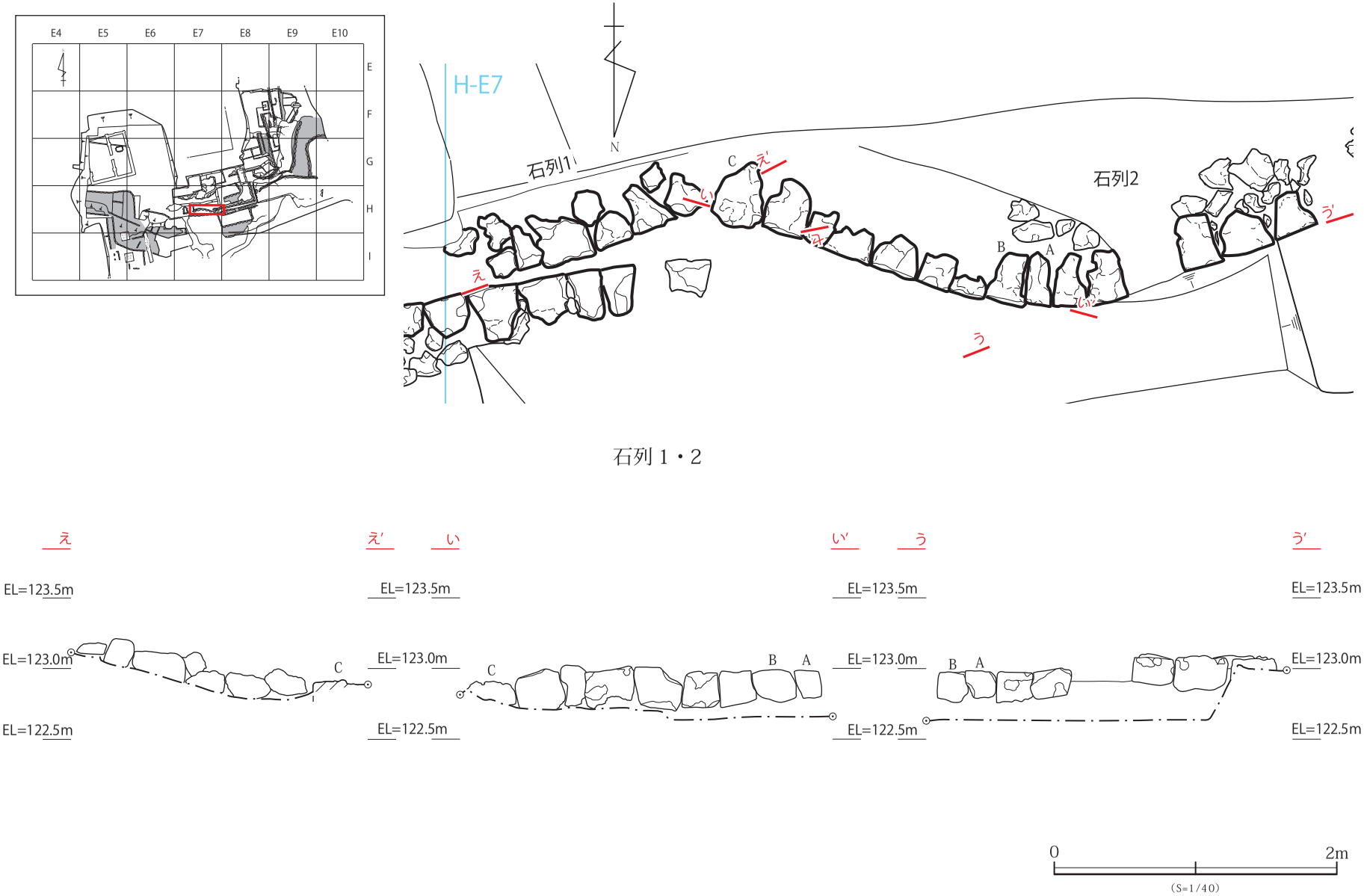
3 層：10YR5/6 黄褐色土。粘性はなく、しまりは少しある。

0　2m
(S=1/40)

## 基壇 1 南北軸断面

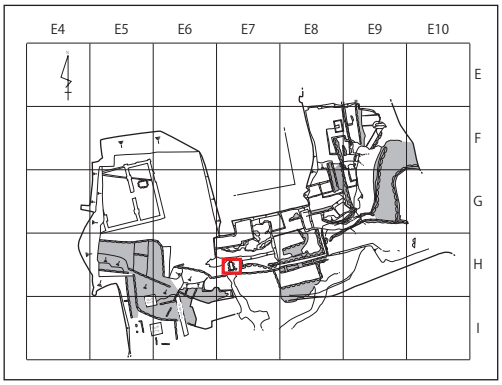


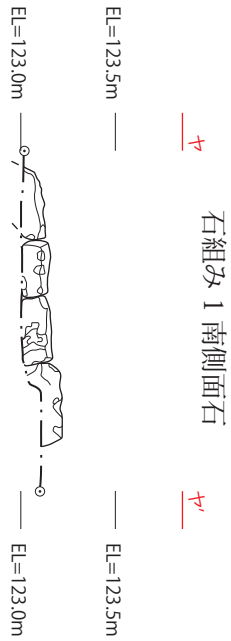

第 19 図　基壇 1

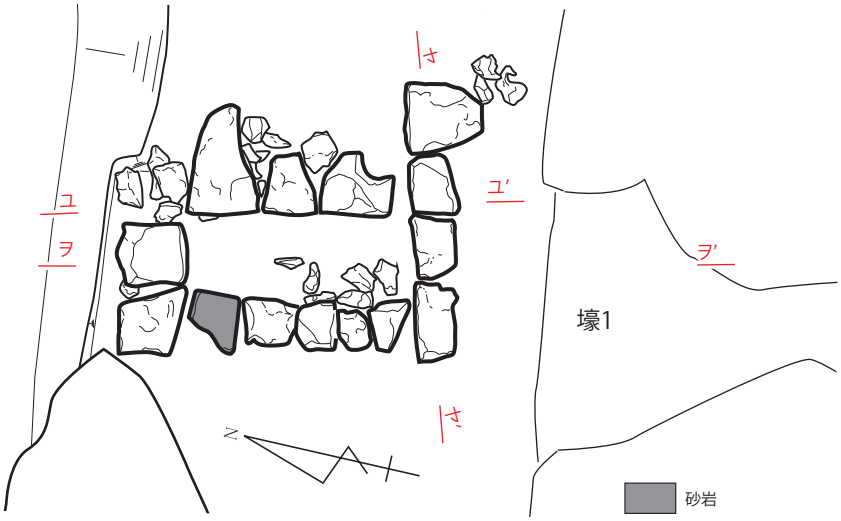



石列１・２

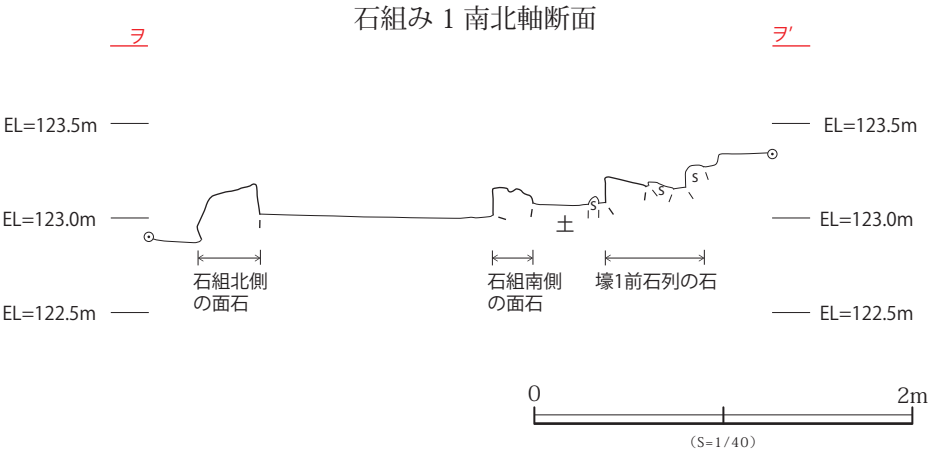
第 20 図　石列１・２


E4
E5
E6
E7
E8
E9
E10
E
F
G
H
I


EL=123.0m
EL=123.5m
サ
石組み 1 南側面石
サ′
EL=123.0m
EL=123.5m

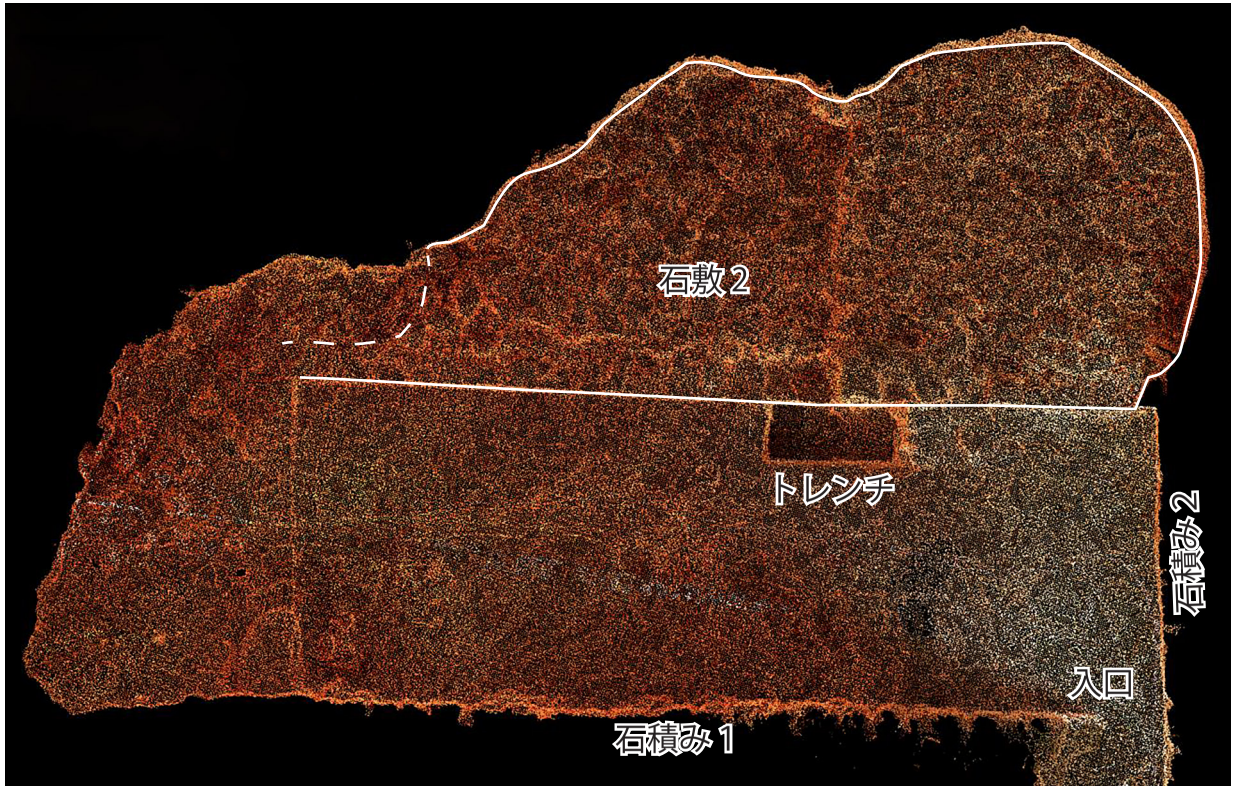

サ
ユ
ヲ
ユ′
ヲ′
壕1
サ′
N
砂岩

石組み 1 東側面石
ユ
ユ′
EL=123.5m
EL=123.5m
EL=123.0m
EL=123.0m

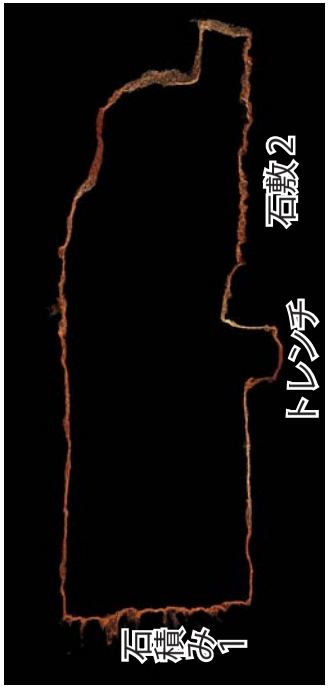

石組み 1 南北軸断面
ヲ
ヲ′
EL=123.5m
EL=123.5m
EL=123.0m
EL=123.0m
土
石組北側
の面石
石組南側
の面石
壕1前石列の石
EL=122.5m
EL=122.5m
0
2m
(S=1/40)

第 21 図　石組み 1

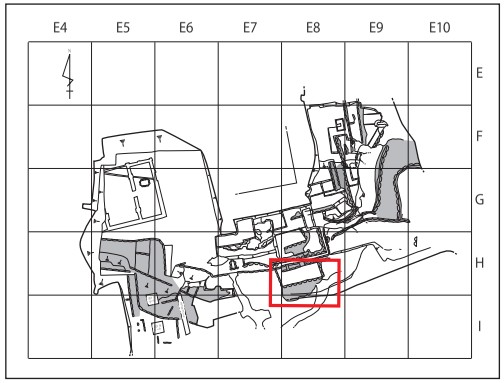
洞穴 1 平面



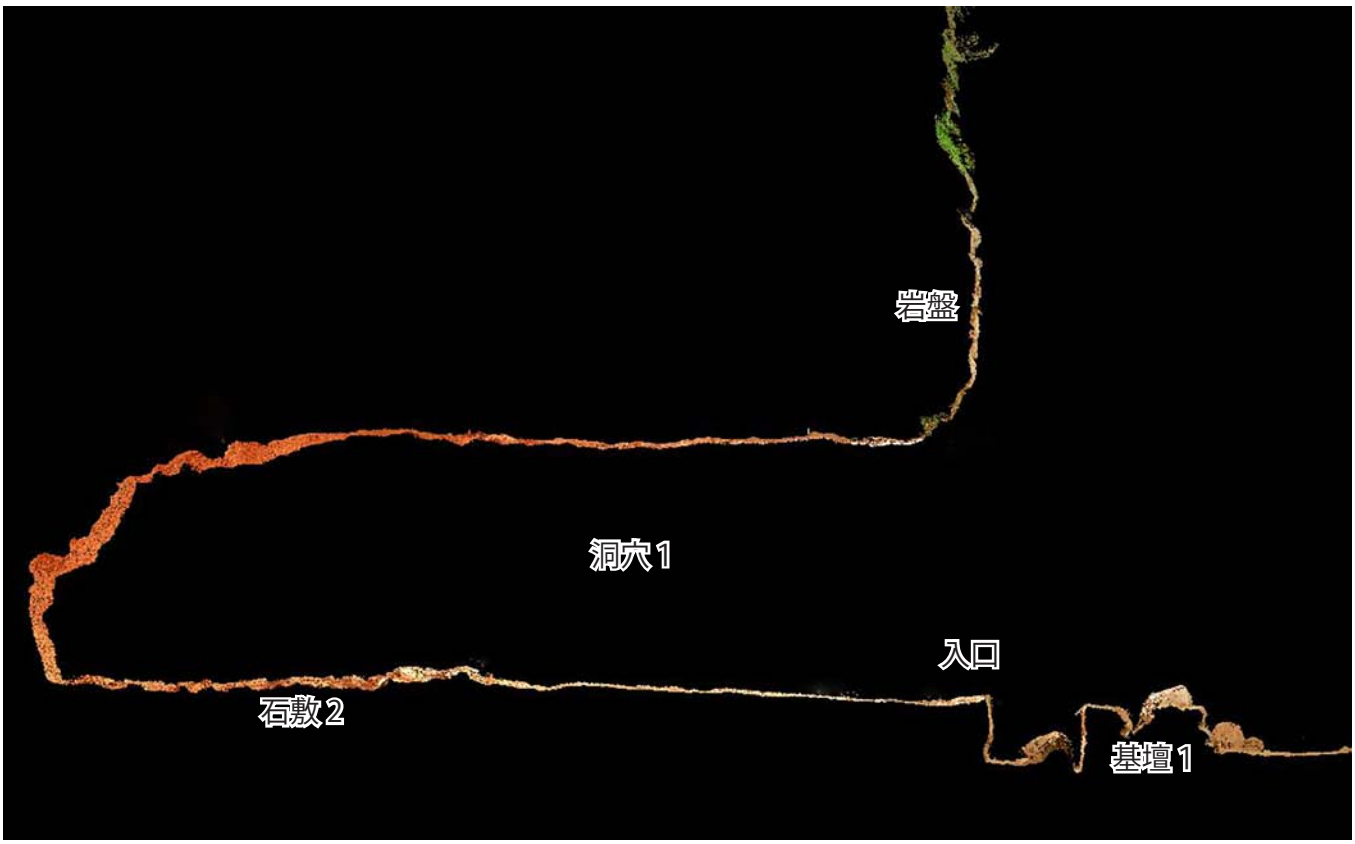

洞穴 1 南北軸断面 1




洞穴 1 東西軸断面




第 22 図　洞穴 1 内点群図




第 23 図　洞穴 1 点群図（南北軸断面 2）

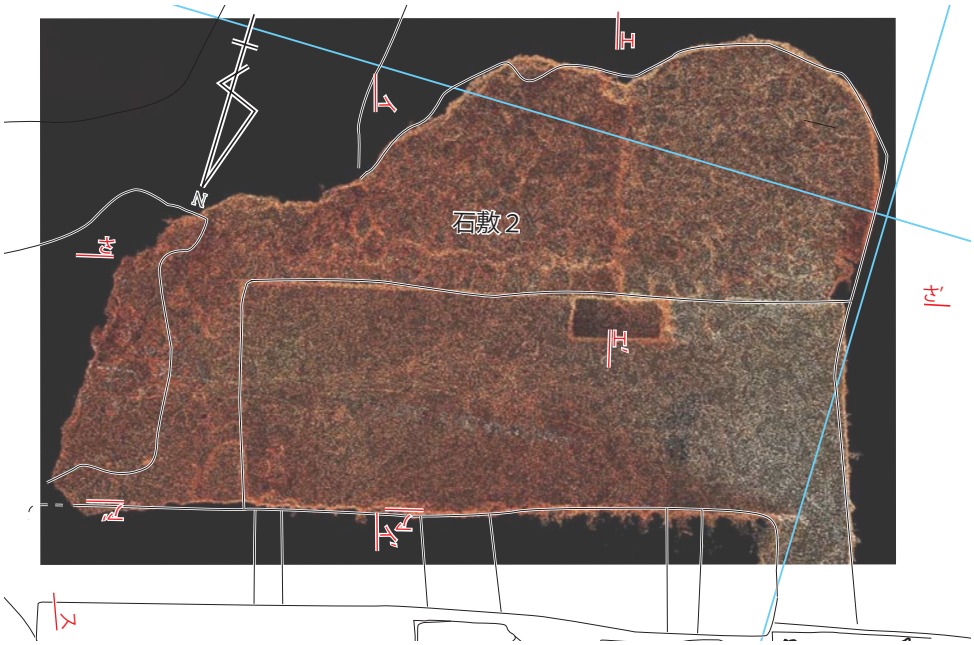
1　洞穴 1 入口（北東から）

2　石積み 1（南から）

3　石積み 2（北東から）

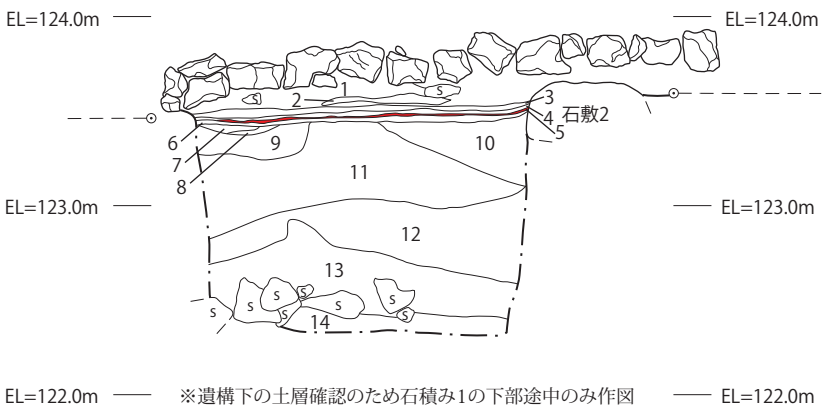
4　石敷 2（北東から）

図版 1　洞穴 1



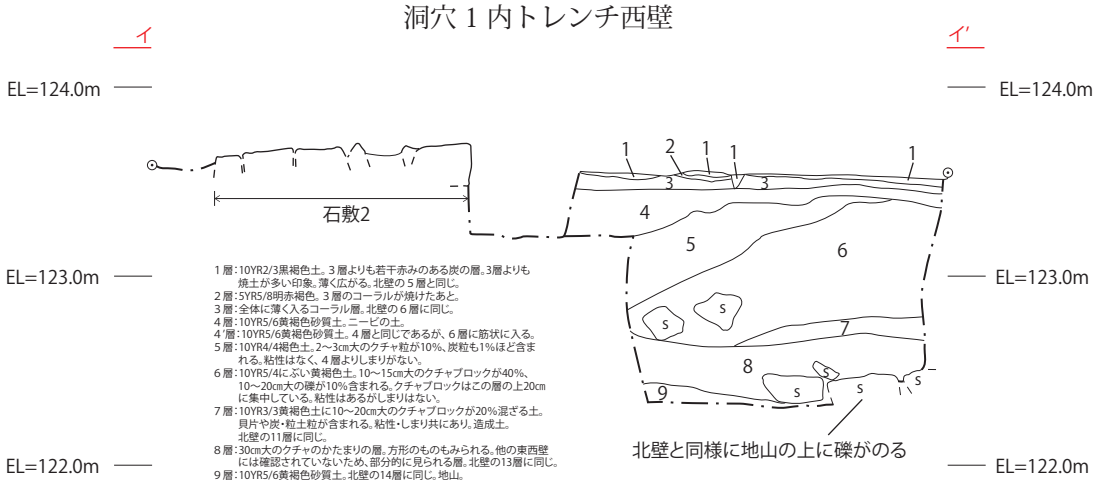

0　5m
（S=1/80）

## 洞穴１内トレンチ北壁




1 層：2Y4/3オリーブ褐色土。2～3cm大のクチャブロック、4～6cm大のニービブロックが３%、砂利が1%含まれる。壕の壁面を形成する石積２の下に入る土。しまりは強く、粘性はある。
2 層：7.5YR4/6褐色土が焼けた層。炭粒や焼土粒が混ざり、全体ではなく一部にだけみられる。壕内でも所々確認できる。
3 層：10YR1.7黒色土。炭の層。西側は若干厚くなるが、前面に薄く広がる土。
4 層：10YR5/6黄褐色土。3層と5層の間に薄く入る層。砂利が混ざる。粘性・しまりはややある。
5 層：10YR2/3黒褐色土。3層よりも若干赤みのある炭の層。3層よりも焼土が多い印象。薄く広がる。赤色で塗られた範囲。
6 層：コーラル層。５層の下に全体に薄く入る層。
7 層：10YR5/6黄褐色土。西側の一部にみられる土。砂利が混ざり、微量の炭も含まれる。
8 層：コーラル層。７層の下に少しだけある土。６層と同じ可能性あり。
9 層：10YR5/6黄褐色土。10cm大の礫が５%含まれる。２cm大のクチャブロックや炭が２%含まれる。粘性はないが、しまりは少しある。10層と同じ可能性あり。ニービの土。
10層：10YR5/6黄褐色土。10cm大の礫が５%含まれる。粘性はないがしまりは少しある。９層と同じ可能性あり。ニービの土。
11層：10YR3/3黄褐色土に10～20cm大のクチャブロックが20%混ざる土。貝片や炭・粒土粒が含まれる。粘性・しまり共にあり。造成土。
12層：10YR3/1黒褐色土に10～15cm大のクチャブロックが15%混ざる土。11層よりも灰色がかっているが、同じ性格のものと思われる。粘性はあるがしまりは無い。
13層：30cm大のクチャのかたまりの層。方形のものもみられる。他の東西壁には確認されていないため、部分的に見られる層。
14層：10YR5/6黄褐色土。ニービの地山と考えられる。この土の上に30～40cm大の礫が入る。

## 洞穴１内トレンチ西壁

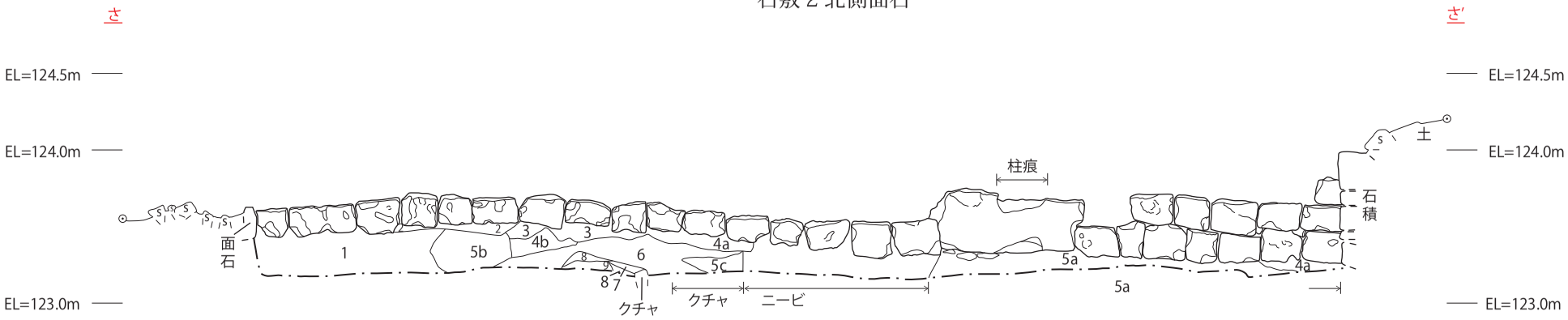



1 層：10YR2/3黒褐色土。３層よりも若干赤みのある炭の層。3層よりも焼土が多い印象。薄く広がる。北壁の５層と同じ。
2 層：5YR5/8明赤褐色。３層のコーラルが焼けたあと。
3 層：全体に薄く入るコーラル層。北壁の６層に同じ。
4 層：10YR5/6黄褐色砂質土。ニービの土。
4 ′層：10YR5/6黄褐色砂質土。４層と同じであるが、６層に筋状に入る。
5 層：10YR4/4褐色土。2～3cm大のクチャ粒が10%、炭粒も1%ほど含まれる。粘性はなく、４層よりしまりがない。
6 層：10YR5/4にぶい黄褐色土。10～15cm大のクチャブロックが40%。10～20cm大の礫が10%含まれる。クチャブロックはこの層の上20cmに集中している。粘性はあるがしまりはない。
7 層：10YR3/3黄褐色土に10～20cm大のクチャブロックが20%混ざる土。貝片や炭・粒土粒が含まれる。粘性・しまり共にあり。造成土。北壁の11層に同じ。
8 層：30cm大のクチャのかたまりの層。方形のものもみられる。他の東西壁には確認されていないため、部分的に見られる層。北壁の13層に同じ。
9 層：10YR5/6黄褐色砂質土。北壁の14層に同じ。地山。

0　1m
（S=1/40）

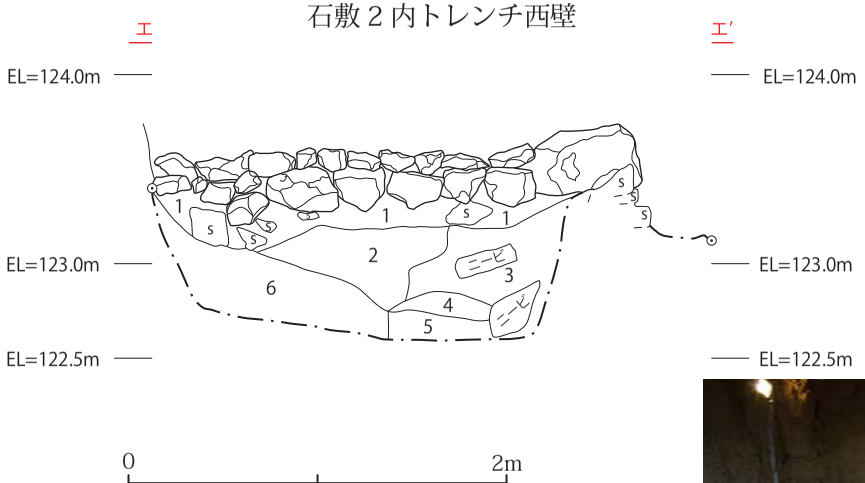
第 24 図　洞穴１

## 石敷２北側面石




石敷2北側面石
１層：10YR5/6黄褐色土。ニービの土ではあるが地山ではない。粘性はなく、しまりはある。洞穴1内トレンチの北壁の10層と同じ。
２層：10YR5/4にぶい黄褐色土の砂質層で一部の石の下にみられる。粘性はややあるがしまりはない。
３層：10YR5/6黄褐色土。5cm大の礫と2cm大のクチャブロックが含まれる。粘性・しまり共にややある。
4a層：10YR4/4褐色土に10YR2/1黒色土が10％程度まだらに混ざる。2～5cm大のクチャブロックが2％含まれる。粘性・しまり共にややある。
4b層：10YR4/4褐色土に10YR2/1黒色土が50％混ざる。5～10cm大のクチャブロックが含まれる。
炭や2枚貝も含まれる。4a層と同じようであるが、黒色土の割合が高い。粘性・しまり共にある。
5a層：10YR4/4褐色土に15～30cm大のクチャブロック(10YR5/1褐灰色)が50％以上含まれる。20cm大のものが主体で次に15cm大、30cm大のものはあまりみられない。5b層とは同じようである。このセクションでは部分的にみられ直上に石が敷かれている。それに何の意図があるか不明。
5b層：10YR4/4褐色土に20cm大のクチャブロック(10YR5/1褐灰色)が50％以上含まれる。5a と同じようである。
5c層：10YR4/4褐色土に15～20cm大のクチャブロック(5Y5/3灰オリーブ色)が50％以上含まれる。5a・5bに比べるとクチャの割合が低いが同じようである。
６層：10YR5/8黄褐色土。ニービではあるが地山ではない。粘性はなく、しまりは1層よりはないがある。1層と同じ土のようだが色としまりが若干異なる。
７層：10YR3/2黒褐色土。砂や砂利が2％含まれる。粘性があるがしまりがない。
８層：10YR5/8黄褐色土。6層よりも橙色がかっている。粘性はなく、しまりはややある。
９層：10YR3/2黒色土にクチャブロックが含まれる。洞穴1内トレンチの北壁の11層と同じ。

## 石敷２内トレンチ西壁



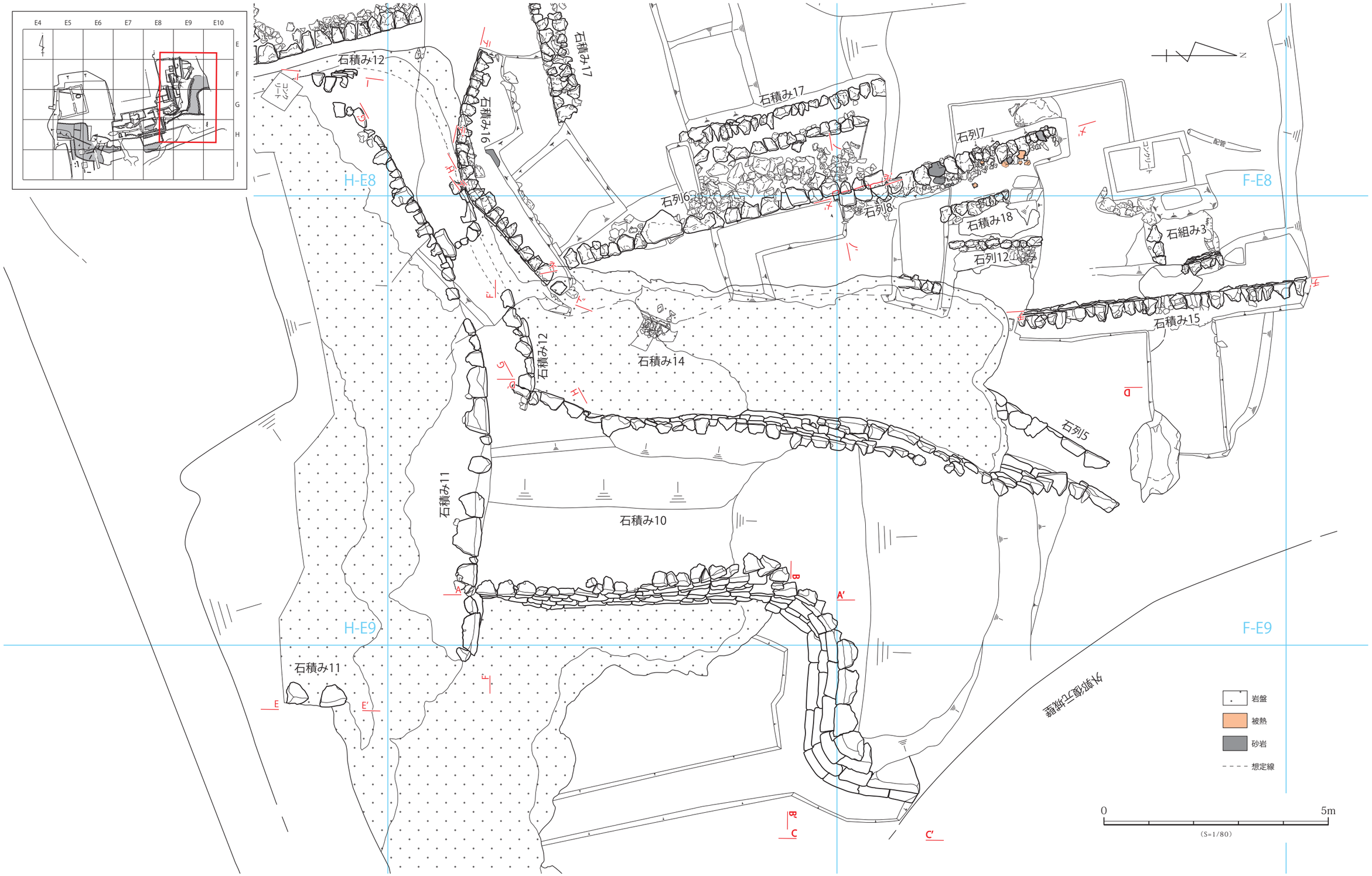

石敷2内トレンチ西壁
１層：10YR5/4にぶい黄褐色砂質土。10～20cm大の礫が多く含まれる。粘性・しまり共にない。
２層：10YR5/4にぶい黄褐色砂質土。粘性はなく、しまりは１層より少しある。
３層：10YR4/6褐色砂質土。粘性・しまり共になし。特にしまりはない。
４層：10YR4/4褐色土。礫が2％程度含まれる。粘性・しまり共になし。
５層：10YR5/6黄褐色土。粘性・しまり共になし。4層よりも少ししまりがある。
６層：10YR5/6黄褐色土。粘性はないがしまりがある。ニービの地山と思われる。

第 25 図　石敷 2

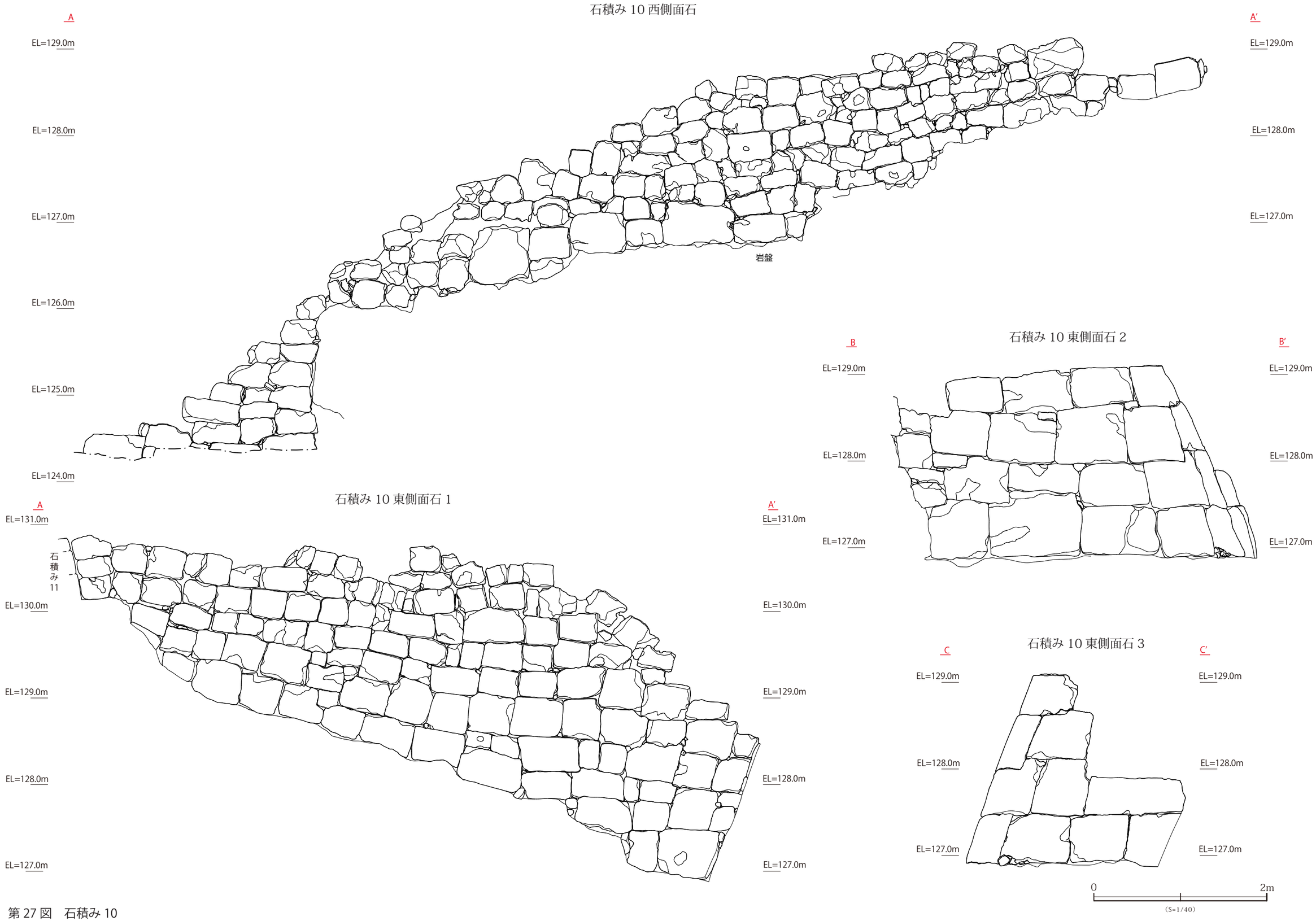
1　石敷 2（北西から）

2　洞穴 1 作業風景

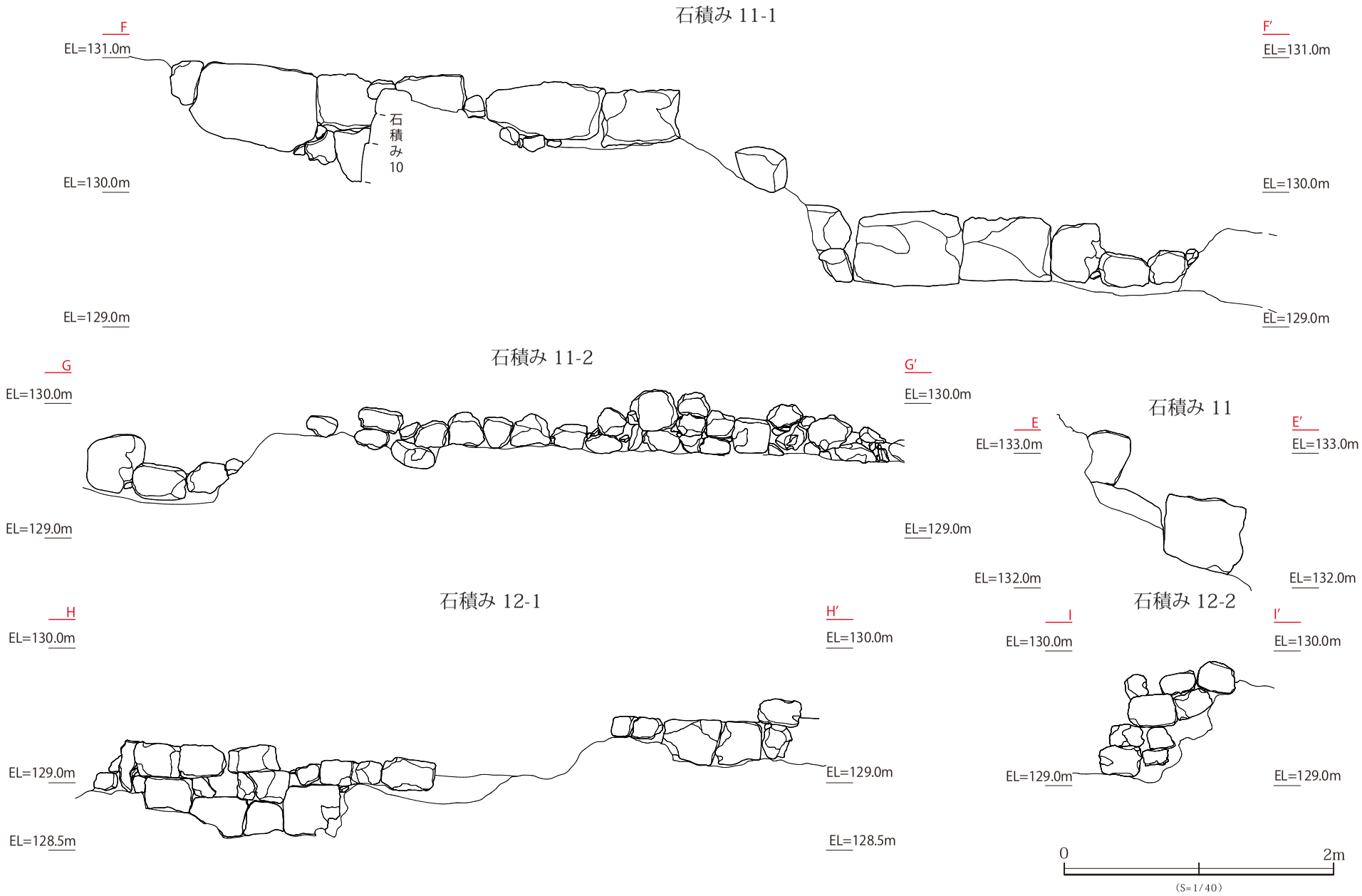
図版 2　石敷 2


E4
E5
E6
E7
E8
E9
E10
E
F
G
H
I
石積み12
石積み17
石積み16
石積み17
石列7
H-E8
F-E8
石列6
石列8
石積み18
石列12
石組み3
配管
コンクリート
コンクリート
石積み15
石積み14
石積み12
石列5
石積み11
石積み10
H-E9
F-E9
石積み11
外郭復元城壁
岩盤
被熱
砂岩
想定線
0
5m
(S=1/80)

第 26 図　遺構平面図 4

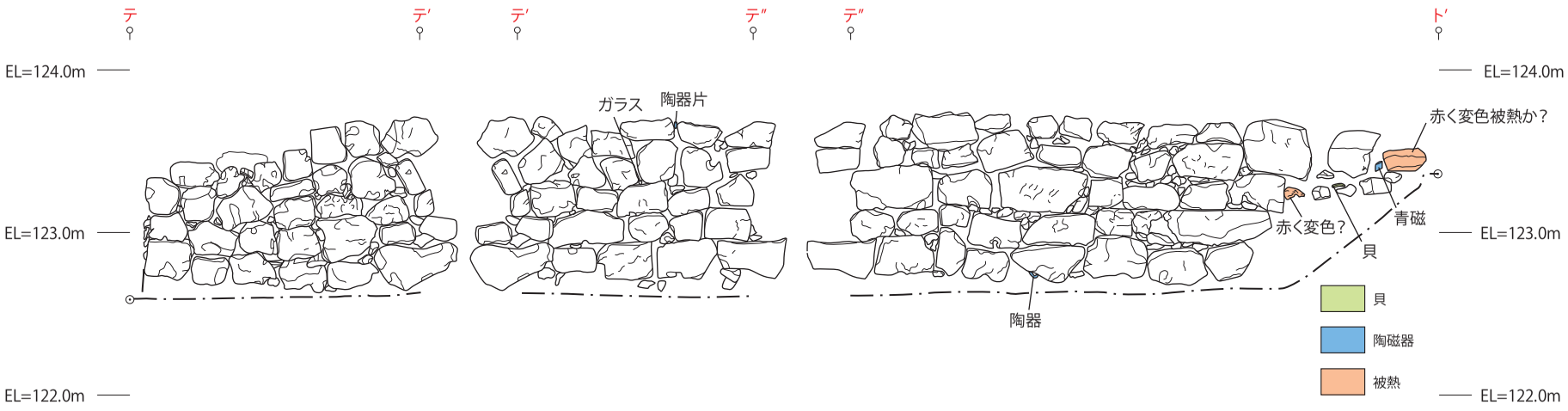

石積み 10 西側面石
A
A′
EL=129.0m
EL=128.0m
EL=127.0m
EL=126.0m
EL=125.0m
EL=124.0m
岩盤
石積み 10 東側面石 1
A
A′
EL=131.0m
EL=130.0m
EL=129.0m
EL=128.0m
EL=127.0m
石積み 11
石積み 10 東側面石 2
B
B′
EL=129.0m
EL=128.0m
EL=127.0m
石積み 10 東側面石 3
C
C′
EL=129.0m
EL=128.0m
EL=127.0m
0
2m
(S=1/40)

第 27 図　石積み 10

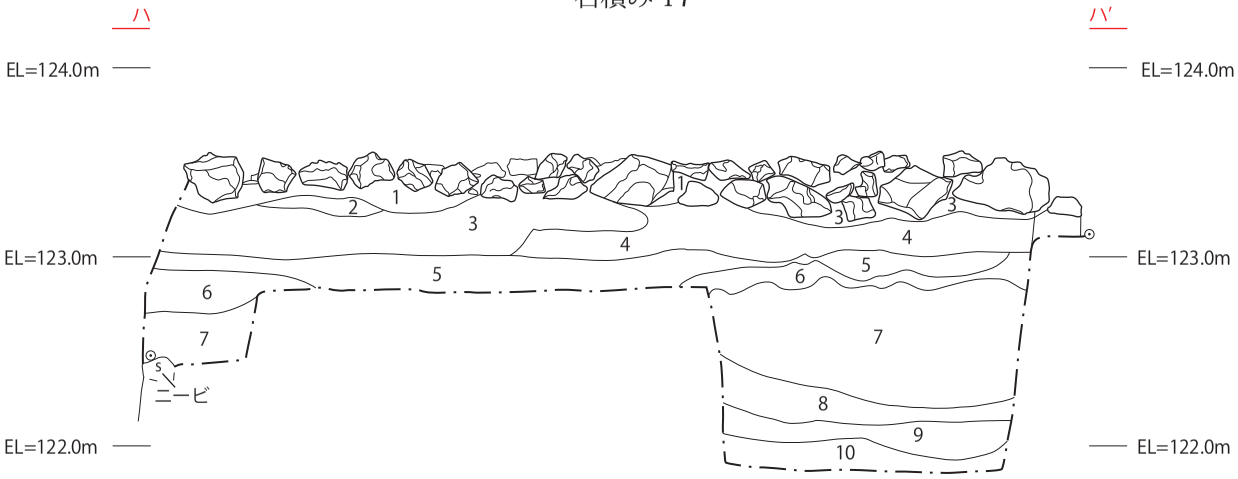



第 28 図　石積み 11・12

## 石積み 16




## 石積み 17

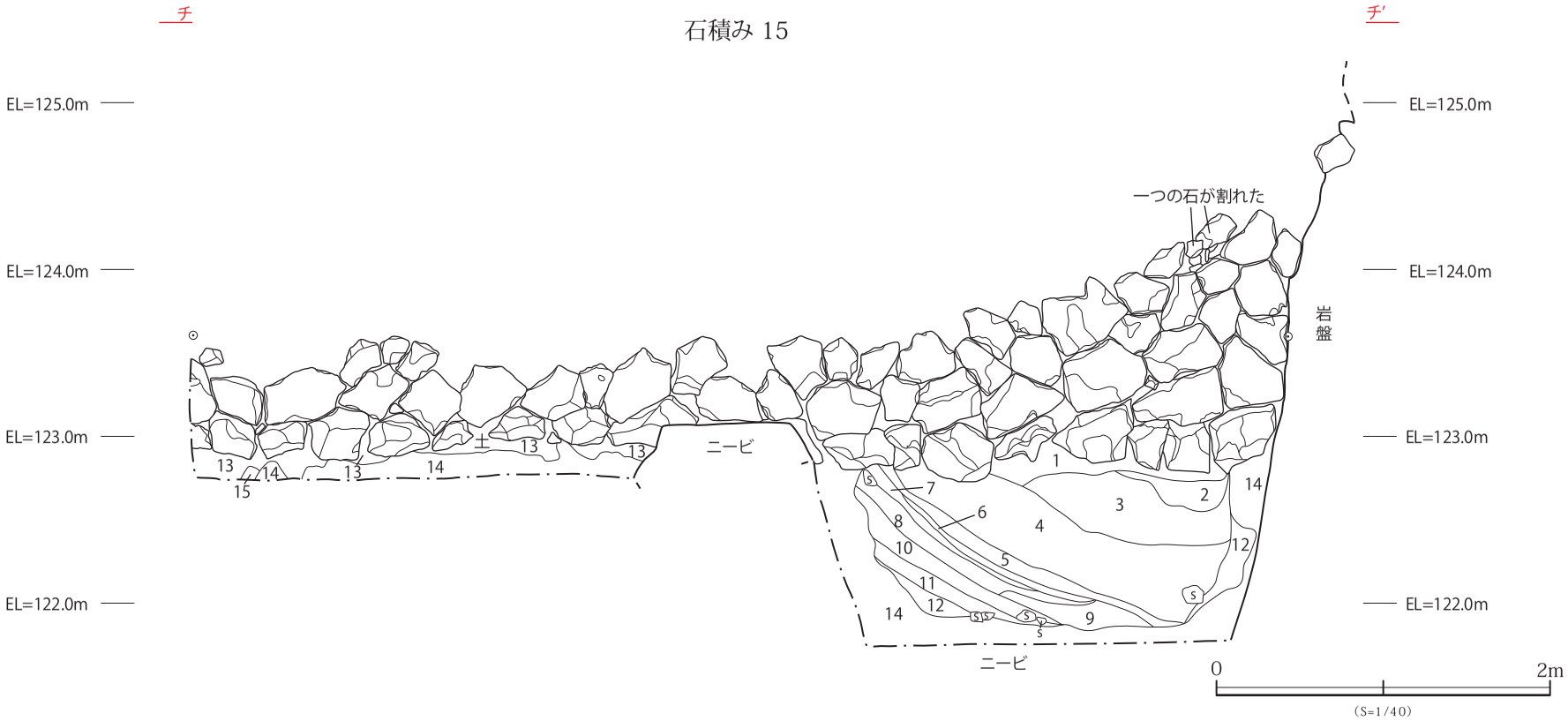



1層：10YR4/4褐色土。 粘性は高く、しまりもある。5Y5/2灰オリーブ色の1～２㎝大のクチャブロックが2%、焼土や炭も１％含まれる。南壁では石積み10の西側で一部しかみられないのでこの遺構に関連する土と考えられる。石の間や直下数㎝でみられる。
2層：10YR4/3にぶい黄褐色土。粘性・しまり共に強く、３層の範疇だと思われるが、クチャブロックがあまり見られない。
3層：5YR5/6明赤褐色土が斑に混ざる。粘性・しまり共に強く、4層と同じと考えられるが、クチャの割合が低く、4層よりも褐色がかった土。
4層：10YR4/4褐色土。5Y5/2灰オリーブ色土（クチャブロック3㎝～10㎝大）、5YR5/6明赤褐色が全体的にまだらに混ざる層。粘性はとても強くしまりはある。2～10㎝大の礫が１％未満含まれる。遺物はほとんどなかった。北壁では撹乱坑に切られているが石積み10の下に広がっていたと考えられる。
5層：10YR5/6黄褐色土に10YR3/3暗褐色土40%まだらに混ざった土。粘性は少し、しまりはある炭粒や焼土粒が10%、3㎝大の礫が５％含まれる。
6層：10YR4/4褐色砂質土にクチャ粒10YR3/3暗褐色ブロックが、7%混ざる土。石化したニービが所々に含まれ、大きなものは5㎝大。粘性はなく、しまりはややある。
7層：10YR4/6褐色砂質土に粘性のある10YR4/4褐色度が約半分の割合で全体的に混ざっている層。クチャブロックが１％未満。2～5㎝大の礫が３%、炭粒焼土粒が7%含まれる。粘性はあるがややしまりはある。
8層：10YR4/6褐色砂質土。いわゆるニービの層。
9層：10YR4/6褐色砂質土。部分的に10YR3/3暗褐色土や5YR5/6明赤褐色土が１～３㎝大のブロック状に１%、炭粒が５％含まれる。粘性は無くしまりも弱いため崩れやすい。
10層：10YR4/6褐色砂質土。ニービ層で地山と考えられる。

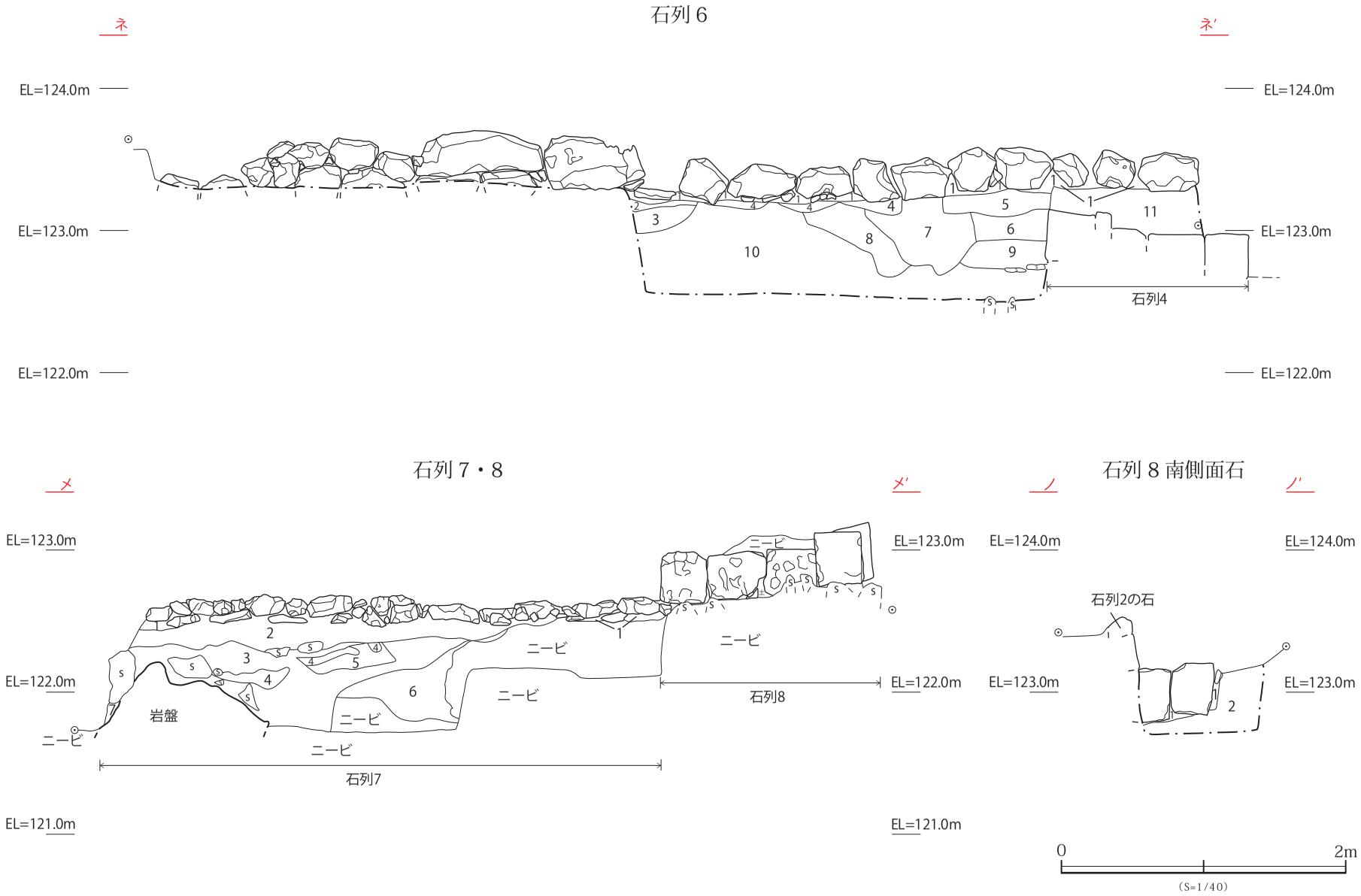
0　2m
（S=1/40）

第 29 図　石積み 16・17

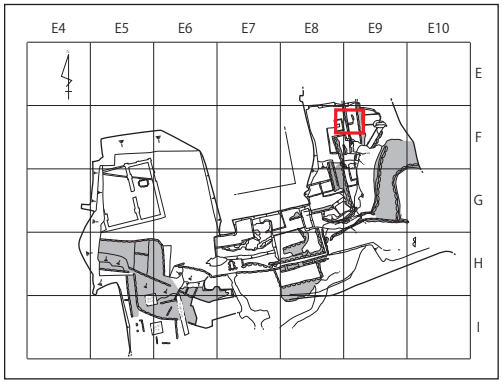
１層：10YR3/4暗褐色。粘性はややあり、しまりは少しある。1～5cm大の小石を30％含む。
２層：10YR4/4褐色。粘性は少しあるが、しまりはある。1～3cm大の小石を10％含む。
３層：10YR4/3にぶい黄褐色土に褐色土の粒が少し混ざる。粘性が少しあり、しまりもある。全体的に砂が混ざり、1～3cm大の小石5％、5～10cm大の石炭岩礫2％含む。
４層：10YR4/3にぶい黄褐色土。3層より粘性はあり、しまりも少しある。1～３cm大の小石を30％、5～10cm大の石炭岩礫を1％含む。
５層：10YR4/4褐色。粘性はあるがしまりはない。全体的に砂が混ざり、1～3mm大の炭粒が1％含まれる。
６層：10YR4/4褐色だが５層よりやや明るい。粘性は少しあるがしまりはない。全体的に砂が50％含まれ、５層との境に1～2cm大の小石が3％含まれる。
７層：10YR4/4褐色土。粘性があり、しまりはない。全体的に砂が50％混ざり、1～3cm大の小石が3％含まれる。
８層：10YR4/4褐色よりやや暗い。粘性は少しあり、しまりはない。1cm大の小石が2％含まれ、層の真ん中で薄く帯状に広がっている。
９層：10YR4/4褐色。粘性はあるがしまりはない。全体的に砂が混ざり、５層と類似する。
10層：10YR4/4褐色土。他の層より粘性があり、しまりはない。全体的に砂が混ざり、1～５cm大の小石が40％含まれる。
11層：10YR4/3にぶい黄褐色。粘性・しまり共にあり。全体的に砂が混ざり、1～5cm大の石が５％含まれ、層の真ん中で帯状に広がっている。
12層：10YR3/4暗褐色土。粘性はあり、しまりはない。砂が混ざるが北側に多く含まれる。1～５cm大の小石が20％含まれ、中心より南側に大きめの石が多い。
13層：10YR4/4褐色。粘性なし、しまりありの砂質土。部分的に小石や砂が微量に混ざる。遺物はない。遺構北側で石積みが乗る層。
14層：10YR5/8黄褐色。粘性なし、しまりは一層よりある砂質土。13層より石化が進んでいると思われる土。地山か。
15層：10YR5/8黄褐色。粘性・しまり共になし。40％の小石を含む。一部でみられる土。地山と思われる。

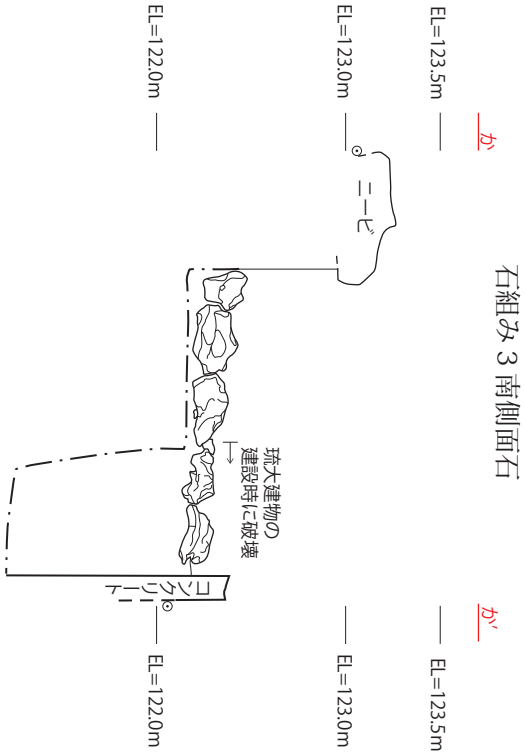


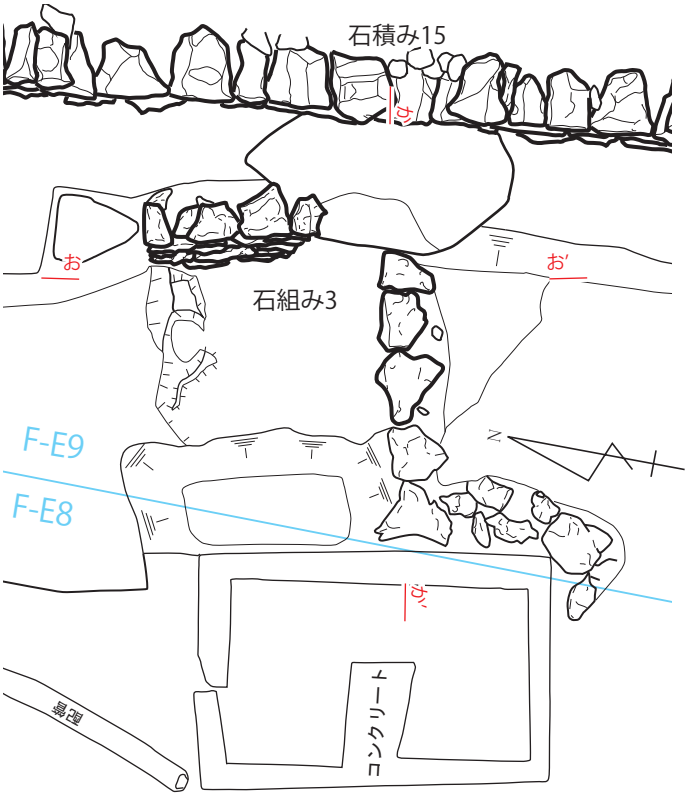

第 30 図　石積み 15

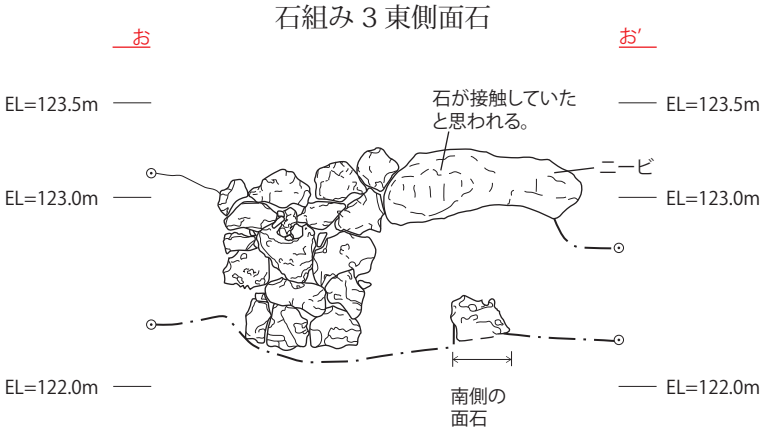

石列６
ネ
ネ′
EL=124.0m
EL=123.0m
EL=122.0m
石列4
石列７・８
メ
メ′
EL=123.0m
EL=122.0m
EL=121.0m
ニービ
岩盤
石列7
石列8
石列８南側面石
ノ
ノ′
EL=124.0m
EL=123.0m
石列2の石
0
2m
(S=1/40)

第31図　石列６・７・８



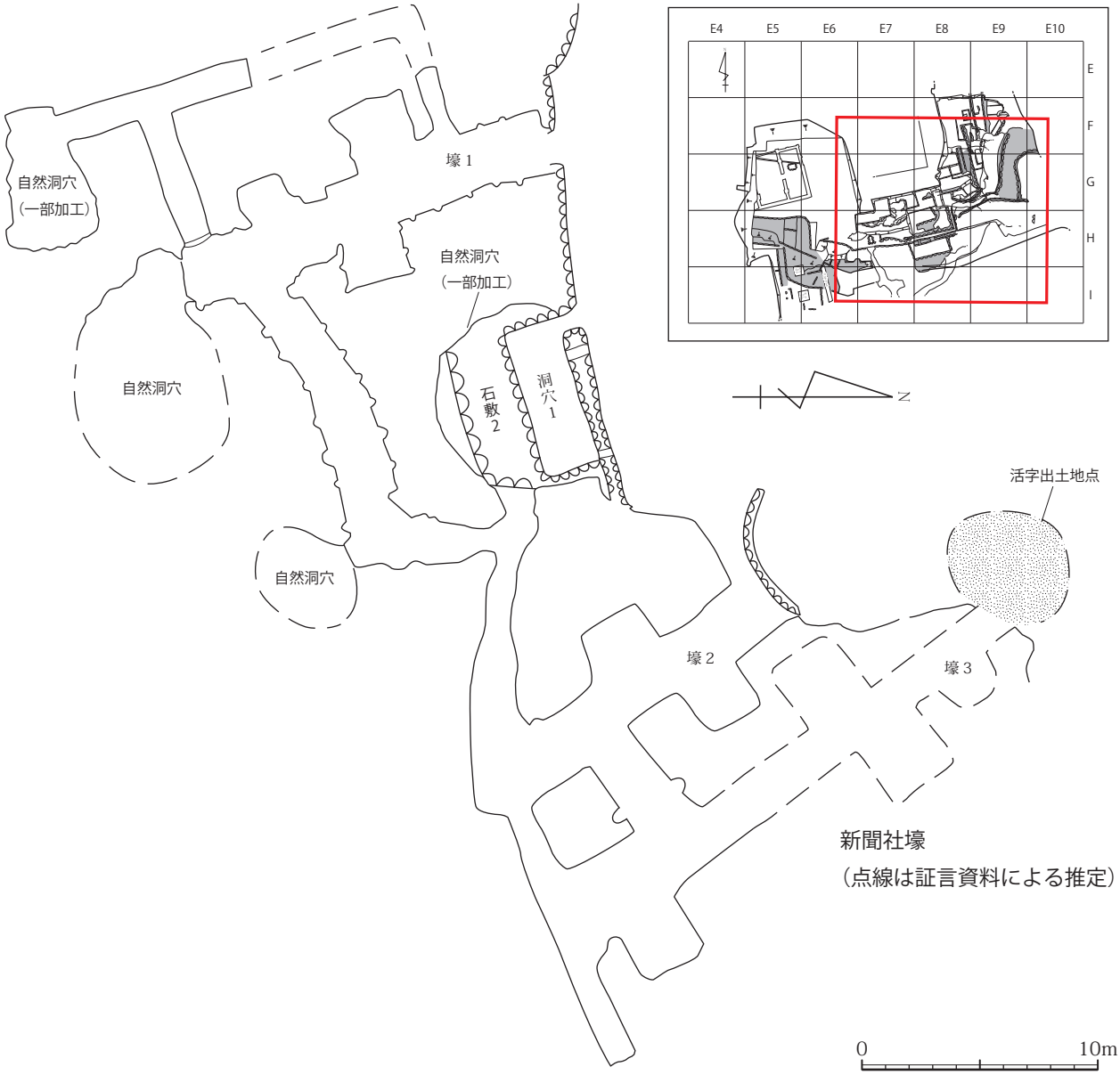




0 2m
(S=1/40)

第 32 図　石組み 3




第 33 図　壕 1 ～ 3・洞穴 1 平面略図（沖縄県の戦争遺跡より）

図版 3　壕 3 前遺物検出状況（北から）

## 第４節　遺物

今回の調査では、中国・タイ・ベトナム・朝鮮・日本・沖縄の各地で生産された陶磁器類をはじめとして、坩堝、瓦類、銭貨、円盤状製品、煙管、玉類、金属製品、石製品、貝製品、骨製品、ガラス製品、自然遺物などの多種多様な遺物が大量に出土した。これらは時期的に 14 世紀後半～ 19 世紀を主体とするが、14 世紀前半以前に遡るものや近代以降に位置づけられるものもみられる。また今回得られた遺物の特徴として、沖縄戦時に利用された本調査区の歴史的背景に基づく資料（統制番号を付した日本産陶磁器、新聞印刷に用いた金属製活字、御内原から運ばれた可能性の高い遺物群など）を多数含む点が挙げられる。種類別に報告する。

### 第１項　中国産陶磁器

#### １　青磁

中国産青磁は総数 1,486 点出土している。器種は碗・小碗・皿・盤・瓶・壺・小壺・鉢・擂鉢・香炉・蓋・水盤・器台・袋物で、最も多いのは碗である。年代的には 14 ～ 16 世紀である。

産地は龍泉窯系が大半であった。碗皿はいわゆる沖縄分類（瀬戸ほか 2007）で行い、これに当てはまらないものに関しては別に設定した。以下に分類概念を記し、特徴的な資料を第 34・35 図・図版４・５に示し個々の詳細については観察表にて提示する。

碗

器形や素地・釉薬からⅣ～Ⅶ類とそれに付随する数字は文様を示しており、0：無紋、１：連弁文、２：雷文・波濤文、３：その他となっている。なお文様については外面胴部について分類を行っている。Ⅴ－２’類（６）は珍しい製品で６点確認されている。

Ⅳ類　外底に釉薬が掛からず露胎する。素地は他よりも灰色を帯びる。底径に比べ口径が大きく、器形全体が大振りになる。無文が多い（１）。

Ⅳ’類　口縁部が玉縁状で、内底の釉剥ぎを行う。Ⅳ・Ⅴ類両方の特徴を有する資料がある（２）。

Ⅴ類　釉薬が厚く、外底全体を釉剥ぎや蛇の目釉剥ぎをする。底部の厚みがⅣ類よりある。重厚な資料である。文様のバリエーションも多い（３～８）。

Ⅴ－２’類　器高が低く、外面は雷文で、内底を釉剥ぎする。内底の釉剥ぎ部分に鹿の印文するものもある（６）。珍しい資料である。

Ⅵ類　高台の削りが浅く、底部の厚みがⅤ類より更に増す。口縁部・底部が小さく、腰が低くなり小振りな製品も多い。細蓮弁文が多い（９）。

Ⅶ類　釉薬は灰白色。器高が低くなる資料がある。文様は無文と波濤文がある。

幅広高台タイプ　口唇断面が方形になり、口が広がる器形で轆轤目が顕著である。龍泉窯系とは異なる印象がある（瀬戸 2014）。

皿

器形や素地・釉薬からⅣ～Ⅶ類とそれに付随する数字は文様を示しており、0：無紋、１：連弁文、２：雷文・波濤文、３：その他となっている。０・３は外面が無文で内面が有文のものである。

盤

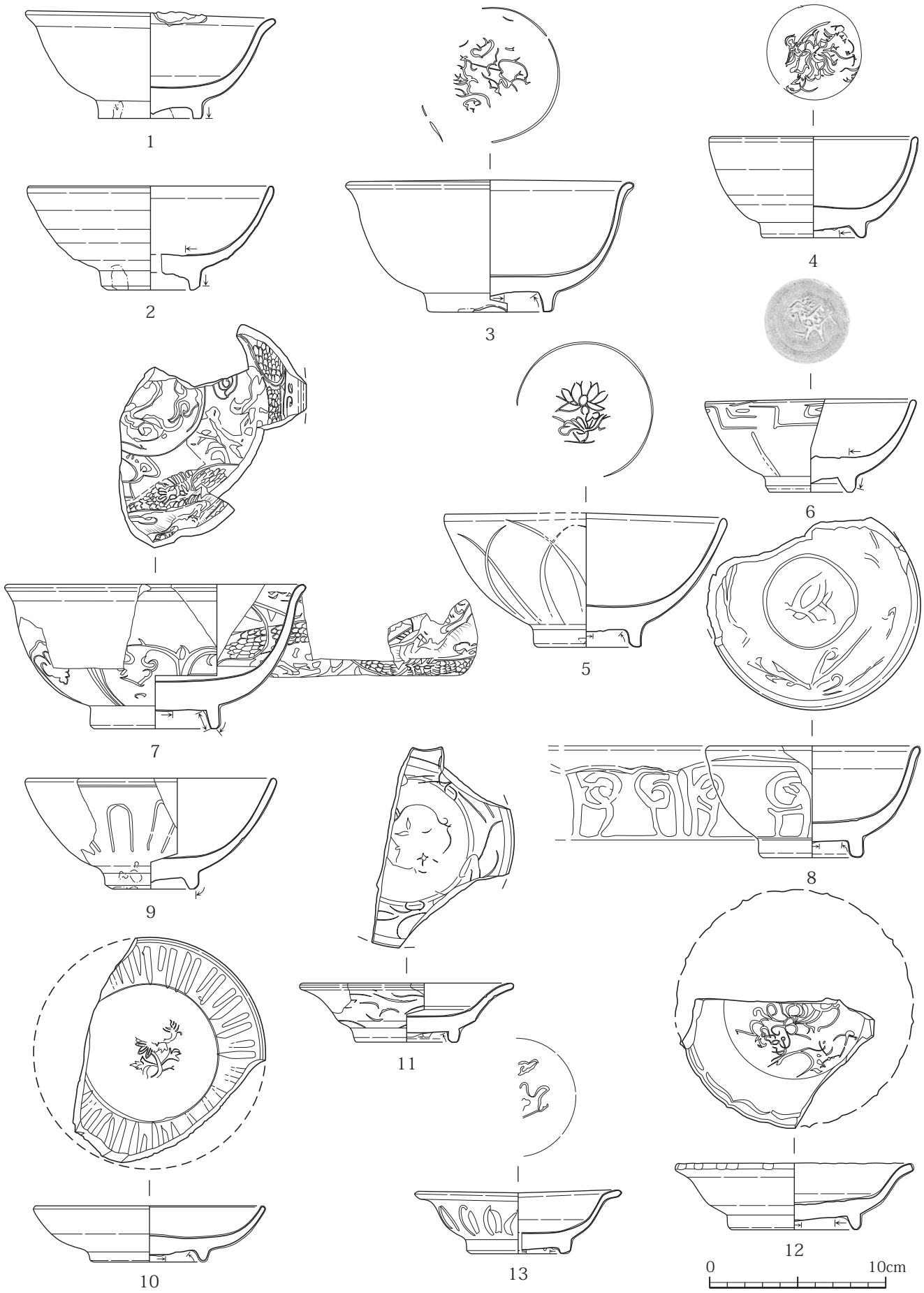
口縁部と底部の形状で分類を行った。口縁部が屈曲するものをＡとし、その中でも口唇部をつまみ上げないものをＡ―１（14）、つまみ上げるものをＡ―２とした。底部は有段なものをＡ（14）、碁笥底のものをＢとした。

その他

壺では酒会壺（16）、鉢（15）、香炉、擂鉢が出土している。

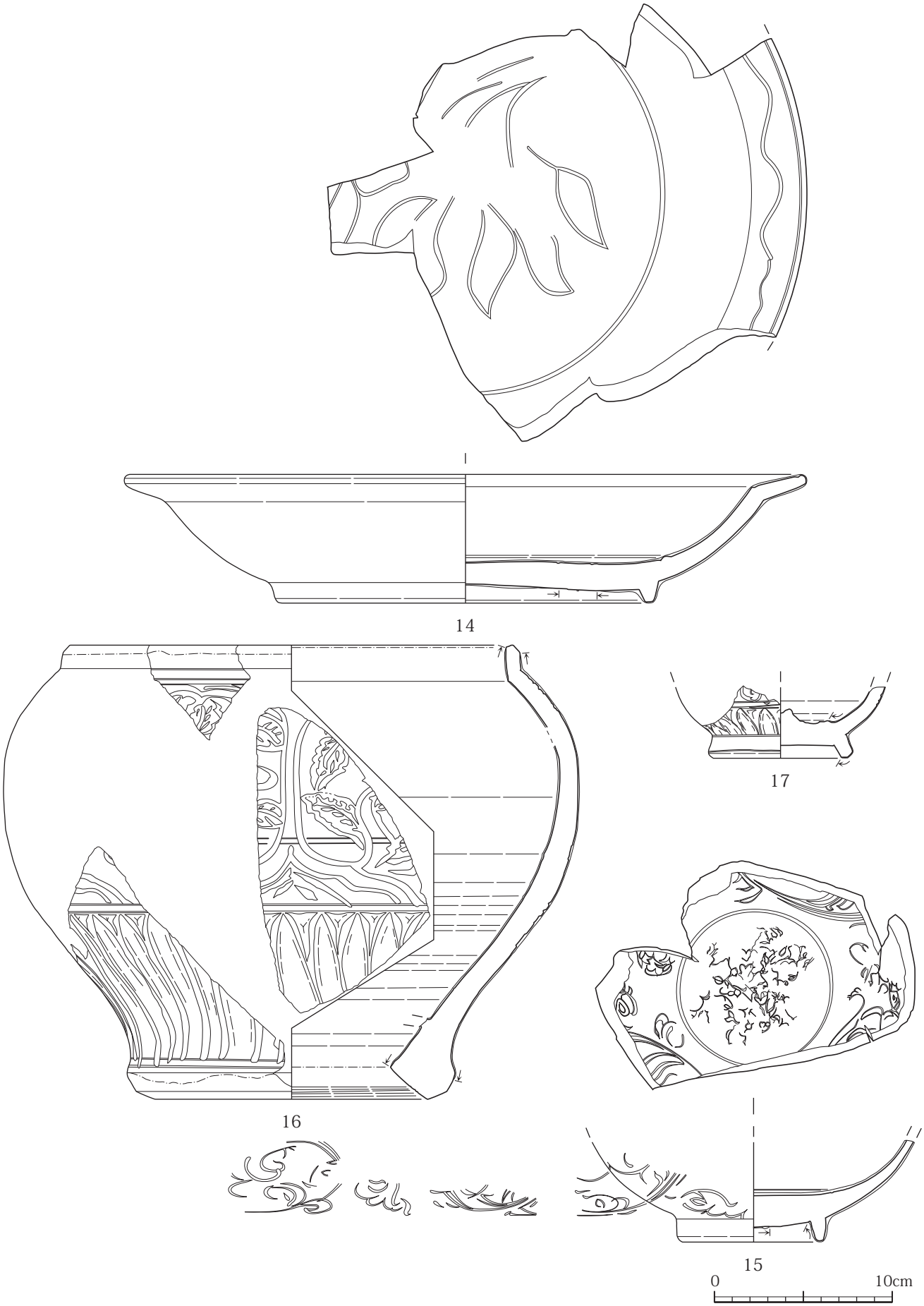
第１表　中国産青磁観察一覧

| 図・図版番号 | 番号 | 器種 | 分類 | | 部位 | 法量（cm） | | | 観察事項 | ナンバリング |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 口径 | 器高 | 底径 | | |
| 第34図 図版4 | 1 | 碗 | Ⅳ-0 | ― | 口～底 | 14.2 | 5.65～6.1 | 5.9 | 釉はオリーブ灰色で畳付まで施釉し外底は露胎する。素地は灰白色。口唇部に目跡？あり。 | H24 洞穴1内＋H24 石積み1解体 |
| | 2 | 碗 | Ⅳ'-0 | ― | 口～底 | 14.0 | 5.9 | 5.6 | 釉はオリーブ灰色で畳付まで施釉し外底は露胎、内底は釉剥ぎ。素地は灰色。 | H25 石積み10・11間 2層 |
| | 3 | 碗 | Ⅴ-0 | ― | 口～底 | 16.4 | 7.4～7.5 | 7.2 | 釉は暗オリーブ灰色で両面に施釉し、外底は蛇の目釉剥ぎ。文様は内底に草花文。 | H25 洞穴1内石敷き＋H24 洞穴1内 |
| | 4 | 碗 | Ⅳ-0 | ― | 口～底 | 11.9 | 5.7～5.75 | 6.0 | 釉はオリーブ灰色で外底は露胎。素地は灰白色。文様は内底に牡丹文。外底に耐火土付着。 | H24 洞穴1内 |
| | 5 | 碗 | Ⅴ-1 | ― | 口～底 | 15.4～16.1 | 7.3～7.6 | 6.15 | 釉はオリーブ灰色で外底を蛇の目釉剥ぎ。素地は灰白色。外面に蓮弁文、内底に牡丹文。外底に目跡あり。 | H25 石積み10・11間 1層 |
| | 6 | 碗 | Ⅴ-2' | ― | 口～底 | 12.0 | 5.15～5.3 | 5.2 | 釉はオリーブ灰色で、外面は施釉後に畳付の角の面取り部分で釉剥ぎを行い外底は露胎、内底は釉剥ぎ。素地は黄橙色～灰色で焼成不良と思われる。文様は外面に雷文と退化したと思われる蓮弁文、内底に鹿の印文。 | H24 石積み7前＋H24 表土 |
| | 7 | 碗 | Ⅴ-3 | ― | 口～底 | 17.2 | 8.2 | 7.4 | 釉はオリーブ灰色で、外底は蛇の目釉剥ぎ。素地は灰白色。文様は外面にラマ式蓮弁文、内面に四つ爪の龍文、内底は圏線内に瑞雲文。外底に目跡あり。 | H25 壕2・石積み16間＋H25 表土 |
| | 8 | 碗 | Ⅴ-3 | ― | 口～底 | 12.2 | 6.35 | 5.95 | 釉はオリーブ灰色で、外底は蛇の目釉剥ぎか。素地は橙色～浅橙色。文様は外面にラマ式蓮弁文、内面にヘラによる不明瞭な文様と内底に印文。 | H24 トレンチ2　2層 |
| | 9 | 碗 | Ⅵ-1 | ― | 口～底 | 14.3 | 6.3 | 5.35 | 釉はにぶい橙色で外底は露胎する。素地は橙色。文様は外面に細蓮弁文。 | H24 石積み5内 |
| | 10 | 皿 | Ⅴ-0 | 直口 | 口～底 | 13.2 | 3.2 | 6.7 | 釉はオリーブ灰色で、外底は蛇の目釉剥ぎ。素地は灰白色。文様は内面に35mm幅の2本１単位の櫛目を口縁部から底部に向け施文、内底に草花文。 | H25 石列6前 |
| 第34図 図版5 | 11 | 皿 | Ⅴ-3 | 外反 | 口～底 | 12.2 | 3.35 | 6.0 | 釉はオリーブ灰色～暗オリーブ灰色で、外底は蛇の目釉剥ぎ。素地は灰白色。文様はヘラによる蓮弁文や唐草文？、内面も唐草文？。外底に耐火土付着。 | H25 石積み10・11間 2層 |
| | 12 | 皿 | Ⅴ | 稜花 | 口～底 | 13.6 | 3.8 | 7.6 | 釉はオリーブ灰色で、外底は蛇の目釉剥ぎ。素地は灰白色。文様は内底に牡丹唐草文。 | H25 石列6前 |
| | 13 | 皿 | Ⅴ-1 | 口折 | 口～底 | 11.8 | 3.45～3.65 | 5.95 | 釉はオリーブ灰色で、外底は蛇の目釉剥ぎ。素地は灰白色。文様は外面に蓮弁文、内底に草花文か。外底に目跡あり。 | H25 石列6前 |
| 第35図 図版5 | 14 | 盤 | A-1・底A | ― | 口～底 | 38.4 | 7.2 | 21.4 | 釉はオリーブ褐色で、外底は蛇の目釉剥ぎ。素地は灰白色。文様は内面口縁部に波状文、内底に草花文。外底に目跡あり。 | H25 石列6前＋H25 壕3前＋H25 表土 |
| | 15 | 鉢 | ― | ― | 底部 | ― | ― | 8.4 | 釉はオリーブ灰色で、外底は蛇の目釉剥ぎ。素地は灰白色。文様は外面に唐草文、内面に唐草文と内底に草花文。外底に耐火土付着。 | H25 石列6前＋H25 表土 |
| | 16 | 壺 | ― | ― | 口～底 | 24.8 | 25.55 | 18.45 | 釉はオリーブ灰色で、口唇部と畳付は釉剥ぎ。素地は灰白色。文様は外面に蓮弁文と牡丹文か。内底は欠損している。内底に目跡あり。 | H25 石列6前＋H24 石積み1解体＋H24 表土＋H25 表土 |
| | 17 | 瓶 | ― | ― | 底部 | ― | ― | 8.1 | 釉はオリーブ灰色で、内面は底部途中まで施釉し内底は露胎。素地は灰白色。文様は外面に蓮弁文。外底に目跡あり。 | H24 表採 |




第 34 図　中国産青磁 1

図版４　中国産青磁１




第 35 図　中国産青磁 2

図版５　中国産青磁２

## 2　白磁

総点数 330 点が出土した（第 17 表）。器種は碗・小碗・皿・盤・杯・小杯・瓶・壺・酒会壺・器台・袋物が確認され、中でも碗・皿類が主体を占める。年代は 14 ～ 19 世紀までと幅広いが、15 ～ 16 世紀代の資料が多い。碗・皿・杯については、森田勉氏や新垣力氏の研究（森田 1982、新垣・瀬戸 2005）を参考として分類を行い、分類記号はいわゆる沖縄分類（瀬戸ほか 2007）の分類記号を付した。産地は景徳鎮窯系、福建系、徳化窯系、定窯系に分けられる。以下に分類概念を記し、特徴的な資料を第 36 図・図版 6 に示し個々の詳細については観察表にて提示する。

### 1　碗・皿・杯（1～8）

A 群　いわゆる「口禿」のもの。碗及び皿が出土。

C 群　厚手で口縁部が内湾するもの。高台内の削りが浅い。碗が出土。

1 群　内底は平坦で、圏線状の凹みがあるもの。金武分類のビロースクタイプⅠ類。

2 群　内底は丸みをおび、印花を施すもの。金武分類のビロースクタイプⅡ類。

3 群　内底は平坦で、口縁部が外反する厚手の碗。高台の抉りは浅い。素地は灰色で軟質を呈する。金武分類のビロースクタイプⅢ類。

D 群　厚みのある底部で、高台は低く小振りのもの。素地は軟質を呈する。福建省閩江上流域の邵武四都窯で生産されたと考えられる（1）。

中でも皿、杯については、高台形状により 2 種に細分を行った。

1 群　方形高台をもつもの。内面から外面胴部途中まで施釉するもので、高台際まで施釉されるものも含む（4）。

2 群　抉り高台をもつもの。内面から外面胴部途中まで施釉する（5）。

D' 群　D 群に素地・釉調が類似するもので、体部が外側に開く。素地は軟質を呈する厚みのあるもの。碗及び皿が出土。

E0 群　透明感のある灰白色の釉薬で、畳付に砂目が付着するもの。造りは薄手。碗（2）及び皿（6、7）が出土。

E 群　全体に不透明な灰白色の釉薬を掛けた後に畳付を釉剥ぎするもの。碗及び皿（8）が出土。

F 群　広い高台から胴部が直線的に開く直口浅めの碗。今帰仁タイプと称されるもの。

G 群　高台内の削りは平坦で、畳付の外縁を削る。体部は直線的に開く。素地は硬質を呈する。

その他、上記の分類に該当しないものとして、3 は薄手の浅い皿で、定窯系である。

### 2　盤（9、10）

直口口縁の盤。9 と 10 は同一個体と考えられる。景徳鎮窯系。

### 3　酒会壺、蓋（11、12）

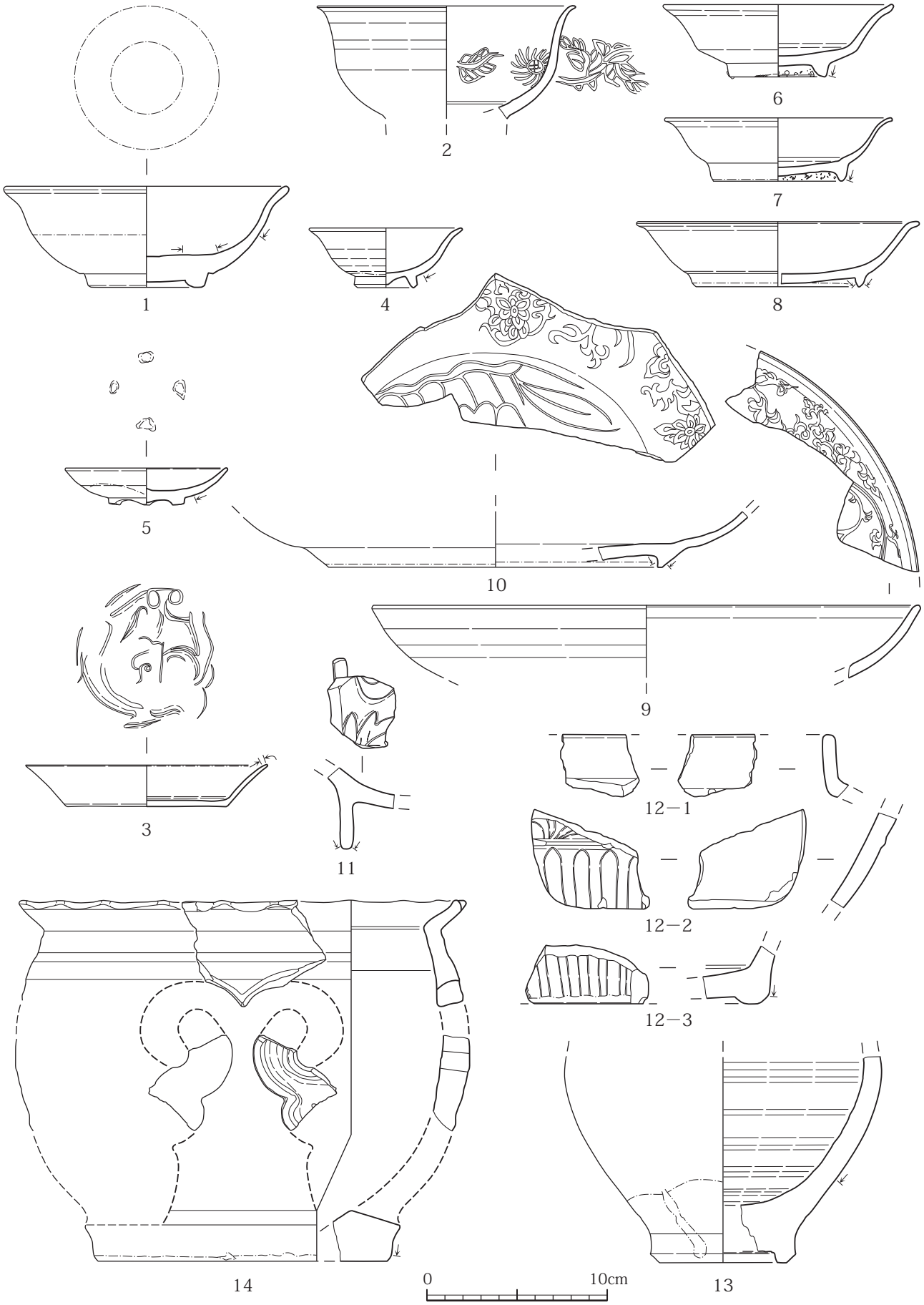
11 は酒会壺の蓋、12 は酒会壺で 12-1 ～ 3 は同一個体と考えられる。

### 4　壺、器台（13、14）

13 は胴部が丸みを帯びる壺で、福建系、14 は器台で景徳鎮窯系と考えられる。

第２表　中国産白磁観察一覧

| 図・図版番号 | 番号 | 器種 | 分類 | 部位 | 法量（ｃｍ） | | | 観察事項 | ナンバリング |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 口径 | 器高 | 底径 | | |
| 第36図 図版6 | 1 | 碗 | D | 口～底 | 15.8 | 5.6 | 6.4 | 釉は灰白色で、外面は胴部下半まで施釉するが、釉垂れがみられる。内底は蛇の目釉剥ぎ。両面に細かい貫入。外面口唇部下に稜をもつ。造りはやや雑。素地は灰白色。 | H25 洞穴1内 石敷き |
| | 2 | 碗 | E0 | 口縁部 | 14.4 | － | － | 釉は透明感のある灰白色で、両面に施釉。口唇部の造りは薄手で、内底は段をもつ。内面胴部に型押しによる菊文か。素地は灰白色。 | H25 基壇1 南側溝内<br>＋<br>H24 洞穴1内 |
| | 3 | 皿 | － | 口～底 | 13.4 | 2.3 | 8.8 | 釉はやや黄色味を帯びた灰白色を呈し、両面に施釉。口唇部を釉剥ぎ。ベタ底で、造りは薄手の浅い皿。内底にヘラ彫りによる草花文。定窯系。 | H25 石組3 |
| | 4 | 杯 | D1 | 口～底 | 8.5 | 3.3 | 3.5 | 釉は灰白色で、外面胴部下半まで施釉。外底中央部が尖る。素地はやや黄色味を帯びる灰白色。 | H25 石列6前 |
| | 5 | 皿 | D2 | 口～底 | 9.0 | 2.1 | 4.2 | 釉は灰白色で、外面胴部下半まで施釉。内外底中央部がやや尖る。内底に目跡が４箇所残る。抉り高台。素地はやや黄色味を帯びる灰白色。 | H25 石積み17 |
| | 6 | 皿 | E0 | 口～底 | 12.8 | 4.0 | 5.4 | 釉はやや透明感のある灰白色で、高台脇まで施釉。畳付から高台内にかけて砂が多く付着する。内底に段をもち、外面腰部は稜をもつ。全体的に造りはやや薄手。素地は白色。 | H25 洞穴1内 石敷き<br>＋<br>H25 洞穴1内 |
| | 7 | 皿 | E0 | 口～底 | 12.7 | 3.5 | 7.6 | 釉はやや透明感のある灰白色で、高台脇まで施釉。畳付から高台内にかけて砂が多く付着する。内底に段をもつ。造りは薄手。素地は白色。 | H25 洞穴1内<br>トレンチ2　3層<br>＋H25洞穴1内石敷き |
| | 8 | 皿 | E | 口～底 | 15.7 | 3.6 | 9.5 | 釉は鈍い灰白色を呈し、両面に施釉後、畳付を釉剥ぎ。高台内に砂が付着。 | H24 石積み5内 |
| | 9 | 盤 | － | 口縁部 | 30.4 | － | － | 釉は透明感のある明緑灰色を呈する。外面口唇部下を削り、稜をつくる。内面胴部に型押しによる牡丹唐草文か。景徳鎮窯系。 | H25 石敷き1 下層<br>＋<br>H25 表土 |
| | 10 | 盤 | － | 底部 | － | － | 18.5 | 釉はやや透明感のある明緑灰色を呈する。畳付を釉剥ぎ。内面胴部に型押しによる牡丹唐草文か、内底にヘラ彫りによる草花文か。景徳鎮窯系。 | H25 表土 |
| | 11 | 蓋（酒海壺） | － | 庇～袴 | － | － | － | 釉は灰白色を呈する。内外面に施釉し、袴端部を釉剥ぎ。外面に片切り彫りによる花唐草文。景徳鎮窯系。 | H24 石積み7前<br>＋ H24 表土<br>＋ H25 石積み17<br>＋ H25 表土 |
| | 12－1 | 酒海壺 | － | 口縁部 | － | － | － | 灰白色の釉を両面に施釉し、外底は露胎。外面胴部に陽刻の唐草文と蓮弁文。12-1～3は同一個体と考えられる。景徳鎮窯系。 | H25 トレンチ1　6層<br>＋ H24 石積み6前<br>＋ H24 表土<br>＋ H25 壕3前<br>＋ H25 表土 |
| | 12－2 | 酒海壺 | － | 胴部 | － | － | － | | |
| | 12－3 | 酒海壺 | － | 底部 | － | － | － | | |
| | 13 | 壺 | － | 底部 | － | － | 8.1 | 釉は透明釉で、内面から外面胴部下半まで施釉。底部は厚く、高台をもつ。内面はろくろ痕が明瞭。福建系。 | H25 石列6前<br>＋ H25 壕3前<br>＋ H25 表土 |
| | 14 | 器台 | － | 口～底 | 24.8 | － | 16.4 | 灰白色の釉を両面に施釉し、外底は露胎。口縁部は「く」の字状に屈曲し、稜花状を呈する。被熱を受けた可能性が考えられる。景徳鎮窯系。 | H24 石積み7前<br>＋ H24 石積み6前<br>＋ H24 表土 |




第 36 図　中国産白磁

図版６　中国産白磁

## 3　中国産青花

中国産青花は総数 542 点出土している。器種は碗・小碗・皿・盤・杯・小杯・瓶・壺・小壺・鉢・蓋・水注・高足杯・合子の身・袋物で、最も多いのは碗である。年代的には 15 ～ 19 世紀である。

産地は景徳鎮窯と福建産、福建・広東系、徳化窯系、漳州窯系に大別できた。特に景徳鎮窯の碗皿は記号を用い分類を行ったが、分類はいわゆる沖縄分類（瀬戸ほか 2007）を参考にし、当てはまらないものに関しては別に設定した。以下に分類概念を記し、特徴的な資料を第 37 図・図版 7 に示し個々の詳細については観察表にて提示する。

### 景徳鎮窯

最も多い出土量を誇る。詳細な分類について器種毎に紹介する。

碗・小碗

Ｂ１群：口縁部が外反し、腰部の張りが強い。15 世紀前半～ 16 世紀前半（５）。

Ｂ２群：口縁部が外反し受口状になるもので、腰部の張りがＢ１より弱い。16 世紀後半～ 17 世紀初と考えられる。

Ｂ１群かＢ２群か判別ができない資料に関してはＢ群でまとめた。このＢ群が多く出土している。

Ｃ群：蓮子碗。口縁部は外反や直口で内定が凹み、腰部から口縁部にかけて緩やかな丸みをもって立ち上がる（１）。

Ｃ’群：口縁部が強く折れ、内底が凹み、腰部から口縁部にかけて緩やかな丸みをもって立ち上がる。文様は人物文などがある。

Ｄ群：口縁部が直口で、腰部から口縁部にかけて直線的に立ち上がる。口縁部に波濤文、胴部のアラベスク文、内底に十字文。

Ｅ群：饅頭心と呼ばれるもの。口縁部は直口で内底が盛り上がる。

Ｇ’群：口縁部が直口で口唇部が舌状になり、腰部から口縁部にかけて直線的に立ち上がる。文様はＢ１・Ｃ群に近い文様が多く独自である。Ｄ群と全体的な器形は類似しているが、舌状口唇と焼成・素地良好である傾向がある（２）。

皿

Ａ群：腰部に角張り、口縁部が外反するもの（６）。

Ｂ１群：口縁部が端反で高台を持つもの。文様は外面胴部に唐草文、内底に玉取獅子文・十字花文がある（７）。

Ｃ群：碁笥底。文様は外面胴部に芭蕉文、口縁部に波濤文、内底には花鳥文（８）。

### 徳化窯系

素地は白色で緻密で、光沢があるものが多く、碗・皿・鉢がある。碗は寿字文＋花文、丸文＋草花文や草花文（３）と徳化窯系特有の文様もあるが、景徳鎮窯と同じ文様構成の資料もある。

### 福建産、福建・広東系

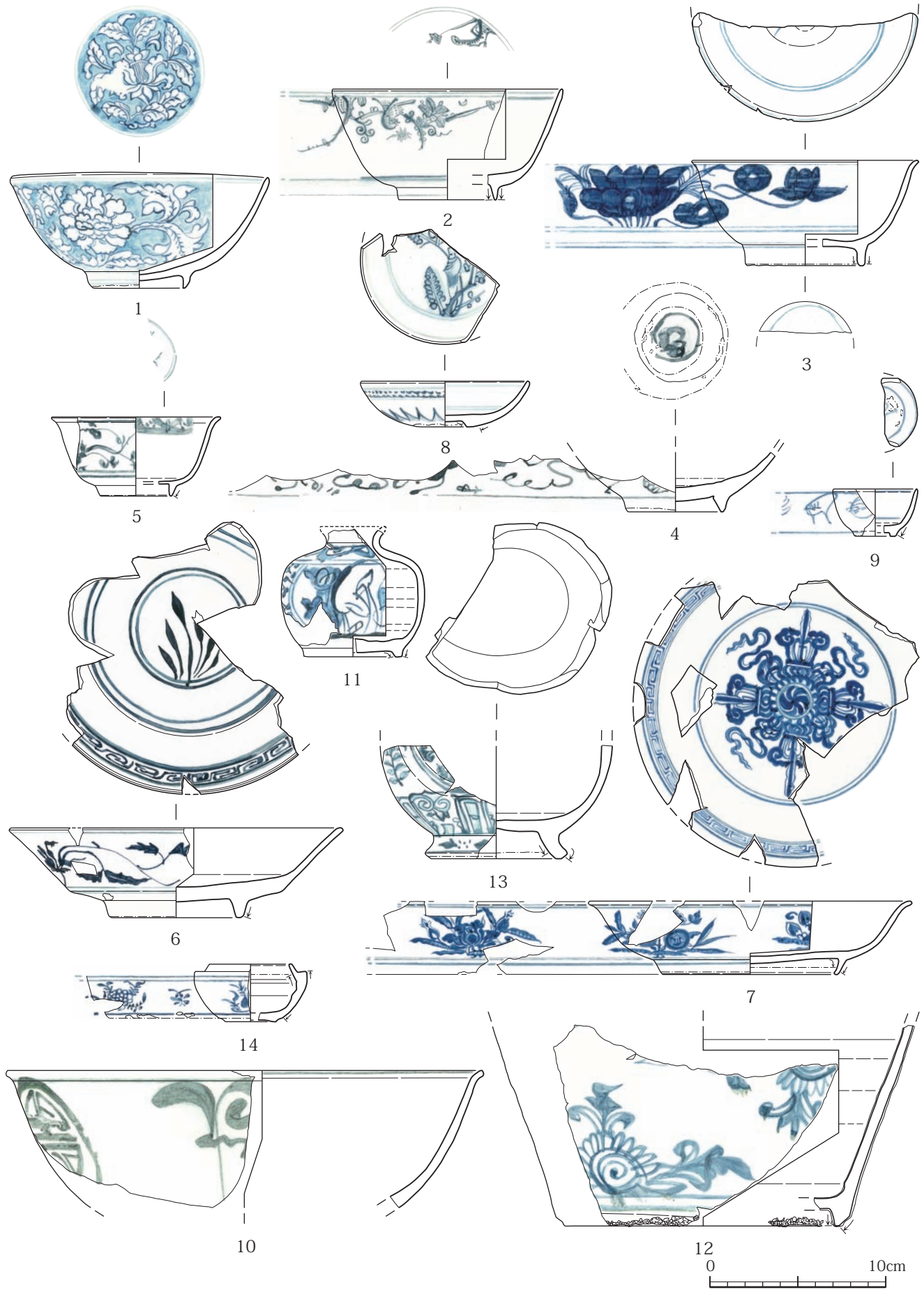
景徳鎮窯に次いで出土量が多く、碗・皿・鉢（10）がある。碗が大半を占め、文様は草花文や印判による施文を行う。粗製の資料も多い。

### 漳州窯系

素地は灰白色で白化粧をし、絵付けを行う。光沢があるもの、発色が悪く表面が白っぽくなるものがある。碗・皿・盤・瓶・壺・小壺（11）・蓋がある。壺の 12 は御内原北地区から出土している四耳壺（沖縄県埋文 2013）と同一個体である。

第３表　中国産青花観察一覧

| 図・図版番号 | 番号 | 器種 | 分類 | 部位 | 産地 | 法量（ｃｍ） | | | 観察事項 | ナンバリング |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 口径 | 器高 | 底径 | | |
| 第37図 図版7 | 1 | 碗 | C | 口～底 | 景徳鎮窯 | 14.8 | 6.3～6.6 | 5.8 | 釉は明緑灰色で両面に施釉し、畳付は釉剥ぎ。素地は白色。文様は外面と内底に牡丹唐草文。口縁部が少し肥厚する。 | H24 石積み5内 |
| | 2 | 碗 | G’ | 口～底 | 景徳鎮窯 | 13.1 | 6.3 | 5.6 | 釉は灰白色で両面に施釉し、畳付は釉剥ぎ。素地は灰白色。文様は外面に花鳥文で内底にも文様あり。口唇部が少し肥厚する。 | H24 石積み5内 |
| | 3 | 碗 | ― | 口～底 | 徳化窯系 | 12.9 | 6.0 | 6.8 | 釉は透明で両面に施釉し、畳付は釉剥ぎ。素地は白色と思われる。文様は外面に蓮文。畳付が凸凹している。 | H24 表土 |
| | 4 | 碗 | ― | 底部 | 福建産 | ― | ― | 5.7 | 釉は透明で両面に施釉し、外底は露胎で内底は蛇の目釉剥ぎ。素地は灰色。文様は外面に花唐草文で内底に丸文。内底に重ね焼の目跡、外底に鉋痕あり。 | H25 トレンチ1 |
| | 5 | 小碗 | B1 | 口～底 | 景徳鎮窯 | 9.6 | 4.5 | 4.2 | 釉は青白色を両面に施釉し、畳付は釉剥ぎで外底は露胎か。素地は灰白色。文様が外面に法相華唐草文で内面の口縁に四方襷文と内底に文様あり。 | H25 壕3前 |
| | 6 | 皿 | A | 口～底 | 景徳鎮窯 | 19.0 | 5.1 | 7.6 | 釉は青白色で両面に施釉し、畳付は釉剥ぎで外底は露胎。素地は灰白色。文様は外面に牡丹唐草文で内面は口縁部に雷文と内底に草花文。 | H25 基壇1 南側溝内<br>＋ H24 洞穴1内<br>＋ H25 石敷き1 下層<br>＋ H25トレンチ1 6層 |
| | 7 | 皿 | B1 | 口～底 | 景徳鎮窯 | 18.4 | 4.2 | 10.1 | 釉は青白色で両面に施釉し、畳付を釉剥ぎ。素地は白色。文様は外面に牡丹などの草花文と内面の口縁部に雷文と内底に十字花文。底部中央が若干下がる。 | H25 石列6前<br>＋ H25 石積み14前<br>＋ H25 表土 |
| | 8 | 皿 | C | 口～底 | 景徳鎮窯 | 9.6 | 2.6 | 3.0 | 釉は青白色で両面に施釉し、畳付は釉剥ぎ。素地は灰白色。文様は外面に波涛文と芭蕉文で、内底に花鳥文。内底中央が若干下がる。 | H24 石積み5内 |
| | 9 | 小杯 | ― | 口～底 | 景徳鎮窯 | 4.8 | 2.7 | 2.4 | 釉は灰白色で両面に施釉し、畳付は釉剥ぎし外底は露胎か。外面は不明な文様で、内底にも文様あり。 | H25 不明 |
| | 10 | 鉢 | ― | 口縁部 | 福建・広東系 | 27.2 | ― | ― | 釉は灰白色で両面に施釉。素地は灰白色。文様は外面に丸文と草花文。胴部途中に釉薬の液溜りがある。 | H25 壕1内<br>＋<br>H25 表土 |
| | 11 | 小壺 | ― | 口～底 | 漳州窯系 | ― | ― | 5.6 | 両面に白化粧後に透明釉を施釉し、畳付は釉剥ぎで内面は一部露胎。素地は灰色。文様は外面に連弁文と魚鱗文と区画内に草花文か。 | H24 表土 |
| | 12 | 壺 | ― | 底部 | 漳州窯系 | ― | ― | 16.8 | 両面に白化粧後に青白色の透明釉を施釉。素地は明灰色。文様は外面に龍文と草花文。胴部途中で胴接ぎを行う。畳付に多量の砂付着。 | H24 石積み5内 |
| | 13 | 水注 | ― | 底部 | 景徳鎮窯 | ― | ― | 8.1 | 釉は灰白色で両面に施釉し、外底は一部露胎。素地は灰白色。文様は外面に連弁文と草花文。外面胴部には段を有し盛り上がっており、窓のように成形する。脚部は別に製作し底部に接いでいる。 | H25 表土 |
| | 14 | 合子・身 | ― | 口～底 | 景徳鎮窯 | 4.8 | 3.3 | 2.9 | 釉は青白色で両面に施釉し、外底と口縁部、内面の一部は露胎。素地は白色。文様は外面に草花文や蝶。底部付近の胴部に砂付着。 | H25 表土 |




第 37 図　中国産青花

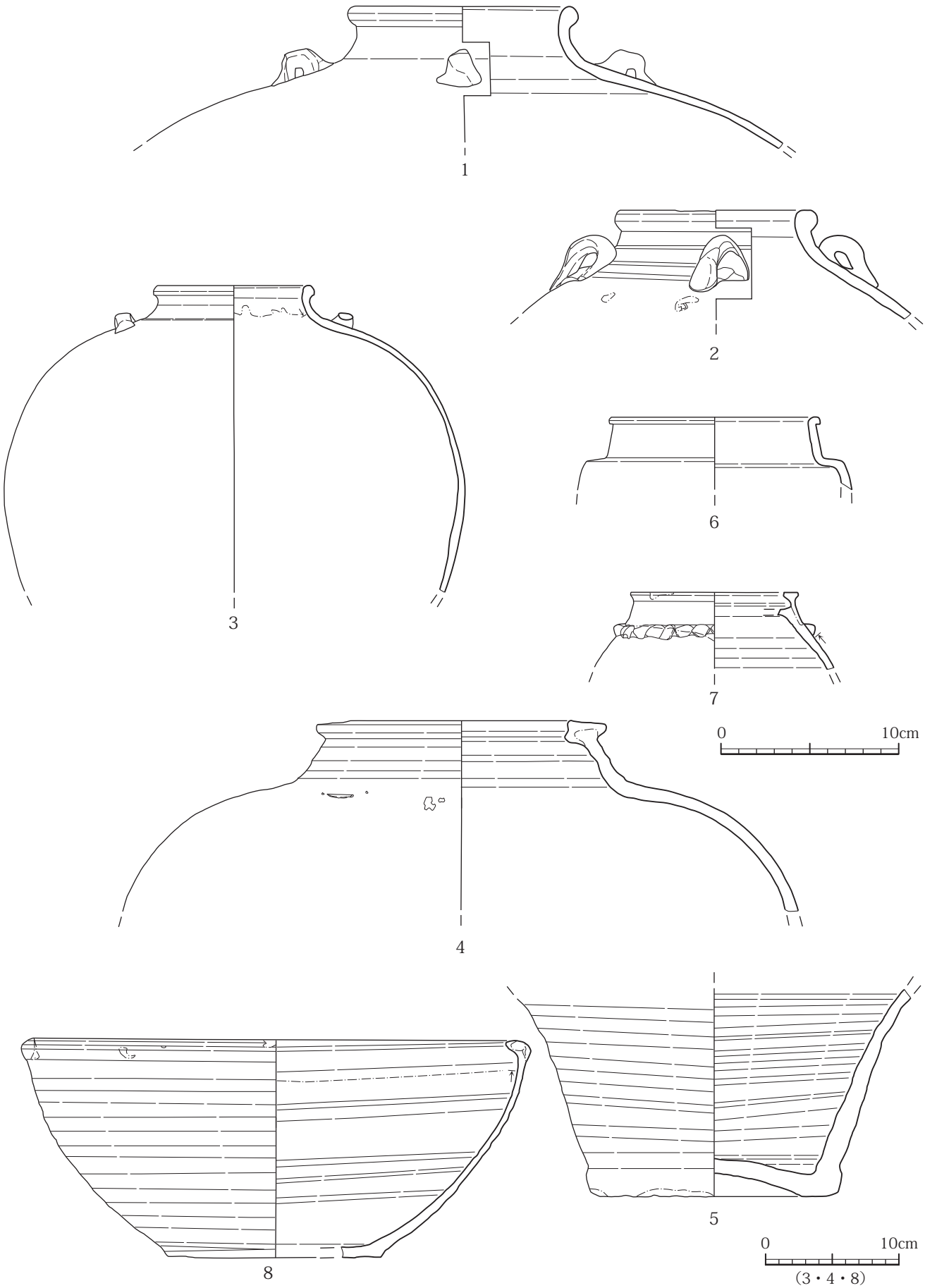
図版７　中国産青花

## 4　褐釉陶器

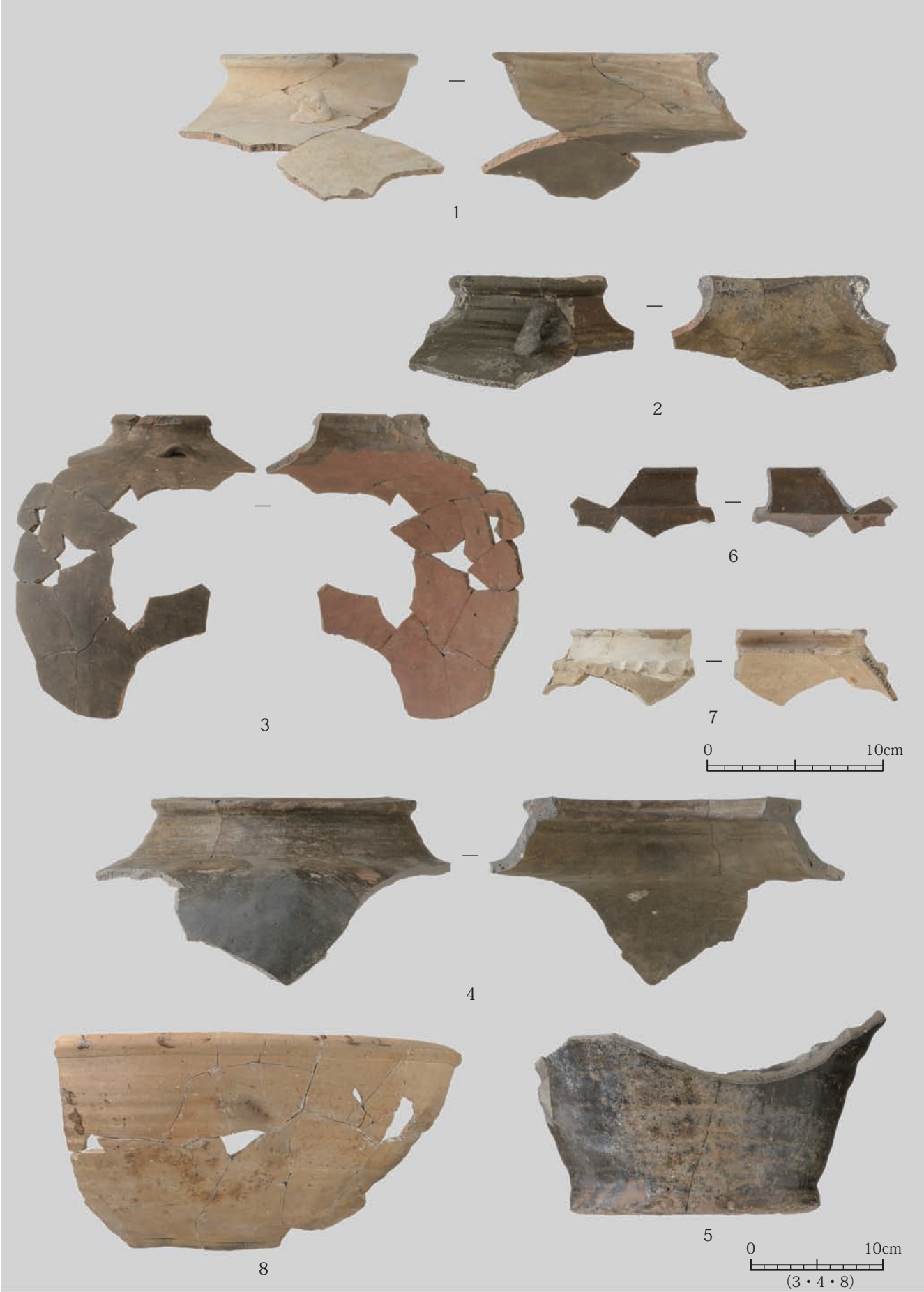
褐釉陶器は大型壺・小型壺・水注・鉢などの器種が確認されており、いずれも福建省や広東省などの南部地域で生産されたと考えられる。年代別にみるとグスク時代の製品が圧倒的多数を占め、近世と推定されるものはほとんどみられない。以下、特徴的な資料を第 38 図・図版 8 に示し、個々の詳細は観察表（第 4 表）に記す。

第 4 表　中国産褐釉陶器観察一覧

| 図・図版番号 | 番号 | 器種 | 部位 | 法量（cm） | | | 釉(色・範囲) | 素地(色・質・混和材) | 所見 | ナンバリング |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 口径 | 器高 | 底径 | | | | |
| 第38図 図版8 | 1 | 壺 | 口縁部 | 12.95 | － | － | 暗灰黄色の釉を薄く施釉し、その上に白濁釉を外面から内面頸部下まで施釉。 | にぶい橙色を呈し、石英、赤色粒、白色粒を含む。 | 口縁部は玉縁口縁でやや外傾する。肩部に縦耳貼付。 | H25 壕3前 |
| | 2 | 壺 | 口縁部 | 11.4 | － | － | オリーブ黒色の釉を施釉。 | 褐灰色を呈し、石英、赤色粒を含む。 | 口縁部は玉縁口縁で、頸部～肩部に縦耳貼付。 | H24 トレンチ2　2層 |
| | 3 | 壺 | 口縁部 | 12.1 | － | － | 暗灰黄色の釉を内面頸部まで施釉。 | にぶい褐色～鈍い赤褐色を呈し、石英を含む。 | 口縁部は玉縁口縁で、肩部に横耳貼付。 | H25 トレンチ3　3層 |
| | 4 | 壺 | 口縁部 | 21.8 | － | － | 暗灰黄色の釉を内外面に施釉。 | 灰黄褐色を呈し、石英、褐色粒を含む。 | 口唇端部や肩部に目跡あり。 | H25 石列6前 |
| | 5 | 壺 | 底部 | － | － | 13.8 | オリーブ黒色の釉を内外面に施釉。外底は露胎。 | 灰黄色を呈し、石英を含む。 | 外底に目跡あり。 | H24 石積み5内 |
| | 6 | 小壺 | 口縁部 | 11.9 | － | － | 暗褐色の釉を内面頸部まで施釉。 | 灰赤～褐灰色を呈し、黒色粒、赤色粒、白色粒を含む。 | 肩部に稜をもつ。洪塘窯。 | H24 石積み7前 |
| | 7 | 水注 | 口縁部 | 9.4 | － | － | 外面に白濁釉の上からオリーブ褐色の釉薬を施釉。 | 灰黄色を呈し、石英を含む。石英、褐色粒を少量含む。 | 内面口縁部下に受け部があり、外面頸部に波状の突帯を貼付。 | H25 石列5前<br>＋<br>H25 壕3前 |
| | 8 | 鉢 | 口～底 | 38.3 | 16.4 | 16.0 | 黒褐色の釉を内面口縁部下部から内底にかけて施釉。 | にぶい黄橙色を呈し、石英、黒色粒を含む。 | 口唇部内側は舌状に尖る。平底。 | H24 石積み5内 |




第 38 図　中国産褐釉陶器




図版８　中国産褐釉陶器

## 5　その他の中国産陶磁器

ここでは、前述した４種類以外の中国産陶磁器をまとめて紹介する。以下、特徴的な資料を第 39・40 図・図版９・10 に示すとともに分類概念を述べ、個々の観察所見は第５表に記す。

### （1）色絵

五彩（１～４）、粉彩（５・６）、黄地彩（７）が確認されている。１と２は端反口縁の皿で、１は両面、２は内面に上絵付けで文様を施す。いずれも景徳鎮窯産だが、１は明代で２は清代と想定される。３は端反口縁の碗で、両面に上絵付けで文様を描き、外底に青花で帝王年款を施す。清代の景徳鎮窯産。４は腰折で端反口縁を呈する小杯で、両面に青花と上絵付けで文様を施す。明代の景徳鎮窯産。５は蓋付きと想定される直口口縁の碗で、外底に青花で銘款を施す。清代の景徳鎮窯産。６は口唇部を花弁状に成形する端反口縁の碗で、７はいわゆる玉壺春形の瓶である。いずれも清代の景徳鎮窯産。

### （2）瑠璃釉

器種は碗（８）・小碗（９）・小杯（10）・瓶（11）・香炉（12）が確認されている。８は腰が張り口縁部の直口するもので、外底に青花で銘款を施す。明代の景徳鎮窯産。９と 10 はいずれも口唇部を釉剥ぎする型成形の製品で、外面に成形時の痕跡が残る。清代の徳化窯産。11 はいわゆる玉壺春形の瓶である。明代の景徳鎮窯産。12 は体部が丸みを持つ内湾口縁の三足香炉で、清代の景徳鎮窯産と考えられる。

### （3）紫釉

13 は端反口縁を呈する碗で、外底に青花で帝王年款を施す。清代の景徳鎮窯産。

### （4）天目

14 は高台内抉りが浅く高台際を水平に削る特徴から、森本朝子氏分類（森本 1994）のⅧ類に相当する。明代の南平茶洋窯産。

### （5）華南三彩

器種は水注（15・16）と水滴（17）などが確認されており、15 は長胴丸形または瓜形、16 は仙盞瓶形、17 は鳥形（鴨？）の製品である。いずれも明代で福建省や広東省などの南部地域で生産されたと考えられる。

### （6）銅緑釉

福建省や広東省などの南部地域で生産されたと考えられる軟質陶器で、壺（18・19）とそれに対応する蓋（20）が確認されているが、これらは器形や色調などの特徴から明代龍泉窯産青磁の酒会壺に類似している。年代は清代と想定される。

### （7）無釉陶器

紫砂の範疇と考えられる一群（21 ～ 27）と、前述した褐釉陶器と同産地の可能性が高いもの（28）があり、器種は急須や鉢などが確認されている。年代及び産地については、前者は清代の宜興窯などが想定され、後者は明代で福建省や広東省などの南部地域に由来すると思われる。

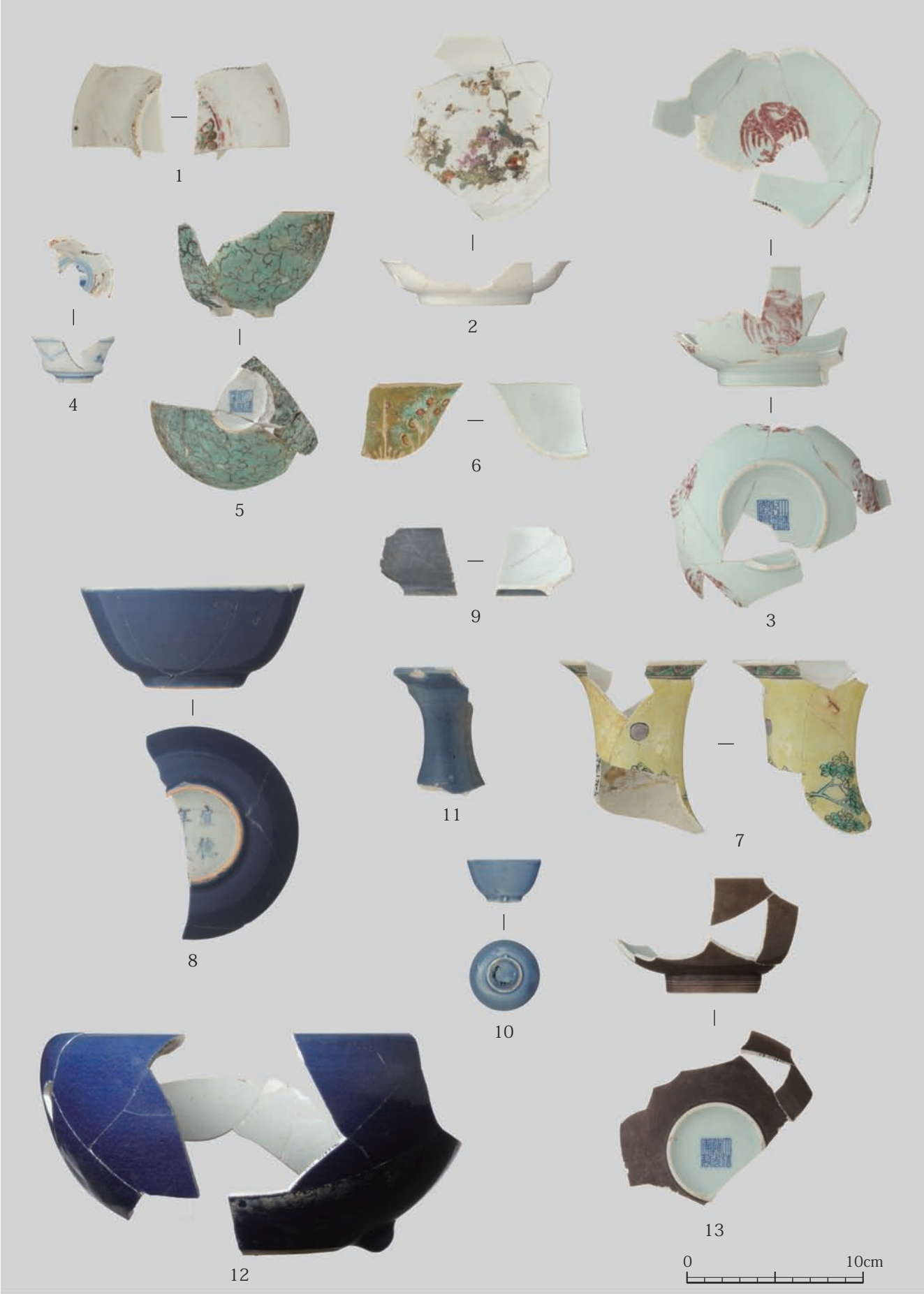
第５表　その他の中国産陶磁器観察一覧１

| 図・図版番号 | 番号 | 種別 | 器種 | 分類 | 部位 | 産地 | 法量(cm) 口径 | 器高 | 底径 | 観察事項 | ナンバリング |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第39図 図版9 | 1 | 五彩 | 皿 | A | 口～底 | 中国 | 13.8 | 2.9 | 6.8 | 透明釉を内外面に施釉。畳付は釉剥ぎ。素地は灰白色。内底及び外面胴部に赤、緑の上絵付けによる花唐草文。高台に砂目付着。 | H24 表土 |
| | 2 | 五彩 | 皿 | B | 口～底 | 中国 | 11.0 | 2.65 | 6.3 | 透明釉を内外面に施釉。畳付は釉剥ぎ。素地は灰白色。内底に花唐草文で、輪郭を黒で引き、赤、緑、黄色？の上絵付け。造りは薄手。 | H24 石積み5内<br>＋<br>H24 石積み5 |
| | 3 | 五彩 | 碗 | C | 口～底 | 中国 | 14.4 | 6.85 | 6.2 | 透明釉を内外面に施釉。畳付は釉剥ぎ。素地は白色。内底及び外面胴部に赤、緑、黄色？の上絵付けによる鳳凰文。外面は5単位。外底に「大清乾隆年製」の銘。造りは薄手。 | H24 石積み5 裏込め<br>＋<br>H24 表土 |
| | 4 | 五彩 | 小杯 | ― | 口～底 | 中国 | 5.0 | 2.65 | 2.1 | 透明釉を内外面に施釉。畳付は釉剥ぎ。素地は白色。内面に赤、緑の上絵付けによる花唐草文。 | H24 洞穴1内<br>＋<br>H25 洞穴1内 |
| | 5 | 粉彩 | 碗 | A | 口～底 | 中国 | 11.0 | 5.95 | 3.7 | 透明釉を内外面に施釉。畳付は釉剥ぎ。素地は灰白色。外面全体に緑、金？で色付けし黒の線描きによる文様。外底に「大清乾隆年製」の銘。 | H24 石積み5<br>＋<br>H24 表土 |
| | 6 | 粉彩 | 碗 | B | 口縁部 | 中国 | 9.8 | ― | ― | 透明釉を内外面に施釉。素地は白色。外面に黒の輪郭線で植物と虫を描き、赤、緑、黄色、金？で色付け。口縁部は輪花を呈し、造りは薄手。 | H24 洞穴1内 |
| | 7 | 黄地彩 | 瓶 | ― | 口縁部 | 中国 | 9.0 | ― | ― | 透明釉を内外面に施釉。素地は灰白色。外面に黒の輪郭線で丸文、葉文を描き、黄色、緑、黄緑、紫で色付け。造りは薄手。 | H25 洞穴1内 石敷き下<br>＋ H24 洞穴1内<br>＋ 1フィート |
| | 8 | 瑠璃釉 | 碗 | ― | 口～底 | 中国 | 12.8 | 5.65<br>～<br>5.85 | 5.5 | 外面に瑠璃釉、内面及び高台内に青灰白の釉を施釉。畳付は釉剥ぎ。素地は白色。外底に「宣徳年製」の銘。直口口縁。 | H24 石積み5内 |
| | 9 | 瑠璃釉 | 小碗 | B | 口～底 | 中国 | 9.6 | 3.95 | 4.6 | 外面に瑠璃釉、内面に灰白色の釉を施釉。口唇部は釉剥ぎ。素地は白色。 | H24 表土 |
| | 10 | 瑠璃釉 | 小杯 | ― | 口～底 | 中国 | 4.2 | 2.45 | 2.0 | 外面に瑠璃釉、内面に灰白色の釉を施釉。素地は白色。高台に砂目付着。 | H24 洞穴1内 |
| | 11 | 瑠璃釉 | 瓶 | ― | 口縁部 | 中国 | 7.6 | ― | ― | 外面に瑠璃釉、内面に明緑灰白の釉を施釉。素地は白色。 | H24 石積み5内 |
| | 12 | 瑠璃釉 | 香炉 | ― | 口～底 | 中国 | 22.8 | 12.5 | 9.6 | 外面に瑠璃釉、内面に灰白色の釉を施釉。素地は白色。内底及び外底は釉剥ぎ。口縁部内側は玉縁状に肥厚する。 | H24 洞穴1内<br>＋<br>1フィート |
| | 13 | 紫釉 | 碗 | ― | 口～底 | 中国 | 15.2 | 6.65 | 5.6 | 外面に赤黒色釉、内面及び高台内に透明釉を施釉。畳付は釉剥ぎ。素地は白色。外面に線彫りによる龍文、雲文、波頭文？、高台に雷文と2条の圏線。外底に「大清道光年製」の銘。造りは薄手。 | H24 表土 |
| 第40図 図版10 | 14 | 黒釉陶器 | 碗 | ― | 口～底 | 中国 | 13.0 | 6.45<br>～<br>6.7 | 4.6 | 内底から外面胴部途中まで黒褐色釉と暗オリーブ褐色釉を二度掛け。素地は灰白色。口唇断面は尖る。天目。 | H24 洞穴1内 |

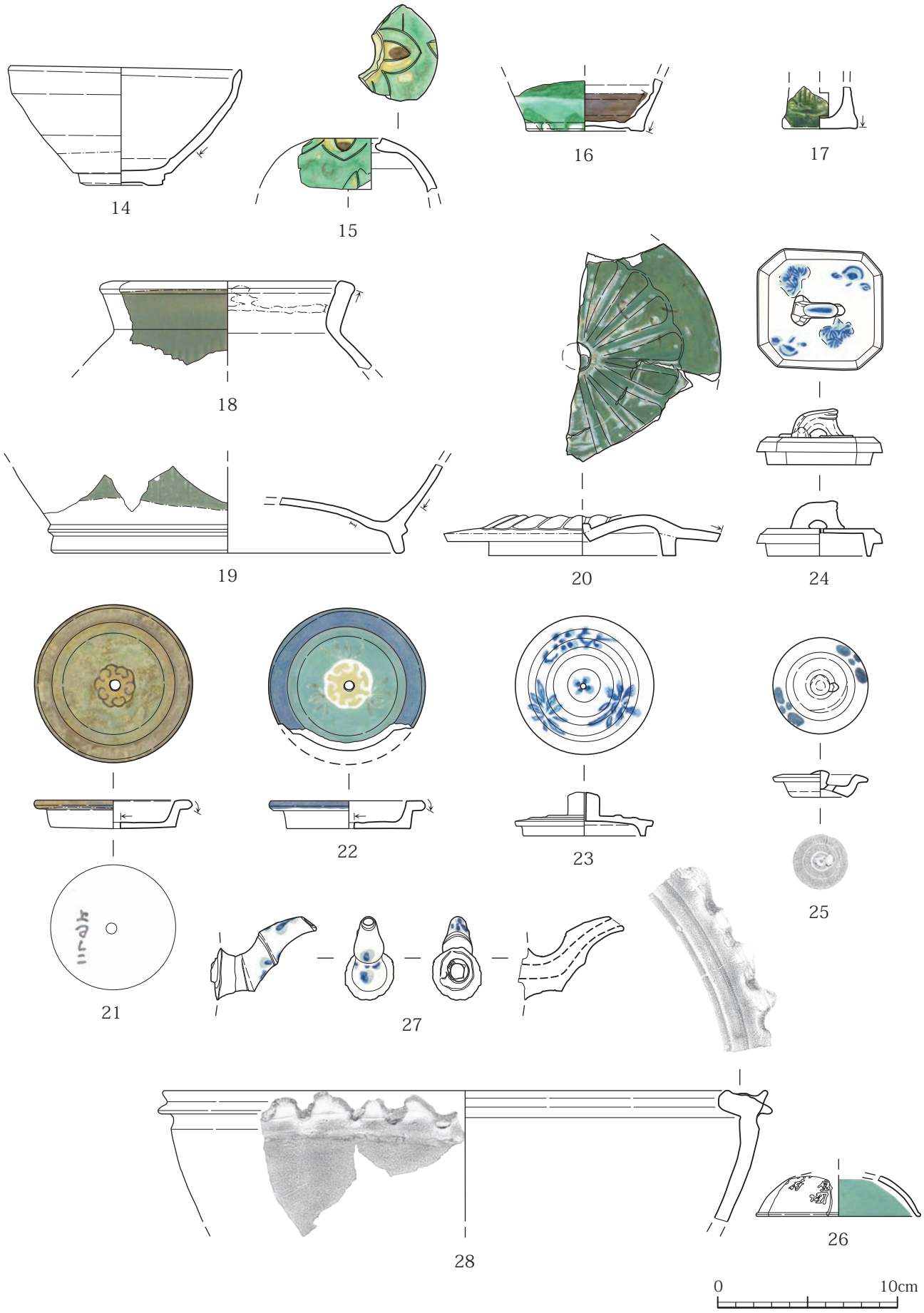
第５表　その他の中国産陶磁器観察一覧２

| 図・図版番号 | 番号 | 種別 | 器種 | 分類 | 部位 | 産地 | 法量(cm) 口径 | 器高 | 底径 | 観察事項 | ナンバリング |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第40図 図版10 | 15 | 華南三彩 | 水注 | ― | 口縁部 | 中国 | 3.8 | ― | ― | 口縁内側から外面に白化粧を施し、その上に外面緑釉を施釉。線刻と緑釉地に黄色と茶色で口縁部に蓮弁文、胴部に牡丹文か。長胴丸形。 | H24 石積み5内 |
| | 16 | 華南三彩 | 水注 | ― | 底部 | 中国 | ― | ― | 6.6 | 内外面に白化粧を施し、その上に外面緑釉、内面茶色の釉を施釉。外底中央部はやや窪む。長胴丸形。 | H24 石積み5内 |
| | 17 | 華南三彩 | 水滴 | ― | 底部 | 中国 | ― | ― | 4.2 | 内外面に白化粧を施し、その上に外面緑釉を施釉。 | H24 洞穴1内 |
| | 18 | 銅緑釉 | 壺 | ― | 口縁部 | 中国 | 14.1 | ― | ― | 銅緑釉を内面口縁部下から外面に施釉。口唇部は釉剥ぎ。素地は灰黄色を呈し、黒色粒を含む。外面胴部に蓮弁文か。 | H24 石積み5内<br>＋<br>H24 石積み5 裏込め |
| | 19 | 銅緑釉 | 壺 | ― | 底部 | 中国 | ― | ― | 19.6 | 銅緑釉を外面胴部下部まで施釉。素地は灰黄色を呈し、黒色粒、白色粒を含む。胴部立ち上がり部分に段をもつ。底部は上がり底。 | H24 表土 |
| | 20 | 銅緑釉 | 蓋 | ― | 撮～袴 | 中国 | (庇径)<br>15.4 | 2.25 | (袴径)<br>10.4 | 銅緑釉を外面に施釉。内面には粘土状のものを貼付。掛子を接着するためと考えられる。素地は淡黄色を呈し、黒色粒を含む。撮径は推定1.5cm。 | H24 表土 |
| | 21 | 紫砂 | 蓋 | ― | 完形 | 中国 | (庇径)<br>8.8 | 1.6 | (袴径)<br>7.0 | 素地は赤褐色。外面全体に緑、中央部の孔の周りに黒の線描きと黄色の上絵付けで花？を表現か。内面に黒字の銘あり。 | H24 洞穴1内 |
| | 22 | 紫砂 | 蓋 | ― | 完形 | 中国 | (庇径)<br>8.7 | 1.55 | (袴径)<br>6.85 | 素地は赤褐色。外面端部は青、凹面に緑、中央部の孔の周りは緑の掻き落としにで枠線を作り、中を黄色の上絵付けをして花？を表現か。内面に墨書か。 | H24 洞穴1内 |
| | 23 | 陶器 | 蓋 | ― | 完形 | 中国か | (庇径)<br>7.7 | 2.45 | (袴径)<br>6.8 | 内外面に白化粧か。外面に水色と濃青による上絵付けで3単位の花文と撮みに1単位の花文。撮径は1.8cm。 | H24 洞穴1内 |
| | 24 | 紫砂 | 蓋 | ― | 完形 | 中国 | (庇径)<br>7.0 | 3.1 | (袴径)<br>5.75 | 素地はにぶい赤褐色。外面に灰白色の上に濃青の上絵付けによる花文。4単位のうち、2単位は陽刻された文様に上絵付け。撮みは蛙の形状を呈し、背中部分に灰白色と濃青で上絵付け。中央部に1mmの微小孔あり。 | H24 洞穴1内 |
| | 25 | 紫砂 | 蓋 | ― | 完形 | 中国 | (庇径)<br>5.3 | 1.45 | (袴径)<br>3.0 | 素地はにぶい赤褐色。外面端部に濃青で2単位の花文。撮径は1.1cm。 | H24 洞穴1内 |
| | 26 | 紫砂 | 蓋 | ― | 庇 | 中国 | (庇径)<br>9.2 | ― | ― | 素地は暗赤褐色。内面全体を緑で上絵付け、外面は白字の銘。 | H24 洞穴1内 |
| | 27 | 紫砂 | 水注 | ― | 注口 | 中国 | ― | ― | ― | 素地は暗赤褐色。注口根元に粘土状のものを貼付。胴部と接着するためのものと考えられる。灰白色と濃青による上絵付けで2単位の花文。 | H24 洞穴1内 |
| | 28 | 無釉陶器 | 植木鉢 | ― | 口縁部 | 中国 | 34.2 | ― | ― | 素地は橙色～黄灰色を呈する。石英を多く含む。口唇部外端を波状に成形。 | H25 石積み10・11間 2層<br>＋<br>H25 表土 |

第 39 図　その他の中国産陶磁器 1




図版９　その他の中国産陶磁器１




第 40 図　その他の中国産陶磁器 2

図版 10　その他の中国産陶磁器 2

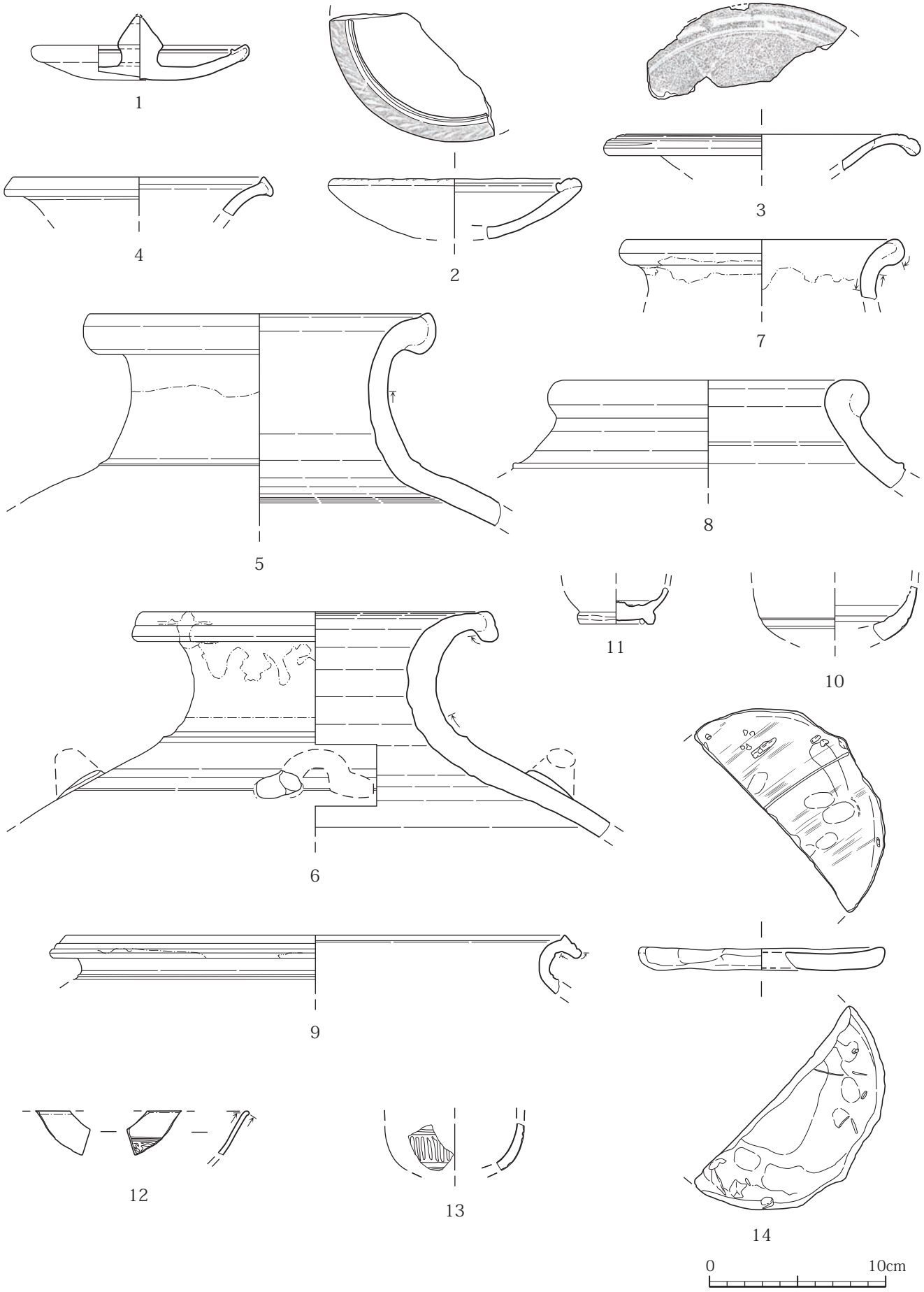
## 第２項　その他の輸入陶磁器・土器

ここではタイ・ベトナム・朝鮮などで生産されたと考えられる製品を紹介する。タイ産はハンネラとも称される硬質の土器（１～３）と、シーサッチャナライ窯産及びメナムノイ窯産の褐釉陶器（４～９・11）と青磁（10）があり、器種別にみると前者は蓋と壺、後者は壺・鉢・瓶が確認されている。この他、ベトナム産は口唇部を釉剥ぎする白磁碗（12）、朝鮮産は象嵌青磁の袋物（13）が得られており、産地の判然としない円盤形の土器蓋（14）も出土している。以下、特徴的な資料を第 41 図・図版 11 に示し、個々の所見は観察表（第６表）に記す。

第６表　その他の輸入陶磁器・土器観察一覧

| 図・図版番号 | 番号 | 器種 | 部位 | 産地 | 種別 | 法量(cm) 口径 | 器高 | 底径 | 観察事項 | ナンバリング |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第41図 図版11 | 1 | 蓋 | 完形 | タイ産 | 土器 | 12.4 | (3.65) | — | ハンネラ土器製。素地は灰白色を呈し、石英、黒色粒、赤色粒を含む。撮みは宝珠形。庇端部を肥厚させ、内側を上位に尖らす。 | H25 トレンチ3　1層 |
| | 2 | 蓋 | 庇～蓋甲 | タイ産 | 土器 | 14.4 | — | — | ハンネラ土器製。素地はにぶい黄橙色を呈し、石英を含む。庇端部に刻み目を巡らす。 | H25 石列6前 |
| | 3 | 壺 | 口縁部 | タイ産 | 土器 | 18.0 | — | — | ハンネラ土器製。素地は橙色～褐灰色を呈し、石英、赤色粒を含む。口縁部はラッパ状に開く。口縁部の内面に2条の沈線を巡らす。 | H25 壕3前 |
| | 4 | 壺 | 口縁部 | タイ産 | 褐釉 | 15.3 | — | — | 黒褐色の釉を内外面に施釉。素地はにぶい褐灰色を呈し、石英、黒色粒、白色粒を含む。口縁部はラッパ状に開く。シーサッチャナライ窯。 | H25 石列6前 |
| | 5 | 壺 | 口縁部 | タイ産 | 褐釉 | 20.0 | — | — | 黒褐色の釉を外面頚部途中まで施釉。素地はにぶい赤褐色を呈し、石英、黒色粒、赤色粒を含む。メナムノイ窯。 | H24 石積み5内 |
| | 6 | 壺 | 口縁部 | タイ産 | 褐釉 | 20.8 | — | — | 黒褐色の釉を口縁部及び外面頚部途中まで施釉。素地は褐灰色を呈し、赤色粒、白色粒を含む。頚部下に突帯、肩部に数条の沈線と横耳貼付。メナムノイ窯。 | H25 表土 |
| | 7 | 壺 | 口縁部 | タイ産 | 褐釉 | 16.2 | — | — | 黒褐色の釉を口縁部に施釉。素地は褐灰色を呈し、赤色粒、白色粒を含む。口縁部を外側に折り返し。メナムノイ窯。 | H24 石積み5内 |
| | 8 | 壺 | 口縁部 | タイ産 | 褐釉 | 18.2 | — | — | 素地は橙色を呈し、石英、赤色粒、黒色粒を含む。頚部下に突帯を巡らす。 | H25 表土 |
| | 9 | 鉢 | 口縁部 | タイ産 | 褐釉 | 30.2 | — | — | オリーブ黄色の釉を口縁端部に施釉。素地はにぶい褐色～赤褐色を呈し、石英、赤色粒を少量含む。口唇部に2条の沈線、頚部下に突帯を巡らす。メナムノイ窯。 | H24 表土 |
| | 10 | 瓶 | 胴部 | タイ産 | 青磁 | — | — | (胴径) 9.3 | オリーブ灰色の釉を内外面に施釉。素地は灰白色を呈し、黒色粒、白色粒を含む。外面胴部下部に2条の沈線を巡らす。 | H24 石積み5内 |
| | 11 | 瓶 | 底部 | タイ産 | 褐釉 | — | — | 4.4 | 素地は灰白色～にぶい黄橙色を呈し、石英、黒色粒を含む。 | H24 石積み5内 |
| | 12 | 碗 | 口縁部 | ベトナム産 | 白磁 | — | — | — | 薄く白化粧を施した上から透明釉を施釉。口唇部は釉剥ぎ。素地は灰白色。内面胴部に文様を施す。 | H25 石積み 10・11間 3層 |
| | 13 | 袋物 | 胴部 | 朝鮮産 | 青磁 | — | — | (胴径) 8.0 | オリーブ灰色の釉を内外面に施釉。素地は灰白色を呈し、白色粒、黒色粒を含む。外面に白象嵌による文様を施す。 | H25 トレンチ6 |
| | 14 | 蓋 | 庇～蓋甲 | タイ産 | 土器 | 14.0 | — | — | 浅黄橙色を呈し、黒色粒、赤色粒を含む。ナデ+削り成形。 | H25 壕2・石積み16間 |

＊(　)内は原則残存値。




第 41 図　その他の輸入陶磁器・土器（タイ産・ベトナム産・朝鮮産）

図版 11　その他の輸入陶磁器・土器（タイ産・ベトナム産・朝鮮産）

## 第３項　日本産陶磁器・土器

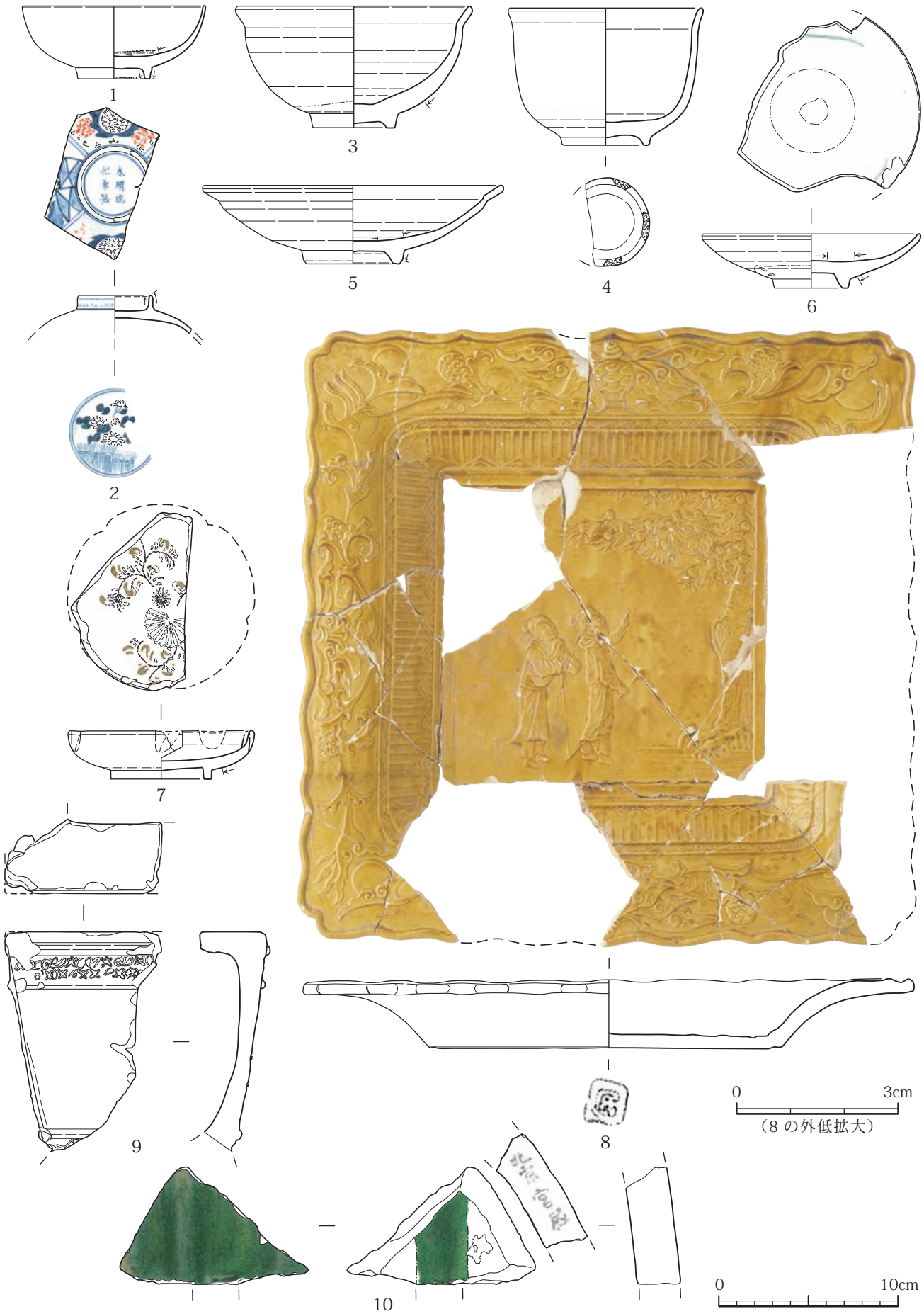
日本産の陶磁器及び土器は、窯場が肥前・京または信楽系・関西系（珉平含む）・備前・薩摩・瀬戸及び美濃などバリエーションに富み、年代も 15 世紀～ 20 世紀と幅広い。また、本地区出土品は統制番号を付した陶磁器を多数含んでおり、沖縄戦時の様相が窺える重要な資料といえよう。以下、特徴的な製品を第 42 ～ 44 図・図版 12 ～ 16 に示し、個々の詳細は観察表（第７表）に記す。

第７表　日本産陶磁器観察一覧１

| 図・図版番号 | 番号 | 器種 | 産地 | 種別 | 部位 | 法量（cm） | | | 観察事項 | ナンバリング |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 口径 | 器高 | 底径 | | |
| 第42図 図版12 | 1 | 碗 | 肥前系 | 白磁 | 口～底 | 10.2 | 4.1 | 4.0 | 釉は青白色で畳付と内底を蛇の目釉剥ぎ。素地は白色。畳付と内底に砂付着。 | H24 表土 |
| | 2 | 蓋 | 肥前 | 色絵 | 撮～蓋甲 | (撮径) 4.2 | ― | ― | 釉は透明釉。素地は白色。染付で釉上に赤で絵付けを行う。文様は外面に区画内に牡丹文など、内面は花文。銘あり。 | H25 表土 |
| | 3 | 碗 | 肥前 | 陶器 | 口～底 | 13.2 | 6.8 | 4.6 | 釉は黒褐色で内面と外面は胴部途中まで施釉。素地は灰色で石英粒を含み堅緻。内底が凸凹している。天目。 | H24 表土 |
| | 4 | 碗 | ― | 陶器 | 口～底 | 10.9 | 7.65 | 4.9 | 釉は透明で全体に施釉。素地は白色。残存部分で、畳付に3カ所の砂が付着した目跡が確認できる。 | H24 表土 |
| | 5 | 皿 | 肥前 | 陶器 | 口～底 | 16.8 | 4.4 | 5.5 | 釉は両面に透明釉を施釉後、内面にのみ銅緑釉を施釉し内底を蛇の目釉剥ぎ。外底は露胎。内底に砂が付着した目跡あり。 | H24 表土 |
| | 6 | 皿 | 肥前系 | 染付 | 口～底 | 12.2 | 3.0 | 4.1 | 釉は青白色で外面は胴部途中まで施釉し、は蛇の目釉剥ぎ。素地は灰白色。内面に文様あり。内底に重ね焼きの痕跡あり。 | H24 表土 |
| | 7 | 皿 | 京・信楽 | 陶器 | 口～底 | 10.4 | 2.7 | 5.6 | 釉は透明で外面は胴部途中まで施釉。素地は灰白色。文様は内面に色絵で菊唐草文。 | H24 表土 |
| | 8 | 大皿 | ― | 陶器 | 口～底 | 34.1 | 3.9 | 19.6 | 釉は明黄褐色で全体に施釉。素地は灰白色。文様は内底に人物文を桃樹木文、口縁部に吉祥花唐草文。外底に「民」の印あり。珉平焼。 | H24 洞穴1内 ＋ 1フィート |
| | 9 | 火鉢 | ― | 土器（瓦質） | 口縁部 | ― | ― | ― | 素地は雲母と石英粒を含み浅黄橙色、内外面は黒褐色を呈す。外面に文様あり。 | H25 壕3前 ＋ H25 石積み13・15間 ＋ H25 表土 |
| 第42図 図版13 | 10 | 器種不明 | ― | 陶器 | 胴部 | ― | ― | ― | 釉は緑色で外面に施釉し、内面は一部露胎。素地は浅黄橙色で砂粒を多く含む。割れた断面に墨書で「北京宮殿」と書かれる。 | H24 洞穴1内 |
| 第43図 図版13 | 11 | 焙烙 | ― | 土器 | 口縁部 | 25.7 | ― | ― | 素地は浅黄橙色。外面に煤付着。口縁部付近に圧痕あり。 | H24 表土 |
| | 12 | 焙烙 | ― | 土器 | 口縁部 | ― | ― | ― | 素地は中心部は灰色で表面は浅黄橙色。把手の付け根部分に菊？の印文、表面には指ナデ調整あり。 | H24 表土 |
| | 13 | 擂鉢 | 備前 | 陶器 | 口～底 | 31.4 | 11.4 | 15.2 | 素地は明赤褐色で石英粒や礫粒を含み、表面でも確認できる。外面の調整は雑。八条一組の櫛目を一定の間隔で入れる。 | H24 表土 |
| | 14 | 壺 | ― | 陶器 | 底部 | ― | ― | 20.5 | 自然釉を両面に施釉。素地は赤褐色。胴接ぎを行い、内面の肩部下付近にヘラ掻きを規則的に入れる。外底に砂付着。塩酸瓶。 | H24 壕1内 ＋ H25 壕1内 |
| | 15 | 焜炉 | ― | 土器 | 底部 | ― | ― | 18.0 | 素地は浅黄橙色。底部の3つの足は型成形したものに後で接着しており、底部には針金を埋めている。内面は熱を受けボロボロと崩れる。 | H24 洞穴1内 |
| 第44図 図版14 | 16 | 七輪 | ― | 土器 | 口～底 | 26.0 | 22.5 ～ 22.8 | 17.1 | 外面は緑色。素地はぬな粒や赤色粒を多く含む。内面に縄圧痕あり。口唇部に煤付着。 | H25 壕1内 |

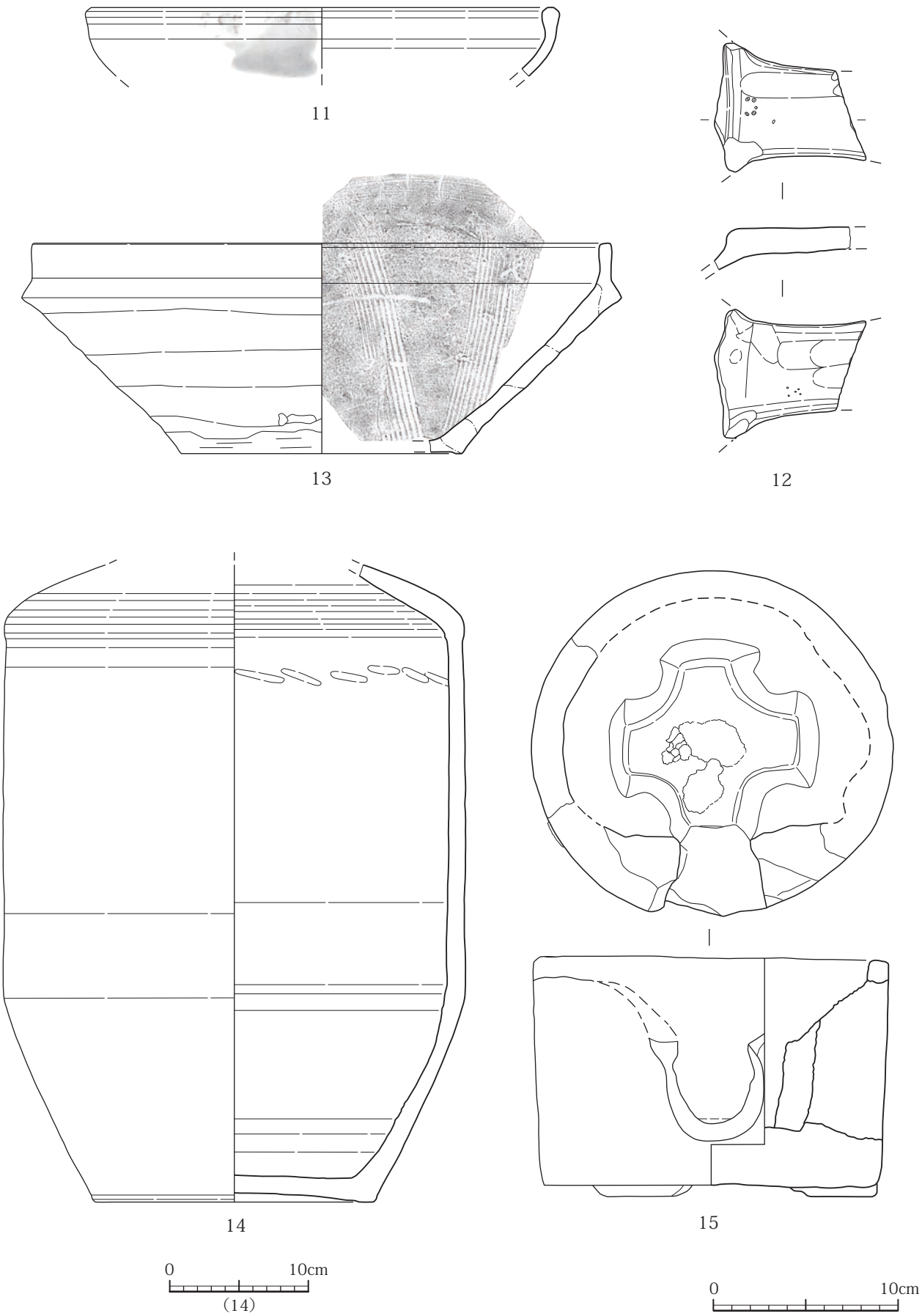
第７表　日本産陶磁器観察一覧２

| 図・図版番号 | 番号 | 器種 | 産地 | 種別 | 部位 | 法量（cm） | | | 観察事項 | ナンバリング |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 口径 | 器高 | 底径 | | |
| 第44図<br>図版14 | 17 | 人形 | ― | 陶器 | ほぼ完形 | (胴径)<br>26.7 | 17.2 | ― | 素地は灰白色。ヘラや指ナデによって成形し、内面は指ナデ痕が多く残る。土製品の布袋人形。背面若しくは前面に袋があったと思われる。成形した粘土同士の接着のために刻みを入れ、背面の穿孔は焼成のためと考えられる。重量1469.3g | H24 石積み5<br>＋<br>H24 表土 |
| 図版15 | 18 | 碗 | ― | 近代 | 口～底 | 10.8 | 5.4 | 3.9 | 釉は透明で畳付を釉剥ぎ。素地は白色。文様は外面に風景文。外底に緑で岐464。 | H25 壕1内 |
| | 19 | 碗 | ― | 近代 | 口～底 | 16.6 | 6.0 | 6.4 | 釉は透明で畳付を釉剥ぎ。素地は白色。文様は外面に赤で花文と字文を交互に施文。外底に岐673。 | H25 壕1内 |
| | 20 | 碗 | ― | 近代 | 底部 | ― | ― | 7.0 | 釉は透明で畳付を釉剥ぎ。素地は白色。文様は赤で外面に施文。外底に岐669か。 | H24 石積み3・4間 |
| | 21 | 碗 | ― | 近代 | 口～底 | 11.4 | 6.0 | 4.0 | 釉は透明で畳付を釉剥ぎ。素地は白色。文様は外面に型紙と筆を用い風景文を施文。外底に青で岐1056。 | 1フィート |
| | 22 | 碗 | ― | 近代 | 口～底 | 11.2 | 6.1 | 4.2 | 釉は透明で畳付を釉剥ぎ。素地は白色。文様は外面に梅花鳥文。外底に緑で岐1070。 | H25 壕1内 |
| | 23 | 碗 | ― | 近代 | 底部 | ― | ― | 5.2 | 釉は透明で畳付を釉剥ぎ。素地は白色。外底に緑で岐1075。 | H24 壕1内 |
| | 24 | 碗 | ― | 近代 | 口～底 | 14.8 | 6.5 | 6.4 | 釉は透明で畳付と口唇部を釉剥ぎ。口錆。素地は白色。文様は外面に櫛目文、内底に楼閣文。畳付に砂付着。外底に青で瀬770。 | H24 表土 |
| | 25 | 小碗 | ― | 近代 | 口～底 | 8.4 | 4.6 | 3.2 | 釉は透明で畳付を釉剥ぎ。素地は白色。外面に緑で二条の圏線。畳付に砂付着。外底に岐286。 | H25 表土 |
| | 26 | 小碗 | ― | 近代 | 口～底 | 7.4 | 5.2 | 3.4 | 釉は透明で畳付を釉剥ぎ。素地は白色。文様は松文と鶴文で色が落ちている。畳付に砂付着。外底に緑で岐389。色絵。 | H24 洞穴1内 |
| 図版16 | 27 | 小碗 | ― | 近代 | 口～底 | 7.8 | 5.5 | 3.4 | 釉は透明で畳付を釉剥ぎ。素地は白色。文様は染付で「寿」と「福」の丸文を施文し、釉の上から色絵で絵付けを行う。外底に青で波32。 | H24 洞穴1内 |
| | 28 | 小碗 | ― | 近代 | 口～底 | 7.6 | 5.1 | 3.2 | 両面に透明釉を施釉後、外面に浅黄褐色の釉を施釉し、畳付を釉剥ぎ。文様は外面に草花文。外底に青で岐416か。 | H25 壕1内 |
| | 29 | 小碗 | ― | 近代 | 口～底 | 8.8 | 5.9 | 4.2 | 釉は透明で畳付を釉剥ぎ。素地は黄褐色。文様は内外面に白土で施文。外底に岐？。 | H25 壕1内 |
| | 30 | 小碗 | ― | 近代 | 口～底 | 6.6 | 6.5 | 3.6 | 釉は透明で畳付を釉剥ぎ。素地は白色。文様は外面に竹文。外底に緑で岐396。 | H24 表土 |
| | 31 | 小碗 | ― | 近代 | 口～底 | 8.4 | 4.8 | 3.0 | 釉は透明で畳付を釉剥ぎ。素地は白色。文様は外面に型紙で鶴文と青海波文。畳付に砂付着。外底に岐543か。 | 1フィート |
| | 32 | 小皿 | ― | 近代 | 口～底 | 8.6 | 1.8 | 4.8 | 釉は透明で畳付を釉剥ぎ。素地は白色。文様は内面に色絵で薔薇唐草文。口唇部に煤？付着。畳付きに耐火土が付着。外底に青で岐816か。 | H25 壕1内 |
| | 33 | 皿 | ― | 近代 | 口～底 | 12.6 | 2.4 | 6.8 | 釉は透明で畳付を釉剥ぎ。素地は白色。文様は内面に緑で二条の圏線。畳付に二条の削りが入る。外底に岐1139の印。 | H24 石積み3・4間 |
| | 34 | 灰皿 | ― | 近代 | 口～底 | ― | 4.5 | ― | 釉は外面は青磁釉で内面は透明釉で外底は露胎。素地は白色。外底に瀬247と吾周の印。 | 1フィート |
| | 35 | 小瓶 | ― | 近代 | 口～底 | 2.6 | 6.3 | 5.5 | 釉は緑色で外面と内面は口縁途中まで施釉。外底に「開」を装飾した文様。外底に青で岐799。 | H24 表土 |



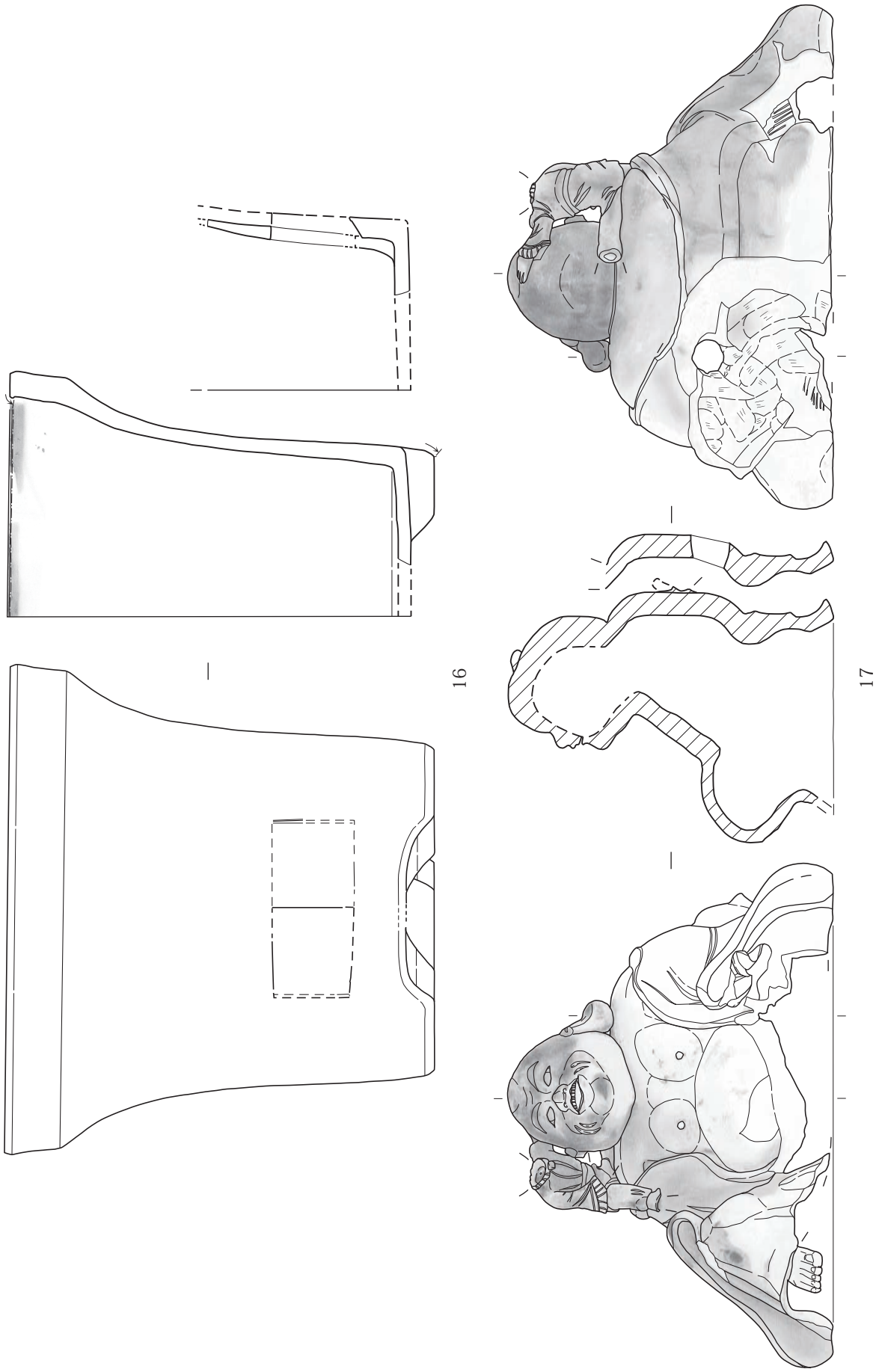

第 42 図　日本産陶磁器・土器 1

図版 12　日本産陶磁器・土器 1




第 43 図　日本産陶磁器・土器 2

図版 13　日本産陶磁器・土器 2




第 44 図　日本産陶磁器・土器 3

図版 14　日本産陶磁器・土器 3

図版 15　日本産陶磁器・土器 4

図版 16　日本産陶磁器・土器 5

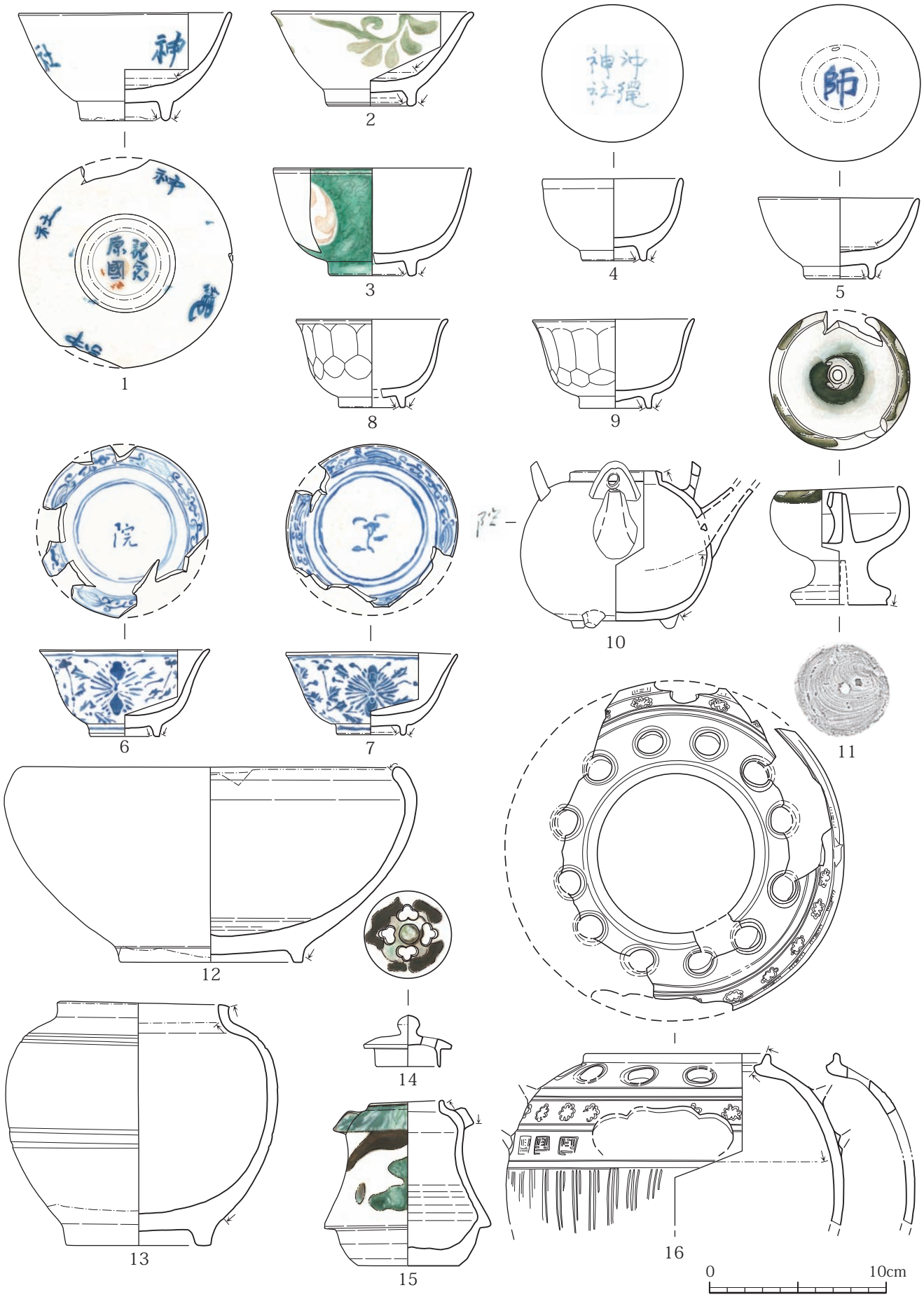
## 第４項　沖縄産陶器・土器

### １　施釉陶器

方言で「ジョウヤチ（上焼）」と称される一群で、器面に釉薬を塗布する製品を指す。釉薬には灰釉・鉄釉（黒釉や褐釉を含む）・透明釉（素地に白化粧を施すものを含む）・緑釉がみられ、それに鉄絵・呉須・上絵付で文様を描く例もある。総数 891 点出土しており（第 20 表）、器種は碗・小碗・小杯・皿・小皿・大皿・鉢・鍋・瓶・壺・小壺・急須・大型急須・酒注・香炉・火炉・火入・燈明具・丁子風炉及びそれに対応する蓋などが確認されている。以下、特徴的な資料を第 45 図及び図版 17 に示し、詳細は観察表（第 8 表）に記す。

第 8 表　沖縄産施釉陶器観察一覧

| 図・図版番号 | 番号 | 器種・分類 | 部位 | 法量（cm） | | | 観察事項 | ナンバリング |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 口径 | 器高 | 底径 | | |
| 第45図 図版17 | 1 | 碗 | 口～底 | 12.05 | 6.15 | 5.1 | 透明釉を全体に施釉後、内底と畳付を釉剥ぎ。外面に呉須で「沖縄神社」、外底に呉須で「原國記念」。 | H24 石積み3・4間 ＋ H24 表土 |
| | 2 | 碗 | 口～底 | 11.5 | 5.4 | 5.1 | 褐釉を全体に施釉後、内底と畳付を釉剥ぎし、畳付にアルミナを塗布。外面に緑釉？で草花文。 | H25 壕1内 |
| | 3 | 碗 | 口～底 | 11.2 | 6.1 | 5.0 | 外面に緑釉・内面に透明釉を施釉後、畳付を釉剥ぎ。外面に赤・黒で巴文＋雲文か。中国産粉彩の模倣。 | H24 表土 |
| | 4 | 小碗 | 口～底 | 7.95 | 4.65 | 3.7 | 透明釉を全体に施釉後、畳付を釉剥ぎし、畳付にアルミナを塗布。内底に呉須で「沖縄神社」。 | H24 洞穴1内 |
| | 5 | 小碗 | 口～底 | 9.1 | 4.65 | 4.05 | 透明釉を全体に施釉後、畳付と内底を釉剥ぎし、畳付にアルミナを塗布。内底に呉須で「師」。 | H24 洞穴1内 |
| | 6 | 小碗 | 口～底 | 9.65 | 4.9 | 4.0 | 透明釉を全体に施釉後、畳付を釉剥ぎし、畳付にアルミナを塗布。上絵付けで両面に花唐草文、内底に「院」。中国産青花の模倣。 | H25 洞穴1内 石積み2 ＋ H24 表土 |
| | 7 | 小碗 | 口～底 | 9.75 | 4.7 | 3.9 | 透明釉を全体に施釉後、畳付を釉剥ぎし、畳付にアルミナを塗布。上絵付けで両面に花唐草文、内底に霊芝文か。中国産青花の模倣。 | H25 洞穴1内石積み2 ＋ H24 石積み3・4間 ＋ H24 表土 |
| | 8 | 小碗 | 口～底 | 8.6 | 5.0 | 3.75 | 透明釉を全体に施釉後、畳付を釉剥ぎ。 | H25 洞穴1内石積み2 |
| | 9 | 小碗 | 口～底 | 9.15 | 5.05 | 4.1 | 透明釉を全体に施釉後、畳付を釉剥ぎし、畳付にアルミナを塗布。 | H25 洞穴1内石積み2 ＋ H24 表土 |
| | 10 | 急須 | 口～底 | 5.2 | 8.9 | 5.6 | 外面及び内面胴部下半に透明釉を施釉。外面に線彫りと呉須で「院」。 | H25 洞穴1内石積み2 ＋ H24 表土 |
| | 11 | 燈明具 | 口～底 | 6.8 | 6.7 | 5.2 | 外底を除く全体に灰釉を施釉後、口唇部及び灯芯部に褐釉を施釉。 | H24 表土 |
| | 12 | 鉢 | 口～底 | 21.4 | 11.0 | 10.4 | 外面に黒釉、内面に灰釉を掛け分け。 | H24 石積み7前 ＋ H24 表土 |
| | 13 | 壺 | 口～底 | 9.7 | 13.8 | 8.2 | 全体に褐釉を施釉後、口縁部を釉剥ぎ。外面に白土象嵌。 | H24 洞穴1内 ＋ H24 不明 ＋ H25 洞穴1内 |
| | 14 | 丁子風炉（釜・蓋） | 口～底 | （底径）5.0 | 2.9 | （袴径）3.7 | 蓋甲に如意頭形の孔を4個穿ち、緑釉と黒釉を施釉。 | H25 洞穴1内 石敷き下 |
| | 15 | 丁子風炉（釜・身） | 口～底 | 4.25 | 9.35 | 5.7 | 外面口縁部～胴部中位に緑釉と黒釉を施釉。 | H24 洞穴1内 |
| | 16 | 丁子風炉（炉） | 口縁部 | 10.55 | ― | ― | 全体に灰釉を施釉後、口唇部を釉剥ぎ。外面全体に白土象嵌。薩摩焼の可能性あり。 | H24 洞穴1内 |




第 45 図　沖縄産施釉陶器

図版 17　沖縄産施釉陶器

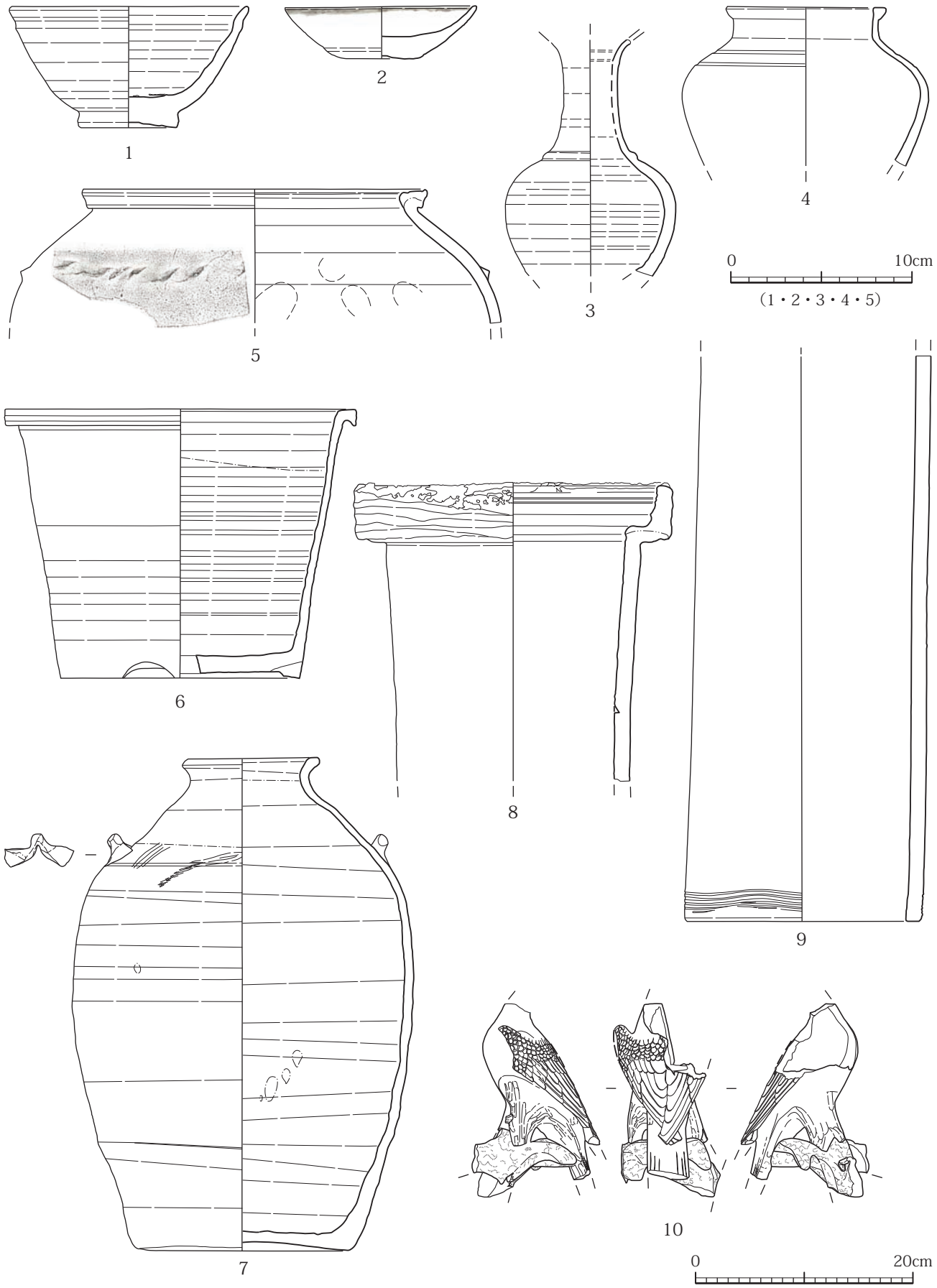
## 2　無釉陶器

方言で「アラヤチ（荒焼）」と称されるもので、一般に高火度で焼成された焼き締め陶器を指す。基本的には無釉の製品を主体とするが、泥釉やマンガン釉を施すものもある。また一部には、薩摩焼の影響を色濃く残す「初期無釉陶器」（沖縄県埋文 2010、新垣 2013a）の範疇に含まれる資料もみられる。総数 722 点出土しており（第 21 表）、器種は碗・皿・鉢・擂鉢・植木鉢・壺・甕・瓶・火炉・急須・厨子・土管・置物及びそれに対応する蓋などが確認されている。以下、特徴的な資料を第 46 図及び図版 18 に示し、個々の所見は観察表（第 9 表）に記す。

第 9 表　沖縄産無釉陶器観察一覧

| 図・図版番号 | 番号 | 器種 | 部位 | 法量(cm) | | | 観察事項 | ナンバリング |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 口径 | 器高 | 底径 | | |
| 第46図 図版18 | 1 | 碗 | 口～底 | 13.2 | 6.7 | 5.55 | 器色は暗赤灰色。胎土は灰赤色で白色粒や赤色粒を含む。轆轤成形。内底に溶着痕が残る。高温焼成で器面に火膨れあり。全体に石灰が付着。初期無釉陶器か。 | H24 表土 |
| | 2 | 皿 | 口～底 | 10.6 | 2.9 | 3.8 | 燈明皿。器色及び胎土は橙色。轆轤成形。口縁部に煤が付着。 | H24 表土 |
| | 3 | 瓶 | 胴部 | ― | ― | ― | 器色及び胎土は褐灰色と橙色。轆轤成形。 | H25 トレンチ1　6層<br>＋H25 石敷き1 下層<br>＋H25 トレンチ1<br>＋H25 表土 |
| | 4 | 壺 | 口縁部 | 8.8 | ― | ― | 器色は外面がにぶい褐色、内面が黒褐色と黄灰色。胎土は褐灰色で白色粒を含む。轆轤成形。外面に線彫りの陰圏線を2条巡らす。内面に石灰が付着。 | H24 表土 |
| | 5 | 甕 | 口縁部 | 19.1 | ― | ― | 器色は褐灰色。胎土は灰褐色で赤色と白色の筋あり。轆轤成形で外面に縄目状の凸帯を1条巡らす。初期無釉陶器。 | H24 石積み5内<br>＋<br>H24 石積み5 |
| | 6 | 鉢 | 口～底 | 32.4 | 24.7 | 22.0 | 植木鉢。器色及び胎土は赤橙色で、口縁部にマンガン釉？を施釉。轆轤成形で口縁部を鍔縁状に成形し、端部に陰圏線を3条巡らす。底部に水抜き用の孔を1個穿つ。部分的に石灰が付着。 | H24 表土 |
| | 7 | 壺 | 口～底 | 12.6 | 45.3<br>～<br>45.6 | 20.4 | 器色はにぶい赤橙色。胎土は赤褐色で白色粒を含む。轆轤成形で外面肩部に紐状の把手を3個貼付し、その上位にマンガン釉を施釉。 | H25石積み11裏込　＋<br>H25石積み13・15間1層<br>＋H25 壕2・石積み16間<br>＋H25 トレンチ1<br>＋H25 トレンチ7　25層<br>＋H25 表土 |
| | 8 | 土管 | 広端部 | 29.4 | ― | ― | 器色は暗赤褐色。胎土は赤褐色で白色粒や赤色粒を含む。全面にマンガン釉？を施釉。輪積み成形で接続部にモルタルが付着。 | H25 壕1内<br>＋<br>H24 壕1内 |
| | 9 | 土管 | 狭端部 | 21.8 | ― | ― | 器色はにぶい赤橙色。胎土は橙色で白色粒を含む。輪積み成形。 | H25 壕1内 |
| | 10 | 置物 | 底部 | 横<br>(9.1) | (17.85) | 奥行<br>(11.7) | 枝に止まる鳥（鷹か）。器色及び胎土は橙色だが全体的に煤が付着。型成形後に中央張り合わせか。 | H25 トレンチ6<br>＋<br>H24 石積み5 |

＊(　)内は原則残存値。




第 46 図　沖縄産無釉陶器

図版 18　沖縄産無釉陶器

３　陶質土器

方言で「アカモノ」または「カマグヮーヤチ」などと称される軟質の土器群である。火周りで用いる道具が主体のため一般に焼成不良であり、触ると粉末が付着するものが多い。器種は鍋・火炉・鉢・土瓶及びそれに対応する蓋などが得られている。以下、特徴的な資料を第 47 図・図版 19 に示すとともに、器種別の分類概念や個々の詳細を述べる。

①鍋（１・２）

１は胴部が球形を呈し口縁部を外側に折り曲げるもので、外面口縁部に紐状の把手を１対貼付する。胎土及び器色は橙色で、法量は口径 16.6㎝を測る。H24 表土。２は口縁部を鍔縁状に成形するもので、形態的な特徴から行平鍋の可能性もあるが判然としない。胎土及び器色は橙色を呈する。H24 表土。

②蓋（３・４）

３は鍋に対応するもので、皿形の器を伏せた形態を呈し、蓋甲頂部に紐状の把手を貼付すると考えられる。胎土及び器色はにぶい橙色で、法量は庇径 11.4㎝を測る。H24 表土。４は土瓶に対応するもので、やや丸みを帯びた蓋甲の内面に短い袴を有する。胎土及び器色はにぶい橙色で、法量は庇径 8.9㎝・袴径 7.4㎝を測る。H24 表土。

③火炉（５・６）

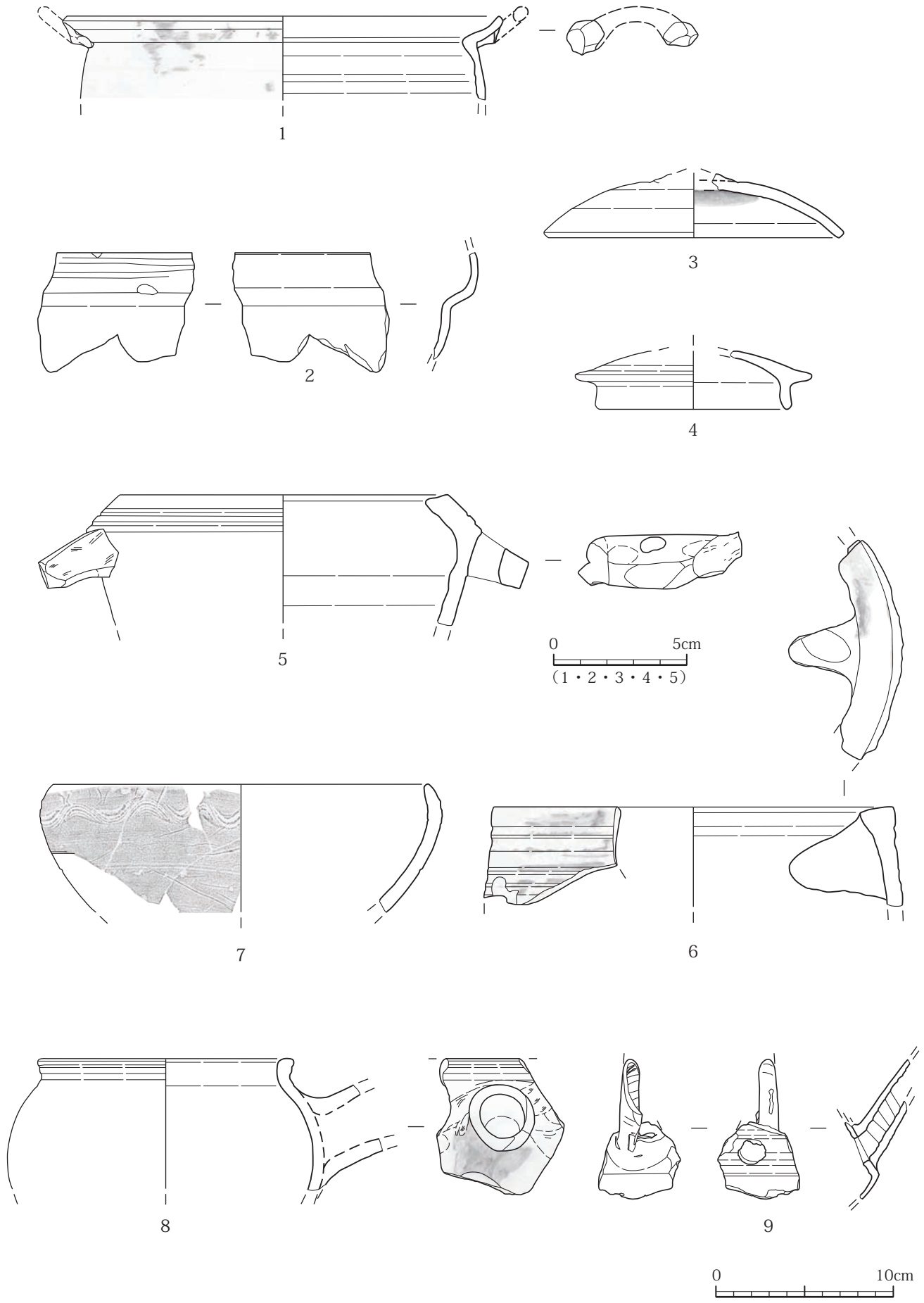
５は底部から開きながら立ち上がって肩部で内側に屈曲し、口縁部の上面観が三葉形に成形されるもので、外面肩部に板状の把手を１対貼付し、その上に陰圏線を２条巡らせる。胎土及び器色は橙色で、法量は 12.4㎝を測る。H24 石積み５。６は底部から直線的に立ち上がるが口縁部が内傾するもので、内面口縁部に受部を貼付する。外面には白土で圏線を数条巡らせ、胎土及び器色は橙色を呈する。口唇部に煤が付着しており、使用の痕跡が窺える。H24 表土。

④鉢（７）

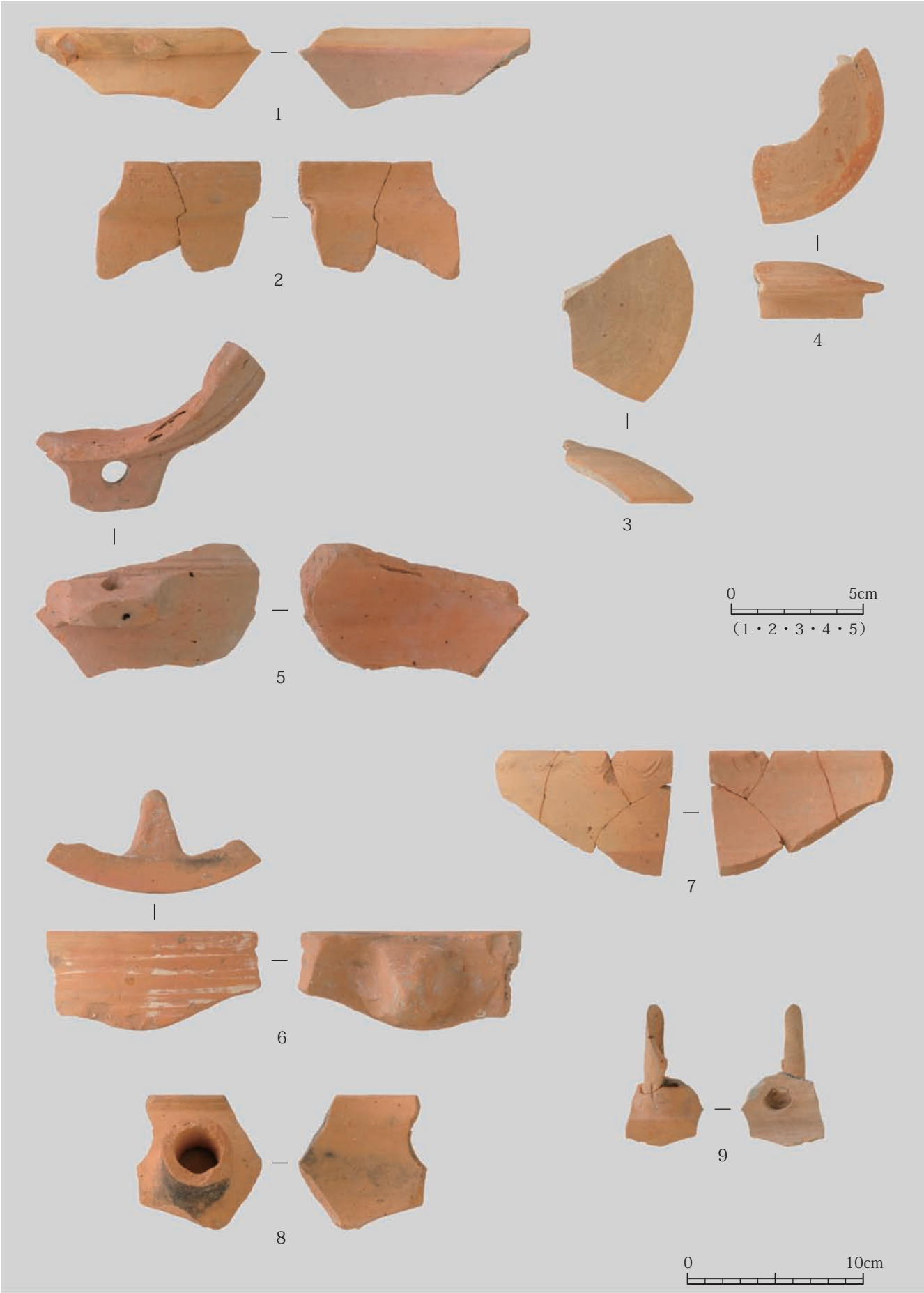
平底の底部から斜め上方に立ち上がり、内湾口縁を呈するもので、外面に櫛描きの波状文を巡らせる。胎土及び器色は橙色で、法量は口径 21.2㎝を測る。H25 表土。

⑤土瓶（８・９）

８は胴部が球形を呈し、外面胴部に筒状の把手を１個貼付するもので、器面に煤が付着しており使用の痕跡が窺える。胎土及び器色は橙色で、法量は口径 14.4㎝を測る。H24 表土。９は胴部中位に稜を持ち、全形が算盤玉状をなすもので、器形の特徴から上述した蓋（４）と対応する可能性もある。胎土及び器色は橙色を呈する。H24 表土。




第 47 図　陶質土器




図版 19　陶質土器

## 第５項　瓦質土器

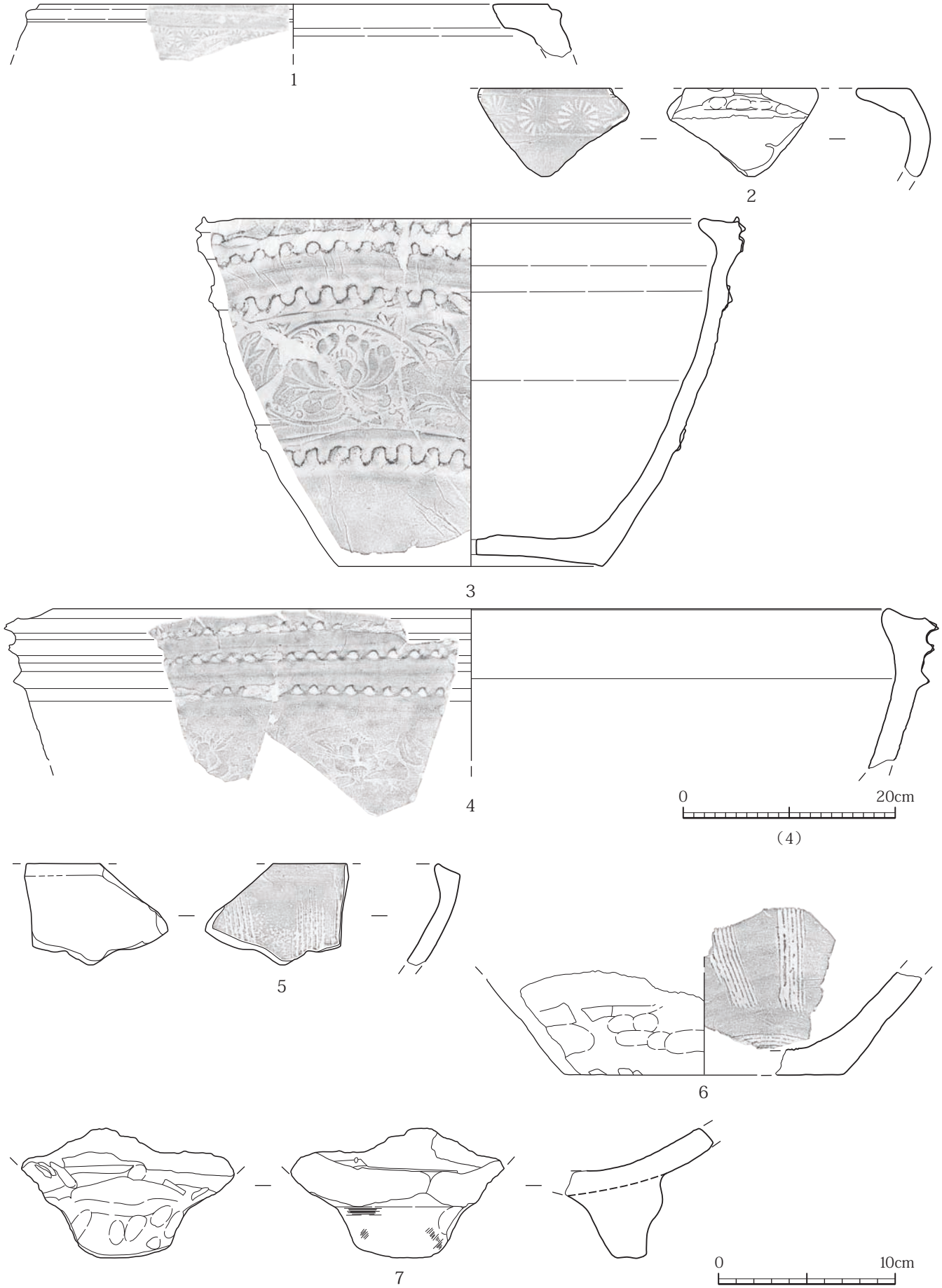
瓦質土器は第 48 図及び図版 20 に特徴的な資料７点を示した。今回出土した瓦質土器は沖縄産の製品と、日本産または日本系と思われるものがあり、器種別にみると前者では植木鉢と擂鉢、後者では浅鉢と擂鉢がそれぞれ確認されている。1 は日本産または日本系と想定される内湾口縁の浅鉢で､外面に突帯を１条巡らし、その下にスタンプの菊花文を施す。胎土及び器色はにぶい黄褐色で、法量は口径 28.8㎝を測る。H25 石敷き１下層。２も日本産または日本系と思われる内湾口縁の浅鉢で、外面にスタンプの菊花文とその上下に陰圏線を２条巡らす。胎土は灰白色で器色は橙色を呈する。トレンチ１の６層。３は沖縄産の植木鉢で、平底の底部から斜め上方に開きながら立ち上がり、口縁部の内面を内側に摘み出す。外面には縄目状の突帯を４条巡らし、その間に円筒施文具による牡丹唐草文を施す。胎土は灰白色で器色は灰色を呈し、法量は口径 31.1㎝・器高 19.8㎝・底径 15.0㎝を測る。H24 石積み５内。４も沖縄産の植木鉢で、器形の特徴も３と同様である。外面に縄目状の突帯を３条巡らせ、その下に円筒施文具による牡丹唐草文を施す。胎土は橙色と灰白色、器色は橙色を呈し、法量は口径 88.2㎝を測る。H24 表土。５は口縁部を内傾させる擂鉢で、内面胴部に６本単位の擂目を複数施す。日本産または日本系と思われ、胎土及び器色はにぶい黄橙色を呈する。H25 表土。６は沖縄産と考えられる擂鉢の底部で、形態は高台を持たず平底となり、内面胴部及び内底に７～８本単位の擂目を複数施す。胎土及び器色はにぶい黄橙色で、法量は底径 16.0㎝を測る。H25 石積み 10・11 間２層。７は外面に獣足と考えられる突起を貼付する底部で、器種は不明だが風炉または香炉の可能性もある。日本産または日本系と推定され、胎土は灰白色で器色は灰色を呈する。H25 トレンチ６。

## 第６項　土器

土器は第 49 図及び図版 21 に特長的な資料３点を示した。1 と２はグスク土器である。1 は壺形の口縁部で、いわゆる第３様式（宮城・具志堅 2007）の範疇に収まるものと考えられる。器色はにぶい橙色で胎土に雲母や褐色鉱物を含み、両面にヘラや指によるナデ調整痕が残る。法量は口径 18.0㎝を測る。H25 石積み 11 内。２は鍋形の底部と想定されるもので、これも第３様式の可能性が高い。器色はにぶい黄橙色で胎土に白色鉱物を多量に含む。両面に指ナデの調整痕が残り、外面を中心に煤が付着する。H24 表土。３は高台を有する皿形の底部で、胎土及び器色は橙色で胎土に赤褐色や白色の鉱物を多量に含る。外面に陰圏線を３条巡らせ、内面にはヘラや指によるナデ調整痕が残る。宮古式土器の可能性があるものの詳細は不明。法量は底径 14.0㎝を測る。H24 表土。

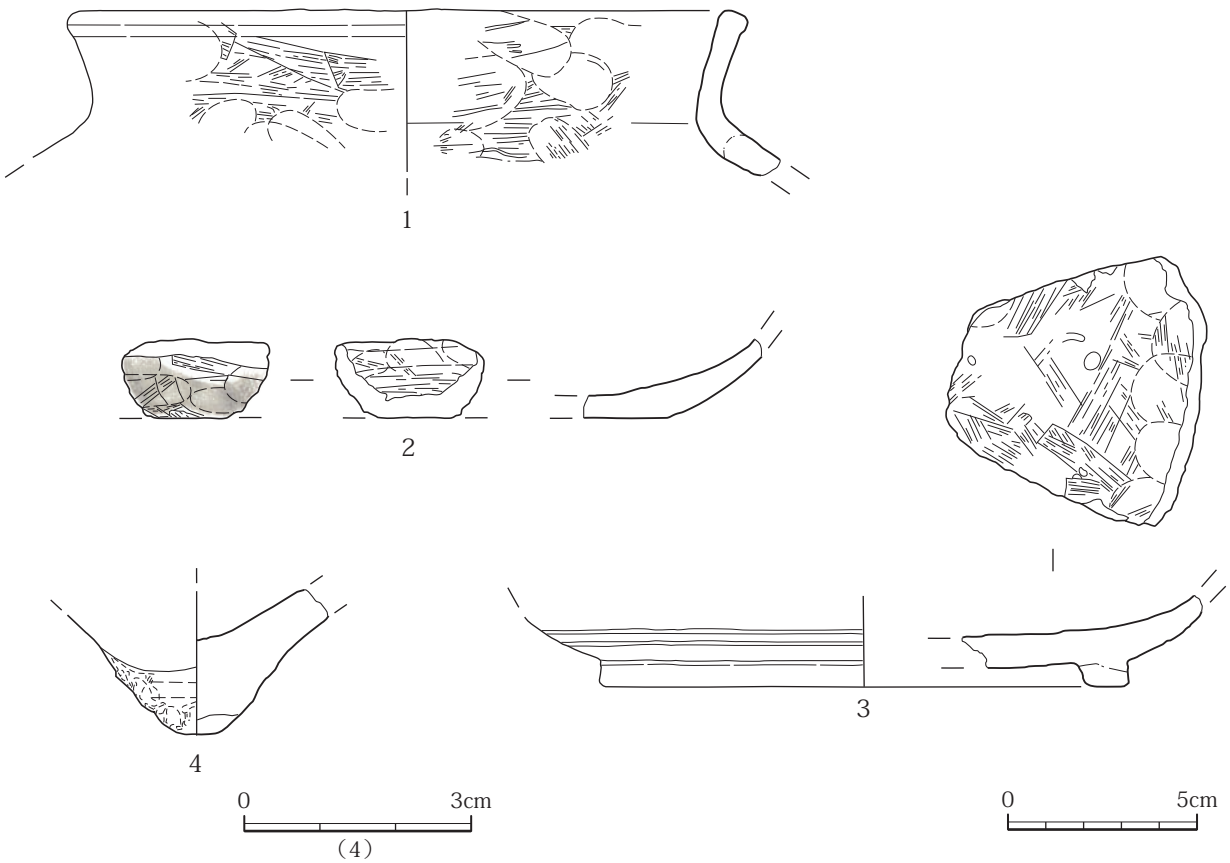
## 第７項　坩堝

坩堝は第 49 図及び図版 21 に１点を示した。４は陶製坩堝の底部で、外面に脚部状の突起を有する。胎土及び器色は灰白色で外面に銅滓が溶着している。年代は 16 世紀末～ 17 世紀前半に位置づけられる。H25 表土。




第 48 図　瓦質土器

図版 20　瓦質土器




第 49 図　土器、坩堝

図版 21　土器、坩堝

## 第８項　瓦類

### １　屋瓦

屋瓦については製作技術で高麗系・大和系・明朝系の３種類に大別した後に、焼成方法に基づく色調の差異（灰色・赤色・褐色）、用途や形態（平瓦・丸瓦・軒平瓦・軒丸瓦）などから細分を試みた。以下、第 50・51 図・図版 22 に特徴的な資料を示し、個々の詳細は観察表（第 10 表）に記す。

第 10 表　屋瓦観察一覧

| 図・図版番号 | 番号 | 技 術 | 種 類 | 部 位 | 色調 | 観察事項 | ナンバリング |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第50図 図版22 | 1 | 高麗系 | 平瓦 | 筒部 | 灰色 | 凸面に波状文・凸面に糸切痕＋布目痕 | H24 表土 |
| | 2 | 大和系 | 軒丸瓦 | 瓦当 | 灰色 | 表面に三巴文 | H24 洞穴1内 |
| | 3 | 大和系 | 軒平瓦 | 瓦当 | 褐色 | 瓦当面に五弁花唐草文・凸面にナデ調整痕 | 1フィート |
| | 4 | 大和系 | 丸瓦 | 玉縁～端部 | 褐色 | 角3・凸面に縄目文・凹面に布目痕＋刺し網状圧痕 | H24 洞穴1内 |
| 第51図 図版22 | 5 | 明朝系 | 軒丸瓦 | 瓦当 | 赤色 | 表面に側視型の牡丹文＋珠文・裏面の指ナデ成形は雑 | H25 表土 |
| | 6 | 明朝系 | 軒平瓦 | 瓦当 | 赤色 | 表面に側視型の牡丹文・裏面の指ナデ成形は雑 | H24 表土 |
| | 7 | 明朝系 | 丸瓦 | 完形 | 灰色 | 凸面にナデ調整痕・凹面に布目痕 | H25 表土 |
| | 8 | 明朝系 | 平瓦 | 完形 | 赤色 | 漆喰あり・凸面にナデ調整痕・凹面に布目痕＋桶紐綴り圧痕 | H24 壕1内 |

### ２　塼

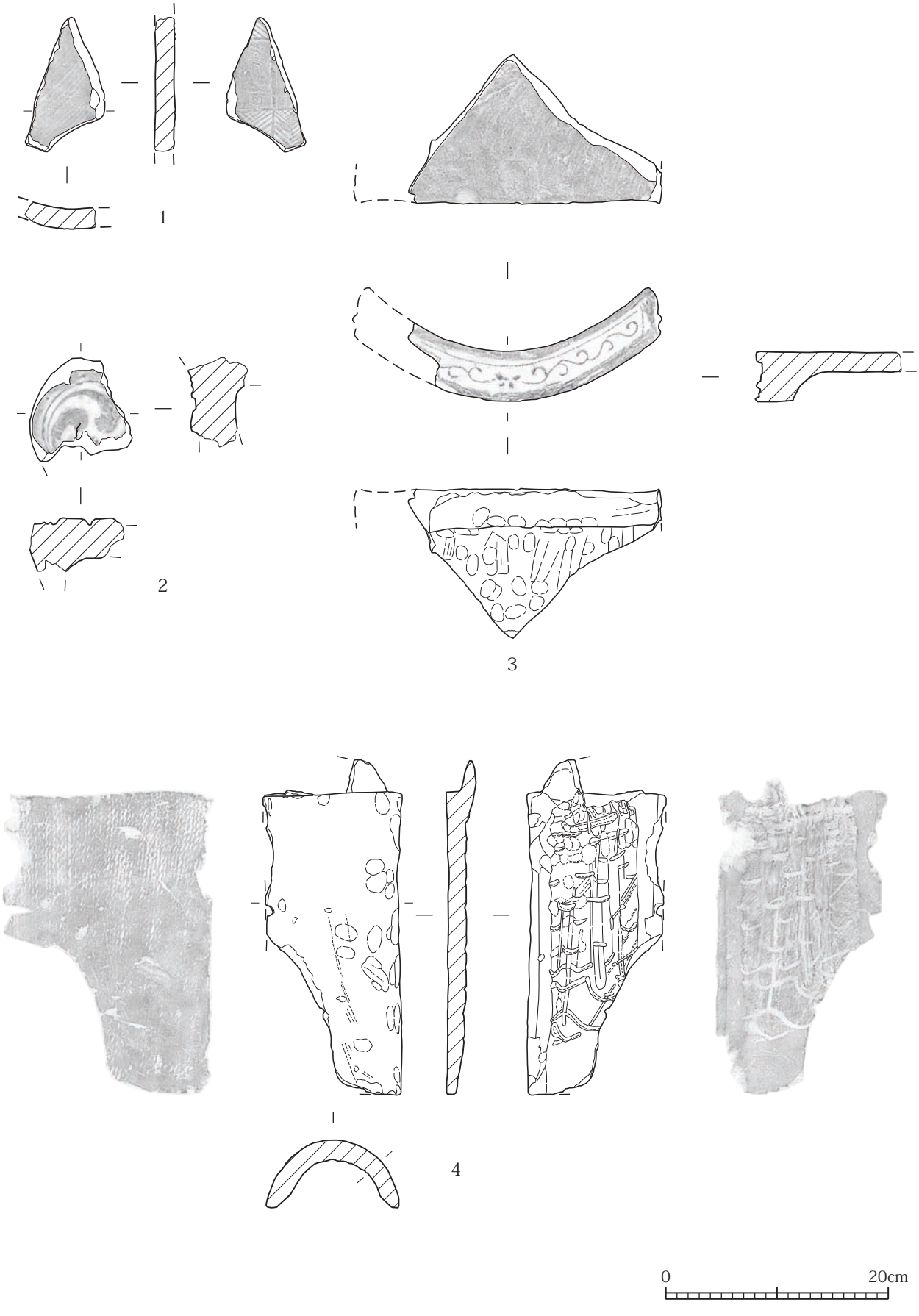
塼は形態で方塼･三角塼･組み合わせ式の３種類に大別した後に､焼成方法に基づく色調の差異（灰色･赤色)、刻印及び記号の有無などから細分を試みた。胎土や製作技術の特徴は全て屋瓦の明朝系と同様で、高麗系または大和系に対応するものは確認されていない。以下、第 52・53 図・図版 23 に特徴的な資料を示し、個々の詳細は観察表（第 11 表）に記す。

第 11 表　塼観察一覧

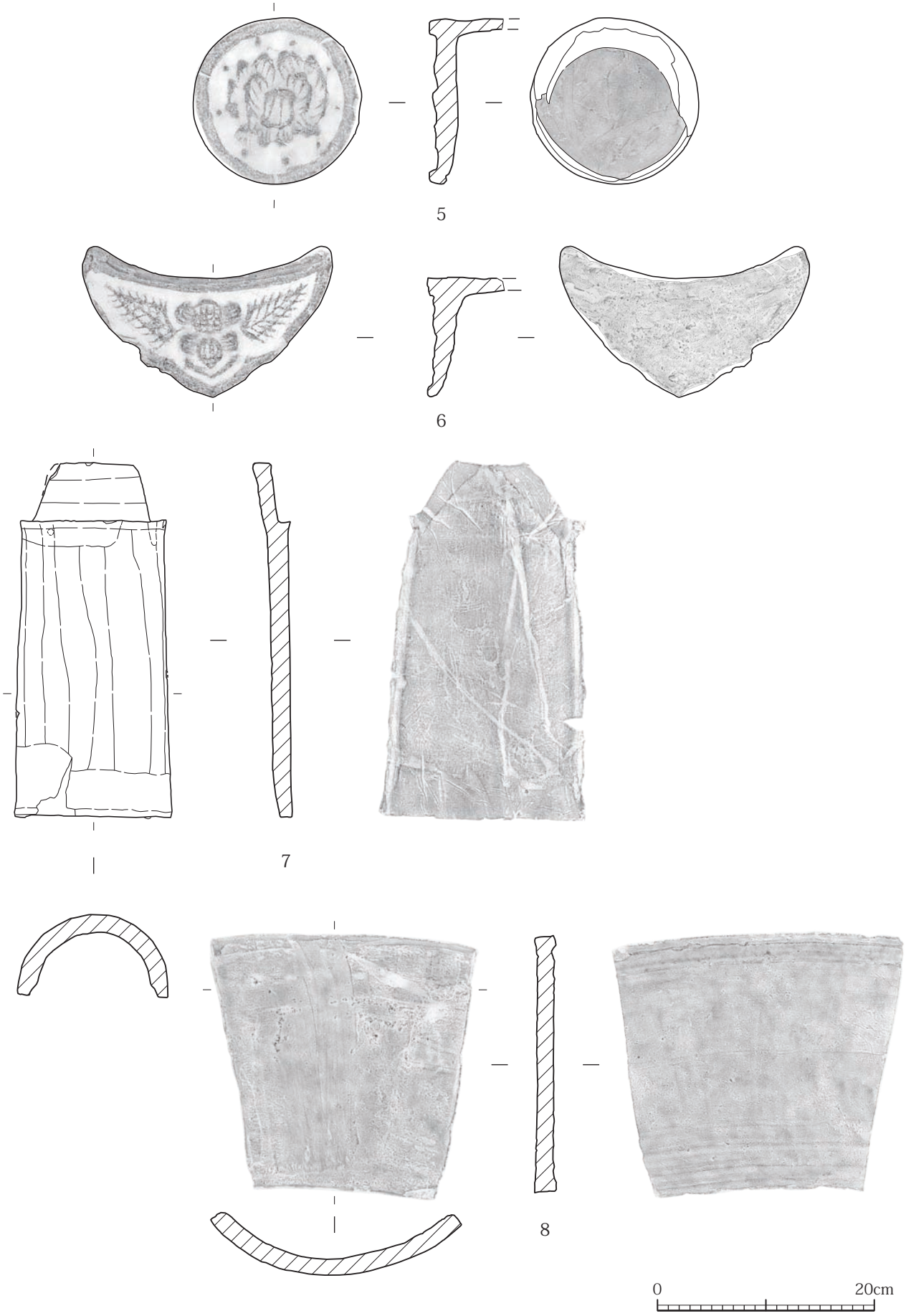
| 図・図版番号 | 番号 | 残存状況 | 色調 | 観察事項 | ナンバリング |
|---|---|---|---|---|---|
| 第52図 図版23 | 1 | 角2 | 灰色 | 正方形：ｂ・漆喰なし・刻印記号なし・厚み4.2ｃｍ | H24 表土 |
| | 2 | 角1 | 赤 | 正方形か：ｂ・漆喰なし・刻印記号あり・厚み4.3ｃｍ | H25 表土 |
| | 3 | － | 赤 | 形状不明・漆喰なし・ 大 の刻印記号あり・厚み4.0ｃｍ | H24 石積み5 裏込め |
| 第53図 図版23 | 4 | 角2 | 赤 | 三角形：ｂ・漆喰あり・刻印記号なし・厚み4.0ｃｍ | H24 石積み5内 |
| | 5 | 角2 | 褐 | 三角形:ｂ・漆喰なし・刻印記号あり・厚み4.4ｃｍ | H25 石積み10・11間 |
| | 6 | 角1 | 褐 | 噛み合わせ式・漆喰なし・刻印記号なし・厚み3.3ｃｍ | H24 表土 |

### ３　欄干

欄干は第 54 図・図版 24 に３点を示した。いずれも器面は還元焼成により灰色を呈する。１は親柱で、法量は短軸 17.5㎝・長軸 34.3㎝・厚さ 1.8 ～ 4.0㎝を測り、重量は 1,895.2 ｇを量る。H24 表土。２は平桁で、法量は短軸 7.3㎝・長軸 9.0㎝・厚さ 2.0㎝を測り、重量は 234.3 ｇを量る。H24 表土。３は斗束で、法量は短軸 14.4㎝・長軸 20.2㎝を測り、重量は 2,162.5 ｇを量る。H24 石積み５内。

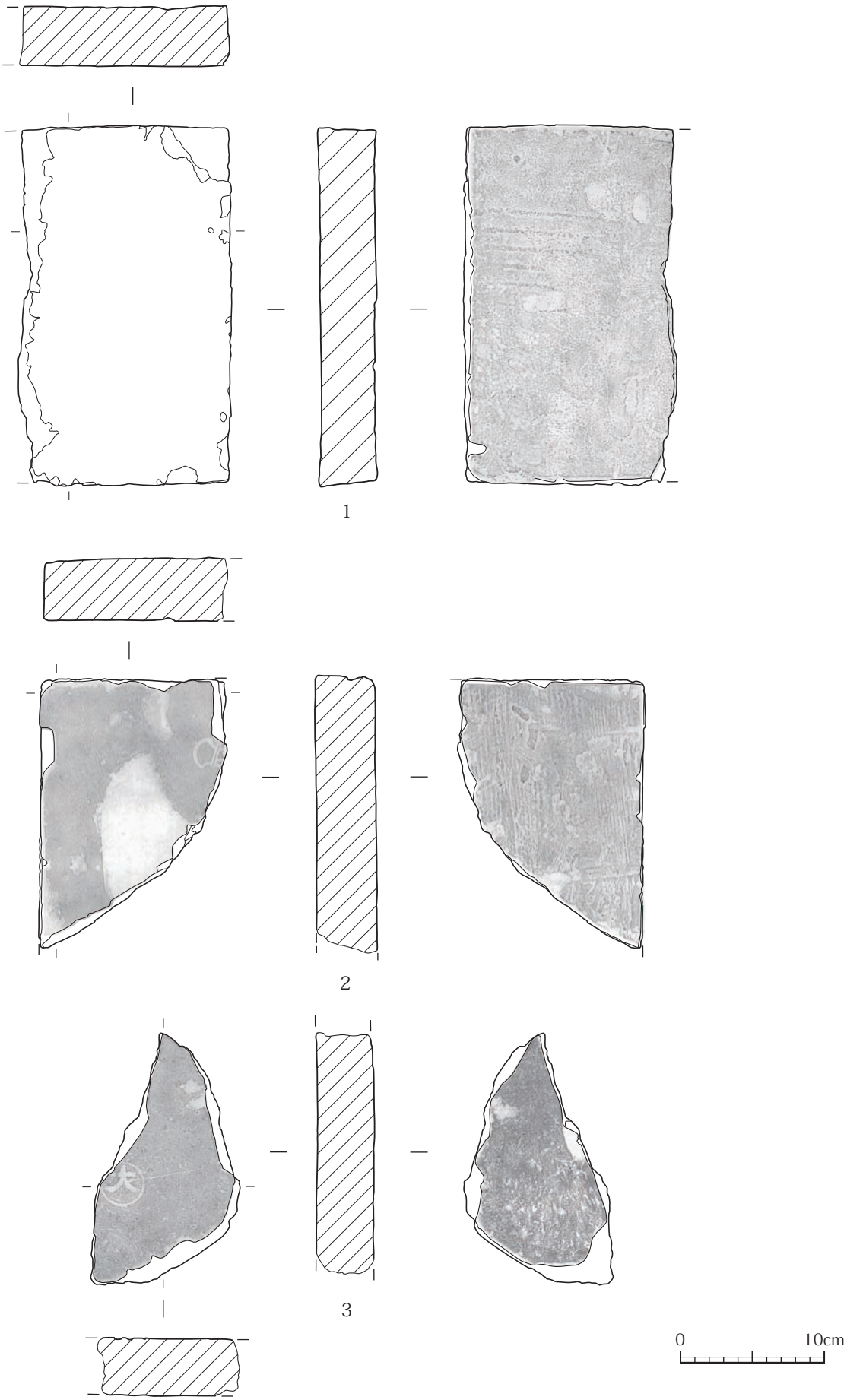



第 50 図　屋瓦 1（高麗系・大和系）

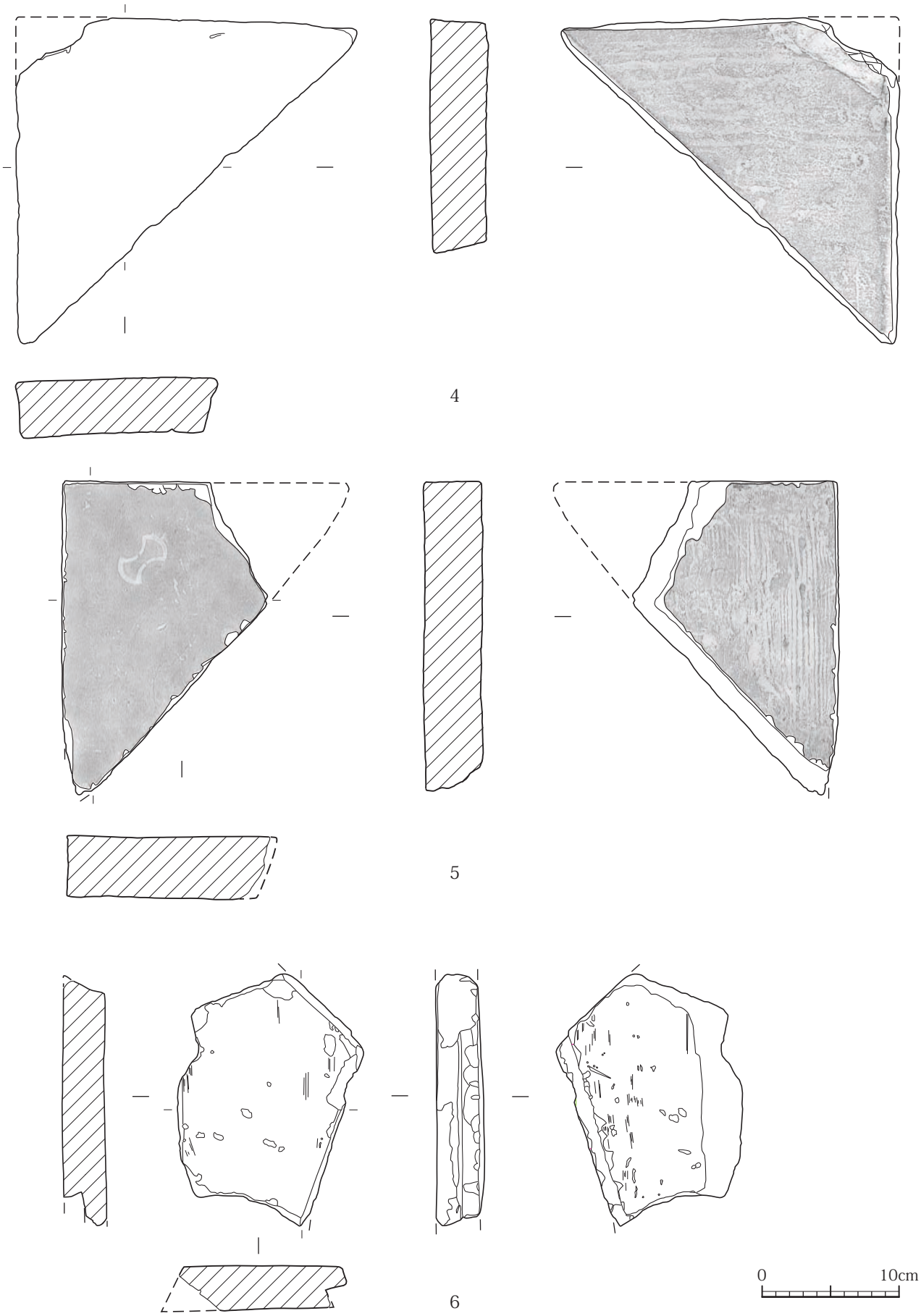



第 51 図　屋瓦 2（明朝系）

図版 22　屋瓦（高麗系・大和系・明朝系）

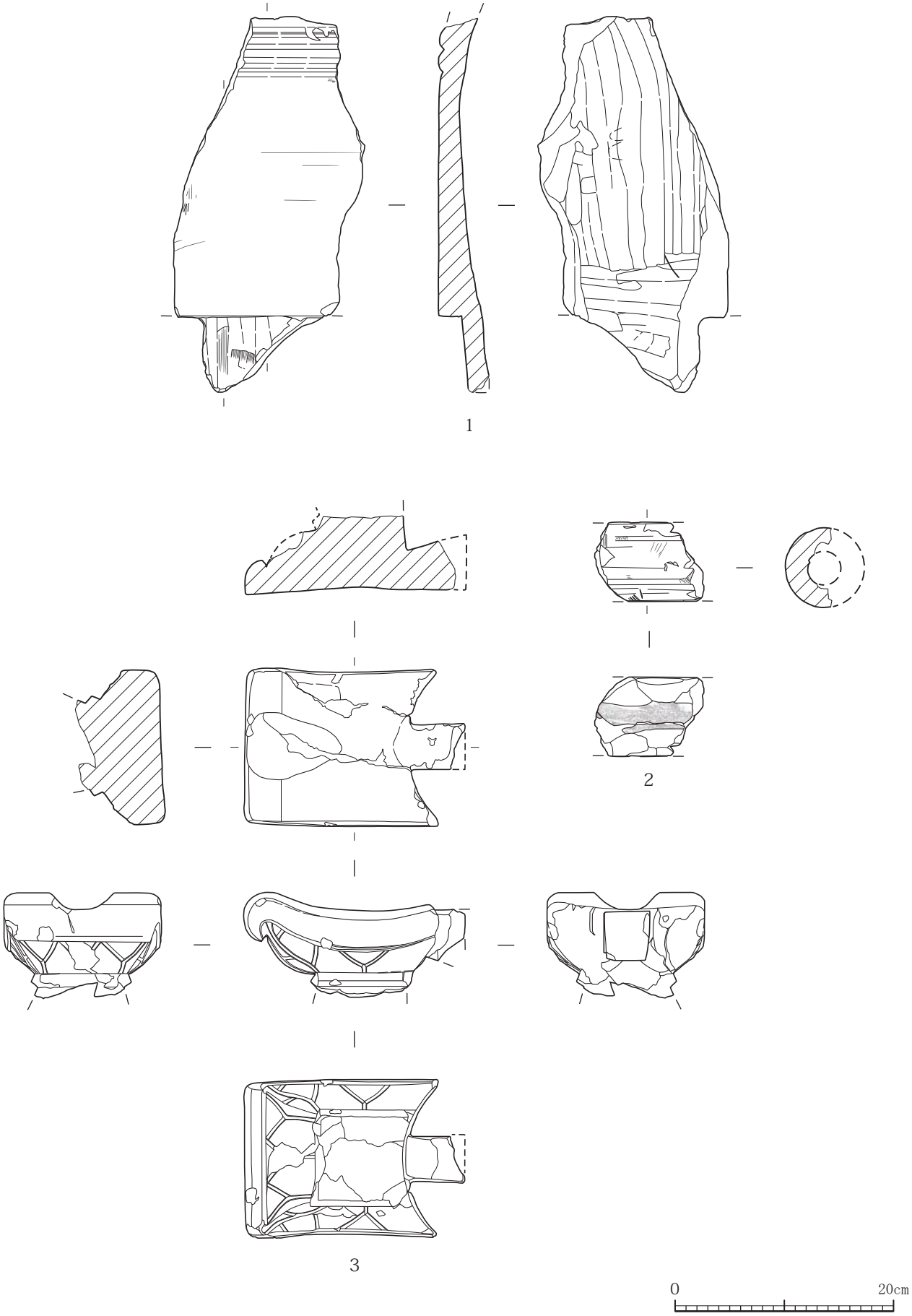



第 52 図　塼 1




第 53 図　塼 2

図版 23　塼




第 54 図　欄干

図版 24　欄干

## 第９項　円盤状製品

第 55 図・図版 25 に８点を示した。１は中国産青磁碗底部が素材で、法量は短軸 7.25㎝・長軸 7.5㎝・厚さ 0.85 ～ 1.65㎝を測り、重量は 94.9 ｇを量る。H24 表土。２も中国産青磁碗底部が素材で、法量は短軸 6.8㎝・長軸 7.0㎝・厚さ 1.5 ～ 2.5㎝を測り、重量は 126.4 ｇを量る。H25 石積み 13・15 間２層。３は中国産青花小杯底部が素材で、法量は短軸 3.15㎝・長軸 3.2㎝・厚さ 0.35 ～ 0.8㎝を測り、重量は 7.4 ｇを量る。H24 石積み５内。４は中国産褐釉陶器壺胴部が素材で、法量は短軸 5.5㎝・長軸 5.9㎝・厚さ 0.85 ～ 1.0㎝を測り、重量は 44.3 ｇを量る。H25 壕１内。５は中国産黒釉陶器天目底部が素材で、法量は短軸 4.55㎝・長軸 4.6㎝・厚さ 1.1 ～ 1.45㎝を測り、重量は 38.8 ｇを量る。H24 表土。６はタイ産褐釉陶器壺の胴部が素材で、法量は全長 3.5㎝・厚さ 1.15 ～ 1.25㎝を測り、重量は 22.3 ｇを量る。H25 石敷き１下層。７は明朝系灰色瓦が素材で、法量は短軸 3.4㎝・長軸 3.45㎝・厚さ 1.55 ～ 1.85㎝を測り、重量は 20.8 ｇを量る。H24 表土。８は沖縄産無釉陶器または陶質土器が素材で、法量は短軸 3.4㎝・長軸 3.6㎝・厚さ 1.0 ～ 1.09㎝を測り、重量は 17.5 ｇを量る。H24 表土。

## 第 10 項　煙管

煙管は石井龍太氏（石井 2011）と島弘氏（島 2011）の研究を参考に、材質や形態的特徴から下記のとおり４種類に分類した。以下、第 56 図・図版 26 に特徴的な８点を示すとともに、分類概念と個別の所見を述べる。

Ａ類：瓦または瓦質土器製の羅宇煙管で、柱状形の雁首（１）が確認されている。法量は火皿内径 1.2㎝・小口内径 1.2㎝／外径 3.2㎝・全長 3.7㎝を測り、重量は 35.4 ｇを量る。H25 表土。

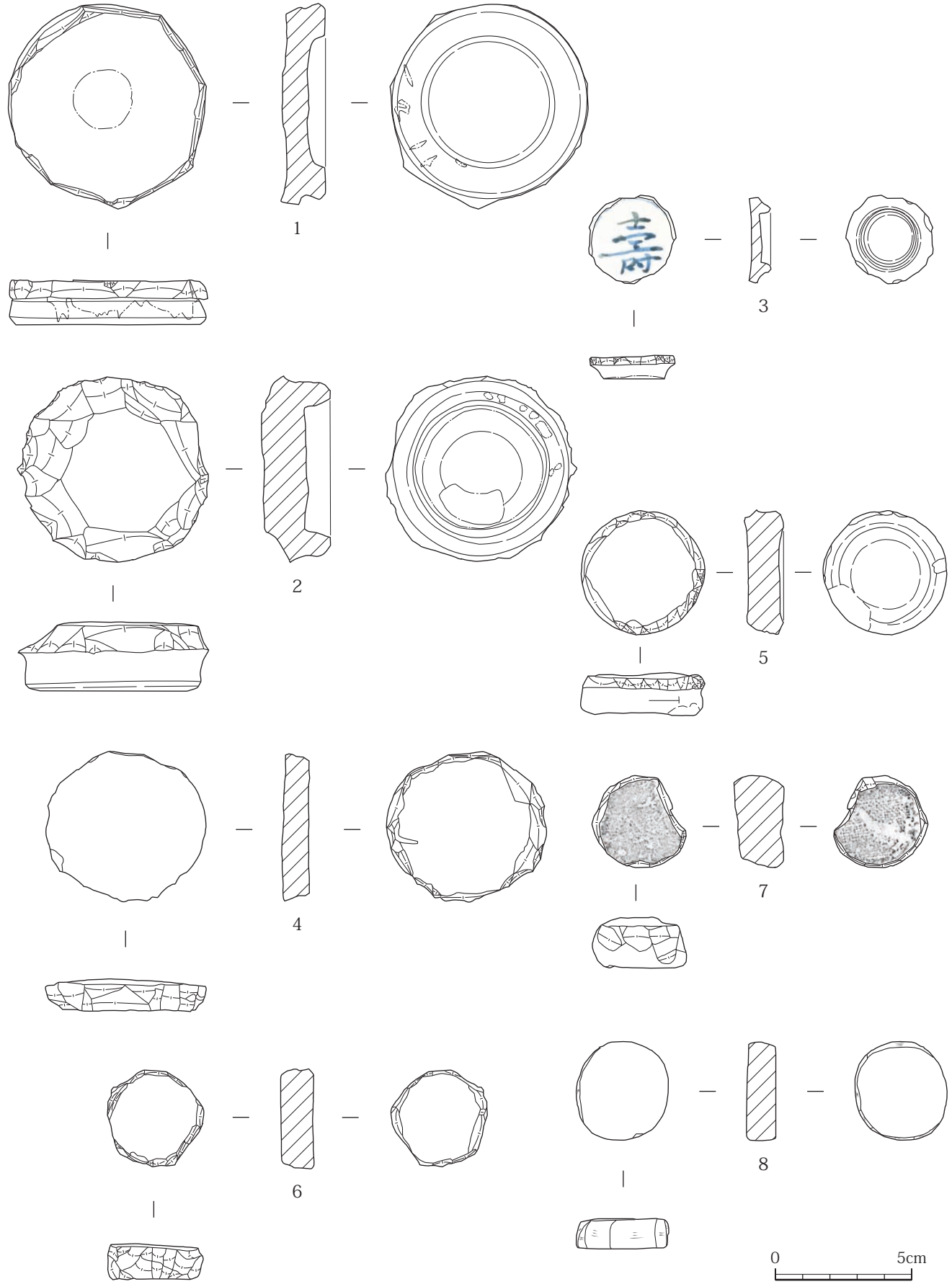
Ｂ類：沖縄産陶器製の羅宇煙管で、無釉陶器（２・３）と施釉陶器（４・５）の雁首が確認されている。２は焼成温度が高く、脂返しから肩部を八角形に面取りする。法量は火皿内径㎝ 1.2 ／外径 1.65㎝・小口内径 0.95㎝／外径 1.35㎝・全長 4.1㎝を測り、重量は 9.4 ｇを量る。H25 表土。３は２に比して焼成温度が低く、脂返しから肩部を概ね滑らかに成形する。法量は火皿内径 1.1㎝／外径 1.6㎝・小口内径 0.9㎝／外径 1.3㎝・全長 3.7㎝を測り、重量は 7.9 ｇを量る。H24 表土。４は胎土が灰白色で外面から内面途中まで灰釉を施す。法量は火皿内径 1.4㎝／外径 1.65㎝・小口内径 1.05㎝／外径 1.4㎝・全長 2.75㎝を測り、重量は 7.4 ｇを量る。H24 表土。５は胎土が淡黄橙色で外面から内面途中まで黒褐色釉を施す。法量は火皿内径 1.0㎝／外径 1.4㎝・小口内径 0.95㎝／外径 1.3㎝・全長 2.9㎝を測り、重量は 4.1 ｇを量る。H24 表土。

Ｃ類：金属製の羅宇煙管で、雁首（６）と吸口（７）がみられる。６は脂返しの上面が敲打でくぼみ、内部に羅宇の一部が残る。法量は火皿内径 0.65㎝／外径 1.0㎝・小口内径 0.8㎝／外径 0.9㎝・全長 4.6㎝を測り、重量は 5.0g を量る。H25 壕２内。７も内部に羅宇の一部が残る。法量は小口内径 0.7㎝／外形 0.85㎝・吸口内径 0.35㎝／外径 0.55㎝・全長 7.85㎝を測り、重量は 5.7 ｇ量る。H25 壕２内。

Ｄ類：金属製の延べ煙管で、吸口部分が欠損している（８）。法量は小口内径 0.7㎝／外径 1.0㎝を測り、重量は 25.2 ｇを量る。H24 洞穴１内。

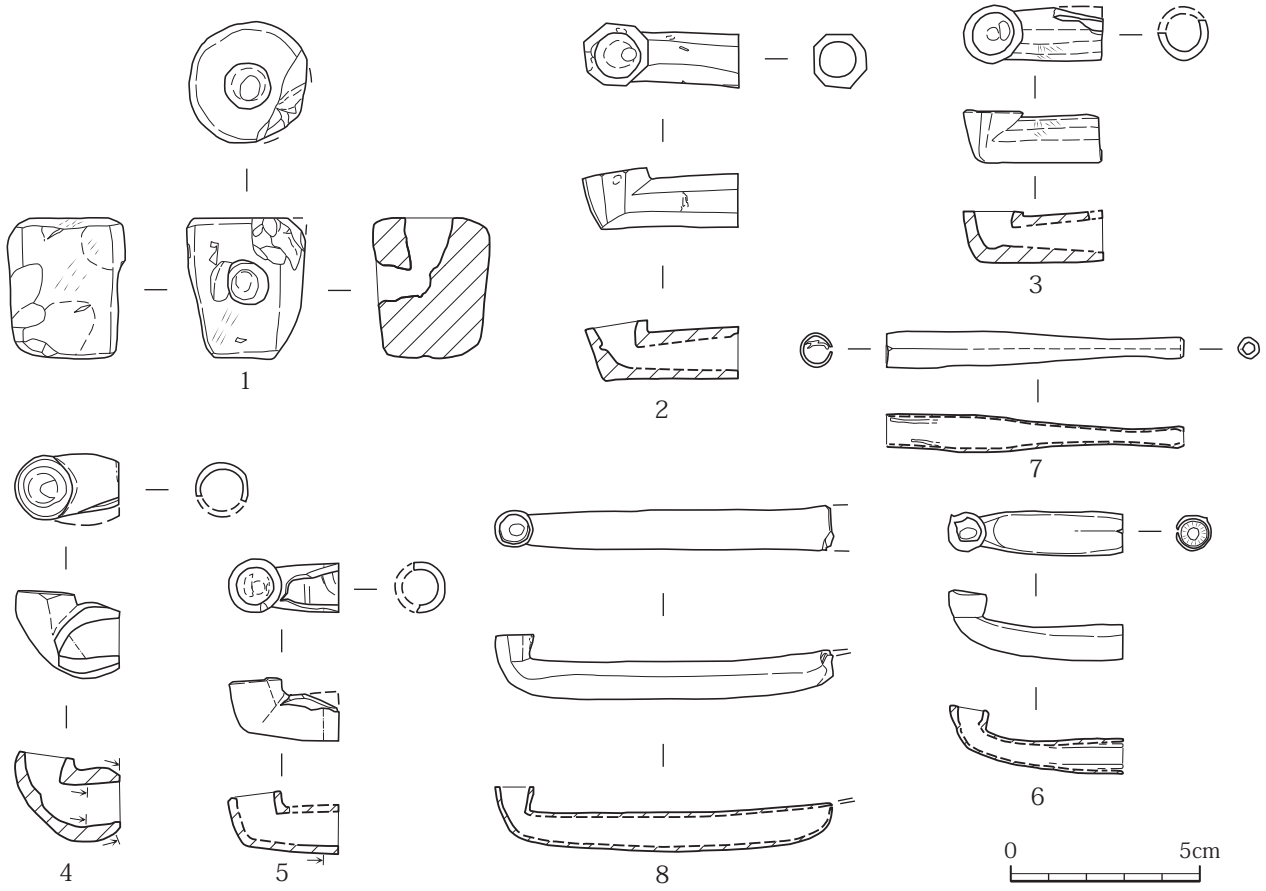
## 第 11 項　玉類

第 57 図・図版 27 に６点を示した。１は半透明のガラス製丸玉で、法量は全長 11.5㎜・幅 14.0㎜・孔径 4.5 ／ 5.5㎜を測り、重量は 4.0 ｇを量る。H25 トレンチ５の１層。２は製作途中のガラス製小玉で、色調は淡青色、法量は全長 29.0㎜・幅 5.0㎜・孔径 2.5㎜を測り、重量は 0.9 ｇを量る。H25 不明。３～６は勾玉である。３は体部を欠損する石製品？で、色調は灰白色、法量は幅 21.0㎜・孔径 5.0㎜を測り、重量は 9.7 ｇを量る。H24 洞穴１内。４は頭部を欠損する緑色のガラス製品で、重量 4.7 ｇを量る。H24 表土。５も頭部を欠損する緑色のガラス製品で、重量 1.0 ｇを量る。H25 表土。６は完形の石製品で、色調は緑色、法量は全長 17.0㎜・幅 10.0㎜・孔径 1.5㎜を測り、重量は 1.3 ｇを量る。H25 表土。



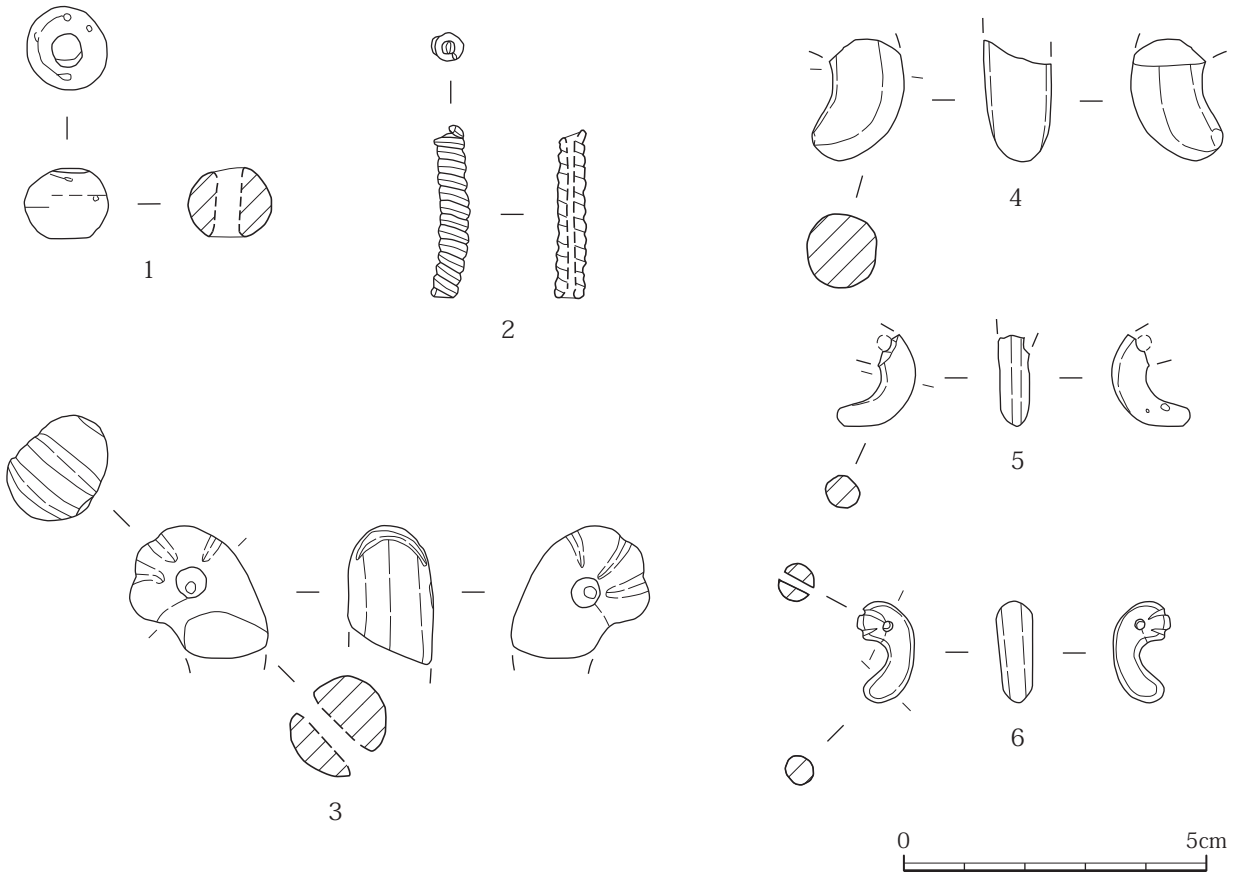

第 55 図　円盤状製品

図版 25　円盤状製品




第 56 図　煙管

図版 26　煙管




第 57 図　玉類

図版 27　玉類

## 第 12 項　銭貨

銭貨は総数 820 点出土しており（第 22 表）、産地別では中国・朝鮮・日本・琉球が確認されている。これを年代別にみると、銭種が判読可能な資料のうちグスク時代と考えられるものは中国銭 31 種 270 点・朝鮮銭 1 種 1 点・琉球銭 2 種 3 点の計 34 種 274 点、近世は中国銭 1 種 1 点、日本銭 2 種 17 点、近代は日本銭 14 種 345 点となっている。この他、注目される資料に厭勝銭として使用された銭貨状金製品（図版 32 ― 67）がある。以下、特徴的な資料を第 58 ～ 61 図・図版 28 ～ 32 に示し、個々の詳細は観察表（第 12 表）に記す。

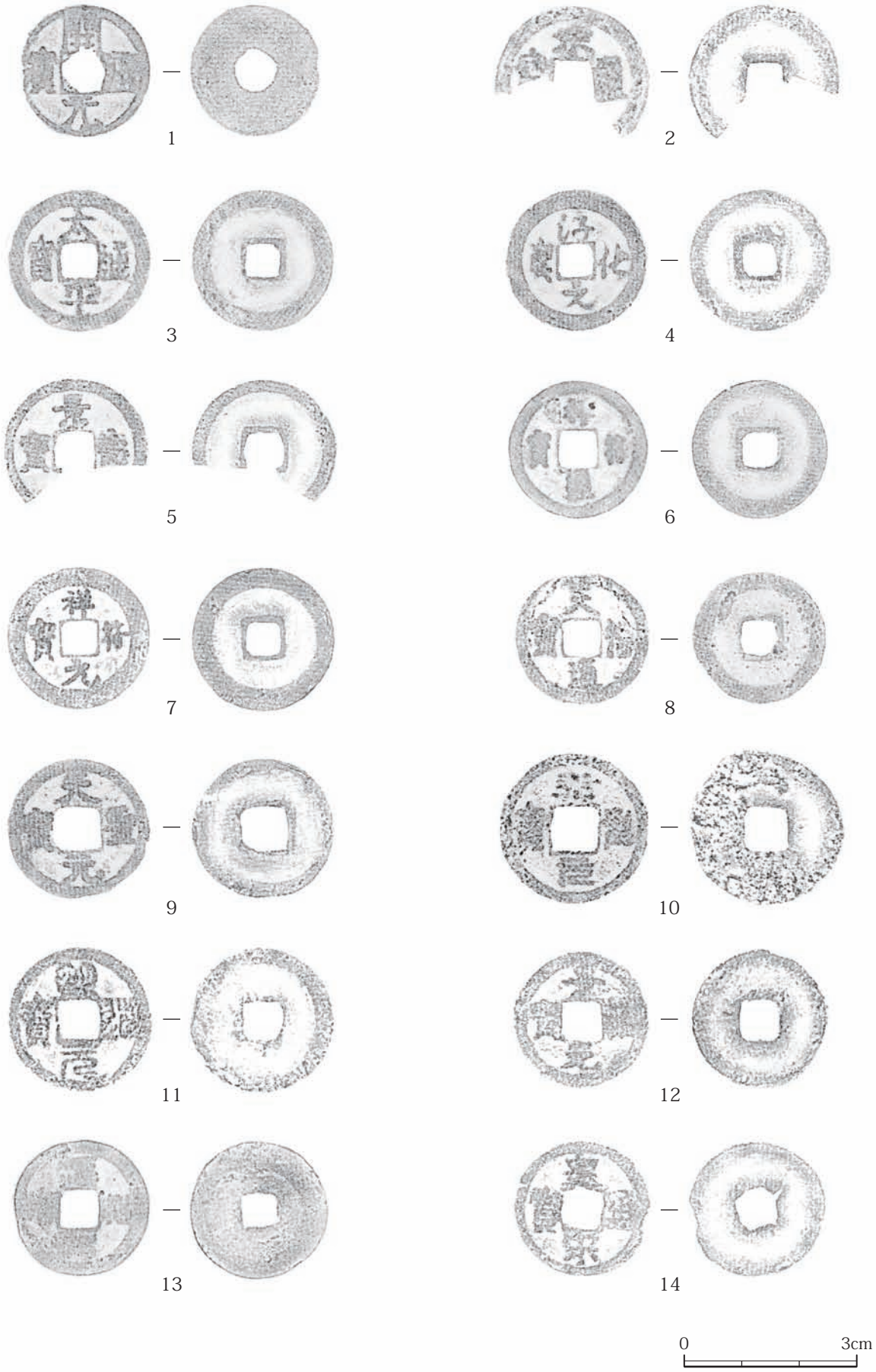
第 12 表　銭貨観察一覧 1

| 図・図版番号 | 銭種名 | 国・王朝初鋳年 | 法量（㎝・g） | | | | 残存率 | 観察事項 | ナンバリング |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 外径 | 内径 | 厚さ | 重量 | | | |
| 第58図1<br>図版28-1 | 開元通寶 | 唐・武徳4年<br>（621年） | 2.29 | 0.71 | 0.10 | 2.6 | 完形 | 素材：青銅。背文なし。方孔縁取りで円孔。 | H25 石積み<br>10・11間　3層 |
| 第58図2<br>図版28-2 | 宋通元寶 | 北宋・建隆元年<br>（960年） | (2.63) | (0.59) | (0.10) | 2.6 | 3/4 | 素材：青銅。背右月文か。 | H25 表土 |
| 第58図3<br>図版28-3 | 太平通寶 | 北宋・太平興国元年<br>（976年） | 2.47 | 0.56 | 0.09 | 2.9 | 完形 | 素材：青銅。背文なし。 | H25 表土 |
| 第58図4<br>図版28-4 | 淳化元寶 | 北宋・淳化元年<br>（990年） | 2.50 | 0.55 | 0.12 | 3.8 | 完形 | 素材：青銅。草書。背文なし。 | H25 石積み1 |
| 第58図5<br>図版28-5 | 景徳元寶 | 北宋・景徳元年<br>（1004年） | (2.52) | (0.63) | (0.11) | 2.1 | 3/4 | 素材：青銅。 | H25 表土 |
| 第58図6<br>図版28-6 | 祥符通寶 | 北宋・大中祥符2年<br>（1009年） | 2.42 | 0.60 | 0.09 | 3.2 | 完形 | 素材：青銅。 | H25 石積み12 |
| 第58図7<br>図版28-7 | 祥符元寶 | 北宋・大中祥符2年<br>（1009年） | 2.53 | 0.56 | 0.08 | 3.4 | 完形 | 素材：青銅。 | H25 石積み11内 |
| 第58図8<br>図版28-8 | 天禧通寶 | 北宋・天禧元年<br>（1017年） | 2.36 | 0.58 | 0.09 | 3.3 | 完形 | 素材：青銅。 | H25 石敷き1 下層 |
| 第58図9<br>図版28-9 | 天聖元寶 | 北宋・天聖元年<br>（1023年） | 2.50 | 0.73 | 0.10 | 3.2 | 完形 | 素材：青銅。真書。 | H25 表土 |
| 第58図10<br>図版28-10 | 天聖元寶 | 北宋・天聖元年<br>（1023年） | 2.70 | 0.69 | 0.14 | 3.8 | 完形 | 素材：青銅。篆書。 | H25 トレンチ3　1層 |
| 第58図11<br>図版28-11 | 明道元寶 | 北宋・明道元年<br>（1032年） | 2.53 | 0.64 | 0.08 | 2.4 | 完形 | 素材：青銅。篆書。 | H25 表土 |
| 第58図12<br>図版28-12 | 景祐元寶 | 北宋・景祐元年<br>（1034年） | 2.41 | 0.67 | 0.11 | 3.4 | 完形 | 素材：青銅。真書。 | H25 石積み11内 |
| 第58図13<br>図版28-13 | 景祐元寶 | 北宋・景祐元年<br>（1034年） | 2.40 | 0.61 | 0.10 | 3.4 | 完形 | 素材：青銅。篆書。 | H25 石積み11内 |
| 第58図14<br>図版28-14 | 皇宋通寶 | 北宋・宝元元年<br>（1038年） | 2.38 | 0.68 | 0.11 | 2.8 | 完形 | 素材：青銅。真書。方孔の縁取りが歪。 | H25 トレンチ1 |
| 第59図15<br>図版29-15 | 皇宋通寶 | 北宋・宝元元年<br>（1038年） | 2.54 | 0.69 | 0.12 | 3.6 | 完形 | 素材：青銅。篆書。 | H25 石積み11内 |
| 第59図16<br>図版29-16 | 至和元寶 | 北宋・至和元年<br>（1054年） | 2.27 | 0.57 | 0.09 | 2.6 | 完形 | 素材：青銅。真書。 | H25 石積み11内 |
| 第59図17<br>図版29-17 | 嘉祐通寶 | 北宋・嘉祐元年<br>（1056年） | 2.57 | 0.76 | 0.10 | 3.1 | 完形 | 素材：青銅。真書。全体的に変形。 | H25 表土 |
| 第59図18<br>図版29-18 | 治平元寶 | 北宋・治平元年<br>（1064年） | 2.36 | 0.62 | 0.08 | 3.0 | 完形 | 素材：青銅。真書。 | H25 表土 |
| 第59図19<br>図版29-19 | 熙寧元寶 | 北宋・熙寧元年<br>（1068年） | 2.39 | 0.63 | 0.11 | 3.5 | 完形 | 素材：青銅。真書。 | H25 表土 |
| 第59図20<br>図版29-20 | 熙寧元寶 | 北宋・熙寧元年<br>（1068年） | 2.52 | 0.68 | 0.10 | 2.9 | 完形 | 素材：青銅。篆書。 | H25 表土 |
| 第59図21<br>図版29-21 | 元豊通寶 | 北宋・元豊元年<br>（1078年） | 2.85 | 0.59 | 0.13 | 6.6 | 完形 | 素材：青銅。折二銭。篆書。 | H24 表土 |
| 第59図22<br>図版29-22 | 元豊通寶 | 北宋・元豊元年<br>（1078年） | 2.42 | 0.58 | 0.11 | 4.2 | 完形 | 素材：青銅。小平銭。行書。背文なし。 | H25 石積み11<br>裏込め |
| 第59図23<br>図版29-23 | 元豊通寶 | 北宋・元豊元年<br>（1078年） | 2.45 | 0.65 | 0.11 | 3.2 | 完形 | 素材：青銅。小平銭。篆書。背文なし。 | H25 表土 |
| 第59図24<br>図版29-24 | 元祐通寶 | 北宋・元祐元年<br>（1086年） | 2.46 | 0.65 | 0.11 | 3.4 | 完形 | 素材：青銅。小平銭。行書。 | H25 表土 |
| 第59図25<br>図版29-25 | 元祐通寶 | 北宋・元祐元年<br>（1086年） | 2.40 | 0.60 | 0.10 | 3.5 | 完形 | 素材：青銅。小平銭。篆書。背文なし。 | H25 表土 |
| 第59図26<br>図版29-26 | 元符通寶 | 北宋・元符元年<br>（1098年） | 2.45 | 0.68 | 0.11 | 3.5 | 完形 | 素材：青銅。小平銭。行書。 | H25 表土 |
| 第59図27<br>図版29-27 | 元符通寶 | 北宋・元符元年<br>（1098年） | 2.38 | 0.66 | 0.10 | 3.2 | 完形 | 素材：青銅。小平銭。篆書。 | H25 表土 |
| 第59図28<br>図版29-28 | 聖宋通寶 | 北宋・建中靖国元年<br>（1101年） | 2.49 | 0.59 | 0.10 | 3.1 | 完形 | 素材：青銅。小平銭。行書。方孔の縁取りが少し歪か。 | H24 表土 |
| 第60図29<br>図版30-29 | 聖宋元寶 | 北宋・建中靖国元年<br>（1101年） | 2.43 | 0.60 | 0.13 | 4.9 | 完形 | 素材：青銅。小平銭。篆書。 | H25 表土 |
| 第60図30<br>図版30-30 | 大観通寶 | 北宋・大観元年<br>（1107年） | 2.34 | 0.60 | 0.10 | 2.8 | 完形 | 素材：青銅。小平銭。 | H25 表土 |

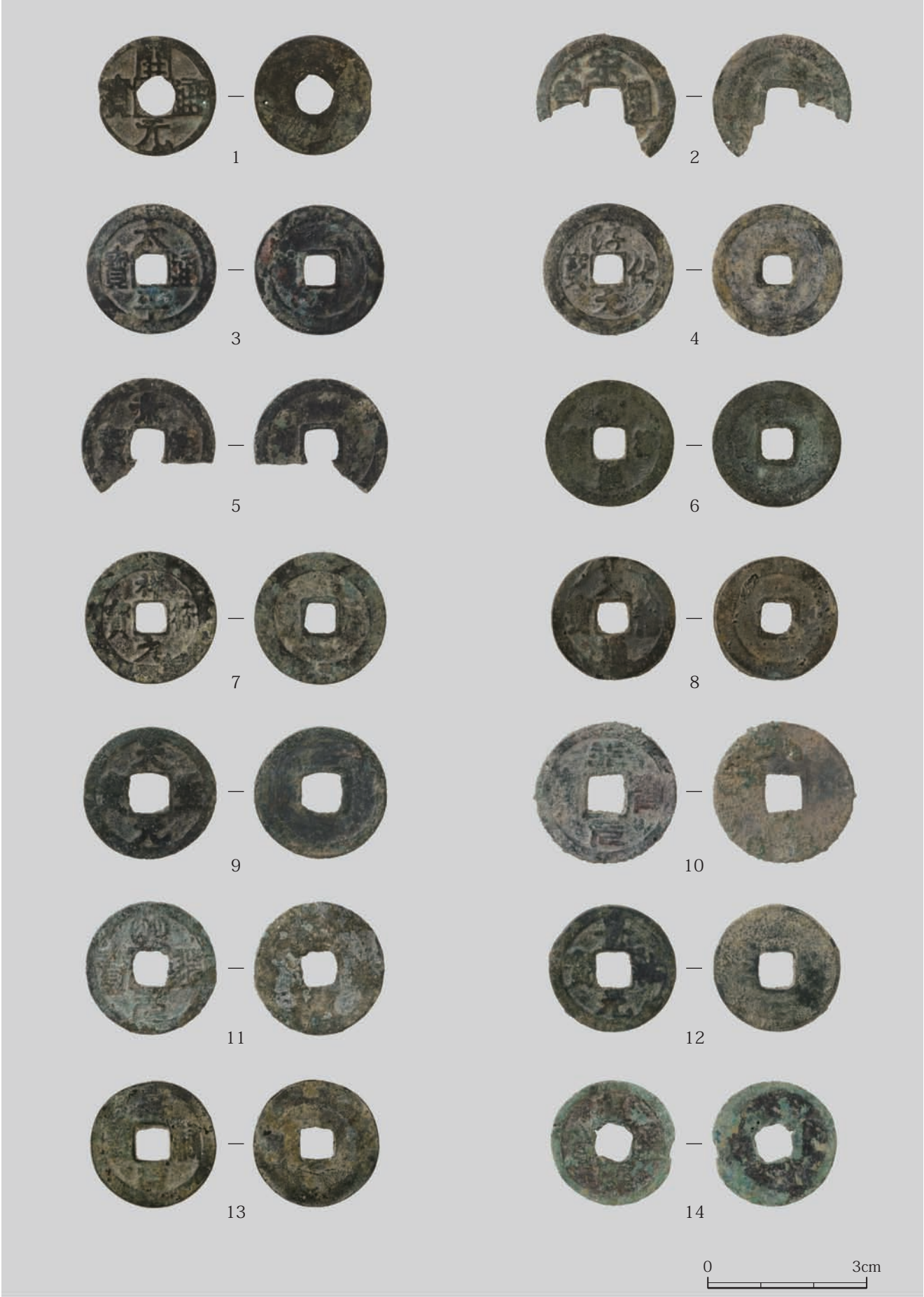
## 第 12 表　銭貨観察一覧 2

| 図・図版番号 | 銭種名 | 国・王朝初鋳年 | 法量（cm・g） | | | | 残存率 | 観察事項 | ナンバリング |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 外径 | 内径 | 厚さ | 重量 | | | |
| 第60図31<br>図版30-31 | 政和通寶 | 北宋・政和元年<br>（1111年） | 2.51 | 0.65 | 0.10 | 2.8 | 完形 | 素材：青銅。小平銭。篆書。 | H25 石敷き1 下層 |
| 第60図32<br>図版30-32 | 政和通寶 | 北宋・政和元年<br>（1111年） | 2.41 | 0.66 | 0.09 | 2.4 | 完形 | 素材：青銅。小平銭。分楷。 | H25 表土 |
| 第60図33<br>図版30-33 | 正隆元寶 | 金・正隆2年<br>（1157年） | 2.51 | 0.53 | 0.15 | 4.2 | 完形 | 素材：青銅。 | H25 表土 |
| 第60図34<br>図版30-34 | 皇宋元寶 | 北宋・宝祐元年<br>（1253年） | 2.35 | 0.67 | 0.09 | 2.5 | 完形 | 素材：青銅。小平銭。背二。 | H25 表土 |
| 第60図35<br>図版30-35 | 洪武通寶 | 明・洪武元年<br>（1368年） | 2.00 | 0.53 | 0.13 | 2.7 | 完形 | 素材：青銅。小平銭。背一銭か。 | H25 石列6前 |
| 第60図36<br>図版30-36 | 洪武通寶 | 明・洪武元年<br>（1368年） | 2.32 | 0.53 | 0.14 | 4.0 | 完形 | 素材：青銅。小平銭。背文なし。 | H25 石積み11内 |
| 第60図37<br>図版30-37 | 洪武通寶 | 明・洪武元年<br>（1368年） | 2.44 | 0.57 | 0.11 | 3.1 | 完形 | 素材：青銅。小平銭。背浙。 | H25 石敷き1 下層 |
| 第60図38<br>図版30-38 | 洪武通寶 | 明・洪武元年<br>（1368年） | (2.44) | (0.56) | (0.11) | 2.8 | 3/4 | 素材：青銅。小平銭。背福。 | H25 表土 |
| 第60図39<br>図版30-39 | 洪武通寶 | 明・洪武元年<br>（1368年） | 2.26 | 0.47 | 0.13 | 3.7 | 完形 | 素材：青銅。小平銭。背一銭。 | H25 表土 |
| 第60図40<br>図版30-40 | 永樂通寶 | 明・永樂6年<br>（1408年） | 2.52 | 0.50 | 0.10 | 3.4 | 完形 | 素材：青銅。 | H25 石積み<br>10・11間　3層 |
| 第60図41<br>図版30-41 | 朝鮮通寶 | 朝鮮・世宗5年<br>（1423年） | 2.38 | 0.54 | 0.13 | 3.9 | 完形 | 素材：青銅。 | H24 表土 |
| 第60図42<br>図版30-42 | 宣德通寶 | 明・宣德8年<br>（1433年） | 2.51 | 0.48 | 0.11 | 3.7 | 完形 | 素材：青銅。 | H25 石積み11<br>裏込め |
| 第61図43<br>図版31-43 | 大世通寶 | 琉球・尚泰久元年<br>（1454年） | 2.36 | 0.53 | 0.11 | 3.3 | 完形 | 素材：青銅。方孔縁取りで円孔か。 | H25 表土 |
| 第61図44<br>図版31-44 | 世高通寶 | 琉球・尚德元年<br>（1461年） | 2.42 | 0.55 | 0.10 | 3.6 | 完形 | 素材：青銅。 | H25 石積み<br>10・11間　3層 |
| 第61図45<br>図版31-45 | 寛永通寶 | 江戸・寛永13<br>（1636年） | 2.40 | 0.53 | 0.09 | 2.9 | 完形 | 素材：青銅。１期（古寛永）。 | H24 洞穴1内 |
| 第61図46<br>図版31-46 | 寛永通寶 | 江戸・寛文8<br>（1668年） | 2.55 | 0.59 | 0.08 | 3.2 | 完形 | 素材：青銅。２期（文銭）。 | H24 表土 |
| 第61図47<br>図版31-47 | 寛永通寶 | 江戸・元禄10<br>（1697年） | 2.32 | 0.61 | 0.09 | 2.6 | 完形 | 素材：青銅。３期（新寛永）。背文なし。右に１つの穿孔。 | H24 洞穴1内 |
| 第61図48<br>図版31-48 | 寛永通寶 | 江戸・元禄10<br>（1697年） | 2.22 | 0.58 | 0.09 | 2.3 | 完形 | 素材：青銅。３期（新寛永）。背足。 | H25 石敷き1 下層 |
| 第61図49<br>図版31-49 | 仙臺通寶 | 江戸・天明4年<br>（1784年） | 2.17 | 0.62 | 0.11 | 2.6 | 完形 | 素材：鉄。小形。 | H25 石積み11内 |
| 第61図50<br>図版31-50 | 絵銭か | — | 2.32 | 0.53 | 0.08 | 1.8 | 完形 | 素材：青銅。 | H25 表土 |
| 第61図51<br>図版31-51 | 道光通寶 | 清・道光元年<br>（1821年） | — | — | (0.07) | 0.4 | 1/2 | 素材：青銅。背面に蘇か（江蘇宝蘇局か）。 | H25 表土 |
| 第61図52<br>図版31-52 | 無文銭 | — | 1.88<br>1.57 | 0.92<br>0.79 | 0.09 | 4.0 | 完形 | 素材：青銅。５枚が溶着。 | H24 石積み5内 |
| 第61図53<br>図版31-53 | 無文銭 | — | 2.10 | 0.74 | 0.11 | 1.9 | 完形 | 素材：青銅。 | H25 石敷き1 |
| 第61図54<br>図版31-54 | 無文銭 | — | 1.96 | 0.82 | 0.08 | 1.1 | 完形 | 素材：青銅。方孔内にバリが残る。 | H25 石積み11<br>裏込め |
| 第61図55<br>図版31-55 | 無文銭 | — | 1.11 | 0.57 | 0.10 | 0.4 | 完形 | 素材：青銅。方孔内にバリが残る。 | H25 壕3前 |
| 図版32-56 | 半銭 | — | 2.23 | — | 0.13 | 3.6 | 完形 | 近代銭（明治13年）。銅貨。表：龍。 | H24 洞穴1内 |
| 図版32-57 | 一銭 | — | 2.29 | — | 0.13 | 3.5 | 完形 | 近代銭（大正７年）。青銅銭。表：菊花・唐草、裏：桐。 | H25 壕2内 |
| 図版32-58 | 五銭 | — | 1.92 | 0.36 | 0.11 | 2.5 | 完形 | 近代銭（大正11年）。白銅貨。表：菊花紋章・桐、裏：八稜鏡・青海波。 | H25 壕2内 |
| 図版32-59 | 一銭 | — | 2.32 | — | 0.13 | 3.8 | 完形 | 近代銭（昭和13年）。黄銅貨。表：菊花紋章・桐・海波・八稜鏡、裏：八咫烏・瑞雲・桜花。 | H24 洞穴1内 |
| 図版32-60 | 一銭 | — | 1.77 | — | 0.17 | 0.9 | 完形 | 近代銭（昭和14年か）。アルミニウム貨。表：菊花紋章・桐・海波・八稜鏡、裏：八咫烏・瑞雲・桜花。 | H24 表土 |
| 図版32-61 | 五銭 | — | 1.90 | — | 0.18 | 1.2 | 完形 | 近代銭（昭和16年）。アルミニウム貨。表：菊花紋章・瑞雲、裏：金鵄 | H24 洞穴1内 |
| 図版32-62 | 五銭 | — | 1.89 | — | 0.18 | 1.1 | 完形 | 近代銭（昭和16年）。アルミニウム貨。表：菊花紋章・瑞雲、裏：金鵄 | H25 壕2・石積み<br>16間 |
| 図版32-63 | 十銭 | — | 2.18 | — | 0.14 | 1.2 | 完形 | 近代銭（昭和17年）。アルミニウム貨。表：菊花紋章・桐、裏：二重桜花。 | H24 洞穴1内 |
| 図版32-64 | 一銭 | — | 1.60 | — | 0.11 | 0.5 | 完形 | 近代銭（昭和18年）。アルミニウム貨。表：菊花紋章・富士山。 | H25 壕2・石積み<br>16間 |
| 図版32-65 | 十銭 | — | 1.92 | 0.50 | 0.17 | 2.5 | 完形 | 近代銭（昭和19年）。錫貨。表：菊花紋章・桐・瑞雲。 | H24 洞穴1内 |
| 図版32-66 | 一銭 | — | 1.57 | — | 0.30 | 1.4 | 完形 | 近代銭（昭和19年）。錫貨。表：菊花紋章・唐草。２枚が溶着。 | H25 洞穴1内<br>石敷き |
| 図版32-67 | 銭貨状<br>金製品 | — | 1.95 | 0.50 | 0.02 | 0.4 | 完形 | 形態は方孔銭。厭勝銭と想定。 | H25 石積み11内 |

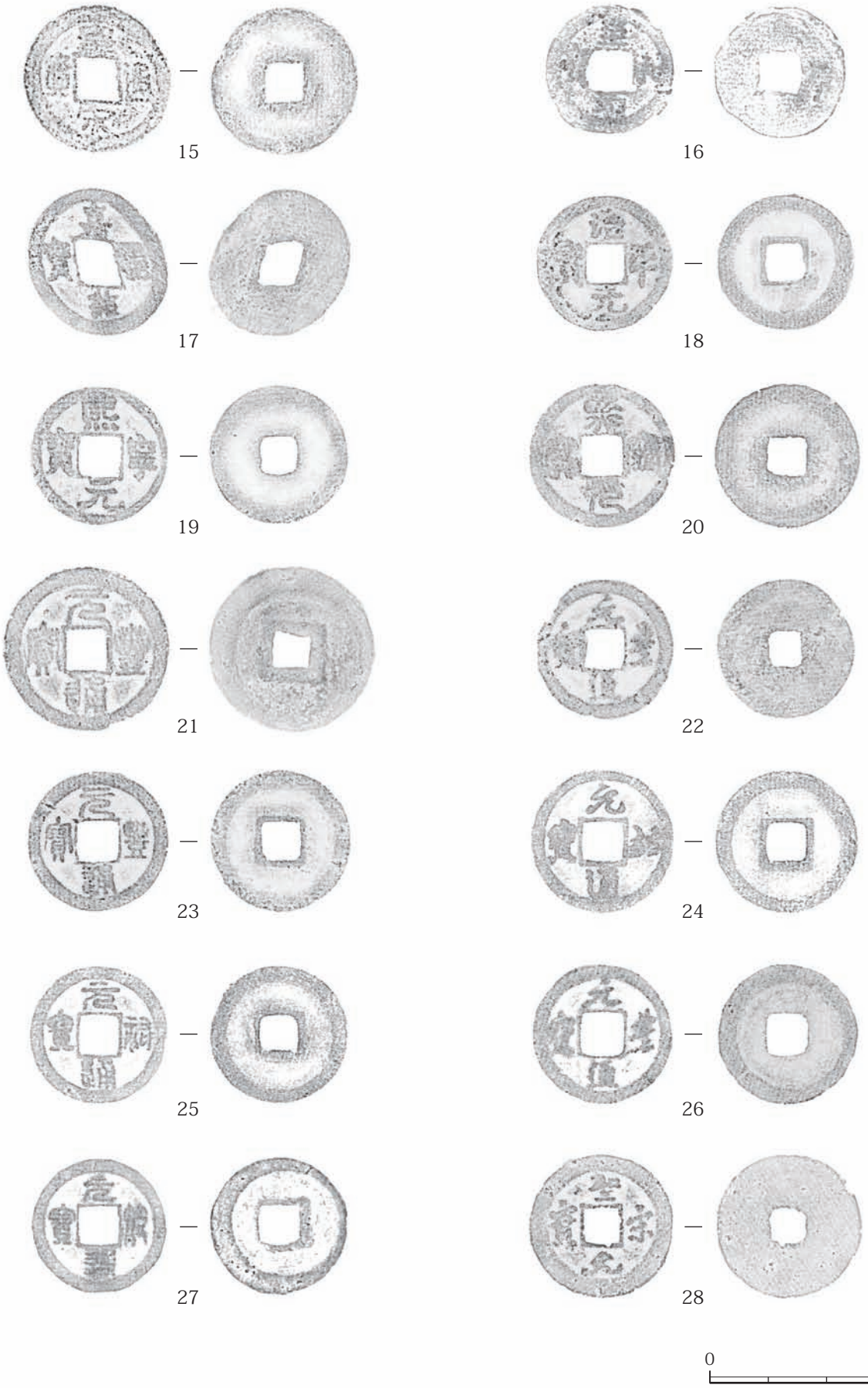
＊（　）内は原則残存値。



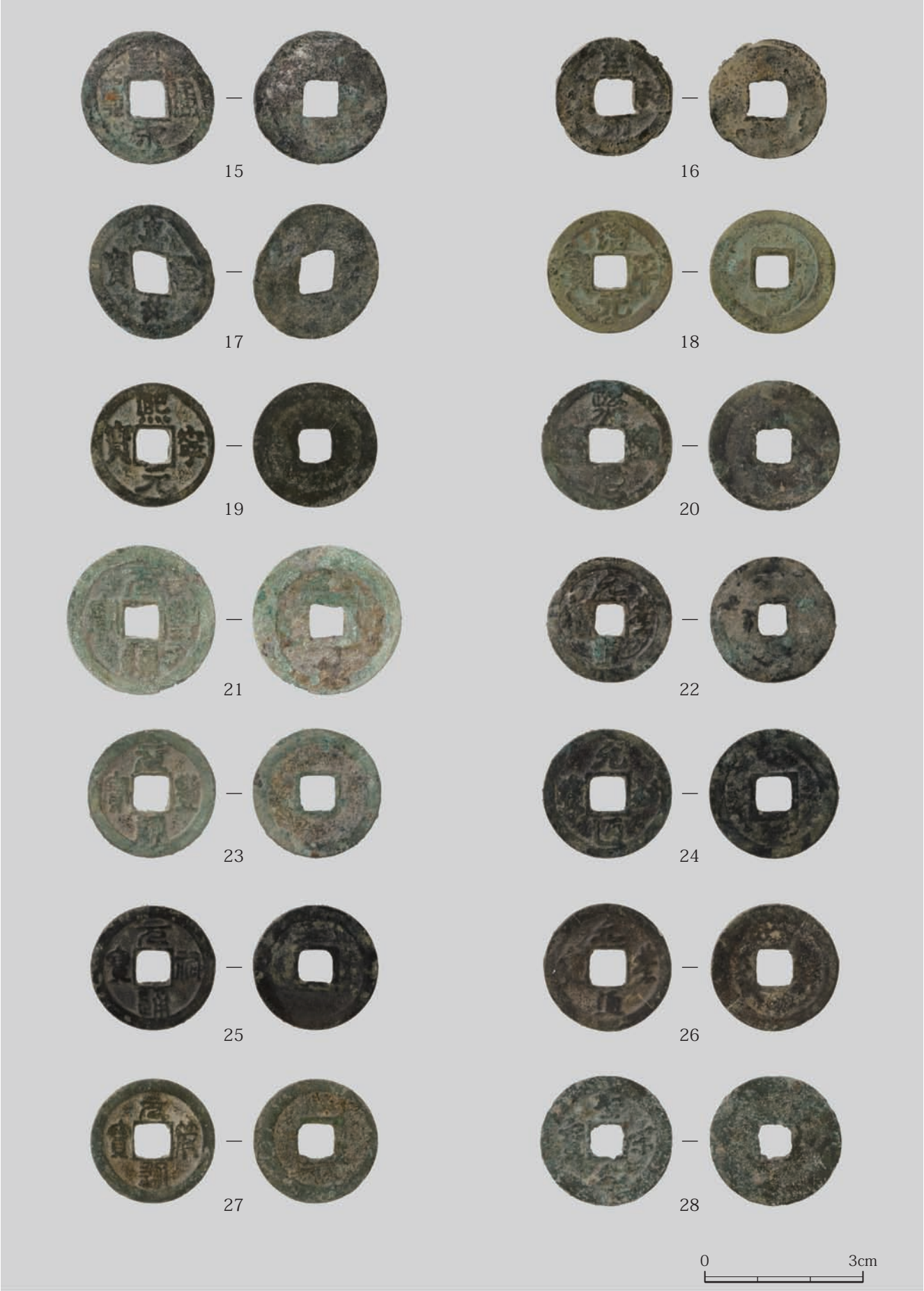

第 58 図　銭貨 1



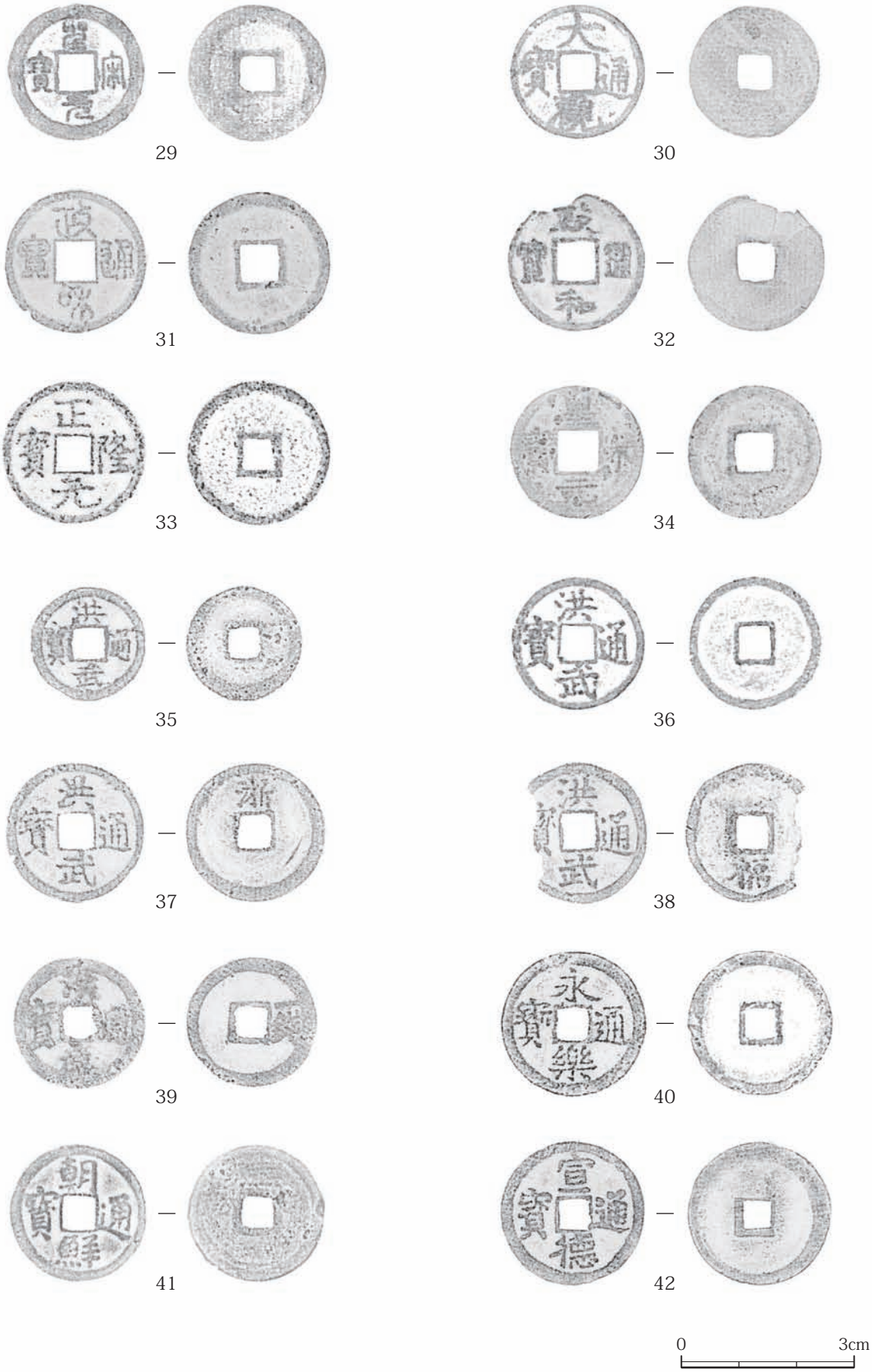

図版 28　銭貨 1




第 59 図　銭貨 2

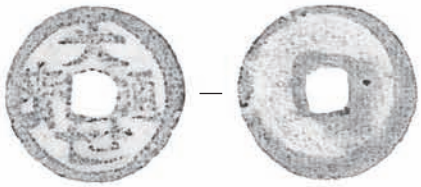


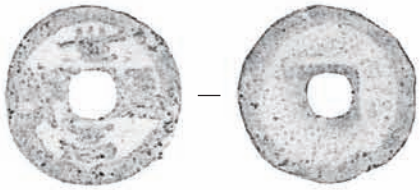

図版 29　銭貨 2



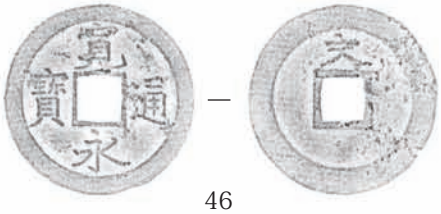

第 60 図　銭貨 3

図版 30　銭貨 3

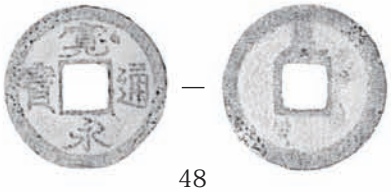

43

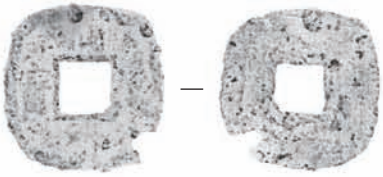

44

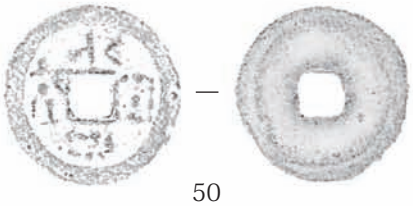
45


46

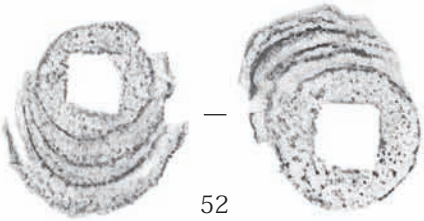
47

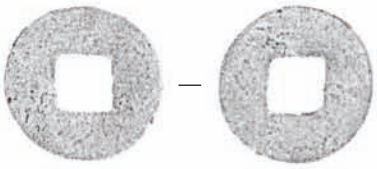

48

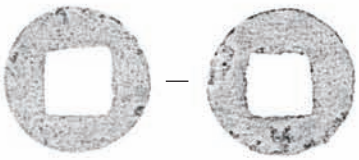

49

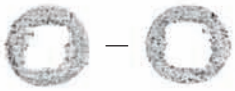

50

51


52

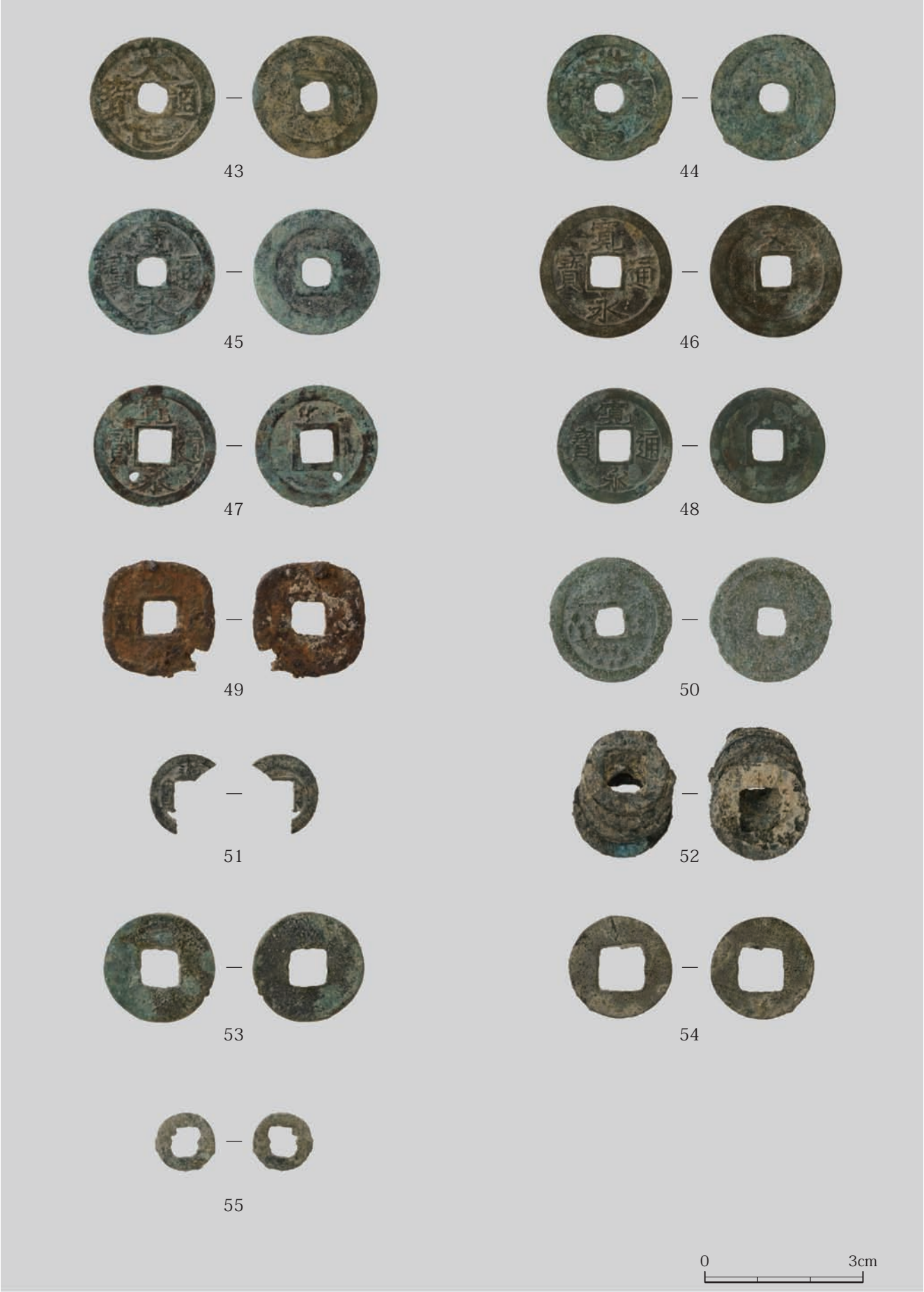

53


54

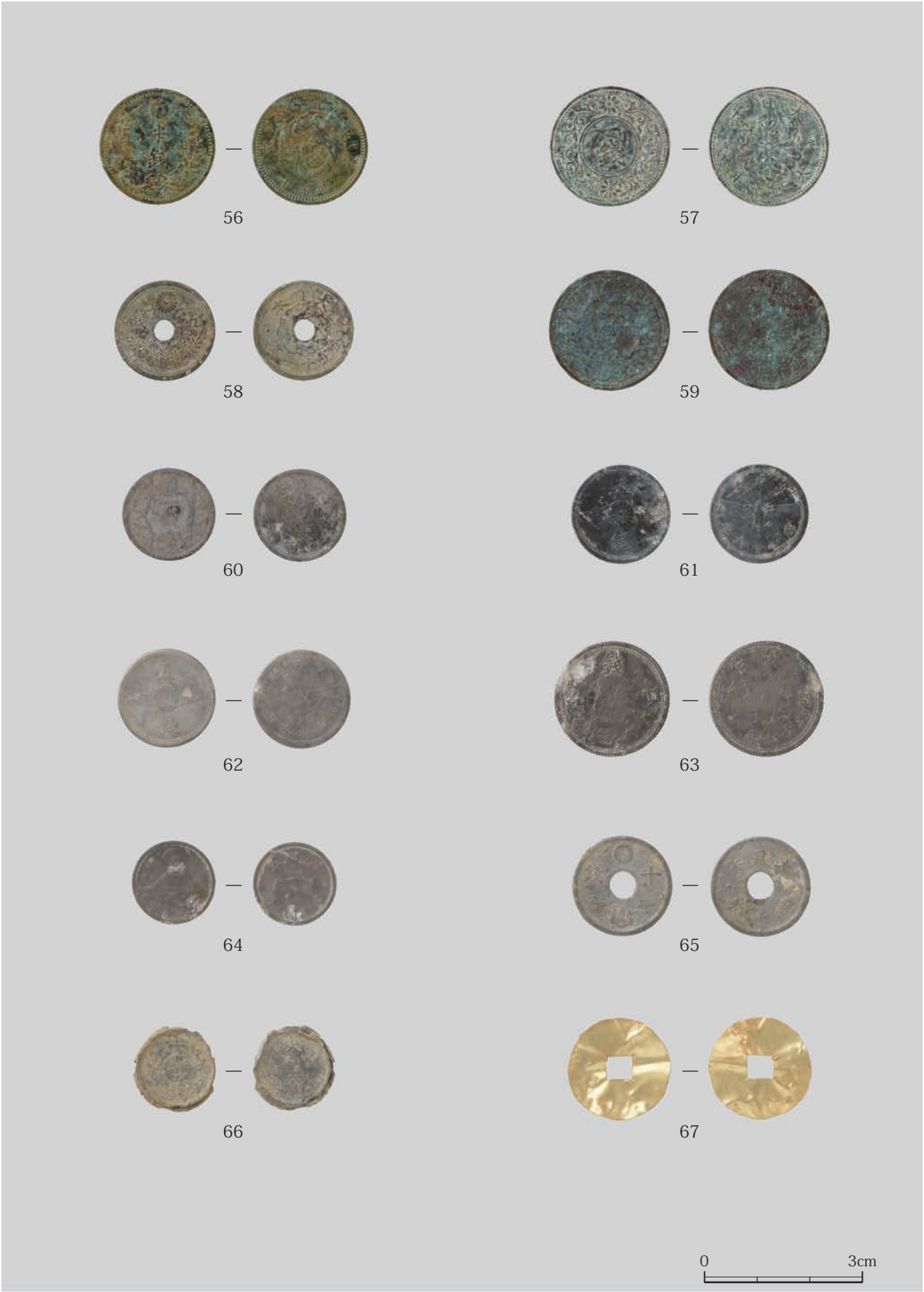

55

0 3cm

第61図　銭貨4




図版 31　銭貨 4




図版 32　銭貨 5

## 第 13 項　金属製品

### 1　鉄製品

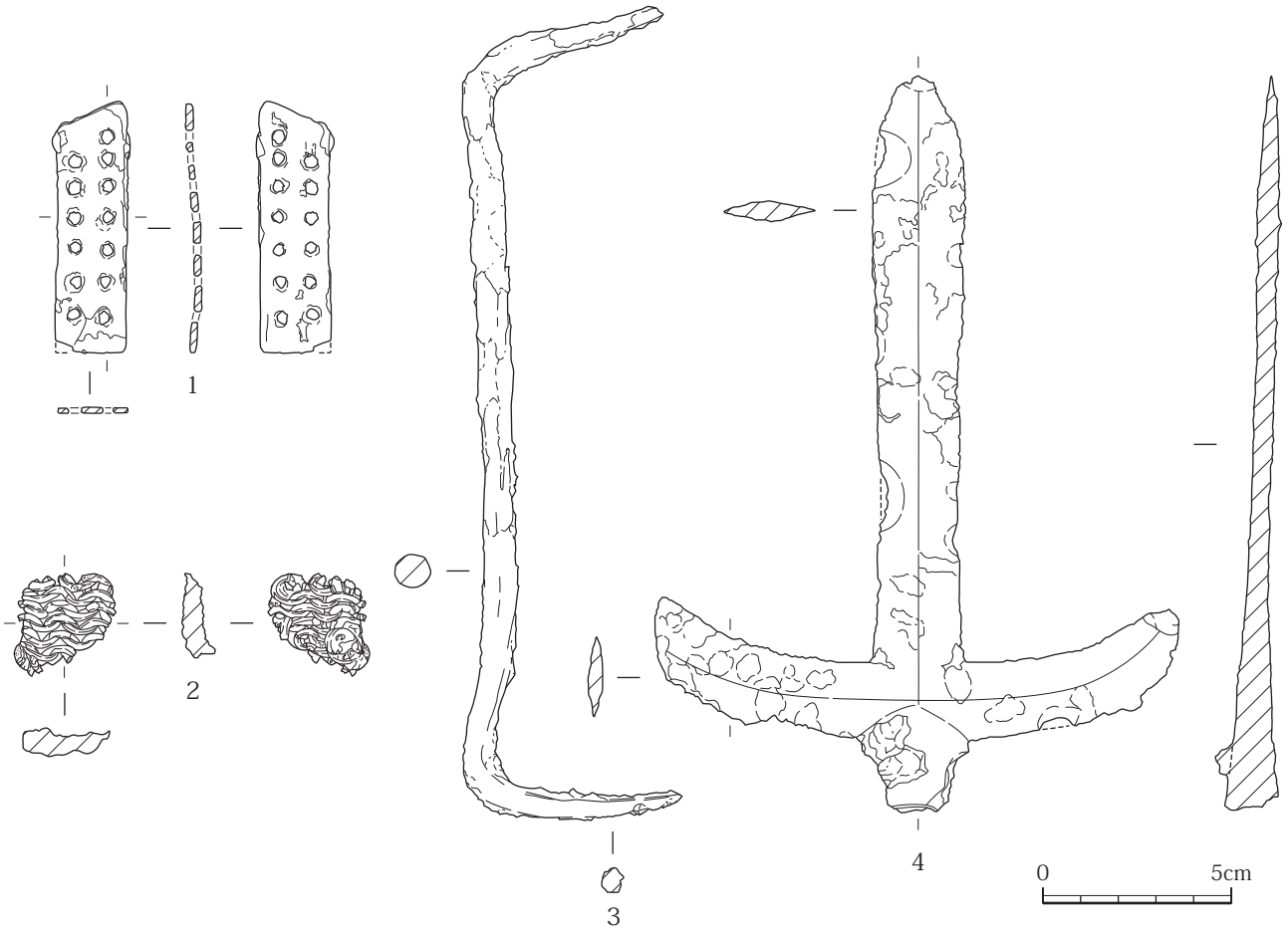
第 62 図・図版 33 に 4 点を示した。1 は小札で、体部に紐通しの孔を 13 個穿つ。法量は短軸 2.05㎝・長軸 6.75㎝・厚さ 0.15 ～ 0.2㎝を測り、重量は 7.0 ｇを量る。H25 石積み 17。2 は鎖帷子の一部と考えられる。法量は短軸 2.7㎝・長軸 2.75㎝・厚さ 0.15 ～ 0.7㎝を測り、重量は 10.1 ｇを量る。H25 トレンチ 5 の 4 層。3 は鎹で、全体的に錆の付着が著しい。法量は短軸 5.8㎝・長軸 21.65㎝・厚さ 0.9㎝を測り、重量は 85.5 ｇを量る。H24 壕 1 内。4 は十文字槍の槍頭（穂先）で、全体的に錆の付着が著しく、刃部にわずかな欠損がみられる。法量は短軸 13.9㎝・長軸 19.55㎝・厚さ 0.4 ～ 1.65㎝を測り、重量は 166.5 ｇを量る。H24 表土。

### 2　青銅製品

第 63 図・図版 34 に 12 点を示した。5 は丸釘である。法量は釘頭径 1.6㎝・釘頭厚 0.2 ～ 0.3㎝・短軸 0.8㎝・長軸 4.3㎝・厚さ 0.8㎝を測り、重量は 11.7 ｇを量る。H25 石積み 12。6 は角釘である。法量は釘頭径 0.7㎝・短軸 0.4㎝・長軸 5.9㎝・厚さ 0.5㎝を測り、重要は 8.8 ｇを量る。H24 表土。7 は女性用の副簪で、法量はカブ短軸 0.8㎝及び長軸 0.9㎝・全体短軸 0.22 ～ 0.26㎝・長軸 15.1㎝を測り、重要は 6.7 ｇを量る。H24 表土。8 は家具類の飾り金具である。法量は短軸 5.5㎝・長軸 5.55㎝・厚さ 0.25㎝を測り、重量は 14.8 ｇを量る。H24 洞穴 1 内。9 は旧日本具の勲章？である。法量は短軸 2.9 ～ 4.1㎝・長軸 4.95㎝・厚さ 0.3 ～ 0.7㎝を測り、重量は 33.7 ｇを量る。H25 壕 3 前。10 は鎧金具の八双金物で、表面に鍍金が残る。法量は短軸 1.7㎝・長軸 5.3㎝・厚さ 0.1㎝を測り、重量は 5.5 ｇを量る。H25 石列 5 ・石積み 15 間。11 は円形の飾り金具で表面に鍍金が残る。法量は全長 3.4㎝・厚さ 0.8㎝を測り、重量は 8.3 ｇを量る。H24 表土。12 は座金具？で表面に鍍金が残る。法量は短軸 3.36㎝・長軸 3.4㎝・厚さ 0.08 ～ 0.1㎝を測り、重量は 2.5 ｇを量る。H25 洞穴 1 内石敷き。13 ～ 16 は兜の前立飾である。13 は祓立の端部で、法量は短軸 5.6㎝・長軸 6.5㎝・厚さ 0.07 ～ 0.12㎝で、重量は 11.8 ｇを量る。H25 石組み 3。14 は祓立の中央部で表面に鍍金が残る。法量は短軸 5.2㎝・長軸 7.9㎝・厚さ 0.07㎝を測り、重量は 17.7 ｇを量る。H24 表土。15 は鍬形で表面に鍍金が残る。法量は短軸 6.7㎝・長軸 14.0㎝・厚さ 0.7 ～ 0.9㎝を測り、重量は 16.3 ｇを量る。H24 表土。16 は鍬形台で、裏面に鎖帷子？が付着する。法量は短軸 4.45㎝・長軸 11.7㎝・厚さ 0.1㎝を測り、重量は 48.3 ｇを量る。H25 石列 5 前。

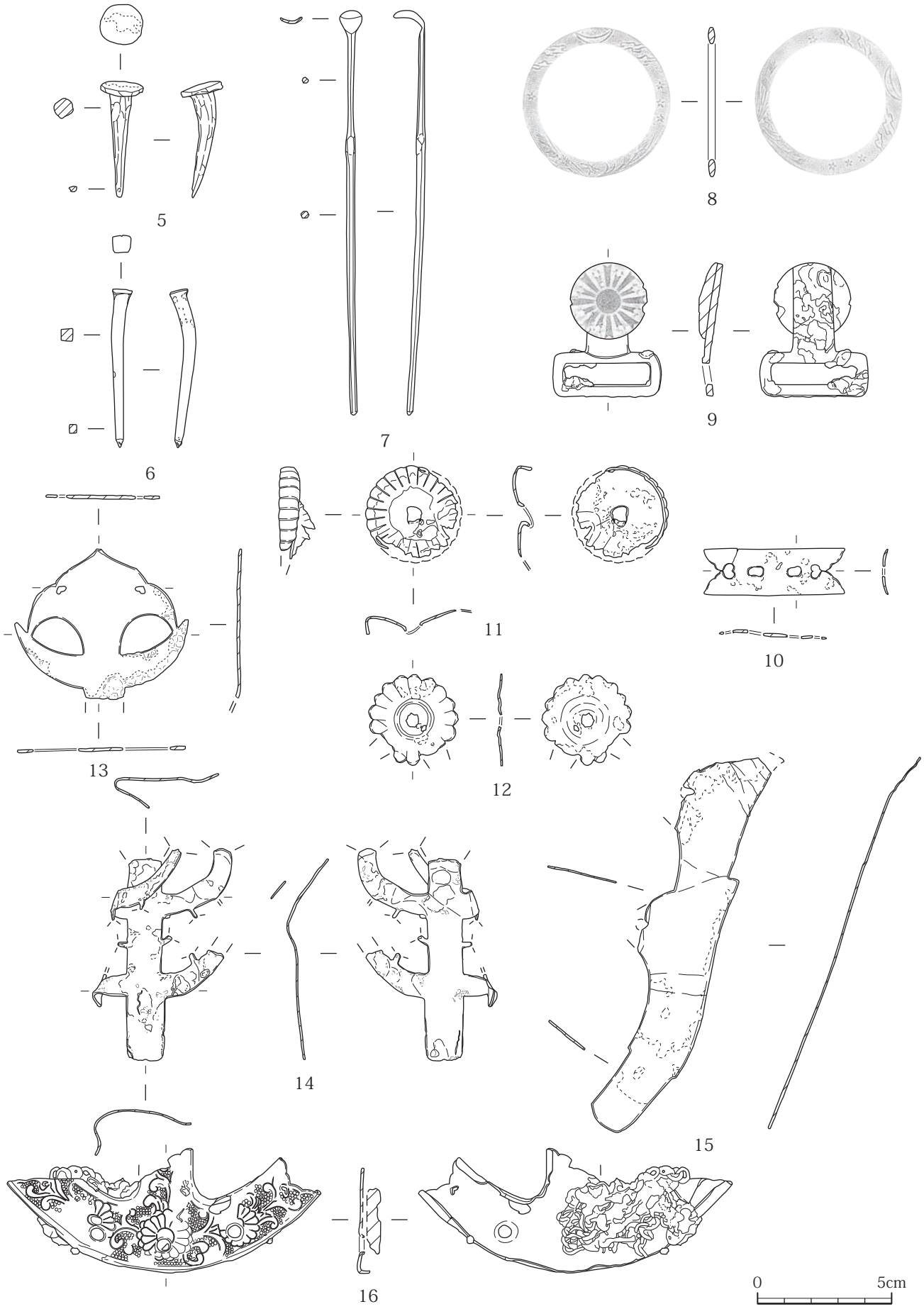
### 3　その他の製品

ここで扱うのは活版印刷に用いる活字である。壕 3 の内部や前面を中心に総数 133 点出土しており、かつて沖縄新報社が同所で陣中新聞を発行したとの証言などを裏付ける重要な資料といえる。材質は全て鉛主体の合金と考えられ、先端に凸型の反転文字を彫り出す。形態的特徴から 1 号（一辺約 9 ㎜で 38 級または 26 ポイント相当）・4 号（一辺約 5 ㎜で 20 級または 13 ポイント相当）・5 号（一辺約 4 ㎜で 15 級または 10.5 ポイント相当）・6 号（一辺約 3 ㎜で 11 級または 7.5 ポイント相当）及びインテル（時間や行間を調整するための込物）が確認されている。以下、特徴的な資料を図版 35 に示した。17 は「戦」が施され、法量は短軸 1.0㎝・長軸 2.3㎝・厚さ 1.0㎝を測り、重量は 17.8 ｇを量る。H25 壕 3 内。18 は「戮」が施され、法量は 17 と同値で、重量は 18.2 ｇを量る。H25 表土。19 は「斬」が施され、法量は 17 と同値で、重量は 19.0 ｇを量る。H25 壕 3 内。20 は「ぎ」が施され、法量は 17、重量は 18 とそれぞれ同値である。H25 壕 3 前。21 は「害」が施され、法量は短軸 0.5㎝・長軸 2.3㎝・厚さ 0.5㎝を測り、重量は 4.4 ｇを量る。H25 壕 3 内。22 は「擴」が施され、法量は短軸 0.35㎝・長軸 2.3㎝・厚さ 0.35㎝を測り、重量は 1.9 ｇを量る。H25 壕 3 前。23 は「駒」が施され、法量は 22 と同値で、重量は 2.5 ｇを量る。H25 壕 3 前。24 は「る」が施され、法量は 21 と同値で、重量は 3.7 ｇを量る。H25 壕 3 内。25 は「ん」が施され、法量は 22 と同値で、重量は 2.3 ｇを量る。H25 壕 3 前。26 は「く」が施され、法量は短軸 1.0㎝・長軸 2.3㎝・厚さ 0.5㎝を測り、重量は 7.0 ｇを量る。H25 壕 3 前。27 は短軸 1.8㎝・長軸 6.7㎝・厚さ 0.2㎝を測り、重量 21.2 ｇを量る。H25 壕 3 内。



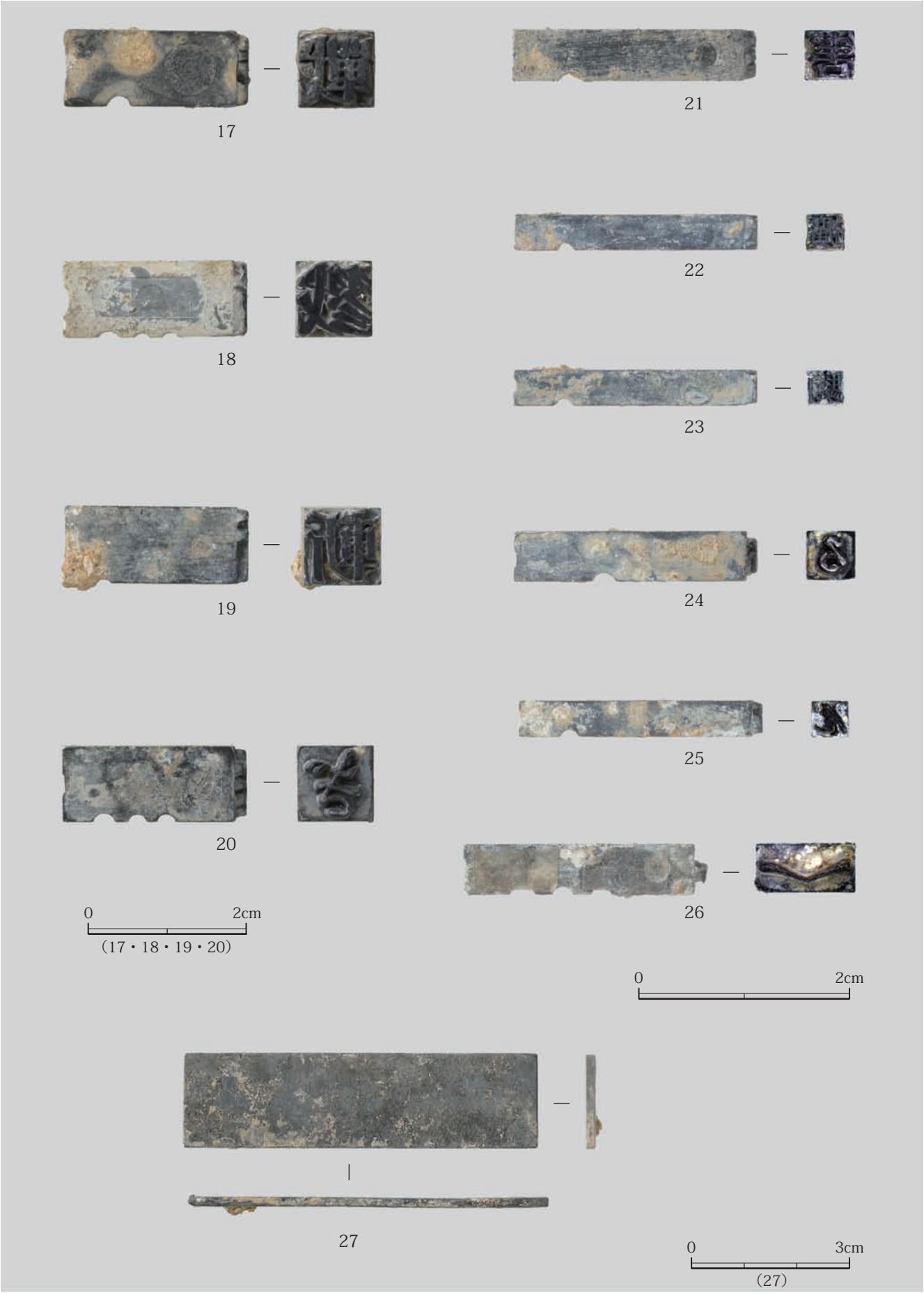

第 62 図　金属製品 1（鉄）

図版 33　金属製品 1（鉄）




第 63 図　金属製品 2（青銅）

図版 34　金属製品 2（青銅）




図版 35　金属製品 3（活字）

## 第 14 項　石製品・石造製品

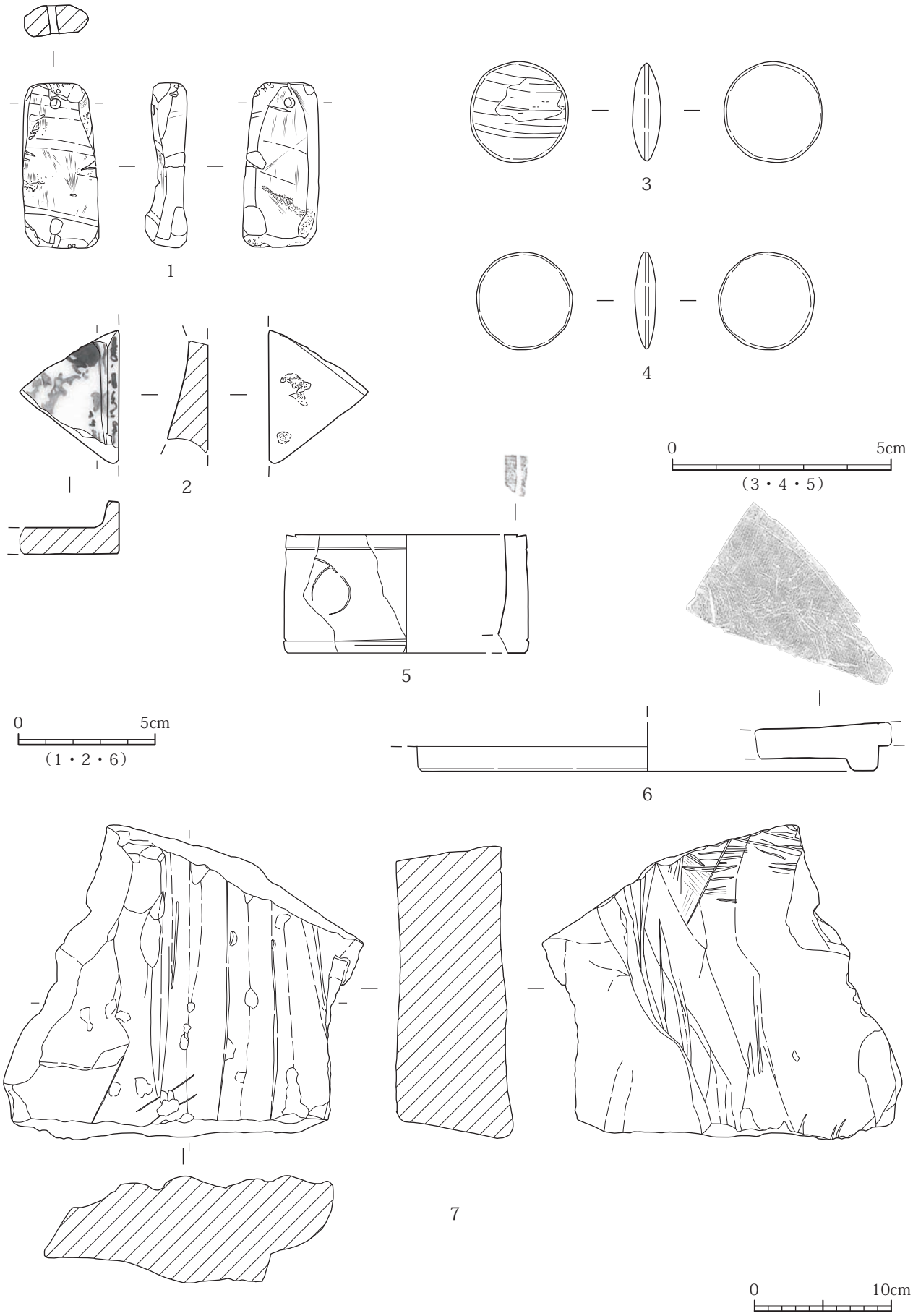
石製品と石造製品は第 64 図及び図版 36 に 7 点を示した。 1 は全体が方形を呈する携帯用の砥石で、端部に紐通し用の孔を 1 個穿つ。法量は短軸 2.75㎝・長軸 6.02㎝・厚さ 1.55㎝を測り、重量は 36.9 ｇを量る。H 25 石積み 17。 2 は凝灰岩製と推定される硯の波止部で、表面を黒色に塗装する。法量は厚さ 1.9㎝を測り、重量は 23.3 ｇを量る。H 24 表土。 3 は貝製（ハマグリ）の可能性がある白色の碁石で、法量は全長 2.2㎝・幅 0.65㎝を測り、重量は 4.1 ｇを量る。H 25 壕 1 内。4 は黒色頁岩または粘板岩製と考えられる黒色の碁石で、法量は短軸 2.15㎝・長軸 2.2㎝・厚さ 0.45㎝を測り、重量は 3.1 ｇを量る。H 25 壕 1 内。 5 は段重のような器形を呈する蝋石製品で、口唇部には蓋受け状の陰刻線を有し、外面に線彫りで文様を描く。法量は口径 5.5㎝・器高 2.7㎝・底径 5.6㎝を測り、重量は 6.3 ｇを量る。H 24 表土。 6 も蝋石製品だが器形は大型の皿で、高台付き底部の内面には線彫りで文様を描く。法量は底径 16.8㎝を測り、重量は 87.9 ｇを量る。H 25 表土。 7 は何らかの石造物の一部と推定されるが詳細は不明。材質は細粒砂岩で、法量は短軸 21.4㎝・長軸 26.4㎝・厚さ 7.8 ～ 8.6㎝を測り、重量は 5,000 ｇを量る。H 24 表土。

## 第 15 項　貝製品

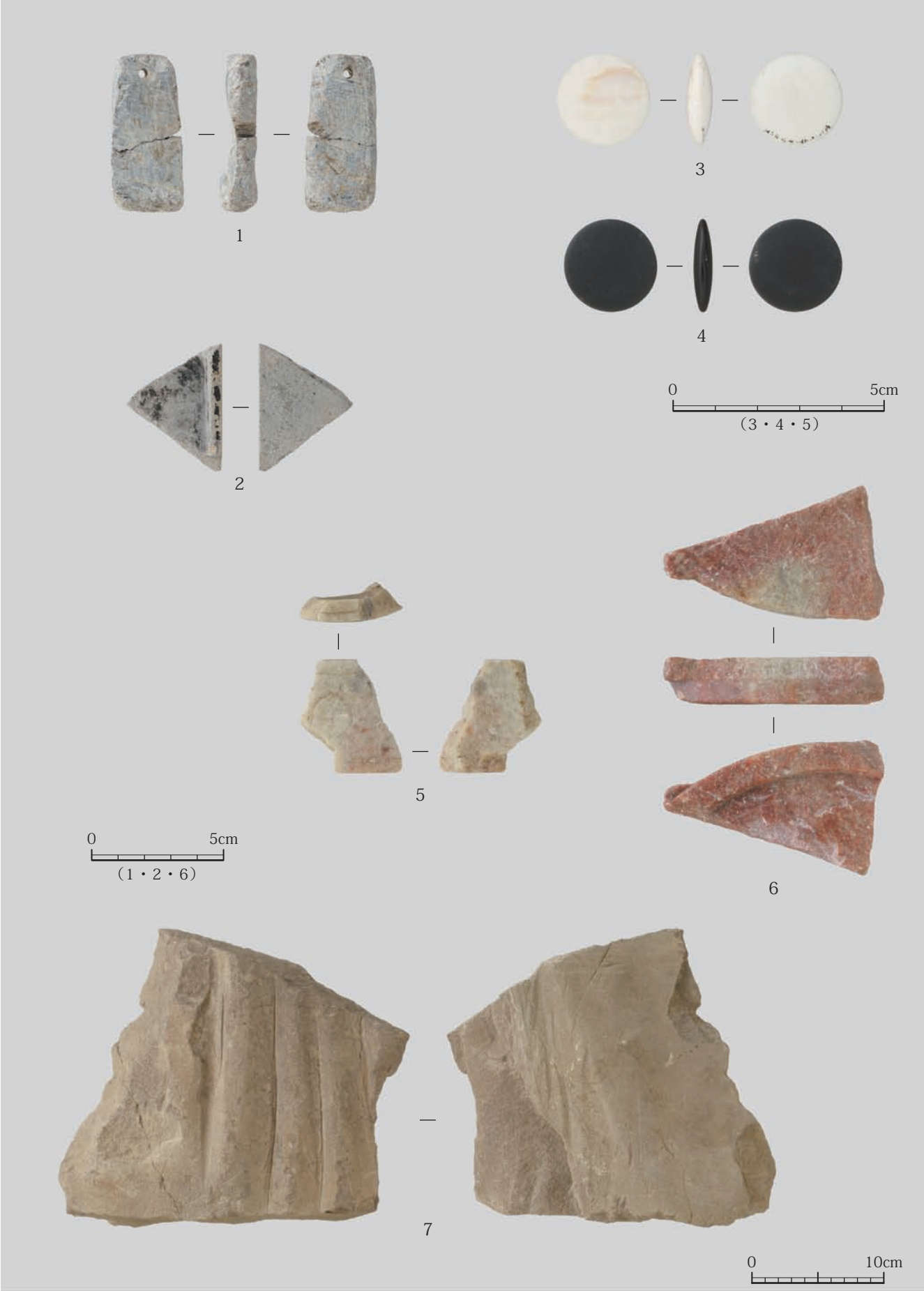
貝製品は第 65 図及び図版 37 に 3 点を示した。 1 はヤコウガイの体層部を利用した貝匙で、形態的にはいわゆるヒシャク状容器（木下 1981）と考えられる。法量は短軸 7.85㎝・長軸 13.2㎝・最大厚 0.9㎝を測り、重量は 120.2 ｇを量る。H 25 基壇 1 西側溝内。 2 はチョウセンサザエ製のボタンで、中央に糸通し用の孔を 2 個穿つ。法量は短軸 1.0㎝・長軸 1.05㎝・厚さ 0.2㎝を測り、重量は 0.2 ｇを量る。H 25 洞穴 1 内石敷下。 3 はチョウセンハマグリ産の白色碁石である。法量は短軸 2.15㎝・長軸 2.2㎝・厚さ 0.6㎝を測り、重量は 4.0 ｇを量る。H 25 壕 2 ・石積み 16 間。

## 第 16 項　骨製品

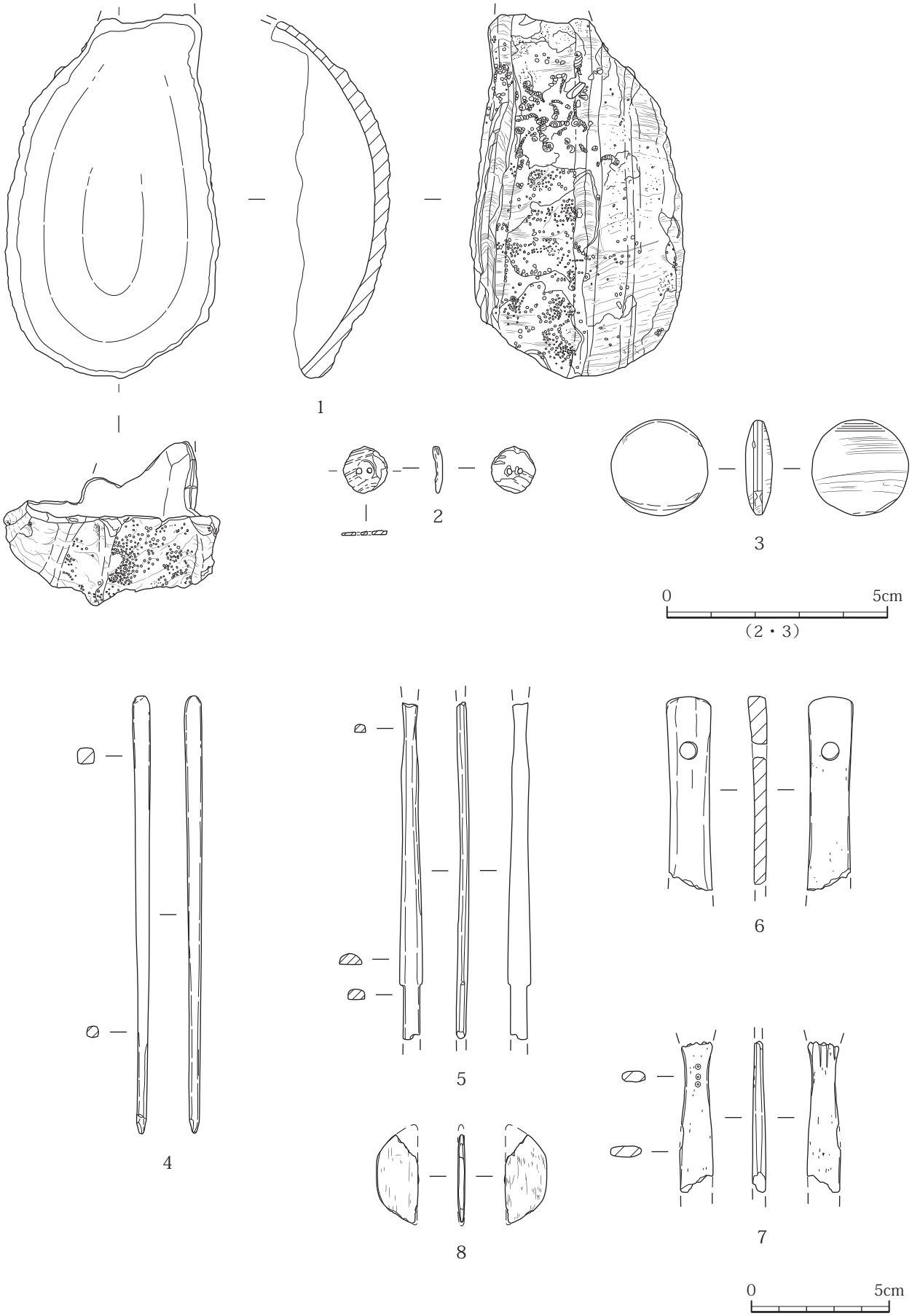
骨製品は第 65 図及び図版 37 に 5 点を示した。 4 は断面形態が方形となる箸で、法量は短軸 0.65㎝・長軸 15.9㎝・厚さ 0.65㎝を測り、重量は 7.0 ｇを量る。H24 洞穴 1 内。 5 は体部にくぼみや抉りを持ち、断面形態が半円形を呈する棒状製品で、扇子の骨になる可能性もあるが詳細は不明。法量は短軸 0.85㎝・長軸 12.2㎝・厚さ 0.4㎝を測り、重量は 1.8 ｇを量る。H24 洞穴 1 内。 6 はヘラ状製品の柄部と想定されるもので、端部に紐通し用の孔を 1 個穿つ。法量は短軸 1.65㎝・長軸 7.0㎝・厚さ 0.65㎝を測り、重量は 6.1 ｇを量る。H24 洞穴 1 内。 7 は歯ブラシの首部～柄部で、柄部の表面に丸文を 3 個施す。法量は短軸 1.15㎝・長軸 5.4㎝・厚さ 0.45㎝を測り、重量は 2.6 ｇを量る。H24 表土。 8 は梳櫛の一部と考えられる。法量は短軸 1.5㎝・長軸推定 3.2㎝・厚さ 0.25㎝を測り、重量は 0.9 ｇを量る。H25 表土。



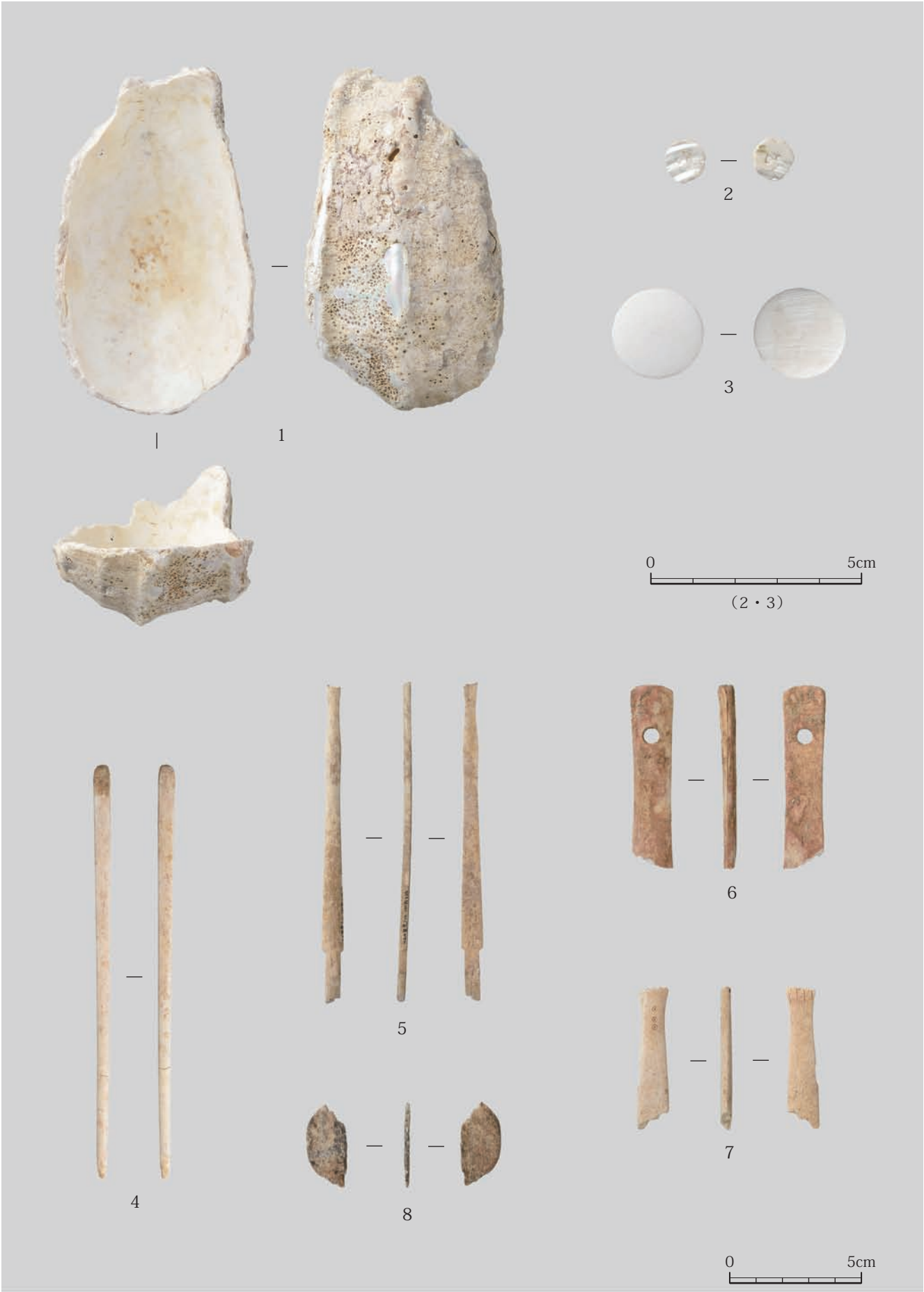

第 64 図　石製品・石造物




図版 36　石製品・石造物




第 65 図　貝製品・骨製品




図版 37　貝製品・骨製品

## 第 17 項　ガラス製品

ガラス製品は図版 38 に 8 点を示した。いずれも近代の製品で、桜井準也氏の研究（桜井 2006）を参考に分類を試みた。1 は茶色半透明のビール瓶で、外面肩部に「TRADE MARK」と商標、底部際に「DAINIPPON BREWERY CO.LTD.」、外底に商標をそれぞれ陽刻で施す。法量は口径 2.6㎝・器高 28.9㎝・底径 7.4㎝を測り、重量は 650.1 g を量る。H24 洞穴 1 内。2 は青色半透明のビール瓶で、外面肩部に「TRADE MARK」と商標、底部際に「DAINIPPON BREWERY CO.LTD.」、外底に商標をそれぞれ陽刻で施す。法量は口径 2.6㎝・器高 28.9㎝・底径 7.4㎝を測り、重量は 632.6 g を量る。H24 洞穴 1 内。3 は茶色半透明のビール瓶だが 1 より色調が濃い。外面肩部に「登録商標」と商標、底部際に「SAKURA BEER サクラビール」、外底に商標をそれぞれ陽刻で施す。法量は口径 2.6㎝・器高 28.6㎝・底径 7.4㎝を測り、重量は 676.2 g を量る。H25 壕 1 内。4 は茶色半透明の殺虫剤瓶で、外面胴部に商品名を白色塗料でプリントするも剥落が著しい。法量は口径 2.6㎝・器高 22.8㎝、底径 6.0㎝を測り、重量は 387.0 g を量る。H25 壕 1 内。5 は茶色半透明の一般用薬瓶で、外面胴部に「クレオソート丸」を陽刻で施す。法量は口径 2.0㎝、器高 7.0㎝、底径短軸 1.6㎝／長軸 2.8㎝を測り、重量は 34.8 g を量る。H24 洞穴 1 内。6 は無色透明の一般用薬瓶で、外面胴部に「KOBAYASHI TAMUSHITINCTURE」を陽刻で施す。法量は口径 1.9㎝・器高 6.5㎝・底径短軸 1.9 ／長軸 3.2㎝を測り、重量は 56.4 g を量る。H24 表土。7 も無色透明の一般用薬瓶で、外面肩部に「わかもと」、胴部に「Wakamoto」、外底に商標をそれぞれ陽刻で施す。法量は口径 3.0㎝・器高 11.2㎝・底径 4.8㎝を測り、重量は 104.7 g を量る。H25 壕 2 内。8 は白色半透明の化粧クリーム瓶で、外底に商標を陽刻で施す。法量は口径 5.0㎝・器高 4.8㎝・底径 3.7㎝を測り、重量は 113.2 g を量る。H25 表土。

## 第 18 項　その他の遺物

本項では上記以外の近代に相当する遺物を一括して扱い、第 66 図・図版 39・40 に 7 点を示した。

1 ～ 4 は学生服のボタンで、材質から金属製（1・2）と陶器製？（3・4）に大別される。1 は表面に「辰？」を陽刻し、裏面に金属のシャンクを設ける。法量は短軸 2.09㎝・長軸 2.1㎝・厚さ 1.25㎝を測り、重量は 2.7 g を量る。H24 洞穴 1 内。2 は表面に桜の五弁花を陽刻し、裏面に金属のシャンクを設ける。法量は短軸 1.95㎝・長軸 2.7㎝・厚さ 1.3㎝で測り、重量は 2.2 g を量る。H25 洞穴 1 内。3 は表面に「學」を陽刻し、裏面に削り出しでシャンクを設ける。法量は全長 1.9㎝・厚さ 0.9㎝を測り、重量は 2.8 g を量る。H25 壕 2 ・石積み 16 間。4 は表面に桜の五弁花を陽刻し、裏面に削り出しでシャンクを設ける。法量は短軸 2.0㎝・長軸 2.05㎝・厚さ 1.1㎝を測り、重量は 3.1 g を量る。H25 壕 2 ・石積み 16 間。

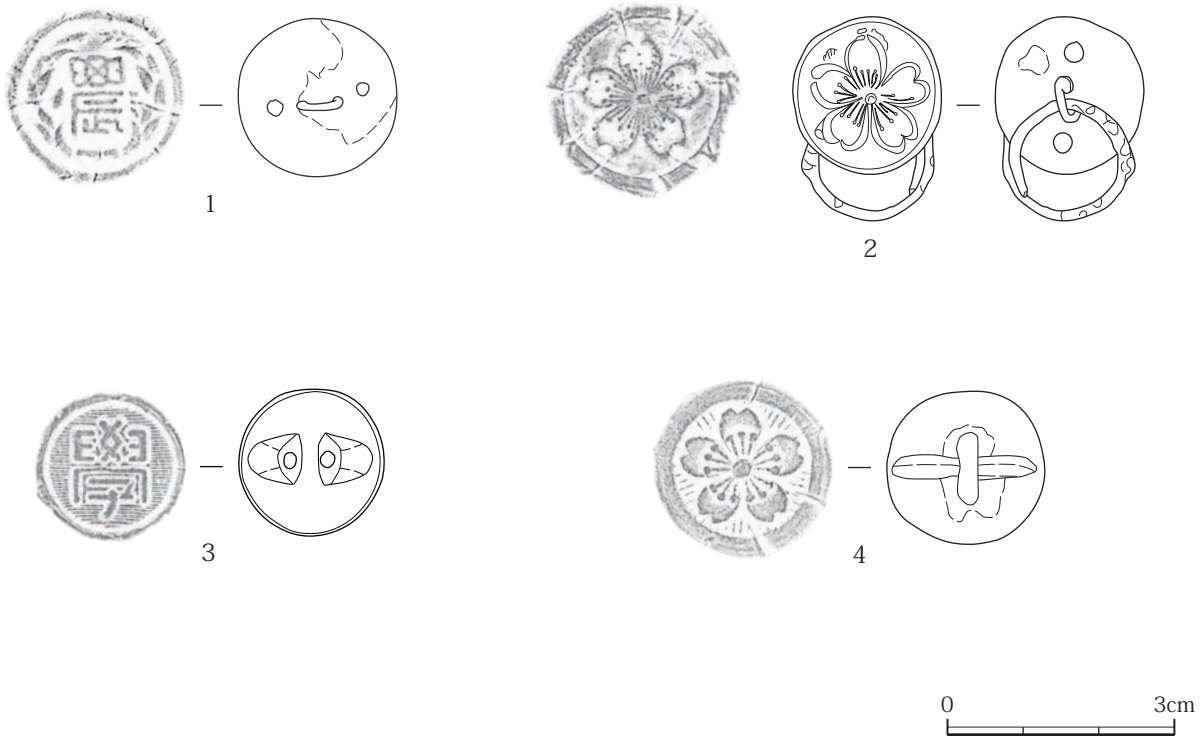
5 はセルロイド製の歯ブラシである。3 列の植毛が全て抜けている以外は完形の資料で、柄の表面に「軍用　大阪工業組合　18」と線彫りされている。重量は 8.3 g を量る。H24 洞穴 1 内。

6 はセルロイド製と推定される丸型眼鏡で、両眼のレンズと左側テンプルを欠くもののほぼ全形が窺える。重量 9.1 g を量る。H25 表土。

7 はモールス信号用の電鍵と考えられるもので、磁器製の基台に金属製の接点？が施される。重量は 1,105.9 g を量る。H25 壕 3 前。

TRADE MARK
DAINIPPON BREWERY CO LTD
1
TRADE MARK
DAINIPPON BREWERY CO LTD
2
SAKURA BEER
3
4
5
6
Wakamoto
7
8
0
10cm

図版 38　ガラス製品




第 66 図　その他の遺物 1

図版 39　その他の遺物 1

図版 40　その他の遺物 2

## 第 19 項　自然遺物

### 1　貝類遺体

貝類遺体は、発掘調査で他の遺物と共に取り上げたピックアップ資料である。種の同定は当センター所蔵の現生標本や県内出土資料との比較に加え、黒住耐二氏（千葉県立中央博物館）の指導を受けて判断した。同定できた資料は巻貝が 59 種、二枚貝が 40 種の計 99 種で（第 13 表）、生息地は黒住氏の研究（黒住 1987）に基づき分類した（第 14 表）。

第 13 表　貝類遺体等種別一覧（番号は図版 41・42・43 と一致）

| | 軟体動物門 | Mollusca | |
|---|---|---|---|
| | 腹足綱 | Gastropoda | 生息域類型 |
| | ツタノハ科 | Patellidae | |
| 1 | オオベッコウガサ | *Cellana testudinaria* | Ⅰ－1－a |
| | ニシキウズ科 | Trochidae | |
| 6 | オキナワイシダタミ | *Monodonta labio* | Ⅱ－1－b |
| 2 | ニシキウズ | *Trochus maculatus* | Ⅰ－2－a |
| 3 | ムラサキウズ | *Trochus stellatus* | Ⅰ－3－a |
| 4 | ギンタカハマ | *Tectus pyramis* | Ⅰ－4－a |
| 5 | サラサバテイラ | *Tectus niloticus* | Ⅰ－4－a |
| | リュウテン科 | Turbinidae | |
| 8 | ヤコウガイ | *Turbo (turbo) marmoratus* | Ⅰ－4－a |
| 9 | ヤコウガイの蓋 | *T. (L.) marmoratus (operculum)* | Ⅰ－4－a |
| 10 | チョウセンサザエ | *Turbo (Marmarostoma) argyrostomus* | Ⅰ－3－a |
| 11 | チョウセンサザエの蓋 | *T. (M.) argyrostomus (operculum)* | Ⅰ－3－a |
| 12 | コシダカサザエ | *Turbo (Marmarostoma) stenogyrus* | Ⅰ－2－a |
| 13 | カンギク | *Turbo (lunella) coronoatus coronatus* | Ⅱ－1－b |
| 14 | カンギクの蓋 | *Lunella moniliformis (operculum)* | Ⅱ－1－b |
| 7 | オオウラウズ | *Astralium rhodostoma* | Ⅰ－2－a |
| | アマオブネ科 | Neritidae | |
| 15 | マングローブアマガイ | *Nerita (Nerita) undulata* | Ⅲ－0－a |
| 16 | アマオブネ | *Nerita (Theliostyla) albicilla* | Ⅰ－1－b |
| 17 | ニシキアマオブネ | *Nerita (Linnerita) polita* | Ⅰ－1－c |
| | オニノツノガイ科 | Cerithiidae | |
| 18 | オニノツノガイ | *Cerithium nodulosum* | Ⅰ－2－c |
| 19 | カヤノミカニモリ | *Clypeomorus bifasciata* | Ⅰ－0－a |
| 20 | イワカニモリ | *Clypeomorus batillariaeformis* | Ⅱ－1－c |
| 21 | クワノミカニモリ | *Clypeomorus petrosa chemnitziana* | Ⅰ－1－a |
| | ウミニナ科 | Batillariidae | |
| 22 | リュウキュウウミニナ | *Batillaria flectosiphonata* | Ⅱ－1－c |
| 23 | イボウミニナ | *Batillaria zonalis* | Ⅲ－1－c |
| | ヘナタリ科 | Potamididae | |
| 25 | ヘナタリ | *Cerithidea (Cerithideopsilla) cingulata* | Ⅲ－1－c |
| 26 | カワアイ | *Cerithidea (Cerithideopsilla) djadjariensis* | Ⅲ－1－c |
| 24 | センニンガイ | *Telescopium telescopium* | Ⅲ－0－c |
| | スイショウガイ科 | Strombidae | |
| 28 | オハグロガイ | *Strombus (Canarium) urceus* | Ⅰ－0－a |
| 29 | マガキガイ | *Strombus (Conomurex) luhuanus* | Ⅰ－2－c |
| 27 | クモガイ | *Lambis lambis* | Ⅰ－2－c |
| | スズメガイ科 | Hipponicidae | |
| 30 | アツキクスズメ | *Hipponix acuta* | Ⅰ－3－a |
| | タカラガイ科 | Cypraeidae | |
| 36 | タルダカラ | *Cymatium (Talparia) talpa* | Ⅰ－2－a |
| 35 | ハナビラダカラ | *Cypraea (Erosaria) annulus* | Ⅰ－1－a |
| 33 | キイロダカラ | *Cypraea (Erosaria) moneta* | Ⅰ－1－a |
| 34 | ハナマルユキ | *Cypraea (Erosaria) caputserpentis caputserpentis* | Ⅰ－3－a |
| 31 | ナンジタカラ | | |
| 32 | オシキマタ | | |
| | フジツガイ科 | Ranellidae | |
| 37 | シオボラ | *Cymatium (Gutturnium) muricinum* | Ⅰ－2－a |
| 38 | ホラガイ | *Charonia tritonis* | Ⅰ－4－a |
| | アッキガイ科 | Muricidae | |
| 40 | アカイガレイシ | *Drupa (Ricinella) rubusidaeus* | Ⅰ－3－a |
| 39 | ツノレイシ | *Mancinella tuberosa* | Ⅰ－3－a |
| | オニコブシ科 | Turbinellidae | |
| 41 | コオニコブシ | *Vasum turbinellum* | Ⅰ－2－a |
| | エゾバイ科 | Buccinidae | |
| 42 | シマベッコウバイ | *Japeuthria cingulata* | Ⅱ－1－c |
| | イトマキボラ科 | Fasciolariidae | |
| 43 | イトマキボラ | *Pleuroploca trapezium trapezium* | Ⅰ－2－a |
| 44 | リュウキュウツノマタ | *Latirus polygonus* | Ⅰ－3－a |
| | マクラガイ科 | Olividae | |
| 45 | ロウイロリュウグウボタル | *Amalda sinensis* | |
| | イモガイ科 | Conidae | |
| 51 | アンボンクロザメ | *Conus (Lithoconus) litteratus* | Ⅰ－2－c |
| 52 | クロフモドキ | *Conus (Lithoconus) leopardus* | Ⅰ－2－c |
| 47 | マダライモ | *Conus (Virroconus) ebraeus* | Ⅰ－1－a |
| 50 | サヤガタイモ | *Conus (Virroconus) miliaris* | Ⅰ－1－a |
| 48 | ヤナギシボリイモ | *Conus (Rhizoconus) miles* | Ⅰ－2－a |
| 49 | キヌカツギイモ | *Conus (Virgiconus) flavidus* | Ⅰ－2－a |
| 46 | ナガシマイモ | *Conus (Virgiconus) muriculatus* | |
| | ナツメガイ科 | Bullidae | |
| 54 | ナツメガイ | *Bulla ventricosa* | Ⅰ－2－c |
| | ヤマタニシ科 | Cyclophoridae | |
| 55 | オキナワヤマタニシ | *Cyclophorus turgidus turgidus* | Ⅴ－8 |
| | キセルガイ科 | Clausiliidae | |
| 53 | ツヤギセルガイ | *Luchuphaedusa praeclara* | Ⅴ－8 |
| | アフリカマイマイ科 | Achatinidae | |
| 59 | アフリカマイマイ | *Achatina fulica* | Ⅴ－9 |

（右段へ続く）

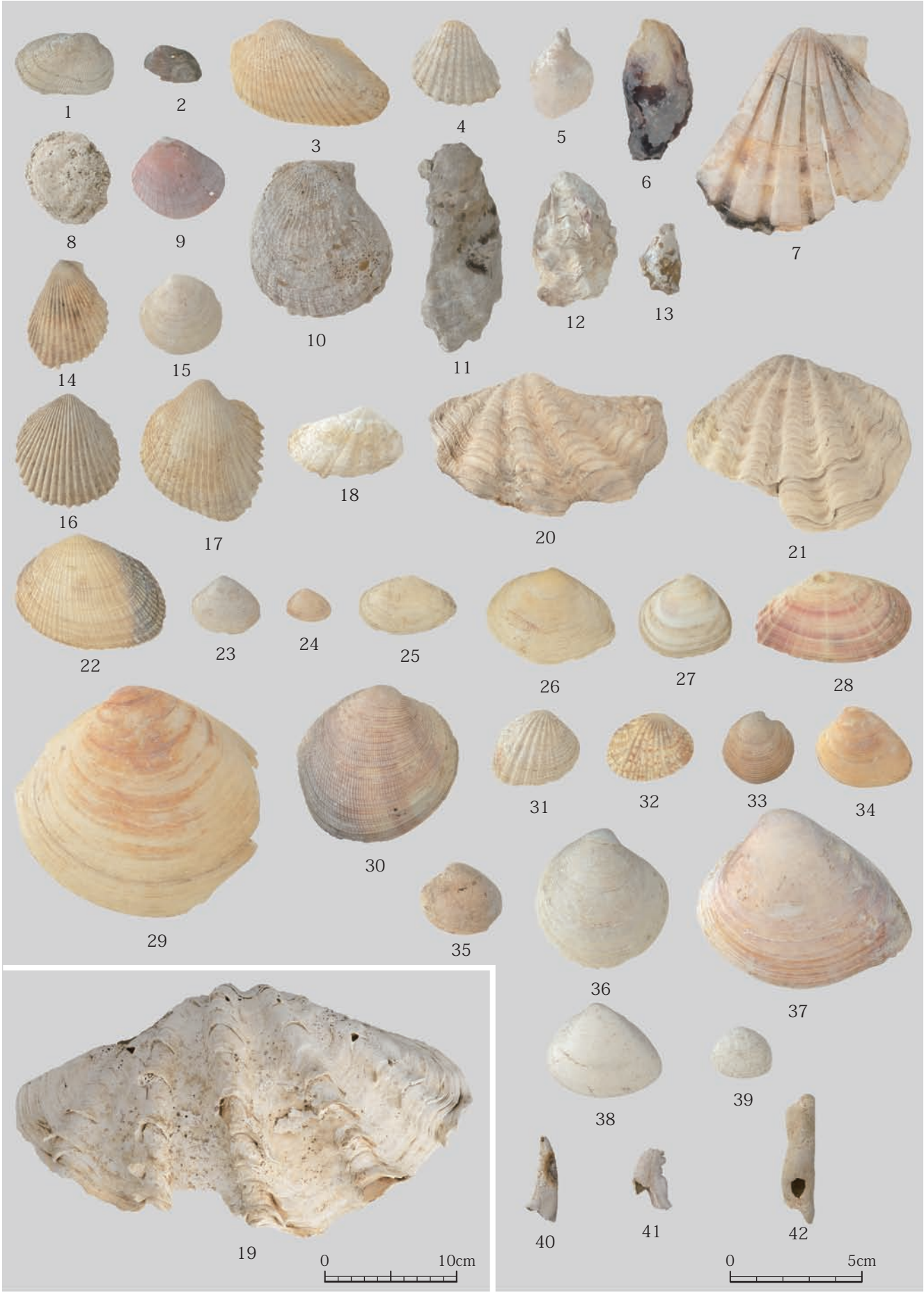
| | 軟体動物門 | Mollusca | |
|---|---|---|---|
| | 腹足綱 | Gastropoda | 生息域類型 |
| | オナジマイマイ科 | Bradybaenidae | |
| 57 | パンダナマイマイ | *Bradybaena circulus* | Ⅴ－9 |
| 58 | オキナワウスカワマイマイ | *Acusta despecta despecta* | Ⅴ－8 |
| 56 | シュリケマイマイ | *Aegista elegantissima* | |
| | 二枚貝綱 | Bivalvia | |
| | フネガイ科 | Arcidae | |
| 1 | エガイ | *Barbatia (Abarbatia) lima* | Ⅰ－1－a |
| 2 | クロミノエガイ | *Barbatia (Ustularca) cruciata* | Ⅱ－2－b |
| 3 | リュウキュウサルボオ | *Anadara antiquata* | Ⅱ－2－c |
| 4 | ハイガイ | *Tegillarca granosa* | Ⅱ－2－c |
| | ウグイスガイ科 | Pteriidae | |
| 5 | ミドリアオリ | *Pinctada maculata* | Ⅰ－1－a |
| | マクガイ科 | Isognomonidae | |
| 6 | シュモクアオリ | *Isognomon isognomun* | |
| | ミノガイ科 | Limidae | |
| 14 | ミノガイ | *Lima vulgaris* | Ⅰ－2－a |
| | イタヤガイ科 | Pectinidae | |
| 7 | イタヤガイ | *Pecten albicans* | Ⅳ（Ⅰ－4－c） |
| | ウミギク科 | Spondylidae | |
| 10 | メンガイ類 | *Spondylus squamosus* | Ⅰ－2－a |
| 9 | メンガイモドキ | *Eltoperna sanguinea* | |
| | イタボガキ科 | Ostreidae | |
| 13 | マガキ | *Crassostres gigas* | |
| 11 | シマガキ | *Crasostrea lineata* | Ⅱ－2－c |
| 12 | ニセマガキ | *Saccostrea echinata* | Ⅱ－1－b |
| | ツキガイ科 | Lucinidae | |
| 15 | ウラキツキガイ | *Codakia paytenorum* | Ⅱ－2－c |
| | キクザル科 | Chamidae | |
| 8 | キクザル類 | *Chama japonica* | |
| | ザルガイ科 | Cardiidae | |
| 16 | リュウキュウザル | *Regozara flavum* | Ⅱ－2－c |
| 17 | カワラガイ | *Fragum unedo* | Ⅱ－2－c |
| | シャコガイ科 | Tridacnidae | |
| | シャゴウ | *Hippopus hoppopus* | Ⅰ－2－c |
| 18 | ヒメジャコ | *Tridacna crocea* | Ⅰ－2－a |
| 19 | ヒレジャコ | *Tridacna squamosa* | Ⅰ－2－c |
| 21 | ナガジャコ | *Tridacna maxima* | |
| 20 | オオシラナミ | | |
| | チドリマスオ科 | Mesodesmatidae | |
| 23 | イソハマグリ | *Atactodea striata* | Ⅰ－1－c |
| | フジノハナガイ科 | Donacidae | |
| 24 | リュウキュウナミノコ | *Latona faba* | Ⅰ－1－c |
| | ニッコウガイ科 | Tellinidae | |
| 28 | ニッコウガイ | *Tellinella virgata* | Ⅱ－2－c |
| 25 | ヒメニッコウガイ | *Tellinella staurella* | |
| 27 | アマサギガイ | *Macalia bruguieri* | |
| 26 | リュウキュウシラトリ | *Quidnipagus palatum* | Ⅰ－2－a |
| | シオサザナミ科 | Psammobiidae | |
| 22 | リュウキュウマスオ | *Asaphis violascens* | Ⅱ－1－c |
| | シジミ科 | Corbiculidae | |
| 29 | シレナシジミ | *Geloina coaxans* | Ⅲ－0－c |
| | マルスダレガイ科 | Veneridae | |
| 30 | ヌノメガイ | *Pteriglypta puerpera* | Ⅱ－1－c |
| 39 | ヒメイナミ | *Gafrarium disper* | |
| 31 | アラスジケマンガイ | *Gafrarium tumidum* | Ⅲ－1－c |
| 32 | ホソスジイナミガイ | *Gafrarium pectinatum* | Ⅱ－1－c |
| 33 | オイノカガミ | *Bonartemis histrio histio* | Ⅱ－2－c |
| 34 | スダレハマグリ | *Katelysia japonica* | Ⅱ－1－c |
| 35 | イオウハマグリ | *Pitar sulfreum* | Ⅱ－1－c |
| 36 | ダテオキシジミ | *Cyclina sinensis* | Ⅲ－1－c |
| 37 | ハマグリ類似種 | *Meretrix lusoria* | |
| 38 | チョウセンハマグリ類似種 | *Meretrix lamarckii* | |
| | 環形動物門 | Annelida | |
| | 多毛綱 | Polychaeta | |
| | ゴカイ科 | Nereididae | |
| 42 | ゴカイ | *Hediste japonica* | |
| | 節足動物門 | Arthropada | |
| | 軟甲綱 | Malacostraca | |
| | 十脚目 | Decapoda | |
| 40.41 | カニ類 | Brachyura | |
| | 棘皮動物門 | Echinodermata | |
| | ウニ綱 | Echinoidea | |
| | ナガウニ科 | Echinometridae | |
| 60 | パイプウニ | *Heterocentrotus mammillatus* | |

第 14 表　貝類の生息場所類型（黒住 1987 より作成）

| 大区分 | 小区分 | 底質等 |
|---|---|---|
| Ⅰ：外洋・サンゴ礁 | 0：潮間帯上部　（Ⅰ－ノッチ、Ⅲ－マングローブ） | a：岩盤<br>b：転石<br>c：岩礫底、砂泥底、砂底<br>d：マングローブ植物上<br>e：淡水の流入する礫底 |
| Ⅱ：内湾・転石域 | 1：潮間帯中・下部　2：亜潮間帯上縁部　（Ⅰではイノー） | |
| Ⅲ：河口干潟・マングローブ域 | 3：干瀬　（Ⅰにのみ適応）　4：礁斜面およびその下部 | |
| Ⅳ：淡水域 | 5：止水　6：流水 | |
| Ⅴ：陸域 | 7：林内　8：林内・林縁部　9：林縁部　10：海浜部 | |
| Ⅵ：その他 | 11：打ち上げ物　12：化石 | |

図版 41　貝類遺体 1（巻貝 1）

図版 42　貝類遺体２（巻貝２）




図版 43　貝類遺体 3（二枚貝）

## 2　脊椎動物遺体

脊椎動物遺体も貝類遺体と同様にピックアップ資料である。種の同定は当センター所蔵の現生標本や県内出土資料との比較に加え、丸山真史氏（東海大学）の指導を受けて判断した。同定できた資料は軟骨魚綱 4 分類群・硬骨魚綱 16 分類群・爬虫類 1 分類群・鳥類 1 分類群・哺乳類 11 分類群の合計 33 分類群である（第 15 表）。

第 15 表　脊椎動物遺体種別一覧

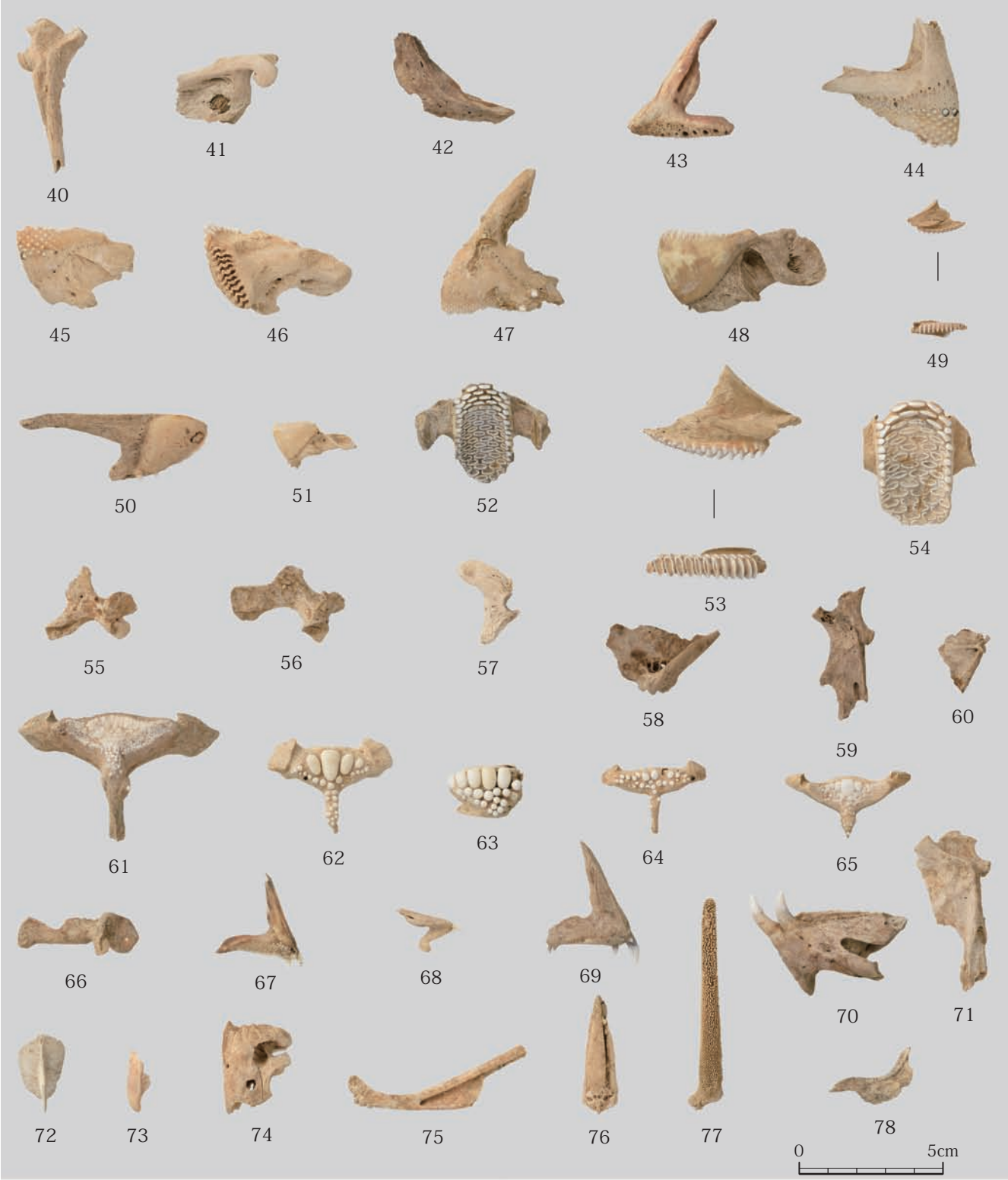
| | |
|---|---|
| 脊索動物門 | Chordata |
| 軟骨魚綱 | Chondrichthyes |
| サメ類 | Lamniformes |
| ネズミザメ科 | Lamnidae |
| ネズミザメ科の一種 | |
| エイ目 | Rajiformes |
| トビエイ科 | Myliobatidae |
| トビエイ科の一種 | |
| 硬骨魚綱 | Osteichthyes |
| ウツボ科 | Muraenidae |
| ウツボ科の一種 | |
| ダツ科 | Belonidae |
| ダツ科の一種 | |
| コチ科 | Platycephalidae |
| コチ科の一種 | |
| ハタ科 | Serranidae |
| スジアラ型 | *Plectropomus leopardus* |
| マハタ型 | *Epinephelus septemfasciatus* |
| ハタ科の一種 | |
| シイラ科 | Coryphaenidae |
| シイラ | *Coryphaena hippurus* |
| アジ科 | Carangidae |
| アジ科の一種 | |
| フエダイ科 | Lutjanidae |
| フエダイ科の一種 | |
| タイ科 | Sparidae |
| ヘダイ属 | *Sparus sarba* |
| クロダイ属 | *Acanthopagrus schlegelii* |
| タイワンダイ | *Argyrops bleekeri* |
| フエフキダイ科 | Lethrinidae |
| アマミフエフキ型 | *Lethrinus miniatuus* |
| ハマフエフキ型 | *Lethrinus nebulosus* |
| フエフキダイ科の一種 | |
| ベラ科 | Labridae |
| シロクラベラ型 | *Choerodon shoenleinii* |
| タキベラ型 | *Bodianus perditio* |
| キツネベラ型 | *Bodianus bilunulatus* |
| ベラ科A | Labridae A |
| ベラ科B | Labridae B |
| ベラ科の一種 | |
| ブダイ科 | Scaridae |
| イロブダイ | *Cetoscarus bicolor* |
| アオブダイ属 | *Scarus ovifrons* |
| アオブダイ属A | *Scarus ovifrons A* |
| アオブダイ属B | *Scarus ovifrons B* |
| ブダイ科の一種 | |
| ニザダイ科 | Acanthuridae |
| ニザダイ科の一種 | |

（右段に続く）

| | |
|---|---|
| 脊索動物門 | Chordata |
| 硬骨魚綱 | Osteichthyes |
| カマス科 | Sphyraenidae |
| カマス科の一種 | |
| タチウオ科 | Trichiuridae |
| タチウオ科の一種 | |
| カレイ科 | Pleuronectidae |
| カレイ科の一種 | |
| モンガラカワハギ科 | Balistidae |
| モンガラカワハギ | *Balistoides conspicillum* |
| モンガラカワハギの一種 | |
| カワハギ科 | Monacanthidae |
| カワハギ類 | *Stephanolepis cirrhifer* |
| 科・属不明 | Fam. et gen. indet |
| 爬虫綱 | Reptilia |
| ウミガメ科 | Cheloniidae |
| 鳥綱 | Aves |
| キジ科 | Phasianidae |
| ニワトリ | *Galus galus domesticus* |
| カモ科？ | Anatidae |
| ハト科？ | Columbidae |
| 科・属不明 | Fam. et gen. indet |
| 哺乳綱 | Mammalia |
| ウサギ科 | Leporidae |
| ネズミ科 | Muridae |
| トガリネズミ科 | Soricidae |
| ジャコウネズミ | *Suncus murinus* |
| イヌ科 | Canidae |
| イヌ | *Canis familiaris* |
| ネコ科 | Felidae |
| ネコ | *Felis silvestris catus* |
| ウマ科 | Equidae |
| ウマ | *Equus caballus* |
| イノシシ科 | Suidae |
| イノシシ／ブタ | *Sus scrofa* |
| シカ科 | Cervidae |
| ウシ科 | Bovidae |
| ヤギ | *Capra hircus* |
| ウシ | *Bos taurus* |
| クジラ類 | Cetacea |
| ジュゴン科 | Dugongidae |
| ジュゴン | *Dugong dugon* |
| ヒト科 | Hominidae |
| ヒト | *Homo sapiens* |

図版 44　脊椎動物遺体 1（魚骨 1）

**サメ類** 1. 歯　**ネズミザメ科** 2. 椎骨　**トビエイ科** 3. 歯板　**エイ目** 4. 椎骨　**ダツ科** 5. 右 歯骨　6. 椎骨　**ウツボ科** 7. 左 歯骨　8. 右 歯骨　**カマス科** 9. 椎骨　**シイラ** 10. 椎骨　**ハタ科** 11. 鋤骨　12. 左 主上顎骨　13. 左 舌顎　14. 左 角骨　15. 左 方骨　16. 右 前鰓蓋骨　17. 左 擬鎖骨　**ハタ科マハタ型** 18. 左 前上顎骨　19. 左 歯骨　**ハタ科スジアラ型** 20. 左 歯骨　**タイ科クロダイ属** 21. 左 主上顎骨　22. 左 前上顎骨　23. 左 歯骨　24. 右 主鰓蓋骨　25. 右 前鰓蓋骨　**タイ科ヘダイ** 26. 左 主上顎骨　27. 左 主上顎骨　28. 左 前上顎骨　**タイ科タイワンダイ？** 29. 前頭骨　**フエダイ科** 30. 左 前上顎骨　31. 左 歯骨　32. 左右不明 前鰓蓋骨　**フエフキダイ科** 33. 前頭骨　34. 鋤骨　35. 左 主上顎骨　36. 左 歯骨　37. 左 角骨　38. 右 方骨　39. 左 主鰓蓋骨




図版 45　脊椎動物遺体２（魚骨２）

**フエフキダイ科** 40. 右 舌顎　41. 右 口蓋　42. 右 前鰓蓋骨　**フエフキダイ科アマミフエフキ型** 43. 右 前上顎骨
**ブダイ科イロブダイ** 44. 右 前上顎骨　45. 左 歯骨　46. 右 歯骨 ( ウラ側 )　**ブダイ科アオブダイ属Ａ** 47. 左 前上顎骨
48. 左 歯骨　**ブダイ科アオブダイ属** 49. 左 上咽頭骨　52. 下咽頭骨　**ブダイ科アオブダイ属Ｂ** 50. 右 前上顎骨　51. 左 歯骨
**ブダイ科** 53. 右 上咽頭骨　54. 下咽頭骨　55. 左右不明 主上顎骨　56. 左 主上顎骨　57. 左 角骨　58 左 方骨　59. 左 舌顎
60. 左 主鰓蓋骨　**ベラ科シロクラベラ型** 61. 下咽頭骨　**ベラ科タキベラ型** 62. 下咽頭骨　63. 右 上咽頭骨　**ベラ科Ａ** 64. 下咽頭骨
**ベラ科Ｂ** 65. 下咽頭骨　**ベラ科** 66. 左 主上顎骨　69. 左 前上顎骨　70. 左 歯骨　71. 左 舌顎　**ベラ科カンムリベラ** 67. 左 前上顎骨
**ベラ科キツネベラ型** 68. 左 前上顎骨　**ニザダイ科** 72. 鱗　**モンガラカワハギ科** 73. 右 上顎遊離歯　74. 左 歯骨 + 角骨　75. 腰帯
76. 背鰭棘　**カワハギ類** 77. 背鰭棘　種不明 78. 右 擬鎖骨（ＣＭあり）

図版 46　脊椎動物遺体３（ウミガメ、トリ、ウサギ、ネズミ、イヌ、ネコ）

| | |
|---|---|
| **ウミガメ科** | 1. 縁骨板（ＣＭあり）　**ウミガメ科？**　2. 背甲骨板 |
| **ニワトリ** | 3. 頭蓋骨　4. 左 上腕骨　6. 右 寛骨　7. 右 中手骨（外側）　8. 左 大腿骨　9. 左 脛骨 10. 左 中足骨　11. 右 鳥口骨 |
| **鳥類不明** | 5. 左 橈骨 |
| **ウサギ？** | 12. 右 下顎骨　13. 右 上腕骨　14. 右 大腿骨 |
| **ネズミ科** | 15. 左 下顎骨　16. 右 上腕骨　17. 右 寛骨　18. 左 大腿骨 |
| **イヌ** | 19. 後頭骨＋側頭骨　20. 右 上顎骨　21. 左 上顎遊離歯Ｃ↑　22. 右 下顎骨　23. 右 下顎遊離歯$M_1$　24. 右 橈骨<br>25. 右 寛骨　26. 右 大腿骨　27. 右 脛骨 |
| **ネコ** | 28. 右 下顎骨　29. 右 上腕骨 |

図版 47　脊椎動物遺体４（イノシシ／ブタ、シカ）

| | |
|---|---|
| **イノシシ／ブタ** | 30. 左 後頭骨（ＣＭあり）　31. 右 上顎骨（幼獣）　32. 右 下顎骨　33. 右 下顎骨（幼獣）<br>34. 頚椎（半裁）　36. 左 肩甲骨　37. 右 上腕骨（ＣＭあり）　38. 左 橈骨　39. 右 寛骨（寛骨臼）<br>40. 右 寛骨（腸骨体）　41. 右 大腿骨（ＣＭあり）　42. 右 脛骨　43. 右 距骨（ＣＭあり）<br>44. 左 踵骨（ＣＭあり）　45. 左 第３中足骨（ＣＭあり） |
| **イノシシ／ブタ？** | 35. 腰椎 ( 半裁 ) |
| **シカ** | 46. 左？ 中手・中足骨 |

図版 48　脊椎動物遺体 5（ヤギ、ウシ）

**ヤギ**　47. 右 下顎骨　48. 右 橈骨　49. 右 寛骨（寛骨臼・坐骨）　50. 左 大腿骨（ＳＦあり）　51. 右 大腿骨

**ウシ**　52. 右 上顎遊離歯 $M^1$?　53. 右 下顎遊離歯 $I_1$　54. 左 上腕骨　55. 右 中手骨　56. 左 脛骨

図版 49　脊椎動物遺体６（ウシ／ウマ、ジュゴン、ヒト）

| | |
|---|---|
| **ウマ** | 57. 左 肋骨（ＣＭあり）　58. 左 肩甲骨　59. 左 橈骨＋尺骨（ＳＦ？，焼骨）　60. 左 中手骨<br>61. 右 大腿骨（ＳＦあり, ＣＭあり）　62. 右 中節骨（ＣＭあり） |
| **ウシ／ウマ？** | 63. 左右不明 肋骨？（ＣＭあり） |
| **ジュゴン** | 64. 左 上腕骨 |
| **クジラ類？** | 65. 左右不明 肋骨 |
| **人骨** | 66. 頭蓋骨　67. 左 橈骨 |

# 第 16 表　中国産青磁出土状況一覧 1

| 器種・部位・分類 | | | 出土地 / 年度 / 層序 | H24 | | | | | | | | | | | | | | H25 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 石組2内 2層 | 石積み1 解体 | 石積み 3・4間 | 石積み5 | 石積み5 裏込め | 石積み 5内 | 石積み 6前 | 石積み 7前 | 階段1 | 壕1内 | 壕1前 | 洞穴1内 | トレンチ1 1層 | トレンチ2 2層 | 石組3 | 石敷1 | 石敷1 下層 | 石積み 10・11間 1層 | 石積み 10・11間 2層 | 石積み 10・11間 3層 | 石積み11 裏込め | 石積み 11内 | 石積み12 | 石積み 13・15間 1層 | 石積み 13・15間 2層 | 石積み 13・15間 3層 | 石積み 14前 | 石積み 15前 | 石積み16 | 石積み17 | 石列1 | 石列5・ 石積み15間 | 石列5前 | 石列6・ 石積み17 | 石列6下 4・5層 | 石列6下 6層 | 石列6前 | 石列7 | 基壇1 | 基壇1 西側溝内 | 基壇1 東側溝内 |
| 碗 | 口～底部 | Ⅳ | — | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | Ⅳ' | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | Ⅳ-0 | — | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | Ⅳ'-0 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | Ⅴ-0 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | Ⅴ-1 | — | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | | | | |
| | | Ⅴ-2' | — | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | Ⅴ-3 | — | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | Ⅵ-1 | — | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁部 | Ⅳ | — | | | | | | 4 | | | | | | 7 | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 2 | | 2 | | 1 | | | | | | | | |
| | | Ⅳ' | — | | | | | | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | |
| | | Ⅳ-0 | — | | | | 1 | | 1 | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | |
| | | Ⅳ'-0 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | |
| | | Ⅳ-1 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | Ⅳ・Ⅴ | — | | | | 3 | | 2 | | | | 1 | | | | | | | | 1 | | | | 1 | | | | | | | | 5 | | 1 | | | | | | | | |
| | | Ⅳ・Ⅴ-0 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | Ⅴ | — | | 1 | | | | 4 | | 2 | | | | | | | | | 2 | 3 | | | 2 | 2 | | 1 | | | | | | 2 | | 1 | | 1 | 1 | | 4 | | | |
| | | Ⅴ-0 | — | | | | | | 2 | | 8 | | | | 6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | | | |
| | | Ⅴ-1 | — | | | | | | 1 | | 1 | | | | 2 | 1 | | | | 1 | | | | | 1 | | | 1 | | | | | | 1 | 1 | | | | 1 | 13 | | | 1 |
| | 口縁部 | Ⅴ-2 | — | | | | | | | 11 | 32 | | | 1 | 6 | | | | | 7 | 2 | 1 | | 1 | 1 | 2 | 1 | | | 2 | | | 8 | 1 | | | | | | 15 | | | |
| | | Ⅴ-3 | — | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | 1 |
| | | Ⅴ・Ⅵ | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | Ⅵ | — | | | | | | | | 2 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | Ⅵ-0 | — | | | | | | | | 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | Ⅵ-1 | — | | | | | | 18 | | 1 | | | | 1 | | 1 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | 1 | | 1 | 1 | | | | 4 | | | |
| | | Ⅵ-2 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | Ⅵ・Ⅶ-1 | — | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | Ⅶ | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | Ⅶ-2 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 輪広高台 | — | | | | | | 8 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | — | | | | | | | | 2 | | 5 | | | | | | | | | 7 | | | | | | | 1 | | 1 | | 2 | | 1 | 1 | | | | | | | 1 | | |
| 鉢 | 胴部 | Ⅳ | — | 1 | | | | 1 | | | 3 | | | | 4 | 1 | | | | | | | | | 2 | | | | | | 3 | 1 | 1 | | 3 | | | | | | 1 | | |
| | | Ⅳ' | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | | | | | | | | | | | | |
| | | Ⅳ-0 | — | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | Ⅳ・Ⅴ | — | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | |
| | | Ⅳ・Ⅴ-1 | — | | 1 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | |
| | | Ⅴ | — | | | | 3 | | 12 | 4 | 15 | | | 2 | 11 | | | | 1 | 7 | | | 1 | 3 | 1 | | 1 | 1 | 1 | 1 | | 4 | 1 | 2 | 5 | 2 | | | 7 | | | 2 |
| | | Ⅴ-0 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | Ⅴ-1 | — | | | | | | 3 | 1 | 18 | | | | 2 | | | | | 2 | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 | 20 | | | |
| | | Ⅴ-2 | — | | | 1 | | 1 | | 1 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | Ⅴ-2' | — | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | Ⅴ-3 | — | | | | | | 2 | | 2 | | | | | 1 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 7 | | | |
| | | Ⅵ | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | |
| | | Ⅵ-1 | — | | | | | | 12 | | | 1 | | | | | | | | | 1 | | | | 1 | | | | | | | | | | 2 | 5 | | | | 1 | | | |
| | | 青磁鎬塗系 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 輪広高台 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | — | | | | | | 4 | 1 | 13 | 9 | | | 1 | | 1 | 2 | | | | 11 | 2 | 3 | 2 | 2 | 3 | | 5 | 1 | | | 3 | | 8 | | | 3 | | | | 5 | | | |
| | 底部 | Ⅳ | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | Ⅳ' | — | | | | | | 1 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | Ⅳ-1 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | Ⅳ・Ⅴ-1 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | Ⅴ | — | | | | | | 1 | 3 | 8 | | | | | | | | | 1 | | 1 | | | 1 | | | 1 | | | 1 | | | | | | | | 2 | | | |
| | | Ⅴ-1 | — | | | | | 1 | 2 | 1 | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | | | | | 3 | | | | 1 |
| | 底部 | Ⅴ-2' | — | | | | | | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | Ⅵ | — | | | | | | 3 | 1 | 4 | | | | | | | | | 1 | | 1 | | | | | | | | 1 | | | 2 | | | | | | 1 | | | |
| | | Ⅵ-0 | — | | | | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | Ⅵ-1 | — | 1 | | | | | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | Ⅵ-3 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | Ⅶ-1 | — | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | — | | | | | | | | | | 23 | | | | | | | | | 3 | | | | | 1 | | 1 | 1 | | | | | | 1 | | | | | | | | | |
| 小碗 | 口縁部 | Ⅴ | — | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | Ⅳ' | — | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 皿 | 口～底部 | Ⅴ'-0 | 外反 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | |
| | | Ⅴ | 稜花 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | |
| | | Ⅴ-0 | 口折 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | |
| | | | 直口 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | |
| | | | 稜花 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | Ⅴ-0・3 | 外反 | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | Ⅴ-1 | 口折 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | |
| | | | 直口 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | Ⅴ-3 | 外反 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁部 | Ⅳ' | — | | | | | | | | | | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | Ⅳ・Ⅴ | 外反 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | |
| | | | — | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | Ⅴ | 外反 | | | | | 1 | | | 2 | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | 2 | | | 1 | | | 2 | | 2 | | | | | | 1 | | | 3 | |
| | | | 口折 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | | | | | | | 4 | 1 | | | |
| | | | 直口 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 稜花 | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 3 | | | 1 | |
| | | | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | Ⅴ-0 | 外反 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 口折 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | |
| | | | 直口 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | | | | |
| | | Ⅴ-0・3 | 外反 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 1 | | | | | | | | |
| | | Ⅴ-1 | 外反 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 口折 | | | | | 1 | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | 1 | | | 1 | |
| | | | 直口 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | Ⅴ-3 | 外反 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | — | | 外反 | | | | | | 2 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 口折 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 直口 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 4 | | 1 | | |
| | 胴部 | Ⅳ | — | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | Ⅳ' | — | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | Ⅳ・Ⅴ | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | |
| | | Ⅳ・Ⅴ-1 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | Ⅴ | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | Ⅴ-0 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | Ⅴ-0・3 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | Ⅴ-1 | 口折 | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | — | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | | | | |
| | — | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底部 | Ⅳ | — | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | Ⅳ' | — | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | |
| | | Ⅳ・Ⅴ | — | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | |
| | | Ⅴ | 腰折 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | |
| | | | — | | | | | | 3 | | | | 2 | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 2 | | | | |
| | | Ⅴ-2 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | |
| | — | | | | | | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | 2 | | | | | 1 | 1 | | | | |
| 盤 | 口～底部 | A-1、底A | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁部 | A | 稜花 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | A-1 | 稜花 | | | | | | 1 | | | | | | 2 | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | |
| | | A-2 | — | | | | | | 4 | | 4 | | | | | | | | | | | 3 | | 1 | 2 | | | 1 | | 1 | 1 | | 1 | | | | | | | | | | |
| | | B | — | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | — | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 胴部 | | — | | | | | | 4 | | 4 | | | | | 1 | 1 | 1 | | 2 | | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 2 | | | |
| | 底部 | 底A | — | | | | 1 | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | |
| | | 底B | — | | | | | | 1 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | | | | | | | | |
| | | | — | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | |
| 瓶 | 胴部 | | — | | | | | | 6 | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | 1 | | | | | 6 | | 5 | | 3 | | | | | | | |
| | 底部 | | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 壺 | 口～底部 | | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | |
| | 口縁部 | — | 酒会壺 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 胴部 | | — | | | 1 | 1 | | 1 | | | | | | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | |
| | 底部 | — | 酒会壺 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | — | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小壺 | 口縁部 | | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 鉢 | 口縁部 | | — | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 胴部 | — | 飛び青磁 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | |
| | 底部 | | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | |
| 擂鉢 | 口縁部 | | — | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 胴部 | | — | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 香炉 | 口縁部 | | — | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | |
| 蓋 | 蓋甲 | | — | | | | | | 1 | | 11 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底 | A | — | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | — | 酒会壺 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | — | | | | 1 | | | | 13 | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 将 | | — | | | | | | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 水盤 | 口縁部 | | — | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 器台 | 胴部 | | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 袋物 | 口縁部 | | — | | | | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | |
| | 胴部 | | — | | | | 1 | 1 | 3 | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | | | | | 2 | | | | | | 1 | | 1 | 3 | | | 2 | 1 | | | |
| | 底部 | | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | |
| 器種不明 | 口縁部 | | — | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 1 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| | 胴部 | | — | | | | | | 1 | | 3 | 1 | | | 1 | | | 3 | 2 | 19 | | | | 1 | 3 | | 1 | | | | 1 | | 1 | 2 | 1 | | 1 | | | | | | 2 | |
| | 底部 | | — | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | 1 | |
| 合計 | | | | 3 | 5 | 2 | 18 | 7 | 156 | 33 | 187 | 2 | 4 | 3 | 66 | 8 | 5 | 5 | 2 | 76 | 14 | 21 | 4 | 16 | 38 | 5 | 13 | 10 | 3 | 7 | 24 | 1 | 52 | 20 | 23 | 21 | 7 | 1 | 3 | 127 | 6 | 2 | 14 | 1 |

# 第 16 表　中国産青磁出土状況一覧 2

| 器種・部位・分類 | | 出土旗 | 層序 | 基壇1南側溝内 | 壕1内 | 壕2・石積み16間 | 壕3内 | 壕3前 | 洞穴1内 | 洞穴1内石敷き | 洞穴1内トレンチ1 2層 | 洞穴1内トレンチ2 | 洞穴1内トレンチ2 3層 | 洞穴1内トレンチ3 1層 | 洞穴1内トレンチ4 4・5層 | トレンチ1 | トレンチ1 1・2層 | トレンチ1 6層 | トレンチ1 9～11層 | トレンチ1 12層 | トレンチ1 15層 | トレンチ1 24～26層 | トレンチ1 27層 | トレンチ1 30～34層 | トレンチ2 | トレンチ3 1層 | トレンチ3 3層 | トレンチ4 1層 | トレンチ4 2層 | トレンチ5 | トレンチ5 1層 | トレンチ5 4層 | トレンチ5 5・6層 | トレンチ5 7層 | トレンチ6 | トレンチ7 | トレンチ7 10層 | トレンチ7 23層 | トレンチ7 25層 | 表土 | 表採 | 不明 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 碗 | 口～底部 | Ⅳ | — | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| | | Ⅳ' | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | Ⅳ-0 | — | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| | | Ⅳ-0 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | Ⅴ-0 | — | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | Ⅴ-1 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 |
| | | Ⅴ-2' | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | Ⅴ-3 | — | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | Ⅵ-1 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| | 口縁部 | Ⅳ | — | | | 1 | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | 1 | | | 1 | | | | | | | | 24 |
| | | Ⅳ' | — | | | 3 | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | 10 |
| | | Ⅳ-0 | — | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 7 |
| | | Ⅳ'-0 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | Ⅳ-1 | — | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | Ⅳ・Ⅴ | — | | | | | | | | | | | | | | | 3 | | 1 | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 20 |
| | | Ⅳ・Ⅴ-0 | — | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | Ⅴ | — | | | 4 | | 2 | | | | | | | 1 | | | 2 | | | | | | | | | | | 1 | | | 2 | | 1 | 12 | | | | 1 | | | 1 | 53 |
| | | Ⅴ-0 | — | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | 1 | | | | | | | 1 | | | | | 23 |
| | | Ⅴ-1 | — | | 1 | 6 | | | | 1 | | | | | | | | 4 | 1 | 2 | | | | | 1 | | | | 1 | | 2 | | | | 1 | | 2 | | | | | 1 | 48 |
| | | Ⅴ-2 | — | 2 | | 1 | | 3 | | 1 | | | | | | | 1 | 2 | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 33 | | | | | | | 1 | 136 |
| | | Ⅴ-3 | — | | | | | 2 | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 6 |
| | | Ⅴ・Ⅵ | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | Ⅵ | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| | | Ⅵ-0 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 5 |
| | | Ⅵ-1 | — | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 1 | | | | | | | | 2 | | 2 | | | | | | | 1 | 36 |
| | | Ⅵ-2 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | Ⅵ・Ⅶ-1 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | Ⅶ | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | Ⅶ-2 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 幅広高台 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 9 |
| | | | — | | | 1 | | | | 1 | | | | | | 2 | | | 1 | | | | | | 2 | 1 | 1 | | | 1 | 2 | | | | 1 | | | | | | | 1 | 35 |
| | 胴部 | Ⅳ | — | | | | | 2 | | 2 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | 28 |
| | | Ⅳ' | — | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 5 |
| | | Ⅳ-0 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | Ⅳ・Ⅴ | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 |
| | | Ⅳ・Ⅴ-1 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 5 | | | | | | | 1 | 9 |
| | | Ⅴ | — | 1 | | 5 | | 7 | | | | | 1 | | | | 1 | 9 | | | | | | | | | | | | | 2 | 1 | | | 1 | | | | | | | 1 | 116 |
| | | Ⅴ-0 | — | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | Ⅴ-1 | — | | | 1 | | 1 | | | | | | | | 2 | | 4 | 2 | | | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | | 1 | 65 |
| | | Ⅴ-2 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| | | Ⅴ-2' | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | Ⅴ-3 | — | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | 1 | 16 |
| | | Ⅵ | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 2 |
| | | Ⅵ-1 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | 26 |
| | | 基礎鎮壇系 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 幅広高台 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 |
| | | | — | | 1 | 3 | 1 | | | | 1 | | 1 | | | 3 | | 5 | 3 | | | | | | 11 | 1 | | | 1 | | | 5 | 1 | | 26 | | | | 4 | | | 1 | 147 |
| | 底部 | Ⅳ | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | 4 |
| | | Ⅳ' | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 3 |
| | | Ⅳ-1 | — | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | Ⅳ・Ⅴ-1 | — | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | Ⅴ | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 22 |
| | | Ⅴ-1 | — | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | 1 | | | 19 |
| | | Ⅴ-2' | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| | | Ⅵ | — | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | 18 |
| | | Ⅵ-0 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| | | Ⅵ-1 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 6 |
| | | Ⅵ-3 | — | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | Ⅶ-1 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | — | | | | | 1 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | | | | | | | 1 | 35 |
| 小碗 | 口縁部 | Ⅴ | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | Ⅳ' | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 皿 | 口～底部 | Ⅳ'-0 | 外反 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | Ⅴ | 稜花 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | 口折 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | Ⅴ-0 | 直口 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | | 稜花 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | Ⅴ-0・3 | 外反 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | Ⅴ-1 | 口折 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | | 直口 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | Ⅴ-3 | 外反 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| | 口縁部 | Ⅳ' | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | Ⅳ・Ⅴ | 外反 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | Ⅴ | 外反 | | 1 | | 1 | 3 | | | | | | | | 1 | | 1 | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 25 |
| | | | 口折 | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 9 |
| | | | 直口 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | 稜花 | | | 1 | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 9 |
| | | | — | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | Ⅴ-0 | 外反 | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 |
| | | | 口折 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | 直口 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 |
| | | Ⅴ-0・3 | 外反 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| | | Ⅴ-1 | 外反 | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | | 口折 | | | 1 | | | | | | | 1 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 12 |
| | | | 直口 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 2 |
| | | Ⅴ-3 | 外反 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | — | 外反 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 5 |
| | | | 口折 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| | | | 直口 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 5 |
| | | | — | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 8 |
| | 胴部 | Ⅳ | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | Ⅳ' | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | Ⅳ・Ⅴ | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | Ⅳ・Ⅴ-1 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | 1 |
| | | Ⅴ | — | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | 1 | | | | | | | 4 |
| | | Ⅴ-0 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | Ⅴ-0・3 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | Ⅴ-1 | 口折 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 |
| | | | — | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 6 |
| | 底部 | Ⅳ | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | Ⅳ' | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | 6 |
| | | Ⅳ・Ⅴ | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | Ⅴ | 腰折 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | — | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | 13 |
| | | Ⅴ-2 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 8 |
| 盤 | 口～底部 | A-1、底A | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 口縁部 | A | 稜花 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 |
| | | A-1 | 稜花 | | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 8 |
| | | | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | 5 |
| | | A-2 | — | | | 1 | | | | | | | | | | | | 5 | | | | | | | | 1 | | | | | 2 | | | | 1 | | | | 1 | | | | 29 |
| | | B | — | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 胴部 | | — | | | | | 1 | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 1 | 25 |
| | 底部 | 底A | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 7 |
| | | 底B | — | | | | | 1 | | | | | 1 | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 8 |
| | | | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| 瓶 | 胴部 | | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 7 | 7 | | | | | | | | | | | 37 |
| | 底部 | | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 |
| 壺 | 口～底部 | | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 口縁部 | — | 酒会壺 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 1 |
| | 胴部 | | — | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | 底部 | — | 酒会壺 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | 1 | | 12 |
| | | | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| 小壺 | 口縁部 | | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 鉢 | 口縁部 | | — | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 1 |
| | 胴部 | — | 飛び青磁 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 |
| | 底部 | | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 擂鉢 | 口縁部 | | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 胴部 | | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 香炉 | 口縁部 | | — | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| 蓋 | 蕃甲 | | — | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 14 |
| | 庇 | A | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | — | 酒会壺 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | — | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | 20 |
| | 袴 | | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| 水盤 | 口縁部 | | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 脚台 | 胴部 | | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 袋物 | 口縁部 | | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| | 胴部 | | — | | 1 | 1 | | 3 | | | | 1 | | | 1 | 1 | 1 | | | | | | | | | | 1 | | | | | 2 | | | | | | | | | | 1 | 30 |
| | 底部 | | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | 2 |
| 器種不明 | 口縁部 | | — | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 6 |
| | 胴部 | | — | | 1 | | | 10 | | | | | | 2 | | | | | | 1 | | | | | | 1 | 1 | 1 | | | 10 | | 2 | 2 | | | | | | | | | 74 |
| | 底部 | | — | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 8 |
| 合計 | | | | 3 | 11 | 42 | 2 | 48 | 1 | 10 | 1 | 1 | 8 | 2 | 2 | 14 | 3 | 51 | 7 | 5 | 1 | 4 | 4 | 3 | 28 | 6 | 5 | 1 | 6 | 1 | 30 | 22 | 9 | 4 | 96 | 2 | 2 | 1 | 10 | 1 | 4 | 20 | 1486 |

# 第 17 表　中国産白磁出土状況一覧 1

| 器種・部位・分類・窯など | | | 出土地 | 年度 | H24 | | | | | | | | | | H25 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 層序 | 石組2内 2層 | 石積み 3・4間 | 石積み5 | 石積み5 裏込め | 石積み 5内 | 石積み 6前 | 石積み 7前 | 壕1内 | 洞穴1内 | トレンチ1 1層 | 石組3 | 石敷き1 | 石敷き1 下層 | 石積み 3・4間 | 石積み 10・11間 1層 | 石積み 10・11間 2層 | 石積み 10・11間 3層 | 石積み11 裏込め | 石積み 11内 | 石積み 13・15間 1層 | 石積み 13・15間 2層 | 石積み 13・15間 3層 | 石積み 14前 | 石積み 15前 | 石積み17 | 石列1 | 石列5・ 石積み 15間 | 石列6・ 石積み 17 |
| 碗 | 口～底部 | D群 | | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | F群 | | － | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁部 | A群 | | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | |
| | | C群 | | － | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | C2群 | | － | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | C3群 | | － | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | |
| | | D群 | | － | | | | | | | | | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | D'群 | | － | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | E群 | | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | E0群 | | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | F群 | | － | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | G群 | | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | － | 徳化窯系 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | － | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 | | 1 | |
| | 胴部 | A群 | | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | C群 | | － | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | 1 | |
| | | C2群 | | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | |
| | | C3群 | | － | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 1 | | | | |
| | | D群 | | － | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | D'群 | | － | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | E群 | | － | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | E0群 | | － | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | |
| | | | － | | | | | | 2 | 1 | | | 1 | | | | 1 | | | 1 | 1 | | | | | | | | 1 | | 1 | |
| | 底部 | C2群 | | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | C3群 | | － | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | D'群 | | － | | | | | 3 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | |
| | | E群 | | － | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | E0群 | | － | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | G群 | | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | |
| 小碗 | 口縁部 | － | 徳化窯系 | | | | | 1 | 2 | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | |
| | 胴部 | － | 徳化窯系 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | |
| 皿 | 口～底部 | D'群 | | － | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | D1群 | | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | D2群 | | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | |
| | | E群 | | － | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | E0群 | | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | － | 定窯系 | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | |
| | 口縁部 | A群 | | － | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | D群 | 稜花 | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | － | | 1 | | 1 | 7 | | | | 1 | | | | 1 | | 1 | 1 | | | | 2 | 4 | 2 | 2 | 1 | 3 | 2 | 2 | |
| | | D'群 | | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | E群 | 菊花皿 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| | | | | － | | | | | 8 | | | | 2 | | | | 2 | | | 4 | | | | | 1 | | | | | | | |
| | | － | 徳化窯系 | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | |
| | 胴部 | D群 | | － | | | | | 2 | | 2 | | | | | | | 1 | | | | 1 | 1 | | | | | 1 | 5 | | | 1 |
| | | E群 | | － | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | |
| | | | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底部 | A群 | | － | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | D群 | | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | |
| | | D'群 | | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | D1群 | | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | D2群 | | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | | 1 | | | |
| | | E群 | | － | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | |
| | | | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 盤 | 口～底部 | － | 景徳鎮窯系 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁部 | － | 景徳鎮窯系 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底部 | － | 景徳鎮窯系 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 杯 | 口～底部 | D1群 | | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁部 | E群 | | － | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 胴部 | D群 | | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底部 | D2群 | | － | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小杯 | 口縁部 | － | 清代 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底部 | E群 | | － | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 瓶 | 胴部 | － | 景徳鎮窯系 | | | | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | 2 | |
| 壺 | 口縁部 | － | 福建系 | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | |
| | 胴部 | － | 景徳鎮窯系 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 福建系 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | | | － | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | |
| | 底部 | － | 福建系 | | | | | | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | － | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 酒会壷 | 口～底部 | － | 景徳鎮窯系 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 酒会壷の蓋 | 庇～袴 | － | 景徳鎮窯系 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 器台 | 口～底部 | － | 景徳鎮窯系 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 袋物 | 胴部 | － | 景徳鎮窯系 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | |
| 器種不明 | 胴部 | － | 徳化窯系 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | |
| | | | | － | | 1 | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | 2 | | | | | | | 1 | | | 1 |
| 合計 | | | | | 1 | 2 | 5 | 5 | 51 | 1 | 8 | 1 | 14 | 3 | 1 | 1 | 9 | 1 | 1 | 7 | 2 | 8 | 5 | 5 | 8 | 2 | 4 | 6 | 16 | 3 | 8 | 4 |

# 第 17 表　中国産白磁出土状況一覧 2

| 器種・部位・分類・窯など | | | 出土地 / 年度 / 層序 | H25 石列6前 | 石列7 | 基壇1 西側溝内 | 基壇1 南側溝内 | 壕1内 | 壕2・石積み 16間 | 壕3内 | 壕3前 | 洞穴1内 | 洞穴1内 石敷き | 洞穴1内 トレンチ2 1層 | 洞穴1内 トレンチ2 3層 | トレンチ1 | トレンチ1 1・2層 | トレンチ1 6層 | トレンチ1 12層 | トレンチ1 27層 | トレンチ2 | トレンチ3 1層 | トレンチ3 3層 | トレンチ5 1層 | トレンチ5 4層 | トレンチ5 5・6層 | トレンチ5 7層 | トレンチ6 | 表土 | 不明 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 碗 | 口～底部 | D群 | － | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | F群 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 口縁部 | A群 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | 3 |
| | | C群 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | 2 |
| | | C2群 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | C3群 | － | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | 4 |
| | | D群 | － | | | 1 | | | | | 2 | | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 13 |
| | | D'群 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | E群 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | 2 |
| | | E0群 | － | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | F群 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | G群 | － | 2 | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 |
| | － | | 徳化窯系 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | － | | | | | | 1 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 6 |
| | 胴部 | A群 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | 1 |
| | | C群 | － | | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 1 | | 1 | 1 | | | 9 |
| | | C2群 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | C3群 | － | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 |
| | | D群 | － | 2 | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 5 |
| | | D'群 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | E群 | － | | | | | | 1 | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 3 |
| | | E0群 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| | | | － | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | | | 1 | | | | | | | 13 |
| | 底部 | C2群 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 1 |
| | | C3群 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | D'群 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 5 |
| | | E群 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | E0群 | － | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| | | G群 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 小碗 | 口縁部 | － | 徳化窯系 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 5 |
| | 胴部 | － | 徳化窯系 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| 皿 | 口～底部 | D'群 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | D1群 | － | 2 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| | | D2群 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | E群 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | E0群 | － | | | | | | | | | | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | － | | 定窯系 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | 口縁部 | A群 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | D群 | 稜花 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | | － | 17 | | | | | | 1 | 12 | | | | | | | 1 | | | | | | | 1 | | | | | 1 | 64 |
| | | D'群 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | 1 |
| | | E群 | 菊花皿 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | － | | | | | | 1 | | | | | | 1 | | | | | | | | | 3 | | | | | | | 22 |
| | | － | 徳化窯系 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | － | 3 | | 1 | | | | | 4 | 1 | | 1 | | | | 1 | | | | | | 1 | | | | | | | 13 |
| | 胴部 | D群 | － | 1 | | 1 | | | | | 3 | | | | | 1 | | 1 | | | | | | | | 1 | | 2 | | | 24 |
| | | E群 | － | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 |
| | | | － | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 底部 | A群 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | D群 | － | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | D'群 | － | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 | | | | | | | | | 2 |
| | | D1群 | － | 1 | | 1 | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 1 | | | | 4 |
| | | D2群 | － | 2 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 6 |
| | | E群 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | 3 |
| | | | － | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 盤 | 口～底部 | － | 景徳鎮窯系 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 口縁部 | － | 景徳鎮窯系 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 底部 | － | 景徳鎮窯系 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 |
| 杯 | 口～底部 | D1群 | － | 1 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | 口縁部 | E群 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 胴部 | D群 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 |
| | 底部 | D2群 | － | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| 小杯 | 口縁部 | － | 清代 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 底部 | E群 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 瓶 | 胴部 | － | 景徳鎮窯系 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 6 |
| 壺 | 口縁部 | － | 福建系 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 |
| | 胴部 | － | 景徳鎮窯系 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | 福建系 | 3 | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 6 |
| | | | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | 底部 | － | 福建系 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| | | | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 酒会壺 | 口～底部 | － | 景徳鎮窯系 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 酒会壺の蓋 | 庇～袴 | － | 景徳鎮窯系 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 器台 | 口～底部 | － | 景徳鎮窯系 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 袋物 | 胴部 | － | 景徳鎮窯系 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 器種不明 | 胴部 | － | 徳化窯系 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | － | 6 | | | | | | | 1 | | 3 | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | 1 | | 1 | 21 |
| 合計 | | | | 49 | 2 | 5 | 1 | 3 | 3 | 1 | 26 | 2 | 11 | 1 | 2 | 3 | 1 | 7 | 1 | 1 | 2 | 1 | 2 | 5 | 4 | 2 | 4 | 6 | 1 | 2 | 330 |

# 第 18 表　中国産青花出土状況一覧 1

| 器種・部位・分類・窯など | | | 出土地 / 年度 / 層序 | H24 | | | | | | | | | H25 | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 石組2内 2層 | 石積み5 | 石積み5 裏込め | 石積み5内 | 石積み6前 | 石積み7前 | 階段1 | 壇1内 | 洞穴1内 | 石組3 | 石敷き1 | 石敷き1 下層 | 石積み 3・4間 | 石積み 10・11間 1層 | 石積み 10・11間 2層 | 石積み11 裏込め | 石積み11内 | 石積み12 | 石積み 13・15間 1層 | 石積み 13・15間 2層 | 石積み14前 | 石積み15 裏込め | 石積み15前 | 石積み17 | 石列1 | 石列5・ 石積み15間 |
| 碗 | 口～底部 | C | － | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | G' | － | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | － | 徳化窯系 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁部 | B | － | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 | | | |
| | | B1 | － | | 1 | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | |
| | | B2 | － | | | | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | C | － | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | C' | － | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | D | － | | | 1 | 19 | | 1 | 1 | | | | | | | 1 | | | 1 | | | 1 | | | | | | |
| | | E | － | | | | 6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | － | 景徳鎮窯 | | 1 | | 11 | | | | | | | | | | | | 1 | 3 | | | | | | | 4 | 1 | |
| | | | 清代・景徳鎮窯 | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | |
| | | | 徳化窯系 | | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 福建・広東系 | | 4 | 1 | 15 | | 3 | 4 | | 2 | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | |
| | | | 福建産 | | 4 | 1 | 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 明末清初 | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 漳州窯系 | | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | － | | 6 | 2 | 7 | 1 | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | 1 | | | | 1 |
| | 胴部 | B | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | B1 | － | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | B2 | － | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | C | － | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | D | － | | | | 8 | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | |
| | | G' | － | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | － | 景徳鎮窯 | | | | 15 | | 1 | | | | | | 1 | | | | 8 | | | | | | | 1 | | | |
| | | | 景徳鎮窯(官窯) | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 清代 | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 清代・景徳鎮窯 | | | 1 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 徳化窯系 | | | 1 | 2 | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | |
| | | | 福建・広東系 | | 4 | 1 | 9 | | | 3 | | 1 | | | | | | | 1 | 2 | 1 | | 1 | | | | | | |
| | | | 福建産 | | | 2 | 3 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 漳州窯系 | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | － | | 4 | 1 | 16 | | | | | | | | | 2 | 2 | | 4 | 5 | 1 | 1 | 3 | | | | 3 | | |
| | 底部 | B | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | B1 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | C | － | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | D | － | | | | 7 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | G' | － | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | － | 景徳鎮窯 | | | | 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | |
| | | | 清代・景徳鎮窯 | | | | 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 徳化窯系 | | | 1 | 3 | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | |
| | | | 福建・広東系 | 1 | 1 | 1 | 4 | | 1 | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | |
| | | | 福建産 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | － | 1 | 1 | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小碗 | 口～底部 | B | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | B1 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | E | － | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁部 | B | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | |
| | | － | 景徳鎮窯 | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 清代・景徳鎮窯 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | － | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | |
| | 胴部 | B | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | － | 景徳鎮窯 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底部 | B | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | － | 景徳鎮窯 | | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 清代・景徳鎮窯 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | － | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 皿 | 口～底部 | A | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | B1 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | C | － | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁部 | B | － | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | B1 | － | | | | 1 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | 1 | | | | | |
| | | － | 景徳鎮窯 | | | | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 清代・景徳鎮窯 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 徳化窯系 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 漳州窯系 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | － | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 胴部 | － | 徳化窯系 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 福建・広東系 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | － | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底部 | B1 | － | | | | 5 | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | － | 景徳鎮窯 | | 1 | | 2 | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | 1 |
| | | | 徳化窯系 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | － | | 1 | | 3 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 盤 | 口縁部 | － | 漳州窯系 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 杯 | 口縁部 | － | 景徳鎮窯 | | | | 9 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | － | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | |
| | 底部 | － | 清代・景徳鎮窯 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | |
| 小杯 | 口～底部 | － | 景徳鎮窯 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁部 | － | 清代・景徳鎮窯 | | | 1 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | － | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 胴部 | － | 景徳鎮窯 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 清代・景徳鎮窯 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | |
| | | | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底部 | － | 景徳鎮窯 | | | | 3 | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | |
| 瓶 | 頸部 | － | 景徳鎮窯 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 漳州窯系 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 胴部 | － | 景徳鎮窯 | | | | 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底部 | － | 景徳鎮窯 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 壺 | 胴部 | － | 景徳鎮窯 | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | |
| | | | 漳州窯系 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底部 | － | 漳州窯系 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小壺 | 口～底部 | － | 漳州窯系 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 鉢 | 口縁部 | － | 福建・広東系 | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | |
| | | | 福建産 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 胴部 | － | 徳化窯系 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 福建・広東系 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | － | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底部 | － | 福建・広東系 | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | |
| 蓋 | 蓋甲 | － | － | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 庇 | － | 漳州窯系 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | － | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | |
| | 庇～蓋甲 | － | － | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 水注 | 底部 | － | 景徳鎮窯 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 高足杯 | 底部 | － | － | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合子(身) | 口～底部 | － | 景徳鎮窯 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 袋物 | 口縁部 | － | － | | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 胴部 | － | 景徳鎮窯 | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 漳州窯系 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | － | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 | | | | | | | | | | 1 |
| 器種不明 | 口縁部 | － | 福建・広東系 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 胴部 | － | 漳州窯系 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | |
| | | | － | | | | 2 | | 2 | | | | | | | | | | | 1 | | 2 | | | | | | 2 | |
| | 底部 | － | 景徳鎮窯 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | － | | | | 1 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 注口 | － | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | |
| 合計 | | | | 2 | 37 | 20 | 229 | 1 | 11 | 10 | 2 | 6 | 1 | 1 | 9 | 2 | 4 | 4 | 26 | 18 | 2 | 3 | 6 | 3 | 1 | 2 | 9 | 3 | 7 |

# 第 18 表　中国産青花出土状況一覧 2

| 器種・部位・分類・窯など | | | 出土地 | 年度 | H25 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 層序 | 石列5前 | 石列6・石積み17 | 石列6前 | 基壇1 | 基壇1南側溝内 | 墜1内 | 墜2・石積み16間 | 墜3内 | 墜3前 | 洞穴1内 | トレンチ1 | トレンチ1 1・2層 | トレンチ1 6層 | トレンチ1 9～11層 | トレンチ1 12層 | トレンチ1 24～26層 | トレンチ2 | トレンチ3 1層 | トレンチ3 3層 | トレンチ5 1層 | トレンチ5 4層 | トレンチ6 | 表土 | 表採 | 不明 | 合計 |
| 碗 | 口～底部 | C | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | G’ | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | — | 徳化窯系 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 |
| | 口縁部 | B | — | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| | | B1 | — | | | 1 | 10 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 18 |
| | | B2 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 5 |
| | | C | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | C’ | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | D | — | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | | | 27 |
| | | E | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 6 |
| | | — | 景徳鎮窯 | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 22 |
| | | | 清代・景徳鎮窯 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | | 徳化窯系 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| | | | 福建・広東系 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 3 | | | 1 | 36 |
| | | | 福建産 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 9 |
| | | | 明末清初 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | | 漳州窯系 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| | | | — | | | 1 | | 1 | | 2 | | 1 | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | 1 | 1 | 29 |
| | 胴部 | B | — | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 | | | | 1 | | | | | | | 5 |
| | | B1 | — | | | | 9 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 10 |
| | | B2 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | C | — | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | D | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 9 |
| | | G’ | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | — | 景徳鎮窯 | | | | 7 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 33 |
| | | | 景徳鎮窯(官窯) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | 清代 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | | 清代・景徳鎮窯 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | | 徳化窯系 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 5 |
| | | | 福建・広東系 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 1 | 26 |
| | | | 福建産 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 7 |
| | | | 漳州窯系 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 3 |
| | | | — | | | 1 | | | | | 1 | | 1 | 1 | | 3 | | | | | | | | | | 2 | 2 | | | 53 |
| | 底部 | B | — | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 2 |
| | | B1 | — | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | C | — | | | | 1 | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 3 |
| | | D | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 8 |
| | | G’ | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | — | 景徳鎮窯 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 5 |
| | | | 清代・景徳鎮窯 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 |
| | | | 徳化窯系 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 5 |
| | | | 福建・広東系 | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 10 |
| | | | 福建産 | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 |
| 小碗 | 口～底部 | B | — | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | B1 | — | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | E | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 口縁部 | B | — | | | | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 7 |
| | | — | 景徳鎮窯 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | 清代・景徳鎮窯 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 胴部 | B | — | | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| | | — | 景徳鎮窯 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 底部 | B | — | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | — | 景徳鎮窯 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| | | | 清代・景徳鎮窯 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| 皿 | 口～底部 | A | — | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | B1 | — | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | C | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | 口縁部 | B | — | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | B1 | — | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 |
| | | — | 景徳鎮窯 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | 6 |
| | | | 清代・景徳鎮窯 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | 2 |
| | | | 徳化窯系 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 2 |
| | | | 漳州窯系 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 胴部 | — | 徳化窯系 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | 福建・広東系 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 底部 | B1 | — | | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 11 |
| | | — | 景徳鎮窯 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | 6 |
| | | | 徳化窯系 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | 7 |
| 盤 | 口縁部 | — | 漳州窯系 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 杯 | 口縁部 | — | 景徳鎮窯 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 9 |
| | | | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 底部 | — | 清代・景徳鎮窯 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 小杯 | 口～底部 | — | 景徳鎮窯 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| | 口縁部 | — | 清代・景徳鎮窯 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| | | | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 胴部 | — | 景徳鎮窯 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | 清代・景徳鎮窯 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| | 底部 | — | 景徳鎮窯 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 |
| 瓶 | 頸部 | — | 景徳鎮窯 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | 漳州窯系 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | — | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 胴部 | — | 景徳鎮窯 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 |
| | 底部 | — | 景徳鎮窯 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 壺 | 胴部 | — | 景徳鎮窯 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | 2 |
| | | | 漳州窯系 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 底部 | — | 漳州窯系 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 小壺 | 口～底部 | — | 漳州窯系 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 |
| 鉢 | 口縁部 | — | 福建・広東系 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| | | | 福建産 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 胴部 | — | 徳化窯系 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | 福建・広東系 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 |
| | | | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 2 |
| | 底部 | — | 福建・広東系 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 蓋 | 蓋甲 | — | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 庇 | — | 漳州窯系 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | — | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | 庇～蓋甲 | — | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 水注 | 底部 | — | 景徳鎮窯 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 |
| 高足杯 | 底部 | — | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 合子(身) | 口～底部 | — | 景徳鎮窯 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 |
| 袋物 | 口縁部 | — | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| | 胴部 | — | 景徳鎮窯 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | | 漳州窯系 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | — | | | | 1 | | | | | | 3 | | | | 1 | | | | | 1 | | | | | | | | 9 |
| 器種不明 | 口縁部 | — | 福建・広東系 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 胴部 | — | 漳州窯系 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | | — | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | 1 | | | | | | 1 | | | | 13 |
| | 底部 | — | 景徳鎮窯 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 |
| | | | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | 注口 | — | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 合計 | | | | | 2 | 3 | 43 | 1 | 1 | 3 | 2 | 3 | 7 | 2 | 3 | 5 | 4 | 4 | 1 | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 1 | 14 | 6 | 3 | 8 | 542 |

# 第 19 表　その他の中国産陶磁器出土状況一覧 1

| 種類・器種・部位・分類 | | | 出土地 年度 / 層序 | H24 石積み5 | 石積み5 裏込め | 石積み5内 | 石積み6前 | 石積み7前 | 壕1前 | 洞穴1内 | H25 石敷き1 | 石敷き1 下層 | 石積み 10・11間 1層 | 石積み 10・11間 2層 | 石積み 10・11間 3層 | 石積み11 裏込め | 石積み11内 | 石積み 13・15間 2層 | 石積み 13・15間 3層 | 石積み15前 | 石積み17 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 色絵 | 碗 | 底部 | － | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 小碗 | 底部 | B | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 三彩 | 盤 | 胴部 | － | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | |
| | 水注 | 口縁部 | 長胴丸形 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 胴部 | 鶴形 | | | 1 | | | | 1 | | | | | | | | | | | |
| | | 底部 | 長胴丸形 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 鶴形 | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 水滴 | 底部 | － | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | |
| 粉彩 | 碗 | 口～底部 | A | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁部 | B | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | |
| | | 胴部 | A | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 五彩 | 碗 | 口～底部 | C | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁部 | B | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底部 | A | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 小碗 | 口縁部 | A | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | C | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | |
| | | 胴部 | A | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | B | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | D | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 皿 | 口～底部 | A | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | B | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底部 | A | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 小杯 | 口～底部 | － | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | |
| | 器種不明 | 胴部 | － | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 黄地彩 | 瓶 | 口縁部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 瑠璃釉 | 碗 | 口～底部 | － | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁部 | － | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 胴部 | － | | 3 | 3 | | | | | | | | | | | 1 | | | | |
| | 小碗 | 口～底部 | B | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁部 | A | | | 1 | | | | | | 1 | | | | | | | | | |
| | | | B | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 胴部 | B | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 小杯 | 口～底部 | － | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | |
| | 瓶 | 口縁部 | － | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 胴部 | － | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 香炉 | 口～底部 | － | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | |
| | 蓋 | 庇 | － | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | |
| 紅釉 | 碗 | 口縁部 | － | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 紫釉 | 碗 | 口～底部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 褐釉磁器 | 小碗 | 胴部 | － | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 青磁染付 | 小碗 | 胴部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 黒釉陶器（天目） | 碗 | 口～底部 | － | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁部 | － | | | 1 | | 1 | | 14 | | 2 | | | | | | 1 | | | 1 |
| | | 胴部 | － | | | 1 | | 3 | | 11 | 1 | 2 | 1 | | | 1 | 1 | | 1 | 1 | |
| | | 底部 | － | | | 1 | | | 1 | 2 | | | | | | | | | | | |
| 法花 | 壺 | 口縁部 | － | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 胴部 | － | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 銅緑釉 | 壺 | 口縁部 | － | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 胴部 | － | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 蓋 | 蓋甲 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 撥～袴 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 紫砂 | 蓋 | 完形 | － | | | | | | | 4 | | | | | | | | | | | |
| | | 庇 | － | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | |
| | 水注 | 注口 | － | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | |
| 無釉陶器 | 鉢 | 胴部 | － | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | |
| | 植木鉢 | 口縁部 | － | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | |
| | | 胴部 | － | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | |
| | 蓋 | 庇 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 陶器 | 蓋 | 完形 | － | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | |
| 合計 | | | | 2 | 7 | 37 | 1 | 4 | 1 | 43 | 1 | 5 | 2 | 3 | 1 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 |

# 第 19 表　その他の中国産陶磁器出土状況一覧 2

| 種類・器種・部位・分類 | | 出土地 | 年度 H25 / 層序 | 石列1 | 石列5・石積み15間 | 石列5前 | 石列6前 | 壕1内 | 壕3前 | 洞穴1内 | 洞穴1内 石敷き下 | 洞穴1内 トレンチ2 3層 | 洞穴1内 トレンチ4 2・3層 | 洞穴1内 トレンチ4 4・5層 | トレンチ1 6層 | トレンチ1 9～11層 | トレンチ2 | トレンチ5 1層 | トレンチ6 | 表土 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 色絵 | 碗 | 底部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 小碗 | 底部 | B | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 三彩 | 盤 | 胴部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 2 |
| | 水注 | 口縁部 | 長胴丸形 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 胴部 | 鶴形 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 3 |
| | | 底部 | 長胴丸形 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | 鶴形 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | 水滴 | 底部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 粉彩 | 碗 | 口～底部 | A | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 口縁部 | B | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 胴部 | A | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 |
| 五彩 | 碗 | 口～底部 | C | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 口縁部 | B | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 2 |
| | | 底部 | A | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 小碗 | 口縁部 | A | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| | | | C | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 胴部 | A | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | B | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | D | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 皿 | 口～底部 | A | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| | | | B | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 底部 | A | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 小杯 | 口～底部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 器種不明 | 胴部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| 黄地彩 | 瓶 | 口縁部 | － | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | 1 |
| 瑠璃釉 | 碗 | 口～底部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 口縁部 | － | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | 4 |
| | | 胴部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | 7 |
| | 小碗 | 口～底部 | B | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| | | 口縁部 | A | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | | B | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 |
| | | 胴部 | B | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 |
| | 小杯 | 口～底部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | 瓶 | 口縁部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 胴部 | － | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | 4 |
| | 香炉 | 口～底部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 蓋 | 庇 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 紅釉 | 碗 | 口縁部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| 紫釉 | 碗 | 口～底部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| 褐釉磁器 | 小碗 | 胴部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 青磁染付 | 小碗 | 胴部 | － | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | 1 |
| 黒釉陶器（天目） | 碗 | 口～底部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 口縁部 | － | 1 | 3 | 1 | | | 1 | | | 3 | 1 | 2 | 2 | | | | | | 34 |
| | | 胴部 | － | | 4 | 1 | 4 | 1 | 2 | 1 | | 5 | | 1 | | | | 1 | | | 43 |
| | | 底部 | － | | | | | | | | | 1 | | 1 | 1 | | | | | | 7 |
| 法花 | 壺 | 口縁部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 胴部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 銅緑釉 | 壺 | 口縁部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 胴部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| | | 底部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| | 蓋 | 蓋甲 | － | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 |
| | | 撥～袴 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| 紫砂 | 蓋 | 完形 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 |
| | | 庇 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 水注 | 注口 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 無釉陶器 | 鉢 | 胴部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 植木鉢 | 口縁部 | － | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 3 |
| | | 胴部 | － | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 2 |
| | 蓋 | 庇 | － | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | 2 |
| 陶器 | 蓋 | 完形 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 合計 | | | | 1 | 7 | 2 | 6 | 1 | 4 | 1 | 1 | 9 | 1 | 4 | 3 | 1 | 2 | 4 | 6 | 5 | 173 |

# 第 20 表　沖縄産施釉陶器出土状況一覧 1

| 器種・部位・分類 | | 出土地 / 年度 / 層序 | H24 | | | | | | | | | | | | | H25 | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 石組2 | 石組2内2層 | 石積み1 解体 | 石積み3・4間 | 石積み5 | 石積み5 裏込め | 石積み5内 | 石積み7前 | 階段1 | 壕1内 | 壕1前 | 洞穴1内 | 洞穴1内 トレンチ1 1層 | 石敷き1 | 石敷き1 下層 | 石積み3・4間 | 石積み 10・11間 1層 | 石積み 10・11間 2層 | 石積み11 裏込め | 石積み11内 | 石積み12 | 石積み 13・15間 1層 | 石積み 13・15間 2層 | 石積み17 | 石列1 | 石列5・ 石積み15間 |
| 碗 | 口～底部 | － | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁部 | C | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | － | | | | 1 | 11 | 10 | 10 | | | 1 | | 3 | | 1 | | | | | 1 | 1 | 1 | 1 | | 1 | | 1 |
| | 胴部 | A | | | | | 1 | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | C | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | － | | | | | 7 | 7 | | | | | 1 | 2 | | | | 2 | | | 2 | 4 | | | | 2 | | |
| | 底部 | A | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | － | | 1 | | | 3 | 3 | 7 | | 2 | | 1 | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | 1 | 1 |
| 小碗 | 口～底部 | － | | | | 1 | | | | | | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁部 | C | | | | | 1 | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | － | | | | 3 | 3 | 1 | 2 | | | | | 14 | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | |
| | 胴部 | － | | | | | 1 | | 4 | | | | | 3 | | | | | | | 1 | | | | | | | |
| | 底部 | － | | | | 1 | 3 | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | |
| 皿 | 口～底部 | － | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁部 | － | | | | | 1 | | 3 | | | | | 2 | | | | | | | | | | 1 | | | | |
| | 胴部 | － | | | | | 1 | | 7 | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | |
| | 底部 | － | | | | | 1 | | 3 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 大皿 | 口縁部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小皿 | 口縁部 | － | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 瓶 | 口縁部 | － | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 胴部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | |
| 壺 | 口～底部 | － | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁部 | － | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 胴部 | － | | | | | | | 1 | | | | | 4 | | | | | 1 | | | | | | | | 1 | |
| | 底部 | － | | | | | | | 1 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| 小壺 | 口～底部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | |
| 鉢 | 口～底部 | － | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁部 | － | | | | | 2 | 2 | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 胴部 | － | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底部 | － | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 鍋 | 口縁部 | － | | 1 | | | 10 | 2 | 11 | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | | | | | | |
| | 胴部 | － | | | | | 28 | 24 | 44 | 1 | | 1 | | 3 | | 1 | | | | | 3 | | | 1 | | | 2 | |
| | 底部 | － | | 3 | | | 7 | 8 | 26 | 2 | | | | 4 | | | | | | | | 2 | | | | | | |
| | 把手 | － | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 香炉 | 口縁部 | － | | | | | | | 1 | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 胴部 | － | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 脚 | － | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | |
| 火炉 | 口縁部 | － | | | | | 2 | | | 1 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | 1 | | |
| | 胴部 | － | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | 1 | 2 | | | | | | |
| | 底部 | － | | | | | 1 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 把手 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 火入 | 口縁部 | － | | | | | 1 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 蓋 | 完形 | － | | | | | | | 1 | | | | | 5 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 撮 | － | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 蓋甲 | － | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 庇 | － | | | | | 3 | 2 | 6 | | | | | 3 | | | | | | | | | | 1 | | 1 | | 1 |
| | 撮～蓋甲 | － | | | | | 7 | 1 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | |
| | 蓋甲～袴 | － | | | | | | 2 | 1 | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | |
| | 蓋甲～庇 | － | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 急須 | 口～底部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁部 | － | | | 1 | | 1 | 1 | 4 | | | | | 4 | | 1 | | | | | 1 | | | | | | | |
| | 胴部 | － | | | 1 | | 3 | 4 | 1 | | | 1 | 1 | 1 | | | | | | | | 2 | | | 1 | 1 | | |
| | 底部 | － | | | | | 2 | 2 | 1 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | |
| | 注口 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | |
| | 把手 | － | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 脚 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 大型急須 | 口縁部 | － | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 胴部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | |
| | 底部 | － | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 把手 | － | | | | | 1 | | 2 | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | |
| 燈明具 | 口～底部 | － | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | |
| 酒注 | 胴部 | － | | | | | 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 丁子風炉(釜)蓋 | 完形 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 丁子風炉(釜)身 | 口～底部 | － | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | |
| 丁子風炉(炉) | 口縁部 | － | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | |
| 袋物 | 口縁部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 胴部 | － | | | | | 2 | | 4 | | | | | | | | | | | | | 3 | | | | 6 | | |
| | 底部 | － | | | | | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 器種不明 | 口縁部 | － | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 胴部 | － | 1 | 1 | | | 16 | 16 | 33 | 4 | | | 1 | 7 | 1 | 2 | | | | | 9 | 1 | | 7 | | 3 | | 3 |
| | 底部 | － | | | | | 1 | | 1 | | | 1 | | | | | | | | | 2 | | | 1 | | | | |
| | 把手 | － | | 1 | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | 1 | | | | | | |
| 合計 | | | 1 | 8 | 2 | 8 | 130 | 89 | 197 | 9 | 3 | 4 | 5 | 75 | 1 | 5 | 1 | 2 | 1 | 3 | 28 | 21 | 2 | 12 | 1 | 15 | 6 | 7 |

# 第 20 表　沖縄産施釉陶器出土状況一覧 2

| 器種・部位・分類 | | 出土地 / 層序 | 石列5前 | 基壇1 | 基壇1 西側溝内 | 壕1内 | 壕2・石積み16間 | 壕2内 | 壕3内 | 壕3前 | 洞穴1内 石敷き下 | 洞穴1内 石積み2 | 洞穴1内 トレンチ2 3層 | トレンチ1 | トレンチ1 6層 | トレンチ1 9～11層 | トレンチ2 | トレンチ5 | トレンチ5 1層 | トレンチ5 4層 | トレンチ5 5・6層 | トレンチ6 | トレンチ7 25層 | 表土 | 表採 | 不明 | 1フィート | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 碗 | 口～底部 | － | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | | 6 |
| | 口縁部 | C | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | － | 1 | | | 3 | 2 | 1 | | 4 | | | | | | | | | | | | 4 | | | 1 | 2 | | 61 |
| | 胴部 | A | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| | | C | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | － | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 10 | | | 1 | 2 | | 41 |
| | 底部 | A | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 6 | | | | 1 | | 28 |
| 小碗 | 口～底部 | － | | | | | | | | | | 6 | | | | | | | | | | | | | | | | 10 |
| | 口縁部 | C | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| | | － | | | | | | | | 4 | 1 | 6 | | | | | 1 | | | | | 2 | 1 | | | 1 | | 41 |
| | 胴部 | － | | | | | | | 1 | 3 | | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | 18 |
| | 底部 | － | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | 1 | | | 1 | | | | 3 | | 13 |
| 皿 | 口～底部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 口縁部 | － | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 9 |
| | 胴部 | － | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 10 |
| | 底部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | | | | | | | | | 8 |
| 大皿 | 口縁部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | 1 | | | 3 |
| 小皿 | 口縁部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 2 |
| 瓶 | 口縁部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 2 | 4 |
| | 胴部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 壺 | 口～底部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 口縁部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | 胴部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 7 |
| | 底部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| 小壺 | 口～底部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 鉢 | 口～底部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | 口縁部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 2 | | 12 |
| | 胴部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | 底部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| 鍋 | 口縁部 | － | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | 5 | | | 1 | 2 | | 35 |
| | 胴部 | － | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 19 | | | | 1 | | 131 |
| | 底部 | － | | 1 | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | 16 | | | | 1 | | 71 |
| | 把手 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 香炉 | 口縁部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| | 胴部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 2 |
| | 脚 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| 火炉 | 口縁部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 5 |
| | 胴部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 |
| | 底部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | 1 | | 5 |
| | 把手 | － | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 火入 | 口縁部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| 蓋 | 完形 | － | | | | | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 8 |
| | 撮 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 蓋甲 | － | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | 3 |
| | 庇 | － | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 6 | 1 | | | | | 25 |
| | 撮～蓋甲 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 10 |
| | 蓋甲～袴 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 5 |
| | 蓋甲～庇 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| 急須 | 口～底部 | － | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 口縁部 | － | | | | | | | | 2 | | 4 | | | | | | | | | | | | | | | | 19 |
| | 胴部 | － | | | 1 | 1 | | | | | | 8 | | | 3 | | | | | | | | | | | | | 29 |
| | 底部 | － | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | 8 |
| | 注口 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 把手 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | 2 |
| | 脚 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | 1 |
| 大型急須 | 口縁部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 2 |
| | 胴部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 底部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 把手 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 |
| 燈明具 | 口～底部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 2 |
| 酒注 | 胴部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 2 | | 7 |
| | 底部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 丁子風炉(釜)蓋 | 完形 | － | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 丁子風炉(釜)身 | 口～底部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 丁子風炉(炉) | 口縁部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 袋物 | 口縁部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | 1 |
| | 胴部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | 16 |
| | 底部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| 器種不明 | 口縁部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | 2 |
| | 胴部 | － | | | | | | | 3 | 6 | | | 1 | | | 1 | 1 | 1 | 1 | | 1 | 30 | | | | 11 | | 161 |
| | 底部 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 | | 8 |
| | 把手 | － | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 |
| 合計 | | | 1 | 1 | 2 | 9 | 3 | 1 | 5 | 21 | 2 | 33 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 5 | 8 | 1 | 2 | 107 | 2 | 2 | 5 | 34 | 2 | 891 |

# 第 21 表　沖縄産無釉陶器出土状況一覧 1

| 器種・部位 ＼ 出土地 年度 層序 | | H24 | | | | | | | | | | | H25 | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 石組2内 2層 | 石積み 3・4間 | 石積み5 | 石積み5 裏込め | 石積み5内 | 石積み6前 | 石積み7前 | 階段1 | 壕1内 | 壕1前 | 洞穴1内 | 石敷き1 | 石積み 3・4間 | 石積み 10・11間 2層 | 石積み 10・11間 3層 | 石積み11 裏込め | 石積み 11内 | 石積み12 | 石積み 13・15間 1層 | 石積み 13・15間 2層 | 石積み15 裏込め | 石積み16 | 石積み17 | 石列1 | 石列5・ 石積み15間 |
| 碗 | 口～底部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁部 | | | 4 | 1 | 4 | | | | | | | | | 1 | | 1 | | | | | | | | | |
| | 胴部 | 1 | | 1 | | 1 | | | | | | 1 | | | | | 1 | | | | | | | | | |
| | 底部 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 皿 | 口～底部 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁部 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 瓶 | 口縁部 | | | 1 | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 胴部 | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | |
| 壺 | 口～底部 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | |
| | 口縁部 | | 1 | 2 | | 2 | | | | | | 1 | | | 1 | | 3 | 1 | | 1 | | | 1 | | | |
| | 胴部 | 2 | | 45 | 24 | 53 | 1 | 3 | 4 | 6 | | 6 | 2 | 6 | 3 | | 25 | 24 | 1 | 6 | 1 | 1 | | 4 | 5 | 5 |
| | 底部 | | | 8 | 1 | 4 | | | | 1 | | | | 1 | | | 1 | 2 | | | | | | | | |
| | 耳 | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | |
| 鉢 | 口～底部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁部 | | | 5 | | 6 | | 1 | | | | 1 | | | | | | | 1 | | | | | | | |
| | 胴部 | | | 1 | | 1 | | | | | | | | 1 | | | 1 | 1 | | | | | | | 1 | |
| | 底部 | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 擂鉢 | 口縁部 | | | 6 | 2 | 4 | | 1 | | 1 | | | 1 | | | 1 | | | | | | | | | | |
| | 胴部 | 1 | 1 | 5 | 4 | 15 | | 2 | 1 | | | | | 1 | 1 | | 1 | 2 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 |
| | 底部 | | | | 1 | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 植木鉢 | 口～底部 | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁部 | 1 | | | | 1 | | | | | | | | 4 | | | 3 | 1 | | 1 | | 1 | | | | |
| | 胴部 | | 1 | | | | | | | | | | | 14 | | | 2 | 1 | | 2 | | | | | | |
| | 底部 | | | | | 1 | | | | 2 | | | | 2 | | | 3 | | | | | | | | | |
| 甕 | 口縁部 | | | 1 | | 3 | | | | 1 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | |
| | 胴部 | | | | | 6 | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 火炉 | 口縁部 | | 1 | 2 | 1 | 1 | | | | | | | | | | | 1 | 2 | | | | | | | | |
| | 胴部 | | | 1 | 1 | 3 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底部 | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | |
| 蓋 | 庇 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 撮～蓋甲 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | |
| | 庇～袴 | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 急須 | 口縁部 | | | 4 | 1 | 2 | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | |
| | 注口 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 把手 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 土管 | 広端部 | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 狭端部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 筒部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 厨子 | 胴部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 置物 | 底部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 器種不明 | 口縁部 | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 胴部 | | 2 | 4 | 5 | 10 | | 1 | 1 | | | 2 | | | | | | | | | | 1 | | | | |
| | 底部 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | |
| | 把手 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | | 6 | 6 | 93 | 46 | 127 | 1 | 9 | 7 | 14 | 1 | 12 | 3 | 29 | 7 | 1 | 46 | 35 | 3 | 12 | 2 | 4 | 1 | 6 | 6 | 7 |

# 第 21 表　沖縄産無釉陶器出土状況一覧 2

| 器種・部位 | 出土地 年度 H25 / 層序 | 石列6前 | 石列7 | 壕1内 | 壕2・石積み16間 | 壕3内 | 壕3前 | 洞穴1内 | 洞穴1内 石敷き | 洞穴1内 トレンチ3 1層 | トレンチ1 | トレンチ1 6層 | トレンチ2 | トレンチ3 1層 | トレンチ3 3層 | トレンチ5 | トレンチ5 1層 | トレンチ5 4層 | トレンチ5 5・6層 | トレンチ6 | トレンチ7 | 表土 | 表採 | 不明 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 碗 | 口～底部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 |
| | 口縁部 | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 14 |
| | 胴部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 5 |
| | 底部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 皿 | 口～底部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | 3 |
| | 口縁部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 2 |
| | 底部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| 瓶 | 口縁部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| | 胴部 | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 4 |
| 壺 | 口～底部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 口縁部 | | | | 1 | | 1 | | | | 1 | | | | | | | | | 1 | | 1 | 1 | | 19 |
| | 胴部 | | 2 | 6 | 7 | 8 | 16 | | | | 8 | 2 | | | | | 2 | | | 33 | 1 | | 4 | 15 | 331 |
| | 底部 | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | 1 | | | 2 | | 1 | | 1 | 25 |
| | 耳 | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 6 |
| 鉢 | 口～底部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 |
| | 口縁部 | | | | | 2 | | | | | | 1 | | | | | | | | 2 | | | 1 | 3 | 23 |
| | 胴部 | 1 | | | | 1 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 | 10 |
| | 底部 | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | 1 | | | | | 5 |
| 擂鉢 | 口縁部 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 2 | 20 |
| | 胴部 | | | | | 2 | 1 | | | | | 1 | | | | | 1 | | | 10 | | | 1 | 3 | 57 |
| | 底部 | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 5 |
| 植木鉢 | 口～底部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 口縁部 | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 16 |
| | 胴部 | | | 1 | | | | | | | 3 | 1 | 1 | | | 1 | | 1 | 1 | 8 | | | 1 | 2 | 40 |
| | 底部 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 10 |
| 甕 | 口縁部 | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 1 | 8 |
| | 胴部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 9 |
| 火炉 | 口縁部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 | | | | | 12 |
| | 胴部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 6 |
| | 底部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | 5 |
| 蓋 | 庇 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 撥～蓋甲 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 庇～袴 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| 急須 | 口縁部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 10 |
| | 注口 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| | 把手 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 土管 | 広端部 | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 |
| | 狭端部 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 筒部 | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| 厨子 | 胴部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| 置物 | 底部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 |
| 器種不明 | 口縁部 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | 3 |
| | 胴部 | | | | | 2 | 2 | | | 1 | | | 1 | | | | | 1 | | 5 | | | | 7 | 45 |
| | 底部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 3 |
| | 把手 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 合計 | | 2 | 2 | 17 | 8 | 17 | 21 | 1 | 1 | 1 | 14 | 8 | 3 | 1 | 1 | 1 | 4 | 2 | 1 | 72 | 2 | 5 | 9 | 45 | 722 |

# 第 22 表　銭貨出土状況一覧 1

| 銭貨名 | 国・王朝 | 初鋳年 | 分類など ＼ 出土地 | 年度 | H24 | | | | | | | | | | | | | H25 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 層序 | 石組2内2層 | 石積み3・4間 | 石積み5 | | 石積み5裏込め | 石積み5内 | | 石積み6前 | | 石積み7前 | | 洞穴1内 | | 石敷き1 | 石敷き1 下層 | | 石積み1 | | 石積み10・11間 1層 | | 石積み10・11間2層 | 石積み10・11間3層 | 石積み11 裏込め | | 石積み11内 | | 石積み12 | 石積み15前 | 石積み17 | | 石列1 | 石列5・石積み15間 | | 石列5前 | | 石列6前 | 基壇1 |
| | | | | 残存 | 1/2以上 | 1/2以上 | 1/2以上 | 1/2未満 | 1/2未満 | 1/2以上 | 1/2未満 | 1/2以上 | 1/2未満 | 1/2以上 | 1/2未満 | 1/2以上 | 1/2未満 | 1/2以上 | 1/2以上 | 1/2未満 | 1/2以上 | 1/2以上 | 1/2未満 | 1/2以上 | 1/2以上 | 1/2以上 | 1/2未満 | 1/2以上 | 1/2未満 | 1/2以上 | 1/2以上 | 1/2以上 | 1/2未満 | 1/2以上 | 1/2以上 | 1/2未満 | 1/2以上 | 1/2未満 | 1/2以上 | 1/2以上 |
| 開元通寶 | 唐 | 621 | ― | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | | | | | | | 1 | | | 2 | | | | | | 1 | | | | | | |
| | ― | ― | ― | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 宋通元寶 | 北宋 | 960 | ― | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 太平通寶 | 北宋 | 976 | ― | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 淳化元寶 | 北宋 | 990 | 草書 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 至道元寶 | 北宋 | 995 | 真書 | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 景德元寶 | 北宋 | 1004 | ― | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 祥符元寶 | 北宋 | 1009 | ― | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 祥符通寶 | 北宋 | 1009 | ― | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | | | | | | | | | |
| 天禧通寶 | 北宋 | 1017 | ― | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 天聖元寶 | 北宋 | 1023 | 真書 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 篆書 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 明道元寶 | 北宋 | 1032 | 篆書 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 景祐元寶 | 北宋 | 1034 | 真書 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | |
| | | | 篆書 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | |
| 皇宋通寶 | 北宋 | 1038 | 真書 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 篆書 | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | | | | | | | | | | 1 | | | | | | 1 | | | | | | |
| 至和元寶 | 北宋 | 1054 | 真書 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | |
| 至和通寶 | 北宋 | 1054 | ― | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 嘉祐通寶 | 北宋 | 1056 | 真書 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 治平元寶 | 北宋 | 1064 | 真書 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 篆書 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 熙寧元寶 | 北宋 | 1068 | 真書 | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 篆書 | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 2 | |
| 元豊通寶 | 北宋 | 1078 | 行書 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | |
| | | | 折二銭・篆書 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 篆書 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | ― | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 元祐通寶 | 北宋 | 1086 | 行書 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 真書 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 篆書 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 元符通寶 | 北宋 | 1098 | 行書 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 篆書 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 聖宋元寶 | 北宋 | 1101 | 行書 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 篆書 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 大観通寶 | 北宋 | 1107 | ― | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 政和通寶 | 北宋 | 1111 | 分楷 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | |
| | | | 篆書 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 宣和通寶 | 北宋 | 1119 | 篆書 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 正隆元寶 | 金 | 1157 | ― | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 皇宋元寶 | 北宋 | 1253 | 背二 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 洪武通寶 | 明 | 1368 | 背一銭 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | 背福 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 背浙 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | ― | | | | 1 | | 1 | 1 | | | | 1 | | 4 | 1 | | 5 | | | | | 1 | 1 | 1 | | 2 | | | | 1 | | | 2 | | | | 1 | |
| 永楽通寶 | 明 | 1408 | ― | | | | | | | | | | | | | | | | 5 | | | 1 | | | 1 | | | 1 | | 1 | 1 | 2 | 1 | | | | | | 1 | |
| 朝鮮通寶 | 朝鮮 | 1423 | 真書 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 宣德通寶 | 明 | 1433 | ― | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | |
| 大世通寶 | 琉球 | 1454 | ― | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 世高通寶 | 琉球 | 1461 | ― | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 寛永通寶 | 江戸 | 1636 | 1期 | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 1668 | 2期 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 2期・文 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 1697 | 3期 | | | | | | | | | | | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 3期・背足 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | ― | ― | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 仙臺通寶 | 江戸 | 1784 | 鉄銭 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | |
| 道光通寶 | 清 | 1821 | ― | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 景祐元寶or嘉祐元寶 | 北宋 | ― | ― | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 半銭銅貨 | 日本 | ― | 銅貨 | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 一銭錫貨 | 日本 | ― | 錫貨 | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| カラス一銭アルミニウム貨 | 日本 | ― | アルミニウム貨 | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| カラス一銭黄銅貨 | 日本 | ― | 黄銅貨 | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 桐一銭青銅貨 | 日本 | ― | 青銅貨 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 富士一銭アルミニウム貨 | 日本 | ― | アルミニウム貨 | | | 1 | | | | | | | | | | 7 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | |
| 小型五銭白銅貨 | 日本 | ― | 白銅貨 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 五銭アルミニウム貨 | 日本 | ― | アルミニウム貨 | | | | | | | | | | | | | 8 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 菊十銭アルミニウム貨 | 日本 | ― | アルミニウム貨 | | | | | | | | | | | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 十銭錫貨 | 日本 | ― | 錫貨 | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 絵銭か | ― | ― | ― | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 厭勝銭 | ― | ― | ― | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | |
| 無文銭 | 中世 | ― | ― | | | | | | | 5 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | |
| | ― | ― | ― | | | | | | | 27 | 2 | | | 1 | 2 | 1 | | 2 | 27 | 12 | | 1 | | | 4 | 2 | | 9 | | 1 | | | | | | | 1 | | | |
| 輪銭 | ― | ― | ― | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 銭種不明 | 日本 | ― | 近代日本銭 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ― | ― | 複数枚溶着 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | ― | | 1 | | | 1 | | | 3 | 1 | 1 | | 2 | 2 | 5 | | 16 | 11 | | | | | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | | | | | | 1 | 2 | | 1 | 1 | |
| 合計 | | | | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 33 | 5 | 3 | 1 | 2 | 4 | 41 | 6 | 3 | 65 | 24 | 1 | 2 | 2 | 1 | 11 | 8 | 1 | 23 | 1 | 3 | 2 | 3 | 1 | 2 | 5 | 2 | 1 | 1 | 5 | 1 |

# 第 22 表　銭貨出土状況一覧 2

| 出土地 | | | | 年度 | H25 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 層序 | 基壇1 | 基壇1 西側溝内 | 墰1内 | 墰2・石積み16間 | 墰2内 | | 墰2前 | 墰3内 | 墰3前 | | 洞穴1内 | | 洞穴1内 石敷き | | 洞穴1内 石敷き下 | 洞穴1内 トレンチ2 3層 | 洞穴1内 トレンチ3 1層 | | トレンチ1 | トレンチ1 1・2層 | トレンチ1 6層 | | トレンチ1 24～26層 | トレンチ1 30～34層 | トレンチ3 1層 | | トレンチ3 3層 | トレンチ5 4層 | トレンチ6 | 表土 | | 表採 | 不明 | | 合計 | |
| 銭貨名 | 国・王朝 | 初鋳年 | 分類など | 残存 | 1/2未満 | 1/2以上 | 1/2以上 | 1/2以上 | 1/2以上 | 1/2未満 | 1/2以上 | 1/2以上 | 1/2以上 | 1/2未満 | 1/2以上 | 1/2未満 | 1/2以上 | 1/2未満 | 1/2以上 | 1/2以上 | 1/2以上 | 1/2未満 | 1/2以上 | 1/2以上 | 1/2以上 | 1/2未満 | 1/2以上 | 1/2以上 | 1/2以上 | 1/2未満 | 1/2以上 | 1/2以上 | 1/2以上 | 1/2以上 | 1/2未満 | 1/2以上 | 1/2未満 | 1/2以上 | 1/2未満 | 1/2以上 | 1/2未満 |
| 開元通寶 | 唐 | 621 | ― | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 9 | | 1 | | | 17 | 0 |
| | ― | ― | ― | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 0 |
| 宋通元寶 | 北宋 | 960 | ― | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | 1 |
| 太平通寶 | 北宋 | 976 | ― | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | 1 | | | 4 | 0 |
| 淳化元寶 | 北宋 | 990 | 草書 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 2 | 0 |
| 至道元寶 | 北宋 | 995 | 真書 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 0 |
| 景德元寶 | 北宋 | 1004 | ― | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | 0 |
| 祥符元寶 | 北宋 | 1009 | ― | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | 2 | 0 |
| 祥符通寶 | 北宋 | 1009 | ― | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 0 |
| 天禧通寶 | 北宋 | 1017 | ― | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | | | | | 4 | 0 |
| 天聖元寶 | 北宋 | 1023 | 真書 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 6 | | | | | 7 | 0 |
| | | | 篆書 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 4 | | | | | 6 | 0 |
| 明道元寶 | 北宋 | 1032 | 篆書 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | 2 | 0 |
| 景祐元寶 | 北宋 | 1034 | 真書 | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 3 | 0 |
| | | | 篆書 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 | 1 |
| 皇宋通寶 | 北宋 | 1038 | 真書 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 5 | | | | | 6 | 0 |
| | | | 篆書 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 | | | | | 8 | 0 |
| 至和元寶 | 北宋 | 1054 | 真書 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 2 | 0 |
| 至和通寶 | 北宋 | 1054 | ― | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 0 | 1 |
| 嘉祐通寶 | 北宋 | 1056 | 真書 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | 0 |
| 治平元寶 | 北宋 | 1064 | 真書 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | 2 | | | | | 3 | 0 |
| | | | 篆書 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 0 | 1 |
| 熙寧元寶 | 北宋 | 1068 | 真書 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | | | | | 4 | 0 |
| | | | 篆書 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | 1 | | | | 8 | 2 |
| 元豊通寶 | 北宋 | 1078 | 行書 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 8 | | 1 | | | 12 | 0 |
| | | | 折二銭・篆書 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | 0 |
| | | | 篆書 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 7 | | | | | 7 | 0 |
| | | | ― | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 0 | 1 |
| 元祐通寶 | 北宋 | 1086 | 行書 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | | | | | 3 | 0 |
| | | | 真書 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | 0 |
| | | | 篆書 | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 | | | | | 6 | 0 |
| 元符通寶 | 北宋 | 1098 | 行書 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | 2 | 0 |
| | | | 篆書 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | 0 |
| 聖宋元寶 | 北宋 | 1101 | 行書 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | 3 | 0 |
| | | | 篆書 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | | | | | 3 | 0 |
| 大観通寶 | 北宋 | 1107 | ― | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | 2 | 0 |
| 政和通寶 | 北宋 | 1111 | 分楷 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | | | | | 4 | 1 |
| | | | 篆書 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 2 | 0 |
| 宣和通寶 | 北宋 | 1119 | 篆書 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | 0 |
| 正隆元寶 | 金 | 1157 | ― | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | 0 |
| 皇宋元寶 | 北宋 | 1253 | 背二 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | 0 |
| 洪武通寶 | 明 | 1368 | 背一銭 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 2 | | | | | 4 | 0 |
| | | | 背福 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | 0 |
| | | | 背浙 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | 3 | 0 |
| | | | ― | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | | | | | | 1 | | | | | | 1 | | 1 | | 41 | 5 | | 1 | | 68 | 7 |
| 永楽通寶 | 明 | 1408 | ― | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | 18 | 7 | | | | 33 | 8 |
| 朝鮮通寶 | 朝鮮 | 1423 | 真書 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | 0 |
| 宣德通寶 | 明 | 1433 | ― | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 0 |
| 大世通寶 | 琉球 | 1454 | ― | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | 0 |
| 世高通寶 | 琉球 | 1461 | ― | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | 2 | 0 |
| 寛永通寶 | 江戸 | 1636 | 1期 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 2 | 0 |
| | | 1668 | 2期 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | 2 | 0 |
| | | | 2期・文 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | 2 | 0 |
| | | 1697 | 3期 | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | 1 | | | | 6 | 2 |
| | | | 3期・背足 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 0 |
| | | ― | ― | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 1 |
| 仙臺通寶 | 江戸 | 1784 | 鉄銭 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 0 |
| 道光通寶 | 清 | 1821 | ― | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | 0 |
| 景祐元寶or嘉祐元寶 | 北宋 | ― | ― | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 0 | 1 |
| 半銭銅貨 | 日本 | ― | 銅貨 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 0 |
| 一銭錫貨 | 日本 | ― | 錫貨 | | | | | 2 | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 6 | 0 |
| カラス一銭アルミニウム貨 | 日本 | ― | アルミニウム貨 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | | | | | 6 | 0 |
| カラス一銭黄銅貨 | 日本 | ― | 黄銅貨 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 0 |
| 桐一銭青銅貨 | 日本 | ― | 青銅貨 | | | | 1 | | 10 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 12 | 0 |
| 富士一銭アルミニウム貨 | 日本 | ― | アルミニウム貨 | | | | 2 | 1 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | 4 | | 20 | 0 |
| 小型五銭白銅貨 | 日本 | ― | 白銅貨 | | | | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | 4 | 0 |
| 五銭アルミニウム貨 | 日本 | ― | アルミニウム貨 | | | | 2 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | | 13 | 0 |
| 菊十銭アルミニウム貨 | 日本 | ― | アルミニウム貨 | | | | | | 2 | | | 1 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | 6 | | | | | 13 | 0 |
| 十銭錫貨 | 日本 | ― | 錫貨 | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | 0 |
| 絵銭か | ― | ― | ― | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | 0 |
| 厭勝銭 | ― | ― | ― | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 0 |
| 無文銭 | 中世 | ― | ― | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 8 | 0 |
| | ― | ― | ― | | | | | 1 | | | 1 | | | | | | | | | | 1 | | | | 5 | 1 | | 1 | 1 | 2 | | | | 113 | 9 | 3 | | | 202 | 28 |
| 輪銭 | ― | ― | ― | | | | | | | | | | 11 | 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 11 | 4 |
| 銭種不明 | 日本 | ― | 近代日本銭 | | | | 2 | | 5 | 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 7 | 4 |
| | ― | ― | 複数枚溶着 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 | | | | | 4 | 0 |
| | | | ― | | 1 | 2 | | | | | | | | | 6 | 1 | 6 | 5 | | 4 | | 1 | 4 | 1 | 2 | 1 | 1 | | 2 | 1 | | 1 | 1 | 39 | 41 | | | 3 | 96 | 82 |
| 合計 | | | | | 1 | 2 | 8 | 5 | 20 | 4 | 1 | 1 | 14 | 6 | 7 | 1 | 13 | 5 | 1 | 4 | 1 | 1 | 9 | 1 | 9 | 2 | 1 | 1 | 5 | 3 | 1 | 1 | 1 | 339 | 69 | 6 | 6 | 3 | 675 | 145 |

## 第 23 表　その他の輸入陶磁器・土器出土状況一覧

| 産地・種類・器種・部位 | | | 出土地 年度 / 層序 | H24 石積み5裏込め | H24 石積み5内 | H24 洞穴1内 | H25 石敷き1下層 | H25 石積み10・11間3層 | H25 石積み11内 | H25 石積み13・15間1層 | H25 石積み13・15間3層 | H25 石積み14前 | H25 石積み17 | H25 石列5・石積み15間 | H25 石列6前 | H25 石列7 | H25 壕2・石積み16間 | H25 壕3前 | H25 トレンチ1 | H25 トレンチ1 6層 | H25 トレンチ3 1層 | H25 トレンチ5 1層 | H25 トレンチ5 5・6層 | H25 トレンチ6 | 表土 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| タイ | 褐釉陶器 | 瓶 | 底部 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 壺 | 口縁部 | | 2 | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | 2 | 5 |
| | | 鉢 | 口縁部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| | | 袋物 | 底部 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 青磁 | 瓶 | 胴部 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 鉄絵 | 袋物 | 胴部 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 土器 | 壺 | 口縁部 | | | | | | | | | | | | 2 | | | 1 | | | | | | | | 3 |
| | | 蓋 | 完形 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 |
| | | | 撮 | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | 2 |
| | | | 蓋甲 | | 3 | | | | | | | | 4 | | 2 | | | 2 | | | | | 1 | | | 12 |
| | | | 庇 | 1 | 3 | 1 | 5 | | | 1 | 1 | 1 | 11 | 1 | 14 | 1 | 1 | 1 | 2 | 3 | 3 | 4 | 2 | | | 56 |
| | | | 撮～蓋甲 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | | | | | | 2 |
| | | | 庇～蓋甲 | | | | | | | | | | | | 2 | | 1 | | | | | | | | | 3 |
| 小計 | | | | 1 | 11 | 2 | 5 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 15 | 1 | 23 | 1 | 2 | 5 | 2 | 4 | 4 | 4 | 3 | 0 | 3 | 89 |
| ベトナム | 白磁 | 碗 | 口縁部 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 鉄絵青花 | 器種不明 | 胴部 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 小計 | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 朝鮮 | 象嵌青磁 | 袋物 | 胴部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 |
| 小計 | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 合計 | | | | 1 | 11 | 2 | 5 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 15 | 1 | 23 | 1 | 2 | 5 | 2 | 4 | 4 | 4 | 3 | 1 | 3 | 92 |

## 第 24 表　日本産陶磁器・土器出土状況一覧

| 種類・器種・部位・産地 | | | 出土地 年度 / 層序 | H24 石積み5 | H24 壕1内 | H24 洞穴1内 | H25 壕1内 | H25 壕3前 | 表土 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 白磁 | 碗 | 口～底部 | 肥前 | | | | | | 1 | 1 |
| 染付 | 皿 | 口～底部 | 肥前 | | | | | | 1 | 1 |
| 色絵 | 蓋 | 撮～蓋甲 | 肥前 | | | | | | 1 | 1 |
| 陶器 | 碗 | 口～底部 | 肥前 | | | | | | 1 | 1 |
| | 碗(天目) | 口～底部 | 肥前 | | | | | | 1 | 1 |
| | 皿 | 口～底部 | 京・信楽系 | | | | | | 1 | 1 |
| | | | 肥前 | | | | | | 1 | 1 |
| | 大皿 | 口～底部 | 瑕平 | | | 1 | | | | 1 |
| | 壺 | 底部 | ― | | 1 | | | | | 1 |
| | 播鉢 | 口～底部 | 備前 | | | | | | 1 | 1 |
| | 器種不明 | 胴部 | ― | | | 1 | | | | 1 |
| 土器 | 焜炉 | 底部 | ― | | | 1 | | | | 1 |
| | 七輪 | 口～底部 | ― | | | | 1 | | | 1 |
| | 焙烙 | 口縁部 | ― | | | | | | 2 | 2 |
| 瓦質土器 | 火鉢 | 口縁部 | ― | | | | | 1 | | 1 |
| 土製品 | 人形 | 完形 | ― | 1 | | | | | | 1 |
| 合計 | | | | 1 | 1 | 3 | 1 | 1 | 10 | 17 |

## 第 25 表　活字出土状況一覧

| 材質・種類 | | 出土地 年度 / 層序 | H25 壕3内 | H25 壕3前 | 表土 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 鉛 | インテル | | 1 | | | 1 |
| | 活字1号 | | 2 | 2 | 1 | 5 |
| | 活字4号 | | 2 | | | 2 |
| | 活字5号 | | | 3 | | 3 |
| 合計 | | | 5 | 5 | 1 | 11 |

# 第４章　自然科学分析

## 第１節　銭貨状金製品の科学調査

沓名貴彦（国立科学博物館理工学研究部）

### １　はじめに

首里城跡の３地区（京の内、東のアザナ北、継世門北）から、円形薄板の金製品が出土している。これらは厭勝銭として使用されたと考えられるもので、現在まで県内で出土している同様の資料は、首里城跡以外に斎場御嶽の９点（重要文化財）及び園比屋武御嶽出土の３点と、事例は非常に限られる（沖縄県文化課 2008）。

本土の金貨を考えた場合、江戸時代の小判は金銀の合金が基本であり、表面の金品位を高めるため薬剤を用いて表面近傍の銀を除去する色付（いろつけ）と呼ばれる技術が用いられてきた。その技術は現時点では戦国時代の蛭藻金においても使用されていることが近年科学調査から判明している（山梨県博 2014）。

そこで、同様な技術が近い時期の沖縄において使用されているか確認するため、銭貨状金製品の品位や表面処理技術等について科学調査を行った。その結果について報告する。

### ２　調査資料

・首里城跡東のアザナ北地区出土銭貨状金製品　１点

### ３　調査方法

・蛍光エックス線分析による合金主成分の半定量分析

銭貨状金製品は金銀銅の合金であるため、その含有比率について当館設置のエネルギー分散型蛍光エックス線分析装置 ORBIS PC（アメテック社製）を用いて、ノンスタンダードによるファンダメンタルパラメーター法（FP 法）を用いて半定量分析を行った。測定は各資料 4 点行い、その平均とした。分析条件は、以下の通りである。

管電圧：50kV　　感電流：250 μ A　　測定時間：300sec　　雰囲気：真空

・走査型電子顕微鏡による表面の詳細観察

表面処理が行われている場合、走査型電子顕微鏡による微細観察により、その痕跡を確認することができる。そこで、山梨県立博物館設置の走査型電子顕微鏡 Quanta600（FEI 社製）を用いて、表面の微細観察を行った。その条件は下記のとおりである。

加速電圧：15kV　　雰囲気：真空

### ４　調査結果及び考察

以下に半定量分析結果を示す。東のアザナ北地区出土資料は金（Au）の品位が 77.9wt％、銀（Ag）が 19.4wt％、その他銅（Cu）が 2.7wt％である。

銭貨状金製品の成分を金－銀合金で考えた場合、金の濃度が 80wt% 以下になると金色から薄金色となり、70wt% 程度になると金色が薄くなりレモン色程度となる。（銅は 5wt% 以下のため色調大きな影響はない。）しかし、目視で確認する限り大きな色調の差はみられないことから、表面処理が行われている可能性が考えられたため、電子顕微鏡を用いて表面の微細観察を行った。その結果を図版 50 に示す。

資料表面を 5000 倍で観察した結果、表面に何らかの処理によるとみられる穴や溝状の痕跡らしきものが全ての資料で確認された。図版 51 には、表面処理の比較事例として山梨県福寺遺跡出土甲州金（山梨県立博物館所蔵）中の蛭藻金の表面画像（5000 倍）を示す。

本土で行われた色付と呼ばれる表面処理は、色付薬と呼ばれる薬剤を金銀合金の表面に塗った後に炭を用

いて加熱することで、薬剤と表面近傍の金銀合金中の銀を反応させて銀化合物とすることで除去する技術であり、そうすることで表面近傍の金濃度が相対的に高まるため、色調が良くなる技術である。炭での加熱後は薬剤を水洗で薬剤を除去し、合金表面は反応により銀が除去されることで微細な穴等が生じるため光沢が失われているため、金の光沢を生じさせるためにヘラなどを用いて研磨を行う。

この技術を用いると前述のように表面には微細な穴が生じることから、電子顕微鏡の微細観察により 1 μm 弱から数 μ m 程度の穴が磨き残しの部分で確認できる。図版 51 は、色付によって蛭藻金の表面に生じた穴である。

本件については、現時点では充分検討可能な状況ではないため、今後も他事例などの調査事例を増やし検討を重ねたいと考える。

## 5　おわりに

今回、首里城跡東のアザナ北地区から出土した銭貨状金製品 1 点を対象に、その金属成分や表面処理について調査を行った。その結果、処理跡らしきものはみられるもののその事例がこれまでと異なる事から、さらなる検討が必要と考えられた。

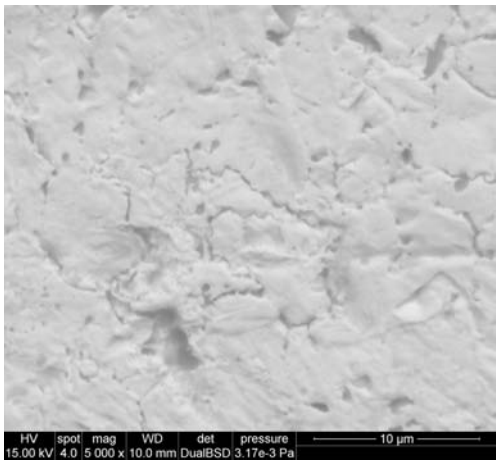
今後も同様な事例を調査することで、沖縄の金属生産技術が明らかとなると考えられる。

最後に、本調査の機会を下さりました沖縄県立埋蔵文化財センター、及び電子顕微鏡の使用を許可下さりました山梨県立博物館に感謝致します。

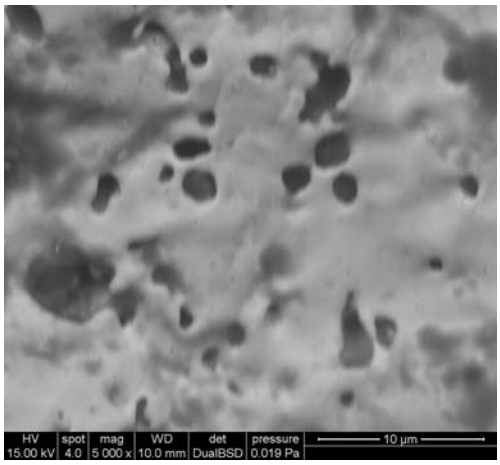
＜参考文献＞

沖縄県教育庁文化課（編）2008『沖縄の金工品関係資料調査報告書』沖縄県文化財調査報告書第 146 集　沖縄県教育委員会

山梨県立博物館（編）2014「福寺遺跡　埋蔵金貨及び渡来銭貨発見地点の発掘調査報告書」『山梨県立博物館　調査・研究報告』 8




図版 50　東のアザナ地区出土金貨表面の電子顕微鏡画像




図版 51　福寺遺跡出土蛭藻金表面の電子顕微鏡画像

## 第２節　遺構埋土等の自然科学分析

パリノ・サーヴェイ株式会社

### １　はじめに

首里城は沖縄県那覇市に所在する琉球王国の居城である。東のアザナ北地区は、首里城内東側の石灰岩堤崖下に存在する洞穴とその前庭部にあたり、調査により首里城構築時の整地層などが確認された。

分析試料は、各層から得られた土壌と炭化材であり、放射性炭素年代測定、炭化材の樹種同定、微細物分析などを実施する。

### ２　放射性炭素年代測定

①試料

試料は、洞穴内の炭化材１点、炭集中の中心部と縁辺部の炭化材各１点、遺構下位整地層の炭化材１点の合計４点である。

②分析方法

土壌や根等の目的物と異なる年代を持つものが試料に付着している場合、これらをピンセット、超音波洗浄等により物理的に除去する。その後 HCl による炭酸塩等酸可溶成分の除去、NaOH による腐植酸等アルカリ可溶成分の除去、HCl によりアルカリ処理時に生成した炭酸塩等酸可溶成分を除去する（酸・アルカリ・酸処理）。

試料をバイコール管に入れ、１g の酸化銅（Ⅱ）と銀箔（硫化物を除去するため）を加えて、管内を真空にして封じきり、500℃（30 分）850℃（２時間）で加熱する。液体窒素と液体窒素＋エタノールの温度差を利用し、真空ラインにて $CO_2$ を精製する。真空ラインにてバイコール管に精製した $CO_2$ と鉄・水素を投入し封じ切る。鉄のあるバイコール管底部のみを 650℃で 10 時間以上加熱し、グラファイトを生成する。化学処理後のグラファイト・鉄粉混合試料を内径 1 mm の孔にプレスして、タンデム加速器のイオン源に装着し、測定する。

測定機器は、3MV 小型タンデム加速器をベースとした 14C-AMS 専用装置（NEC Pelletron 9SDH-2）を使用する。AMS 測定時に、標準試料である米国国立標準局（NIST）から提供されるシュウ酸（HOX- Ⅱ）とバックグラウンド試料の測定も行う。また、測定中同時に 13C/12C の測定も行うため、この値を用いて δ 13C を算出する。

放射性炭素の半減期はLIBBYの半減期5,568年を使用する。また、測定年代は1950年を基点とした年代（BP）であり、誤差は標準偏差（One Sigma;68%）に相当する年代である。なお、暦年較正は、RADIOCARBON CALIBRATION PROGRAM CALIB REV7.0.1（Copyright 1986-2014 M Stuiver and PJ Reimer）を用い、誤差として標準偏差（One Sigma）を用いる。

暦年較正とは、大気中の 14C 濃度が一定で半減期が 5,568 年として算出された年代値に対し、過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中の 14C 濃度の変動、及び半減期の違い（14C の半減期 5,730 ± 40 年）を較正することである。暦年較正に関しては、本来 10 年単位で表すのが通例であるが、将来的に暦年較正プログラムや暦年較正曲線の改正があった場合の再計算や再検討に対応するため、１年単位で表している。

暦年較正結果は、測定誤差σ、２σ（σは統計的に真の値が 68%、２σは真の値が 95% の確率で存在する範囲）双方の値を示す。また、表中の相対比とは、σ、２σの範囲をそれぞれ１とした場合、その範囲内で真の値が存在する確率を相対的に示したものである。

③結果

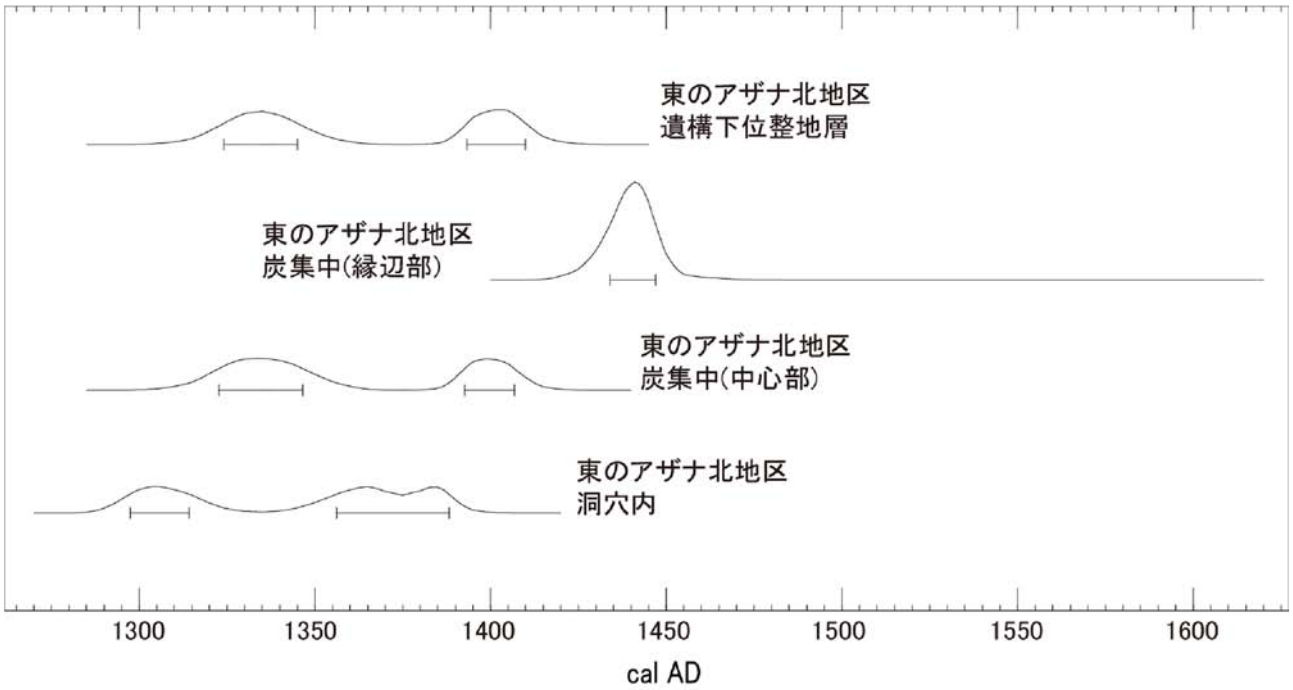
放射性炭素年代測定および暦年較正結果を表１、図１に示す。各試料の補正年代は、東のアザナ北地区洞

穴内の炭化材が 630 ± 20BP、炭集中（中心部）の炭化材が 570 ± 20BP、炭集中（縁辺部）の炭化材が 450 ± 20BP、遺構下位整地層の炭化材が 570 ± 20BP を示す。また、測定誤差をσとして計算させた暦年較正結果は、洞穴内の炭化材が calAD1,297-1,388、炭集中（中心部）の炭化材が calAD1,323-1,407、炭集中（縁辺部）の炭化材が calAD1,434-1,447、遺構下位整地層の炭化材が calAD1,324-1,410 である。

第 26 表　放射性炭素年代測定結果

| 地区<br>遺構 | 測定年代<br>BP | δ13C<br>(‰) | 補正年代<br>(暦年較正用)<br>BP | 暦年較正結果 | | | | | Code No. |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 誤差 | cal AD | cal BP | 相対比 | | |
| 東のアザナ北地区<br>洞穴内 | 630±20 | −24.95<br>±<br>0.43 | 630±20<br>(632±20) | σ | cal AD 1,297 − cal AD 1,314 | cal BP 653 − 636 | 0.376 | | IAAA−<br>140314 |
| | | | | | cal AD 1,356 − cal AD 1,388 | cal BP 594 − 562 | 0.624 | | |
| | | | | 2σ | cal AD 1,290 − cal AD 1,325 | cal BP 660 − 625 | 0.396 | | |
| | | | | | cal AD 1,344 − cal AD 1,394 | cal BP 606 − 556 | 0.604 | | |
| 東のアザナ北地区<br>炭集中<br>(中心部) | 580±20 | −25.31<br>±<br>0.31 | 570±20<br>(574±20) | σ | cal AD 1,323 − cal AD 1,347 | cal BP 627 − 603 | 0.634 | | IAAA−<br>140315 |
| | | | | | cal AD 1,393 − cal AD 1,407 | cal BP 557 − 543 | 0.366 | | |
| | | | | 2σ | cal AD 1,311 − cal AD 1,359 | cal BP 639 − 591 | 0.636 | | |
| | | | | | cal AD 1,387 − cal AD 1,414 | cal BP 563 − 536 | 0.364 | | |
| 東のアザナ北地区<br>炭集中<br>(縁辺部) | 480±20 | −26.36<br>±<br>0.36 | 450±20<br>(454±20) | σ | cal AD 1,434 − cal AD 1,447 | cal BP 516 − 503 | 1.000 | | IAAA−<br>140316 |
| | | | | 2σ | cal AD 1,423 − cal AD 1,454 | cal BP 527 − 496 | 1.000 | | |
| 東のアザナ北地区<br>遺構下位整地層 | 550±20 | −23.78<br>±<br>0.37 | 570±20<br>(567±21) | σ | cal AD 1,324 − cal AD 1,345 | cal BP 626 − 605 | 0.530 | | IAAA−<br>140317 |
| | | | | | cal AD 1,393 − cal AD 1,410 | cal BP 557 − 540 | 0.470 | | |
| | | | | 2σ | cal AD 1,314 − cal AD 1,357 | cal BP 636 − 593 | 0.567 | | |
| | | | | | cal AD 1,388 − cal AD 1,418 | cal BP 562 − 532 | 0.433 | | |

1)測定に用いた試料は、いずれも炭化材(マツ属複維管束亜属)である。
2)試料は、いずれも酸処理ーアルカリ処理ー酸処理(AAA処理)を実施している。
3)年代値の算出には、Libbyの半減期5568年を使用した。
4)BP年代値は、1950年を基点として何年前であるかを示す。
5)付記した誤差は、測定誤差σ（測定値の68%が入る範囲）を年代値に換算した値。
6)暦年の計算には、RADIOCARBON CALIBRATION PROGRAM CALIB REV6.0（Copyright 1986−2010 M Stuiver and PJ Reimer）を使用した。
7)暦年の計算には、補正年代に()で暦年較正用年代として示した、一桁目を丸める前の値を使用している。
8)年代値は、1桁目を丸めるのが慣例だが、暦年較正曲線や暦年較正プログラムが改正された場合の再計算や比較が行いやすいように、暦年較正用年代値は1桁目を丸めていない。
9)統計的に真の値が入る確率はσは68.3%、2σは95.4%である
10)相対比は、σ、2σのそれぞれを1とした場合、確率的に真の値が存在する比率を相対的に示したものである。




第 67 図　暦年較正結果

洞穴内：補正年代 630±20BP

遺構下位整地層：補正年代 570±20BP

炭集中（中心部・縁辺部）

炭集中（中心部）：補正年代 570±20BP

炭集中（縁辺部）：補正年代 450±20BP

図版 52　分析試料状況と年代値

④考察

洞穴内の炭化材は、補正年代で 630 ± 20BP であり、今回測定した中では最も古い年代を示している。洞穴内の炭化材は、暦年較正結果より 13 世紀末～ 14 世紀代の可能性が考えられており、調査所見の 14 世紀後半の範囲内に入ることから概ね調和的な結果と言える。

遺構下位整地層の炭化材は、補正年代で 570 ± 20BP であり、洞穴内の炭化材より若干新しい。暦年較正結果は、14 世紀代～ 15 世紀初頭を示しており、下位の洞穴内の測定結果と大部分が重複しており、同層準という所見とも調和している。14 世紀後半という所見や 16 世紀の遺構と言われている基壇の下位に位置することからも層位的に矛盾はない。

炭集中は、2 箇所の測定値が異なる結果となった。中心部の炭化材では、補正年代が 570 ± 20BP を示すのに対し、1 mほど離れた縁辺部の炭化材では 450 ± 20BP を示し、約 120 年の年代差がある。2 点の炭化材は、暦年較正結果でも全く重複する時期が認めらない。このような背景としては、遺構の存続期間が長いこと、樹齢の問題、他の時期の炭化材の混入等が考えられる。中心部の炭化材が下位整地層とほぼ同時期を示すこと、炭化材の樹種が複維管束亜属（おそらくリュウキュウマツ）で 100 年を超えるような樹齢による年代誤差を考えにくいこと等を考慮すると、中心部の炭化材は下位整地層と同時期の炭化材が混入した可能性があり、遺構の年代として補正年代で 450 ± 20BP、暦年較正結果で 15 世紀代の可能性が考えられる。一方、中心部は大きな礫の上部に炭化材が集中するが、縁辺部は小さな礫が多く堆積物の顔つきが若干異なる。中心部は、遺構下位整地層と同層準、縁辺部は後代の影響を受けたかく乱などの可能性もあり、さらなる層位的な検討も望まれる。

## 3　微細物分析

①試料

試料は、首里城（東のアザナ北地区）の炭集中部の中心部、縁辺部と、遺構下位整地層より採取された土壌３点で、炭化材同定試料抽出済みである。微細物洗い出しは、炭化種実や炭化材、動物遺存体などの遺物を回収すること目的として実施する。

②分析方法

試料（0.7 ～ 1.0kg）を容器に広げ、常温で数日乾燥させる。乾燥後の試料を肉眼やルーペで観察し、炭化物や動物遺存体などの遺物を拾い出す。水を満たした容器に乾燥抽出後の試料を投入し、浮いた炭化物をすくい取って回収する。容器を傾斜させて浮いた炭化物を粒径 0.5mm の篩に回収する。容器内の残土に水を入れて軽く攪拌した後、容器を傾斜させて浮遊物を回収する作業を炭化物が浮かなくなるまで繰り返す（20 回程度）。残土を粒径 0.5mm の篩を通して水洗する。篩内の試料を粒径別にシャーレに集めて双眼実体顕微鏡下で観察し、ピンセットを用いて、炭化種実や炭化材（主に径 1 mm 以上）、動物遺存体などの遺物を抽出する。

抽出された遺物は、状態に応じて、個数または乾燥後の重量を記録し、結果を一覧表で示す。炭化種実の同定は、現生標本を参考に実施し、分類群、部位、状態別の個数を数えて結果を一覧表で示す。炭化材は最大径を併記する。動物遺体は、形態的特徴による大分類にとどめる。分析後は、抽出物と分析残渣を容器に入れて保管する。

③結果

（１）出土状況

結果を表２に示す。３試料を通じて、炭化種実３個（0.01g 未満）、不明炭化物 19 個（0.02g）、炭化材 28.9g、炭化材主体（径 1 ～ 0.5mm）9.3g、二枚貝類 1 個（1.3g）、巻貝類２個（0.01g 未満）、貝類 39 個（0.07g）、骨片 88 個（0.53g）、魚類の鱗 54 個（0.02g）、魚類の歯２（0.01g 未満）、昆虫類６個（0.01g 未満）、不明３個（0.01g 未満）が検出された。分析残渣は砂礫主体で、計 711.2g を量る。

その他に、炭集中部（中心部）と遺構下位整地層から炭化していない植物片と、遺構下位整地層から草本のコセンダングサ（おそらく変種で北米原産のタチアワユキセンダングサ）の果実が１個確認されたが、後代の混入と判断されるため、結果表より除外している。以下に、試料別出土状況を述べる。

○炭集中部

中心部（試料 1.0kg）からは、炭化種実が２個検出され、栽培種のイネの穎の基部と、アワの胚乳にそれぞれ同定された。炭化材は 13.4g、炭化材主体は 4.1g で、最大 3.4cm を測る。動物遺存体は、巻貝類が２個、骨片が４個（0.01g、最大 4.2mm）確認された。分析残渣は 448g と３試料中最も重く、径 4 mm 以上の礫が 87%（380g）を占める。

縁辺部（試料 1.0kg）からは、炭化種実は確認されず、不明炭化物が 12 個（0.008g）確認された。炭化材は 8.1g、炭化材主体は 2.3g 検出され、最大 2.3cm を測る。動物遺存体は、貝類が４個（0.04g）、昆虫類が６個確認された。分析残渣は 116.8g を測る。

○遺構下位整地層

試料 0.7kg からは、炭化種実が１個検出され、栽培種のアワの胚乳に同定された。不明炭化物は７個（0.009g）、炭化材は 7.5g、炭化材主体は 2.8g 検出され、炭化材は最大 2.7cm を測る。動物遺存体は、二枚貝類１個（1.3g、径 2.5cm）、貝類 35 個（0.04g）、骨片 84 個（0.53g、最大 1.4cm）、魚類の鱗 54 個（0.02g）、魚類の歯２個（0.01g 未満）、不明３個（0.01g 未満）が検出された。分析残渣は 146.5g を測る。

第 27 表　微細物洗い出し・種実同定結果

| 種類･部位 | 状態 | 首里城（東のアザナ北地区） 炭集中部（中心部） | 炭集中部（縁辺部） | 遺構下位整地層 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 炭化種実 | | | | | |
| イネ 穎(基部) | 破片 | 1 | − | − | 個数 |
| アワ 胚乳 | 完形 | 1 | − | − | 個数 |
| | 破片 | − | − | 1 | 個数 |
| 不明炭化物 | 破片 | − | 12 | 7 | 個数 |
| | | − | 0.008 | 0.009 | 乾重(g) |
| 炭化材 | | | | | |
| 4mm超 | | 5.0 | 4.4 | 2.2 | 乾重(g) |
| | | 33.6 | 23.3 | 26.6 | 最大径(mm) |
| 4−2mm | | 3.9 | 1.8 | 2.0 | 乾重(g) |
| 2−1mm | | 4.5 | 1.8 | 3.3 | 乾重(g) |
| 炭化材主体 | | | | | |
| 1−0.5mm | | 4.1 | 2.3 | 2.8 | 乾重(g) |
| 動物遺存体 | | | | | |
| 二枚貝類 | 破片 | − | − | 1 | 個数 |
| | | − | − | 1.31 | 乾重(g) |
| | | − | − | 25.2 | 最大径(mm) |
| 巻貝類 | 破片 | 2 | − | − | 個数 |
| | | <0.001 | − | − | 乾重(g) |
| 貝類 | 破片 | − | 4 | 35 | 個数 |
| | | − | 0.04 | 0.04 | 乾重(g) |
| 骨片 | 破片 | 4 | − | 84 | 個数 |
| | | 0.01 | − | 0.53 | 乾重(g) |
| | | 4.2 | − | 14.2 | 最大径(mm) |
| 魚類の鱗 | 破片 | − | − | 54 | 個数 |
| | | − | − | 0.02 | 乾重(g) |
| 魚類の歯 | | − | − | 2 | 個数 |
| | | − | − | 0.001 | 乾重(g) |
| 昆虫類 | 破片 | − | 6 | − | 個数 |
| 不明 | 破片 | − | − | 3 | 個数 |
| 分析残渣(砂礫主体) | | | | | |
| 4mm超 | | 389.7 | 92.4 | 130.9 | 乾重(g) |
| 4−2mm | | 27.6 | 13.9 | 8.2 | 乾重(g) |
| 2−1mm | | 13.4 | 6.0 | 4.9 | 乾重(g) |
| 1−0.5mm | | 17.2 | 4.5 | 2.5 | 乾重(g) |
| 分析量 | | 1002 | 1007 | 705 | 湿重(g) |

注)炭化材同定試料抽出済みの土壌試料を分析対象としている。

（２）炭化種実の記載

同定されたイネとアワの写真を図版に示し、形態的特徴等を以下に述べる。

○イネ（*Oryza sativa* L.）　イネ科イネ属

穎（果）は炭化しており黒色、完形ならば、長さは６～ 7.5mm、幅は３～ 4mm、厚さは２～ 3mm 程度の偏平な長楕円体を呈す。基部には、大きさ１mm 程度の斜切状円柱形の果実序柄と１対の護穎を有し、その上に外穎 ( 護穎と言う場合もある ) と内穎がある。外穎は５脈、内穎は３脈をもち、ともに舟形を呈し、縫合してやや偏平な長楕円形の稲籾を構成する。果皮は薄く、表面には顆粒状突起が縦列する。出土穎は基部の果実序柄部で、残存径は 0.8mm を測る。

○アワ（*Setaria italica* (L.) P.Beauv.）　イネ科エノコログサ属

胚乳は炭化しており黒色、長さ 1.2mm、幅 1.1mm、厚さ 0.9mm 程度の半偏球体で、腹面は平らで背面は丸みがある。基部正中線上は、背面に胚乳長の 2/3 程度を占める深い馬蹄形の胚の凹みがあり、腹面には長径 0.5mm 程度の浅い広倒卵形の窪みがある。表面はやや平滑であるが、発泡や焼き膨れがみられる。

④考察

首里城（東のアザナ北地区）の炭集中部と遺構下位整地層からは、栽培種の炭化種実や炭化材、動物遺存体などの遺物が確認された。

炭化種実は、炭集中部の中心部からイネの穎と、炭集中部の中心部と遺構下位整地層からアワの胚乳が確認された。穀類のイネ、アワは、主にグスク時代以降、多くの炭化種実が出土している。今回確認されたイネ、アワも同様に、当時利用された植物質食糧と示唆され、何らかの人為的行為により火を受けたとみなされる。

## 4　炭化材同定

①試料

試料は、東のアザナ北地区の洞窟内、炭集中（中心部）、炭集中（縁辺部）、遺構下位整地層の炭化材である。洞窟内の炭化材は、年代測定試料と同一破片から分割したものである。炭集中（中心部）、炭集中（縁辺部）、遺構下位整地層については、年代測定試料と同一破片から分割したものと、上述の微細物分析で得られた炭化材の中から状態の良い破片を抽出し、各試料２点について同定を実施する。したがって、合計点数は７点となる。

②分析方法

試料を自然乾燥させた後、木口（横断面）・柾目（放射断面）・板目（接線断面）の３断面の割断面を作製し、実体顕微鏡および走査型電子顕微鏡を用いて木材組織の種類や配列を観察し、その特徴を現生標本と比較して種類を同定する。

なお、木材組織の名称や特徴は、島地・伊東（1982）や Richter 他（2006）を参考にする。

③結果

樹種同定結果を表３に示す。炭化材は、全て針葉樹のマツ属複維管束亜属に同定された。解剖学的特徴等を記す。

・マツ属複維管束亜属（*Pinus* subgen. *Diploxylon*）　マツ科

軸方向組織は仮道管と垂直樹脂道で構成される。仮道管の早材部から晩材部への移行は急～やや緩やかで、晩材部の幅は広い。垂直樹脂道は晩材部に認められる。放射組織は、仮道管、柔細胞、水平樹脂道、エピセリウム細胞で構成される。分野壁孔は窓状となる。放射仮道管内壁には鋸歯状の突起が認められる。放射組織は単列、1-15 細胞高。

第 28 表　樹種同定結果

| 地区 | 位置 | | 種類 |
|---|---|---|---|
| 首里城（東のアザナ北地区） | 洞窟内 | AMS | マツ属複維管束亜属 |
| | 炭集中(中心部) | AMS | マツ属複維管束亜属 |
| | | 微細物 | マツ属複維管束亜属 |
| | 炭集中(縁辺部) | AMS | マツ属複維管束亜属 |
| | | 微細物 | マツ属複維管束亜属 |
| | 遺構下位整地層 | AMS | マツ属複維管束亜属 |
| | | 微細物 | マツ属複維管束亜属 |

④考察

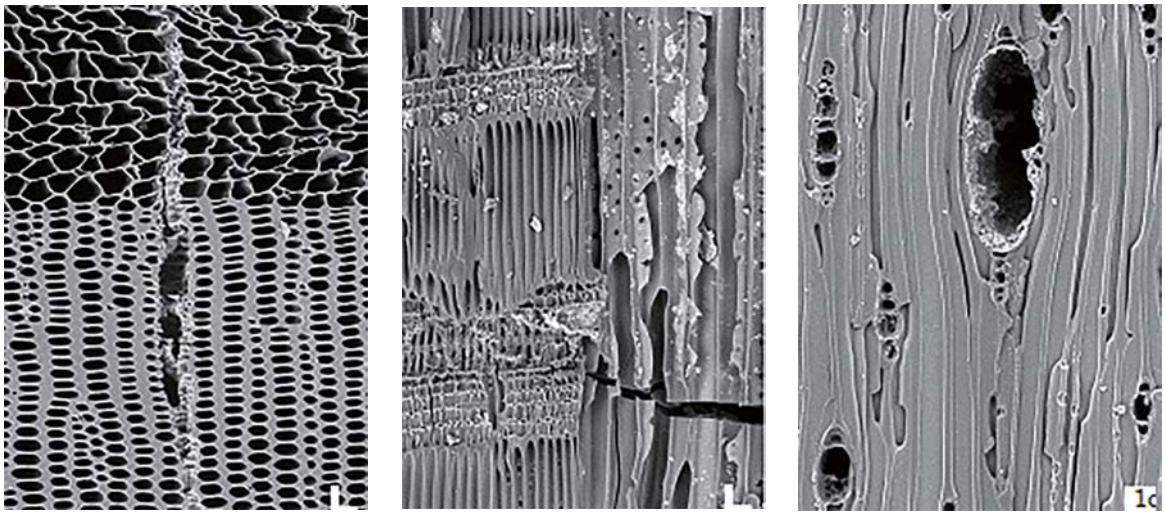
炭化材は、全て針葉樹のマツ属複維管束亜属に同定された。マツ属複維管束亜属には、アカマツ、クロマツ、リュウキュウマツの３種がある。現在の沖縄本島に分布するものは、リュウキュウマツ１種であることから、確認されたものは、リュウキュウマツの可能性が高い。リュウキュウマツは、二次林や沿海地の石灰岩地などに生育する常緑高木であり、木材は軽軟で白蟻の蝕害を受けやすいが、水湿には強い。また、油分（松脂）を多く含むため、燃焼性が高い。また、年代測定結果から、時期による樹種の違いは認められない。

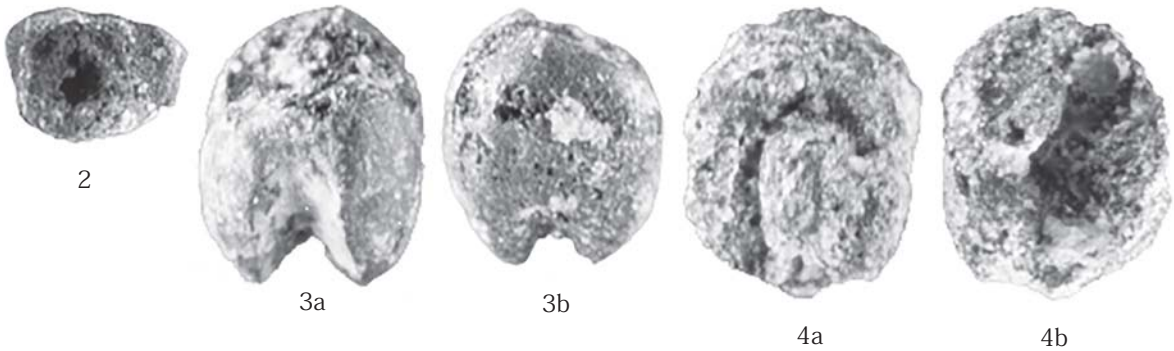
今回の試料は、いずれも炭化していることから、何らかの人為的な活動により火を受けた可能性が高い。とくに炭集中では、燃料性の高いリュウキュウマツの木材を燃料材として利用した可能性等が考えられる。また、年代測定の結果から、約 200 年の長期間にわたり、リュウキュウマツが利用されたことが推定される。

引用文献

Richter H.G.,Grosser D.,Heinz I. and Gasson P.E.（編）,2006, 針葉樹材の識別　IAWA による光学顕微鏡的特徴リスト . 伊東　隆夫・藤井智之・佐野　雄三・安部　久・内海　泰弘（日本語版監修）, 海青社 ,70p.［Richter H.G.,Grosser D.,Heinz I. and Gasson P.E.(2004)*IAWA List of Microscopic Features for Softwood Identification*］.

島地　謙・伊東　隆夫 ,1982, 図説木材組織 . 地球社 ,176p.




1．マツ属複維管束亜属（炭集中 ; 縁辺部）　a: 木口 ,b: 柾目 ,c: 板目

2．イネ　穎（基部）（炭集中部 ; 中心部）

3．アワ　胚乳（炭集中部 ; 中心部）

4．アワ　胚乳（遺構下位製地層）

100 μ m:1

1㎜ :2-4

図版 53　炭化材・種実遺体

# 第５章　総括

以上、平成 24・25 年度に実施した首里城跡東のアザナ北地区の発掘調査成果について報告した。本章では今一度それらを整理するとともに、若干の考察と今後の課題を述べる。

## １　遺構について

発掘調査で多種多様な遺構が検出されているが、今回は本調査区の主要施設と考えられる東側城壁及び関連遺構群・洞穴１及び関連遺構群、沖縄戦関連遺構群について大別して記す。

東側城壁及び関連遺構群のうち、石積み 10 は、首里城の城壁の通説（かつて内郭のみであったが尚真・尚清王代に外郭を拡張して二重へ増強された）に再考を迫る材料といえる。外郭構築前に現在とは別の姿の首里城が存在したことを示すもので、15 世紀に作成された「海東諸国総図」（沖縄県文化振興会史料編集室 2003）や「琉球国図」（安里 2004）にあるような北側方向に延びる城壁も考慮する必要があろう。一方、平面形が「コ」の字形を呈する石積み 11・12 は、その形態的特徴に加えて銭貨や銭貨状金製品といった出土遺物から、これまで場所が不明だった城内十嶽のひとつと推定されており興味深い。なお、伊從勉氏は本遺構を「御内原のまもの内の御嶽」と具体的に比定しているが（伊從 2014）、今回の調査では御嶽名まで認定できる材料に乏しいため、「城内十嶽のひとつの可能性あり」との判断に留めたい。

次に洞穴１及び関連遺構群だが、中でも洞穴１は不明な点の多い遺構である。本遺構はこれまで文献史料や古絵図にも確認されておらず、伝承でもほとんど触れられていない。しかし、立地や形態の特徴が浦添ようどれに類似しており、沖縄戦に関する聞き取りからも本遺構はかつて墓であった可能性が示唆される。加えて、「二百年前首里城俯瞰図」（沖縄総合事務局 1987b）によると、洞穴１を含む今回の調査区一帯、具体的には淑順門東地区の石積み９・10（沖縄県埋文 2014）から東側を拝所と記している。これについては諸々の検討が必要であるが、洞穴１は当初墓として利用されていたが、墓としての機能を終えた後に拝所となった可能性も想定されよう。ちなみに、洞穴１が墓であった場合、床面北側の造成状況から 15 世紀前半頃までに構築・使用されたと考えられるが、おそらく同時期には第一尚氏王統の陵墓である天山陵が存在しており、本遺構がどのような位置づけであったか興味深い。また首里城跡南側の崖下には、「ジングンジューウスメーの墓」（久手堅 2000）や城郭南側下地区の古墓２（沖縄県埋文 2004a）など、先述したように第二尚氏王統以前とされる陵墓のような遺構が所在することから、これらとの関係も考慮すると、第一尚氏王統もしくはそれ以前に遡る可能性もあろう。

最後に沖縄戦に関係する洞穴１の床面南側改変部分と壕１～３について述べる。前者はトレンチ調査の結果、後世に壁面及び天井を掘り広げて床面に石敷２を敷設したことが判明しており、本遺構を避難壕として利用する際に造成したものと考えられる。石敷２の用途は不明だが、証言から御神体や御真影を安置するためであった可能性が想定される。そして、洞穴１の東西から掘り進められた壕１～３（留魂壕）は総延長 130 mの広がりを持ち、一部で洞穴１と繋がるが、これは洞穴１の裏に坑道を掘った際に偶然崩壊した可能性が高く、両施設を意図的に連結したとは考え難い。古堅実吉氏（当時沖縄師範学校１年生・16 歳）からの聞き取りでも壕１～３（留魂壕）と洞穴１は別々に使用されており、互いの交流もなかったことが窺える。この他、洞穴１前に延びる石積み２に多数残る被熱の痕跡は、沖縄戦時に同所が蒙った戦災を示すものとして重要である。

## ２　遺物について

遺物は、中国・タイ・ベトナム・朝鮮・日本・沖縄の各地で生産された陶磁器類をはじめ、坩堝・瓦類・円盤状製品・煙管・玉類・銭貨・金属製品、石製品及び石造製品・貝製品・骨製品・その他近代遺物・自然遺物など多種多様であり、年代も 14 世紀～ 20 世紀と幅広い。今回は基礎整理の期間が十分に確保できなかったため、複数種類の遺物で集計作業を断念する結果となったが、それでも「東のアザナ北地区」の様相を示

す資料が多数みられる。また、前述したように壕１ではかつて「沖縄戦記録フィルム１フィート運動の会」が調査を行い、その際に複数の遺物を回収していることから、今回は本資料も併せて報告した。以下、これらの特徴を３点に絞って述べる。

最初に挙げられるのは、統制番号の付された日本産陶磁器（図版 15・16）、金属製活字（図版 35）、モールス信号用電鍵（図版 40 の７）などの近代遺物である。これらは近代でも沖縄戦時に使用されたと考えられるもので、壕１～３や洞穴１の内部及び入口付近から集中して出土している。これまでの発掘調査でも沖縄戦時の遺物は多数得られているが、今回のように遺構と遺物が伴う状態で確認された事例は初といえる。特に活字は、かつて沖縄新報社が陣中新聞を発行したとされる壕３一帯で 100 点を越える出土量が認められ、沖縄戦に関する証言や記録を裏付ける重要な考古資料といえる。

次に挙げられるのは、清朝の中国産陶磁器（第 39 図・図版９の７、第 40 図・図版 10 の 24 ～ 27）、沖縄産施釉陶器（第 45 図・図版 17 の６～ 10）、大和系瓦（第 50 図・図版 22 の２～４）などである。これらは通常城内の中枢部分、特に正殿～御内原一帯で得られるものであり、今回の調査区で出土するような遺物ではない。しかし、かつて城内の北殿が郷土博物館として利用されていた沖縄戦時に、収蔵品を城内の壕へ避難させたとの証言があり（園原 2000）、また収蔵目録にも類似の名称が記載されていることから（園原 2002）、一面では当該資料も沖縄戦関係の遺物と理解されよう。

最後に挙げるのは銭貨状金製品（図版 32 の 67）である。本資料は、これまで園比屋武御嶽（仲座 1958）、斎場御嶽（知念村教委 1999・2002）、首里城跡の京の内（沖縄県埋文 2016a）及び継世門北（新垣 2015）の４例確認されているが、いずれにも王府と密接な関係の御嶽が存在する。また本地区については、前述したように城内十嶽の可能性が指摘される石積み 11・12 が検出されているため、未だ不明な点の多い琉球王国及び首里城内における国家祭祀の様相を知るうえで貴重な資料である。

この他、中国漳州窯産青花壺（第 37 図・図版７の 12）や瓦製欄干（第 54 図・図版 24）など、隣接地区の出土遺物と接合可能な資料も複数確認されている。

## ３　今後の課題

昭和 59（1984）年度に実施した歓会門及び久慶門内側地域を嚆矢とする首里城跡の発掘調査は、平成 26（2014）年度で一応の区切りを迎えた。当初は沖縄開発庁の首里城城郭等復元整備事業に伴う発掘調査のみであったが、昭和 60・61（1985・86）年度の正殿地区を経て、昭和 62（1987）年度からは国営公園整備に先立つ発掘調査が始まり、平成３（1991）年度からは首里城周辺で県営公園整備に係る発掘調査も着手された。

首里城公園は、平成 30（2018）年度に国営部分の管理・運営を沖縄県に移管する方針であり、整備事業もそれに伴い平成 29（2017）年度での終了が予定されている。これまでの調査成果をまとめた報告書は、国営・県営部分を合計すると 30 冊以上に及んでいるが、事業の終了とは別に、首里城跡の調査成果を総合的に整理・検討する時期に来ていると思われる。これらの調査・研究が進展すれば、首里城の歴史や変遷がより明らかになることに繋がり、現在及び今後の首里城公園の整備・活用にも大きく寄与できるものと考えられる。今回の報告書がその一助となれば幸いである。

# 引用・参考文献


安芸毬子　2000「掘り出された人形」『江戸文化の考古学』吉川弘文館

安里嗣淳・盛本勲　1984「天山陵調査の概略」『紀要』第１号　沖縄県教育委員会文化課

安里進　2004「大宰府神社旧蔵「琉球国図」にみる一五世紀の琉球王国」『浦添市立図書館紀要』№.15　浦添市立図書館

安里進　2011「琉球王国の陵墓制－中山王陵の構造的特質と思想－」『周縁の文化交渉学シリーズ３　陵墓からみた東アジア諸国の位相－朝鮮王陵とその周縁』関西大学文化交渉学教育研究拠点

安里進　2013「首里王府の重要施設絵図調整事業」『首里城研究』№.15　首里城公園友の会

新垣力　2003「沖縄出土の清朝陶磁」『紀要沖縄埋文研究』１　沖縄県立埋蔵文化財センター

新垣力　2010「沖縄から出土する 17 ～ 19 世紀の貿易陶磁器」『海の道と考古学－インドシナ半島から日本へ－』高志書院

新垣力　2013a「17 世紀前半～中葉の琉球陶器について－「初期無釉陶器」にみる薩摩焼の影響－」『鹿児島考古』第 43 号　鹿児島県考古学会

新垣力　2013b「首里城跡の考古学研究－近年の発掘調査成果を中心に－」『第６回鹿児島県考古学会・沖縄考古学会合同学会研究発表会資料集　鹿児島・沖縄考古学の最新動向』鹿児島県考古学会・沖縄考古学会

新垣力　2015「[ 調査速報 ] 首里城跡（継世門北地区）の発掘調査概要」『南島考古だより』第 99 号　沖縄考古学会

新垣力　2016「沖縄県の戦争遺跡　留魂壕」『季刊考古学・別冊 23　アジアの戦争遺跡と活用』雄山閣

新垣力・瀬戸哲也　2005「沖縄における 14 世紀～ 16 世紀の中国産白磁の再整理　付．14 ～ 16 世紀の青磁の様相整理メモ」『紀要沖縄埋分研究』３　沖縄県立埋蔵文化財センター

有銘倫子　2011「沖縄県内における遺跡出土硯」『南島考古』第 30 号　沖縄考古学会

安斎英介・上原千明　2015「沖縄の遺跡から出土する近代の本土産磁器について－スンカンマカイと統制番号を有する資料を中心に－」『南島考古』第 34 号　沖縄考古学会

池宮正治　2010「第六章　王府の祭祀と信仰」『沖縄県史　各論編　第三巻　古琉球』沖縄県教育委員会

石井龍太　2006a「琉球近世瓦瓦当紋様集成と型式学的分類～琉球近世瓦の研究その２～」『東京大学考古学研究室研究紀要』第 20 号　東京大学大学院人文社会系研究科・文学部考古学研究室

石井龍太　2006b「琉球近世瓦の分類と編年試案～琉球近世瓦の研究その３～」『南島考古』第 25 号　沖縄考古学会

石井龍太　2011「琉球諸島出土キセルの基礎的研究～琉球喫煙文化の研究～」『東京大学考古学研究室研究紀要』第 25 号　東京大学大学院人文社会系研究科・文学部考古学研究室

伊従勉　2010「第五章　遺構からみる古琉球の首里城」『沖縄県史　各論編　第三巻　古琉球』沖縄県教育委員会

伊従勉　2014「首里グスクの御嶽と祭場」『琉球　交叉する歴史と文化』勉誠出版

上原静　1986「グスク時代・近世出土の円盤状製品」『読谷村立歴史民俗資料館紀要』第 10 号　読谷村教育委員会

上原静　1990「首里城跡出土のブラシと湧泉」『文化課紀要』第６号　沖縄県教育委員会

上原静　2007「琉球列島出土の有孔盤状製品、骨製箆等について」『南島考古』第 26 号　沖縄考古学会

上原静　2010「琉球砥石考」『南島考古』第 29 号　沖縄考古学会

上原静　2011「琉球の塼と煉瓦」『南島考古』第 30 号　沖縄考古学会

上原静　2013『琉球古瓦の研究』榕樹書林

上原静・平良和輝　2013「南島考古資料録（３）　近世・近代遺跡出土の文房具関連資料」『読谷村立歴史民俗資料館紀要』第 37 号　読谷村教育委員会

上原千明　2014「中近世における釘研究の現状と課題」『廣友会誌』第７号　廣友会

氏家宏・兼子尚知　2006「那覇及び沖縄市南部地域の地質」『地域地質調査報告（５万分の１地質図幅）』独立行政法人産業技術総合研究所地質調査総合センター

浦添市教育委員会教育部文化課　2001『浦添ようどれⅠ　石積遺構編』浦添市文化財調査研究報告書第 32 集　浦添市教育委員会

扇浦正義・川口洋平　2004「長崎出土の東南アジア陶磁」『シンポジウム　陶磁器が語る交流－九州・沖縄から出土した東南アジア産陶磁器－』東南アジア考古学会

大堀皓平　2013「沖縄の遺跡から出土する石製硯について－沖縄県立埋蔵文化財センター所蔵資料より－」『南島考古』第 32 号　沖縄考古学会
沖縄開発庁沖縄総合事務局開発建設部（編）　1987a『国営沖縄記念公園首里城地区基本計画』
沖縄開発庁沖縄総合事務局開発建設部（編）　1987b『首里城関係資料集』
沖縄県教育庁文化課（編）　1983『稲福遺跡発掘調査報告書（上御願地区）』沖縄県文化財調査報告書第 50 集　沖縄県教育委員会
沖縄県教育庁文化課（編）　1985『金石文－歴史資料調査報告書Ⅴ－』同第 69 集　沖縄県教育委員会
沖縄県教育庁文化課（編）　2001a『世界遺産　琉球王国のグスク及び関連遺産群』「琉球王国のグスク及び関連遺産群」世界遺産登録記念事業実行委員会
沖縄県教育庁文化課（編）　2001b『文化行政要覧～平成 13 年度版～』沖縄県教育委員会
沖縄県教育庁文化課（編）　2008『沖縄の金工品関係資料調査報告書』同第 146 集　沖縄県教育委員会
沖縄県教育庁文化課（編）　2011『沖縄のガラス・玉等製品関係資料調査報告書』同第 149 集　沖縄県教育委員会
沖縄県立埋蔵文化財センター（編）　2004a『首里城跡－城郭南側下地区発掘調査報告書－』沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書第 19 集
沖縄県立埋蔵文化財センター（編）　2004b『首里城跡－東のアザナ地区発掘調査報告書－』同第 20 集
沖縄県立埋蔵文化財センター（編）　2004c『沖縄県戦争遺跡詳細分布調査（Ⅳ）－本島周辺離島及び那覇市編－』同第 25 集
沖縄県立埋蔵文化財センター（編）　2005『首里城跡－二階殿地区発掘調査報告書－』同第 29 集
沖縄県立埋蔵文化財センター（編）　2006『首里城跡－淑順門地区発掘調査報告書－』同第 33 集
沖縄県立埋蔵文化財センター（編）　2008『首里城跡－下之御庭首里森御嶽地区発掘調査報告書－』同第 47 集
沖縄県立埋蔵文化財センター（編）　2011『平成 23 年度企画展　沖縄いしの考古学』
沖縄県立埋蔵文化財センター（編）　2013『首里城跡－御内原北地区発掘調査報告書（２）－』同第 69 集
沖縄県立埋蔵文化財センター（編）　2014『首里城跡－淑順門東地区発掘調査報告書－』同第 72 集
沖縄県立埋蔵文化財センター（編）　2015『沖縄県の戦争遺跡－平成 22 ～ 26 年度戦争遺跡詳細確認調査報告書－』同第 75 集
沖縄県立埋蔵文化財センター（編）　2016a『平成 27 年度重要文化財公開　首里城京の内跡出土品展　発見！首里城の食といのり』
沖縄県立埋蔵文化財センター（編）　2016b『首里城跡－銭蔵東地区発掘調査報告書－』同第 80 集
沖縄県立埋蔵文化財センター（編）　2017『首里城跡－御内原東地区発掘調査報告書－』同第 88 集
奥谷喬司（編著）　2000『日本近海産貝類図巻 Marine Mollusks in Japan』東海大学出版会
小野正敏　1982「15、16 世紀の染付碗、皿の分類と年代」『貿易陶磁研究』第２号　日本貿易陶磁研究会
亀井明徳　1985「明代華南彩釉陶をめぐる諸問題」『三上次男先生喜寿記念論文集　陶磁篇』平凡社
川根正教　2001「寛永通宝銅銭の様式分類」『出土銭貨研究会研究紀要　出土銭貨研究』出土銭貨研究会
関西陶磁史研究会（編）　2001『近世信楽焼をめぐって　研究集会資料集』
関西陶磁史研究会（編）　2006『京焼の成立と展開－押小路、粟田口、御室－　研究集会資料集』
宜野座村教育委員会社会教育課（編）　2013『福山の避難壕』宜野座村乃文化財 24 集　宜野座村教育委員会
木下尚子　1981「貝製容器小考」『南島考古』第７号　沖縄考古学会
木村幾多郎　2008「首里城出土の鶴形水注－明代華南三彩陶の研究４－」『九州と東アジアの考古学－九州大学考古学研究室 50 周年記念論文集－　下巻』九州大学考古学研究室 50 周年記念論文集刊行会
九州近世陶磁学会（編）　2000『九州陶磁の編年　九州近世陶磁学会 10 周年記念』
球陽研究会（編）　1974『沖縄文化史料集成５　球陽　読み下し編』角川書店
沓名貴彦　2017「首里城金属生産遺物の科学調査から見えてきたこと」『沖縄考古学会 10 月定例研究会資料』沖縄考古学会
久手堅憲夫　2000『南島文化叢書　22　首里の地名－その由来と縁起－』第一書房
久保智康　2010『日本の美術　第 533 号　琉球の金工』ぎょうせい
久保弘文・黒住耐二　1995『生態／検索図鑑　沖縄の海の貝・陸の貝』沖縄出版
黒住耐二　1987「３．遺跡出土貝類の生息場所類例化の試み」『石川市古我地原貝塚　本文編』沖縄県文化財調査報告書第 84 集　沖縄県教育委員会
財団法人沖縄県文化振興会公文書管理部史料編集室（編）　2003『沖縄県史ビジュアル版 12　古琉球①　古地図にみる琉球』沖縄県教

育委員会
財団法人岐阜県陶磁資料館（編） 2008『萩谷コレクション　全国の戦時中のやきもの』
桜井準也　2006『ガラス瓶の考古学』六一書房
史跡首里城跡整備委員会（編） 1988『史跡首里城跡整備基本構想』沖縄県教育委員会
四国城下町研究会（編） 2004『第６回　四国城下町研究会　四国・淡路の陶磁器Ⅲ－珉平焼の生産と流通－ 〔発表要旨・資料集〕』
島弘　2011「沖縄諸島出土の煙管について」『シンポジウム　ＶＯＣと日蘭交流－ＶＯＣ遺跡の調査と嗜好品－　発表要旨』たばこと塩の博物館
10 周年記念誌編集委員会（編） 1993『１フィート運動　10 周年記念誌』沖縄戦記録フィルム１フィート運動の会
首里城公園基本計画調査委員会（編） 1984『首里城公園基本計画調査報告書』沖縄県土木建築部
真貝理香・松井章　2014「C02　中世大友府内町遺跡出土の骨角製品－両歯櫛の系譜について－」『日本動物考古学会第２回大会プログラム・抄録集』日本動物考古学会第２回大会事務局
角田清美　2014「沖縄島・首里城と周辺地域の古井戸」『専修人文論集』第 94 号　専修大学学会
瀬戸哲也　2005「首里城跡木曳門地区出土の土師器と思われる土器皿」『紀要沖縄埋文研究』３　沖縄県立埋蔵文化財センター
瀬戸哲也　2009「南の境界・琉球の瓦質土器」『中近世土器の基礎研究』22　日本中世土器研究会
瀬戸哲也　2014「沖縄における 14 ～ 16 世紀の中国陶磁の様相」『第 35 回日本貿易陶磁研究集会（沖縄大会）発表要旨・資料集　琉球列島の貿易陶磁』日本貿易陶磁研究会
瀬戸哲也・仁王浩司・玉城靖・宮城弘樹・安座間充・松原哲志　2007「沖縄における貿易陶磁研究－ 14 ～ 16 世紀を中心に－」『全国シンポジウム　中世窯業の諸相～生産技術の展開と編年～　補遺編』全国シンポジウム「中世窯業の諸相～生産技術の展開と編年～」実行委員会
園原謙　2000「沖縄県の文化財保護史－昭和初期から琉球政府時代までの活動を中心に－」『沖縄県立博物館紀要』第 26 号　沖縄県立博物館
園原謙　2002「沖縄縣教育會附設郷土博物館について」『沖縄県立博物館紀要』第 28 号　沖縄県立博物館
平良啓　1994「「沖縄県首里旧城図」について」『首里城研究』№1　首里城公園友の会
高嶺朝光　1973『新聞五十年』沖縄タイムス社
高良倉吉　1996「第四節　琉球王国成立期の首里城に関する覚書」『前近代における南西諸島と九州－その関係史的研究』多賀出版
武部拓磨　2012「グスク時代における支配者の墓の考察」『よのつぢ　浦添市文化部紀要』第８号　浦添市教育委員会文化部
嵩元政秀　1970「沖縄県内出土の銭貨について」『南島考古』創刊号　沖縄考古学会
田中克子　2001「博多遺跡群出土陶磁に見る福建古陶磁 （その一）博多出土の薄胎施釉陶器（茶入）」『博多研究会誌』第９号　博多研究会
知念村教育委員会（編） 1999『国指定史跡　斎場御嶽整備事業報告書（発掘調査・資料編）』知念村文化財調査報告書第８集
知念村教育委員会（編） 2002『国指定史跡　斎場御嶽整備事業報告書（工事・資料編）』同第９集
知念隆博　2003「首里城跡出土銭貨について」『紀要沖縄埋文研究』１　沖縄県立埋蔵文化財センター
知念隆博　2004「清朝銭について」『紀要沖縄埋文研究』２　沖縄県立埋蔵文化財センター
當眞嗣一　1988「グスクの石積について（上）」『文化課紀要』第５号　沖縄県教育庁文化課
當眞嗣一　1990「グスクの石積について（下）」『文化課紀要』第６号　沖縄県教育庁文化課
内閣府沖縄総合事務局国営沖縄記念公園事務所（編） 2013a『国営沖縄記念公園首里城地区整備計画』
内閣府沖縄総合事務局国営沖縄記念公園事務所（編） 2013b『国営沖縄記念公園整備・管理運営プログラム』
永井久美男（編） 1994『中世の出土銭－出土銭の調査と分類－』兵庫埋蔵銭調査会
永井久美男（編） 1998『近世の出土銭Ⅱ－分類図版篇－』兵庫埋蔵銭調査会
仲座久雄　1958「園比屋武御嶽石門復元工事報告」『文化財要覧　1958 年版』琉球政府文化財保護委員会
長濱健起　2006「首里城跡出土銭貨の銭種構成について」『紀要沖縄埋文研究』４　沖縄県立埋蔵文化財センター
中坊徹次（編） 2000『日本産　魚類検索　全種の同定　第二版』東海大学出版会
仲本政基　1974「（十一）新聞人の沖縄戦記」『那覇市史　資料篇　第２巻中の６』那覇市
那須孝悌・趙哲済　2003「第２節　地層の見方」『環境考古学マニュアル』同成社

那覇市教育委員会文化課（編） 1992『壺屋古窯群Ⅰ』那覇市文化財調査報告書第 23 集　那覇市教育委員会
那覇市立壺屋焼物博物館（編） 2013『平成 25 年度那覇市立壺屋焼物博物館企画展　Okinawa Blue & White　沖縄が愛した青と白』
西村昌也・西野範子　2005「ヴェトナム施釉陶器の技術・形態的視点からの分類と編年－ 10 世紀から 20 世紀の碗皿資料を中心に－」『上智アジア学』第 23 号　上智大学アジア文化研究所
日本貨幣商協同組合（編） 2015『日本貨幣カタログ 2016 年度版』
乗岡実　2005「備前」『全国シンポジウム　中世窯業の諸相～生産技術の展開と編年～　資料集』全国シンポジウム「中世窯業の諸相～生産技術の展開と編年～」実行委員会
萩谷茂行　2013「統制経済下における陶磁器製品製造、流通の一考察～いわゆる「統制番号」に関する検証～」『瑞浪市歴史資料集』第２集　瑞浪市陶磁資料館
原田禹雄（訳注） 2005『訳注　琉球國旧記』榕樹書林
古川博恭・高里良政　1986「三、地形・地質」『那覇市歴史地図－文化財悉皆調査報告書－』那覇市教育委員会
法政大学沖縄文化研究所（編） 2014『沖縄研究資料　29　琉球沖縄本島取調書』
外間守善・波照間永吉（編） 1997『定本　琉球国由来記』角川書店
真栄平房敬　1988「首里城内の生活と儀礼」『窪徳忠先生沖縄調査二十年記念論文集　沖縄の宗教と民俗』第一書房
宮城栄治　1996「古都首里のまちづくりに向けて　歴史的変遷の検証－１（「首里市制 10 周年記念誌」に見える明治以降の変遷）」『首里城研究』№２　首里城公園友の会
宮城弘樹　2008「琉球出土銭貨の研究」『出土銭貨』第 28 号　出土銭貨研究会
宮城弘樹・具志堅亮　2007「中世並行期における南西諸島の在地土器の様相」『廣友会誌』第３号　廣友会
向井亙　2003「タイ黒褐釉四耳壺の分類と年代」『貿易陶磁研究』第 23 号　日本貿易陶磁研究会
向井亙　2012「タイ陶磁器の編年研究」『金沢大学　文化資源学研究』第５号　金沢大学国際文化資源学研究センター
森田勉　1982「14 ～ 16 世紀の白磁の型式分類と編年」『貿易陶磁研究』第２号　日本貿易陶磁研究会
森本朝子　1994「博多遺跡群出土の天目」『唐物天目－福建省建窯出土天目と日本伝世の天目－』茶道資料館
森本朝子・片山まび　2000「博多出土の高麗・李朝陶磁の分類試案－生産地編年を視座として－」『博多研究会誌（法哈噠）』第８号　博多研究会
両角まり　1992「Ⅲ－２　瓦質土師質土器類の分類」『シンポジウム　江戸出土陶磁器・土器の諸問題　Ⅰ　発表要旨』江戸出土陶磁土器研究グループ
藪田みゆき　2015「近世～近代遺跡出土歯ブラシ形骨加工品－植毛孔に着目した分類試案の提示と時期差の予察－」『同志社大学考古学シリーズXI　森浩一先生に学ぶ　森浩一先生追悼論集』同志社大学考古学シリーズ刊行会
山本正昭・上里隆史　2004「首里グスク出土の武具資料の一考察」『紀要沖縄埋文研究』２　沖縄県立埋蔵文化財センター
甦る首里城と復元編集委員会（編） 1993『首里城復元記念誌　甦る首里城　歴史と復元』首里城復元期成会
琉球王府御近習方（編） 1958『女官御双紙（中巻）』琉球史料研究会
琉球国絵図史料集編集委員会・沖縄県教育庁文化課（編） 1994『琉球国絵図史料集　第三集－天保国絵図・首里古地図及び関連史料－』沖縄県教育委員会
琉球新報八十年史刊行委員会（編） 1973『琉球新報八十年史』琉球新報社
琉球大学（編） 1961『十周年記念誌』
琉球大学二十周年記念誌編集委員会（編） 1970『琉球大学二十周年記念誌』琉球大学
龍潭同窓会（編） 1998『留魂の婢－鉄血勤皇師範隊はいかに戦塵をくぐったか－』文教図書

図版 54　首里城跡空中写真 1　（国土地理院 2010 年撮影）

図版 55　首里城跡空中写真 2　1945 年 4 月 2 日米軍撮影（CV20-103-63）
※財団法人沖縄県文化振興会　公文書管理部　史料編集室所蔵

1　調査区東側～中央全景

2　調査区西側全景（石積み５内トレンチ掘削前）

3　調査区西側（石積み５内トレンチ掘削後）

図版 56　遺構等検出状況 1

1　石積み 5・石積み 9・階段 1

2　階段 1

3　石積み 5 内面

4　石積み 5・石積み 9

図版 57　遺構等検出状況 2

1　石積み 10 ～ 12

2　石積み 11・12

3　石積み 10 西側立面

4　石積み 10 東側立面

図版 58　遺構等検出状況 3

1　石積み 1 西側

2　洞穴 1・石敷 1

3　石積み 1 積み替え状況

4　石積み 2

5　洞穴 1 内石敷 2

6　洞穴 1 内トレンチ 3 東壁

7　洞穴 1 内トレンチ 4 西壁

8　洞穴 1 前溝状落ち込み

図版 59　遺構等検出状況 4

1　石組み２

2　石組み３

3　壕１坑口

4　壕１内東側小部屋

5　壕１内西側通路

6　壕２坑口

7　壕２と石積み 16 の位置関係

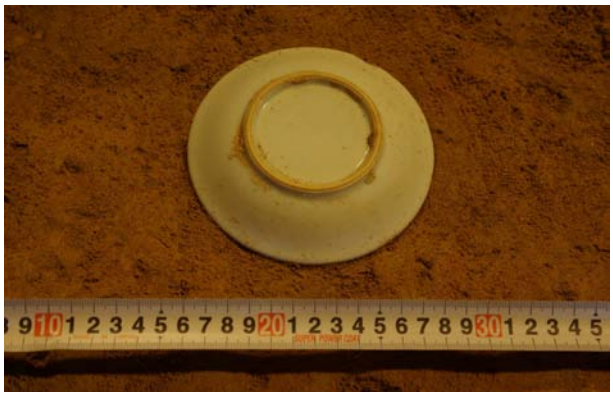
8　壕３坑口

図版 60　遺構等検出状況 5

1　遺物出土状況 1（中国産青磁・白磁）

2　遺物出土状況 2（タイ産土器）

3　遺物出土状況 3（日本産土器）



4　遺物出土状況 4（日本産磁器）

5　遺物出土状況 5（沖縄産施釉陶器）

6　遺物出土状況 6（鉄製品・鎖帷子）

7　遺物出土状況 7（青銅製品・前立飾）

8　遺物出土状況 8（自然遺物・シャコガイ）

図版 61　遺物検出状況

# 報告書抄録

| | |
|---|---|
| ふりがな | しゅりじょうあと |
| 書名 | 首里城跡 |
| 副書名 | 東のアザナ北地区発掘調査報告書 |
| シリーズ名 | 沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書 |
| シリーズ番号 | 第98集 |
| 編著者名 | 新垣力、金城貴子、玉城綾、沓名貴彦、パリノ・サーヴェイ株式会社 |
| 編集機関 | 沖縄県立埋蔵文化財センター |
| 所在地 | 〒903-0125 沖縄県中頭郡西原町上原193-7 TEL 098-835-8752 FAX 098-835-8754 |
| 発行年月日 | 2018年3月30日 |

| ふりがな | ふりがな | コード | | 北緯 | 東経 | 発掘期間 | 発掘面積 | 発掘原因 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 所収遺跡名 | 所在地 | 市町村 | 遺跡番号 | | | | | |
| 首里城跡<br>(東のアザナ北地区) | 沖縄県<br>那覇市<br>首里当蔵町<br>3丁目1番 | 47201 | | 26°<br>13′<br>2″ | 127°<br>43′<br>11″ | 20120702<br>～<br>20130329<br><br>20130701<br>～<br>20140331 | 627<br>㎡ | 国営沖縄記念公園(首里城地区)整備に伴う遺構確認調査 |

| 所収遺跡名 | 種類 | 主な時代 | 主な遺構 | 主な遺物 | 特記事項 |
|---|---|---|---|---|---|
| 首里城跡<br>(東のアザナ北地区) | 城跡 | グスク時代～近代 | 石積み、石列、石組、石敷き、基壇、洞穴遺構、階段、壕、遺物包含層 | 陶磁器類(中国産・タイ産・ベトナム産・朝鮮産・日本産・沖縄産等)、瓦類(屋瓦・塼・欄干)、銭貨、円盤状製品、煙管、玉類、坩堝、金属製品、石製品、貝製品、骨製品、ガラス製品、その他近代遺物、自然遺物 | 文献や絵図に記されていない遺構(城壁・御嶽？・陵墓？)を確認<br><br>沖縄戦時に構築された避難壕(留魂壕・新聞壕)を確認 |


要約

本調査では、文献史料や絵図に具体的な記載のない遺構(城壁石積み、コの字形石積み、洞穴遺構など)が複数検出された。城壁石積みは外郭拡張以前に存在したと考えられるもので、16世紀以前の首里城の姿が窺える数少ない遺構である。コの字形石積みは平面形態の特徴や後述する銭貨状金製品の出土から城内十嶽のひとつと想定される。洞穴遺構はその立地や外観及び内観の特徴から陵墓の可能性が指摘されており、また城内十嶽ではないかとする説もある。いずれも不明な点の多い首里城内北東側の様相及び性格を知るうえで重要な資料といえる。この他、当該地区からは沖縄県師範学校の学徒達が構築した避難壕も確認されており、沖縄戦時における首里城の利用形態の一端が窺える。

多種多様な遺物のうち特徴的な資料として挙げられるのが、銭貨状金製品・金属製活字、中国清朝陶磁器の官窯製品などである。銭貨状金製品は厭勝銭に使用された可能性が高く、当該地区における城内十嶽の存在を示唆するだけでなく、首里城内の祭祀や儀礼を考えるうえでも貴重な発見である。金属製活字は沖縄戦時の新聞発行で使用されたもので、証言及び聞き取り調査の内容に一致する物証であり意義深い。この他、中国清朝陶磁器の官窯製品など本来なら他地区で出土するような資料も得られているが、沖縄戦時に沖縄縣教育會附設郷土博物館(北殿)収蔵品の一部を首里城内の壕に避難させたとの証言もあるため、戦時中に移された可能性も想定される。

沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書　第 98 集

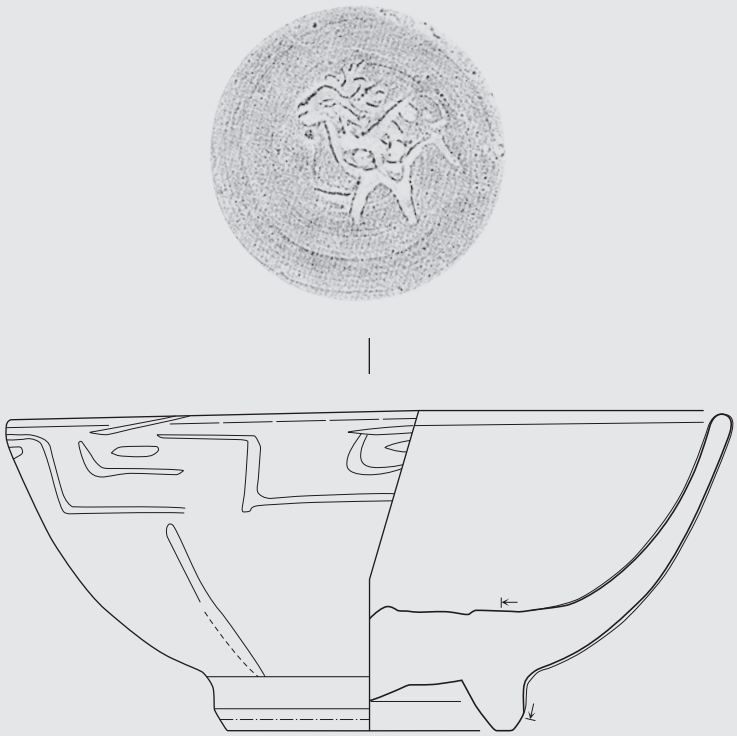
# 首　里　城　跡

－ 東のアザナ北地区発掘調査報告書－

発　行　日　平成 30（2018）年 3 月 30 日
編集・発行　沖縄県立埋蔵文化財センター
〒 903-0125　沖縄県中頭郡西原町字上原 193-7
TEL：098-835-8751・8752
印　　刷　株式会社　ちとせ印刷
〒 901-2131　沖縄県浦添市牧港 2-1-5

表　紙：日本産土製品（人形）

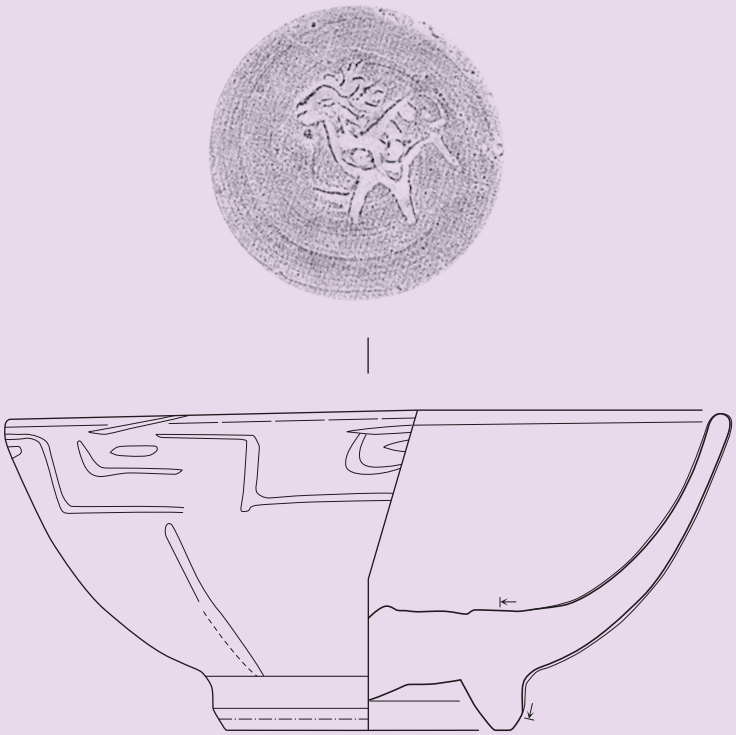
裏表紙：中国産青磁



沖縄県立埋蔵文化財センター

表　紙：日本産土製品（人形）

裏表紙：中国産青磁



沖縄県立埋蔵文化財センター